牛寺遺跡Ⅱ

愛知県埋蔵文化財センター調査報告書　第237集

愛知県埋蔵文化財センター調査報告書　第 237 集

牛寺遺跡Ⅱ

２０２６

公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団
愛知県埋蔵文化財センター

愛知県埋蔵文化財センター調査報告書　第 237 集

牛寺遺跡 Ⅱ

２０２６

公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団
愛 知 県 埋 蔵 文 化 財 セ ン タ ー

序

愛知県豊田市は、愛知県の中央部に位置しております。今日では自動車産業に代表される工業都市として発展を続けていますが、歴史的にも文化財が多数知られており、古くから矢作川水系の中核として繁栄した場所でもあります。

愛知県埋蔵文化財センターでは、平成 29・30 年度と令和 3 年度に、矢作川河川改修に先立つ牛寺遺跡の発掘調査を、愛知県の委託事業として実施致しました。その結果、先人の生活・文化に関するいくつかの貴重な知見を得ることができました。

このたび、調査によって検出されました遺構や出土遺物をまとめ、報告書として刊行するにいたりました。本書が歴史資料として広く活用され、埋蔵文化財に関する御理解を深める一助となれば幸いに存じます。

なお、発掘調査の実施に当たりましては、地元住民の方々を始め関係諸機関及び関係者の皆様方から多大な御指導と御協力をいただきました。深く感謝申し上げます。

令和８年３月

公益財団法人 愛知県教育・スポーツ振興財団

理事長　佐 藤　正 美

例　言

1．本書は愛知県豊田市御立町に所在する牛寺遺跡（遺跡番号は 630360）の発掘調査報告書である。

2．発掘調査は、国土交通省中部地方整備局豊橋河川事務所による矢作川河川改修事業に先立つもので、愛知県教育委員会（令和３（2019）年度から愛知県県民文化局）を通じて委託を受けた愛知県埋蔵文化財センターが実施した。

3．発掘調査及び出土遺物の水洗作業は、平成 29（2017）年度が５・６月、平成 30（2018）年度は 12 月～２月、令和３（2021）年度は 10 ～ 2 月に実施した。

4．調査面積は、平成 29（2017）年度が 200 ㎡、平成 30（2018）年度は 800 ㎡、令和 3（2021）年度は 2800 ㎡となる。

5．調査は、平成 29（2017）年度が酒井俊彦（主任専門員、現調査研究主任）・樋上昇（調査研究専門員、現主任専門員）、平成 30（2018）年度は酒井俊彦・鈴木恵介（調査研究主任、現管理補助員）、令和３（2021）年度は永井宏幸（調査研究専門員、現主任専門員）・池本正明（調査研究主任）が担当した。

6．発掘調査にあたっては、次の関係機関のご指導とご協力を得た。
国土交通省中部地方整備局豊橋河川事務所・愛知県教育委員会生涯学習課文化財保護室（平成 29・30 年度）・同県民文化局文化部文化芸術課文化財室（令和３年度）・愛知県埋蔵文化財調査センター・豊田市教育委員会・愛知県立豊田東高校

7．発掘調査では、平成 29（2017）年度・平成 30（2018）年度には株式会社波多野組、令和３（2021）年度には株式会社アコードから支援を得た。

8．整理作業は、令和６（2024）年４月から令和７（2025）年３月にかけて、池本が担当した。ただし、出土遺物の分類・接合、実測・トレース作業の一部を国際文化財株式会社に、挿図作製の一部を株式会社イビソクに、出土遺物の写真撮影は有限会社写真工房遊に、科学分析の一部を株式会社パレオ・ラボに、デジタル編集の一部を国際文化財株式会社に作業委託した。

9．発掘調査・報告書作成には、本センター理事・専門委員・職員・整理補助員をはじめ、以下の方々にご指導・ご協力を得た。（五十音順・敬称略）
赤羽一郎・天野暢保・井上喜久男・内田智久・岡本直久・城ケ谷和広・谷口由紀子・鳥越道臣・成瀬友弘・森　秦通

10．本書の編集は池本が担当した。執筆は池本が担当したが、第Ⅳ章については１（１）・２（１）を池本が執筆し、１（２）・１（３）・２（２）は株式会社パレオ・ラボから提出された分析結果報告書に池本が編集を加えて掲載している。なお、２（３）は荒木徳人（本センター調査研究主事）が執筆した。

11．調査区の座標は、国土交通省告示の平面直角座標Ⅶ系に準拠した。表記は世界測地系を用いた。なお、海抜標高はＴ．Ｐ．（東京湾平均海面標高）測地成果 2011 による。また、本書で使用する土層の色調は『標準土色帳』に依拠した。

12. 遺構番号は以下の分類記号を用いる。原則として調査時の表記をそのまま使用しているが、厳密な区分ではない。なお、遺構番号の重複を避けるため、18区のみ年度をつけて表現するが、21区については煩雑になるため、一部を除きこれを省略している。
    SB:掘建柱建物、SI:竪穴建物、SK:土坑、SP:ピット、SD:溝、SE:井戸、
    ST:火葬施設、SL:焼土面、SX:その他の遺構
13. 調査に関する実測図・写真などの資料は本センターが、出土遺物は愛知県埋蔵文化財調査センター(498-0017愛知県弥富市前ケ須町野方802-24)が保管している。なお、遺跡の略記号は「3PGD」である。

目　次

第Ⅰ章　はじめに…… 1
　1　経緯と経過 …… 1
　2　環境と周辺の遺跡 …… 1

第Ⅱ章　遺構…… 7
　1　概要 …… 7
　2　18 区の遺構 …… 7
　3　21 区の遺構 …… 14

第Ⅲ章　遺物…… 71
　1　概要 …… 71
　2　18 区の遺物 …… 71
　3　21 区の遺物 …… 71

第Ⅳ章　科学分析…… 91
　1　18 区の科学分析 …… 91
　2　21 区の科学分析 …… 96

第Ⅴ章　総括…… 107
　1　主要遺構の変遷 …… 107
　2　牛寺遺跡の概観 …… 110
　3　火葬施設について …… 118
　4　土師器皿について …… 122

付　表…… 126

挿図目次

図 1　周辺の遺跡 - 1　1 : 25,000 …… 4
図 2　周辺の遺跡 - 2　1 : 25,000 …… 5
図 3　東壁断面図 - 1　1 : 100 …… 8
図 4　東壁断面図 - 2　1 : 100 …… 9
図 5　21 A区南壁断面図　1 : 100…… 10
図 6　18 区 024SB　1 : 50 …… 11
図 7　18 区 001SD・18 区 042SK・18 区 055SK
1 : 50…… 12
図 8　18 区 023SD　1 : 50　1 : 80 …… 13
図 9　370SI・411SI　1 : 50 …… 15
図 10　480SB- 1　1 : 50 …… 16
図 11　480SB- 2　1 : 50 …… 17
図 12　600SB- 1　1 : 50 …… 18
図 13　600SB- 2　1 : 50 …… 19
図 14　700SB- 1　1 : 50 …… 20
図 15　700SB- 2　1 : 50 …… 21
図 16　800SB- 1　1 : 50 …… 23
図 17　800SB- 2　1 : 50 …… 24
図 18　1205SB　1 : 50…… 25
図 19　1207SB・1208SB　1 : 50 …… 26
図 20　1201SA・580SA　1 : 80…… 27
図 21　819SE・980SE・1116SE　1 : 50 …… 28
図 22　土坑 - 1　1 : 50…… 31
図 23　土坑 - 2　1 : 50…… 32
図 24　土坑 - 3　1 : 50…… 33
図 25　土坑 - 4　1 : 50…… 34
図 26　土坑 - 5　1 : 50…… 35
図 27　ピット - 1　1 : 50…… 39
図 28　ピット - 2　1 : 50…… 40
図 29　003SD 周辺分割図 - 1　1 : 50 …… 45
図 30　003SD 周辺分割図 - 2　1 : 50 …… 46
図 31　003SD 周辺分割図 - 3　1 : 50 …… 47
図 32　003SD 周辺分割図 - 4　1 : 50 …… 48
図 33　003SD 周辺分割図 - 5　1 : 50 …… 49
図 34　003SD 周辺分割図 - 6　1 : 50 …… 50
図 35　003SD 周辺分割図 - 7　1 : 50 …… 51
図 36　003SD 周辺分割図 - 8　1 : 50 …… 52
図 37　003SD 等断面図 - 1　1 : 50 …… 53
図 38　003SD 等断面図 - 2　1 : 50 …… 54
図 39　003SD 等断面図 - 3　1 : 50 …… 55
図 40　140SD 周辺分割図 - 1　1 : 50 …… 56
図 41　140SD 周辺分割図 - 2　1 : 50 …… 57
図 42　140SD 周辺分割図 - 3　1 : 50 …… 58
図 43　140SD 周辺分割図 - 4　1 : 50 …… 59
図 44　140SD 周辺分割図 - 5・7　1 : 50 … 60
図 45　140SD 周辺分割図 - 6　1 : 50 …… 61
図 46　139SD 側面図　1 : 50 …… 62
図 47　179SD・180SD　1 : 50 …… 63
図 48　798SD・770SD-1・779SD・806SD
1 :50…… 64
図 49　244SD-1　1 : 50 …… 65
図 50　244SD-2・770SD-2 1 : 50 …… 66
図 51　火葬施設 - 1　1 : 50…… 69
図 52　火葬施設 - 2・焼土面　1 : 50…… 70
図 53　出土遺物 - 1　1 : 4 …… 72
図 54　出土遺物 - 2　1 : 4 …… 74
図 55　出土遺物 - 3　1 : 4 …… 76
図 56　出土遺物 - 4　1 : 4 …… 78
図 57　出土遺物 - 5　1 : 4 …… 80
図 58　出土遺物 - 6　1 : 4 …… 82
図 59　出土遺物 - 7　1 : 4 …… 84
図 60　出土遺物 - 8　1 : 4 …… 85
図 61　出土遺物 - 9　1 : 4 …… 86
図 62　出土遺物 -10　1 : 4 …… 88
図 63　出土遺物 -11　1 : 1・1 : 2・1 : 8 … 89
図 64　18 区出土炭化材の
暦年較正結果 …… 93
図 65　18 区出土炭化材の
走査型電子顕微鏡写真 …… 95
図 66　21 区出土炭化材の
暦年較正結果 - 1 …… 100
図 67　21 区出土炭化材の
暦年較正結果 - 2 …… 101
図 68　21 区出土炭化材の
暦年較正結果 - 3 …… 102
図 69　粒度分布図 …… 105

図 70　実体顕微鏡画像 …… 106
図 71　主要遺構の変遷図 - 1　1 : 500 …… 108
図 72　主要遺構の変遷図 - 2　1 : 500 …… 109
図 73　掘立柱建物集成　1 : 200 …… 111
図 74　瓦分布図　1 : 500 …… 112
図 75　遺跡周辺の地籍図　1 : 2,400 …… 115
図 76　調査区周辺の市街地　1 : 2,400 …… 116
図 77　調査区遠景 …… 117
図 78　火葬施設の形態 …… 119
図 79　豊田市内の火葬施設 …… 121
図 80　土師器皿口径グラフ …… 122
図 81　土師器皿底径グラフ …… 123
図 82　土師器皿底面拓影　1 : 2 …… 124

表目次

表 1　調査進行表 …… 1
表 2　18 区放射性炭素年代測定および暦年較正の結果 …… 93
表 3　18 区測定試料および処理 …… 95
表 4　測定試料および処理 …… 98
表 5　放射性炭素年代測定および暦年較正の結果調査進行表 …… 99
表 6　分析結果 …… 105
表 7　火葬施設一覧 …… 120

図版目次

図版 1　調査区割付図　1 : 1,000
図版 2　平面図 - 1　1 : 100
図版 3　平面図 - 2　1 : 100
図版 4　平面図 - 3　1 : 100
図版 5　平面図 - 4　1 : 100
図版 6　平面図 - 5　1 : 100
図版 7　平面図 - 6　1 : 100
図版 8　平面図 - 7　1 : 100
図版 9　平面図 - 8　1 : 100
図版 10　平面図 - 9　1 : 100
図版 11　平面図 -10　1 : 100
図版 12　平面図 -11　1 : 100
図版 13　平面図 -12　1 : 100
図版 14　平面図 -13　1 : 100
図版 15　平面図 -14　1 : 100
図版 16　平面図 -15　1 : 100
図版 17　主要遺構配置図　1 : 500
図版 18　牛寺遺跡遠景
図版 19　18 区
図版 20　21 A区航空写真
図版 21　21 B区航空写真
図版 22　370SI・411SI
図版 23　480SB
図版 24　600SB
図版 25　700SB
図版 26　800SB
図版 27　1205SB・1207SB・1208SB
図版 28　580SA・1201SA
図版 29　819SE・980SE・1116SE
図版 30　土坑 - 1
図版 31　土坑 - 2
図版 32　土坑 - 3
図版 33　ピット
図版 34　003SD- 1
図版 35　003SD- 2
図版 36　003SD- 3

図版 37　139・140SD- 1
図版 38　139・140SD- 2
図版 39　107SD 他
図版 40　火葬施設 - 1
図版 41　火葬施設 - 2
図版 42　火葬施設 - 3・焼土面・その他の遺構
図版 43　出土遺物 - 1
図版 44　出土遺物 - 2
図版 45　出土遺物 - 3
図版 46　出土遺物 - 4
図版 47　出土遺物 - 5
図版 48　出土遺物 - 6
図版 49　出土遺物 - 7

巻　頭

遺跡位置図　1 : 200,000

付　表

付表 1　遺構計測一覧
付表 2　遺物計測一覧
付表 3　遺物出土位置一覧



国土地理院地勢図
1:200,000「豊橋」「名古屋」

第Ⅰ章　はじめに

1　経緯と経過

一級河川矢作川は上流域の多くが花崗岩地帯のため水流による侵食を受けやすく、これらを起源とする多量の砂礫が下流部で川床に多量に堆積し、水害が危惧される状況となっている。国土交通省中部地方整備局はこうした状況を鑑み、平成 21（2009）年に策定された『矢作川水系河川整備計画基本方針』に基づいた矢作川の改修計画を推進している。

牛寺遺跡の発掘調査はこうした動きに先立つ事前調査として計画され、愛知県から委託を受けた愛知県埋蔵文化財センターが、平成 29（2017）年度の範囲確認調査を皮切りに、平成 30（2018）年度・令和 3（2021）年度に実施した。調査工程は表 1 にまとめた。なお、令和３（2021）年度には地元説明会を開催し、81 名の参加を得た。

2　環境と周辺の遺跡

牛寺遺跡は愛知県豊田市御立町に所在する。周辺を地形的に概観すると、東側は三河高原西端部の三河低位小起伏面と呼称される低山地群、西側は丘陵性の台地から続く段丘面が拡がっている。段丘面は五つに区分され、高位から三好面・挙母面・碧海面・越戸面・籠川面と呼称されている。

豊田市の中央を流れる矢作川は、丘陵部を抜けて豊田盆地に至ると現在の豊田市街地付近で流路を大まかに南西方向から南へ変化させ、緩やかな弧状を呈しながら急激に川幅を狭める鵜の首狭窄部に到達する。牛寺遺跡は鵜の首狭窄部から上流に約 900 m地点、矢作川左岸の北西から南東に半島状に伸びる段丘面（篭川面）に位置する。遺跡の西側は現在の矢作川流路と接しており、一部がその堤防内側に取り込まれた形となっている。

近隣のランドマークとしては、北 0.3 ㎞地点に愛知県立豊田東高校、1.2 ㎞地点に豊田スタジアム、東 3.7 ㎞地点には東海環状自動車道豊田松平 IC、南南西 2.4 ㎞地点にはトヨタ自動車本社工場、北西 1.8 ㎞地点に豊田市役所などが位置している。

次に、歴史的環境に触れる。牛寺遺跡の周辺には多くの遺跡が分布している。ここでは、豊田盆地南部から巴川合流地点あたりの、図１・２に表現する範囲を中心に概観する。

表１　調査進行表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
17区		T.T.8～31掘削	T.T.1～7掘削										範囲確認調査
18A区										1/7～1/9表土ハギ 1/10～1/18検出検出・掘削 1/18全景撮影 1/18～1/21補足調査・埋め戻し			
18B区										1/22～1/31表土ハギ	1/31～2/5遺構検出・掘削 2/5全景撮影 2/6補足調査・埋め戻し		
18C区											2/7～2/12表土ハギ 2/12～2/27遺構検出・掘削 2/19全景撮影 2/19～2/25補足調査・埋め戻し		
21A区							10/21～11/1表土ハギ 10/26～11/18遺構検出	11/19～1/14遺構掘削		1/14空撮 1/20～24補足調査・埋め戻し			1/15説明会 81名参加
21B区										1/26～1/24表土ハギ 1/26～2/3遺構検	2/4遺構検出・掘削 2/25空撮	2/25～3/10補足調査・埋め戻し	

まず、旧石器時代の遺跡としては、平和町で近接して平山遺跡・初吹遺跡・新切遺跡などの散布地が所在している。この他、渡刈町の大明神Ｂ遺跡・水入遺跡、河合町の河合遺跡、秋葉町の秋葉遺跡なども当該期の石器の出土が知られている。

縄文時代でも散布地として認識される遺跡が多いが、竪穴建物などの調査事例も散見できる。森町の曽根遺跡は現在史跡公園として整備されているが、中期後半から晩期前半の竪穴建物３棟が検出されている。野見町の丸根遺跡では、晩期の竪穴建物１棟と土器棺墓が３基確認され、今町の今町遺跡では後期前葉の竪穴建物１棟が確認されている。また、旧石器時代の遺物が確認されている遺跡のうち、水入遺跡からは中期の竪穴建物が４棟、秋葉遺跡からは中期後半の竪穴建物２棟、晩期の土器棺墓１基が検出されている。

弥生時代では豊田盆地北部では集落遺跡の数や規模が増大するが、図１・２に表現する範囲では、依然として希薄となっている。調査事例としては広川町の南山畑遺跡が知られており、前期の土器棺墓が４基、終末期には環濠を有する集落遺跡が検出されている。

古墳時代に入ると、豊田盆地北部では集落遺跡の数や規模が特徴的となるが、南部においてはやはり主だった動きは確認されていない。一方、水入遺跡では、５・６世紀に掘削された大溝の周辺に掘立柱建物群が展開する様子が確認されている。

古墳に着眼すると、森町の半島状に張り出した段丘上に５～６世紀の有力墳が点在している。このうち最大となる八柱社古墳は、後世の改変によりやや不明確となるが、直径 36 mの円墳に低い削り出しが付く形状と理解されている。円筒埴輪片が採集されており、５世紀前葉～中葉に位置付けられている。八柱社古墳の南東 0.5km に位置する市塚古墳は直径 26 mの円墳で、八柱社古墳とほぼ同時期と理解されている。市塚古墳の北西 0.6km には南山畑古墳群が知られている。上記した南山畑遺跡の調査区内で確認されたもので、４基の古墳が知られるが、このうち３号墳（SZ04）は 8.7 m× 6.7 mの規模を持つ方墳で、５世紀中頃に位置付けられている。曽根古墳は前述した曽根遺跡の調査時に周溝の一部が検出されたもので、直径 12 m程度の円墳と考えられている。基底部から出土した須恵器から５世紀末から６世紀前葉に位置付けられている。

６世紀代に入ると古墳の分布範囲が拡大する。体表的な事例としては、河合町の豊田大塚古墳が知られている。直径約 30 mの円墳で６世紀中頃の築造とされ、昭和 44（1969）年に県指定の史跡となっている。豊富な出土遺物は特に注目されており、台付子持蓋付四連壺・台付四連蓋杯・子持蓋付台付壺に代表される須恵器類は、平成７（1995）年に国指定の文化財となっている。この他、豊田大塚古墳の北東側の秋葉町・平山町・水源町の一帯は、内山古墳群・秋葉古墳群・高根古墳群・新切古墳群・水源山古墳群など、後期～終末期の古墳が群集するエリアとして注目されている。

一方、矢作川左岸の丘陵側では終末期の古墳が散見できる。志賀町・宝来町の香久札古墳群は１～６号墳が調査され、７世紀～８世紀前葉と理解されている。また、香久礼古墳群の南南西 3.0km に位置する野見山町樫尾古墳群は、１～３号墳が調査されており、７世紀後葉から 8 世紀初頭に位置付けられている。また、南山畑４号墳（SZ05）は、前述した南山畑遺跡の調査区で検出されたもので、1.3 m× 0.5 mの規模となる終末期の小石室となる。石室内の 40 ㎝× 25 ㎝の範囲には鉄釘が集中して出土している。

古代に入ると、集落遺跡の調査事例が増加してくる。御立町の古城遺跡からは８世紀後半～ 10 世紀前半頃の竪穴建物と掘立柱建物で構成される集落遺跡が確認されており、遺跡の立地状況から川湊的な性格も想定されている。水入遺跡でも 7 世紀初頭前後から竪穴建物で構成される集落が登場し、掘立柱

建物も加わりながら９世紀前後頃まで継続すると報告されている。今町の今町遺跡では、７世紀中葉～８世紀頃の竪穴建物が約 100 棟、近接する今町の宮之後遺跡でもほぼ同時期の竪穴建物や掘立柱建物が確認されている。

ところで、『和名類聚抄』によれば牛寺遺跡の位置する加茂郡は八郷が記載されるが、牛寺遺跡の周辺はこのうちの高橋郷に、高橋郷から見た矢作川対岸は挙母郷に比定されている。また、『延喜式』神名帳に記載される野見神社は、野見山の山頂に鎮座する野見神社に該当するとされている。なお、牛寺遺跡と近接・重複する牛寺廃寺は、８世紀代に創建された古代寺院と考えられている。現状では当該期の瓦が知られるのみで、寺院に関連する遺構は不明確となっている。

中・近世に入ると、今町遺跡では 13 世紀頃から近世までの掘立柱建物で構成される居住域が確認されている。古城遺跡からは 13 ～ 15 世紀の掘立柱建物・井戸などが検出され、古代より続く川湊的な性格がさらに拡大した状況も想定されている。なお、鵜の首狭窄部上流辺りを「下江」と称し、近世には西岸に衣南町土場、東岸に牛寺鵜首土場が存在した事から、その萌芽を中世に求める意見もある（豊田市教育委員会他　1976）。

その他の遺構では葬送墓制に関連するものが知られており、水入遺跡・南山畑遺跡から火葬施設・土坑墓などが報告されている。前者は 13 ～ 14 世紀の土壙墓が 400 基程度検出され、これに火葬施設が加わる状況が確認されている。また、南山畑遺跡からは 16 世紀以降を主体とする土坑墓と火葬施設がそれぞれ 20 基程度検出されている。

次に史料に目を向けると、加茂郡では平安時代末期に高橋荘の成立を見る。在地勢力として高橋氏の名が見られるが、政情により長田氏、続いて小野氏、中条氏に引き継がれる。司町の長田館跡は、平治の乱の戦功により高橋荘下司職を得た長田忠致の館との伝承を持つ。発掘調査も実施されているが、面積が限定されており、長田氏段階の遺構・遺物は不鮮明となっている。続いて 13 世紀後葉頃には、中条氏が台頭を始める。中条氏は承久の乱の後に地位を固め、猿投神社・長興寺などの宗教勢力とも良好な関係を構築して勢力を誇るが、新興の松平氏による圧力等により次第に影響力を失う。拠点とされたのが金谷町の金谷城で、延慶年間（1308 ～ 1311）の築城伝承を持つ。なお、東側の曲輪の一部分で発掘調査が実施されており、15・16 世紀の掘立柱建物・溝などが検出されている。

一方、矢作川左岸の丘陵部には古瀬間城・森城・丸根城などが知られる。このうち丸根城は、豊田盆地の南端部、鵜の首狭窄部の北端に位置している。遺構の残存状況が良好で、地表面からの観察では主郭と半円形の曲輪で構成される構造と理解されている。主郭の南西に付設された小曲輪の発掘調査が実施されており、この部分は 15 世紀後半以降に構築されたものと考えられている。丸根遺跡は丸根城に近接しており、溝に区画された 16 世紀の掘立柱建物６棟が報告されている。

矢作川右岸の長興寺町に所在する長興寺は、臨済宗東福寺派の寺院で諸山の寺格を持つ。寺伝では中条秀長を開基として建立したと伝え、中条氏との関連は強い。かつては三河国利生塔も存在したとも伝えるが、永禄 10（1567）年の兵火と元禄 10（1697）年の火災などにより、中世の建造物は失われている。なお、寺宝となる『絹本着色織田信長画像』は、昭和 10（1935）年に国指定の文化財となっている。境内には中条秀長の供養塔が祀られるが、宝篋印塔・五輪塔などの部材を再構築したものとなる。また、境内およびその周辺には中世陶器が散布しており、長興寺関連遺跡として登録されている。

近世に入ると、牛寺遺跡周辺の御立村（現、御立町・美里・上池町）・森村（現、森町）・牛野村（現、野見町・野見山町・宮前町）は、寺部村（現、寺部町）に陣屋を置く尾張藩寺部渡辺氏の統治下となり、



図1　周辺の遺跡 -1　1:25,000

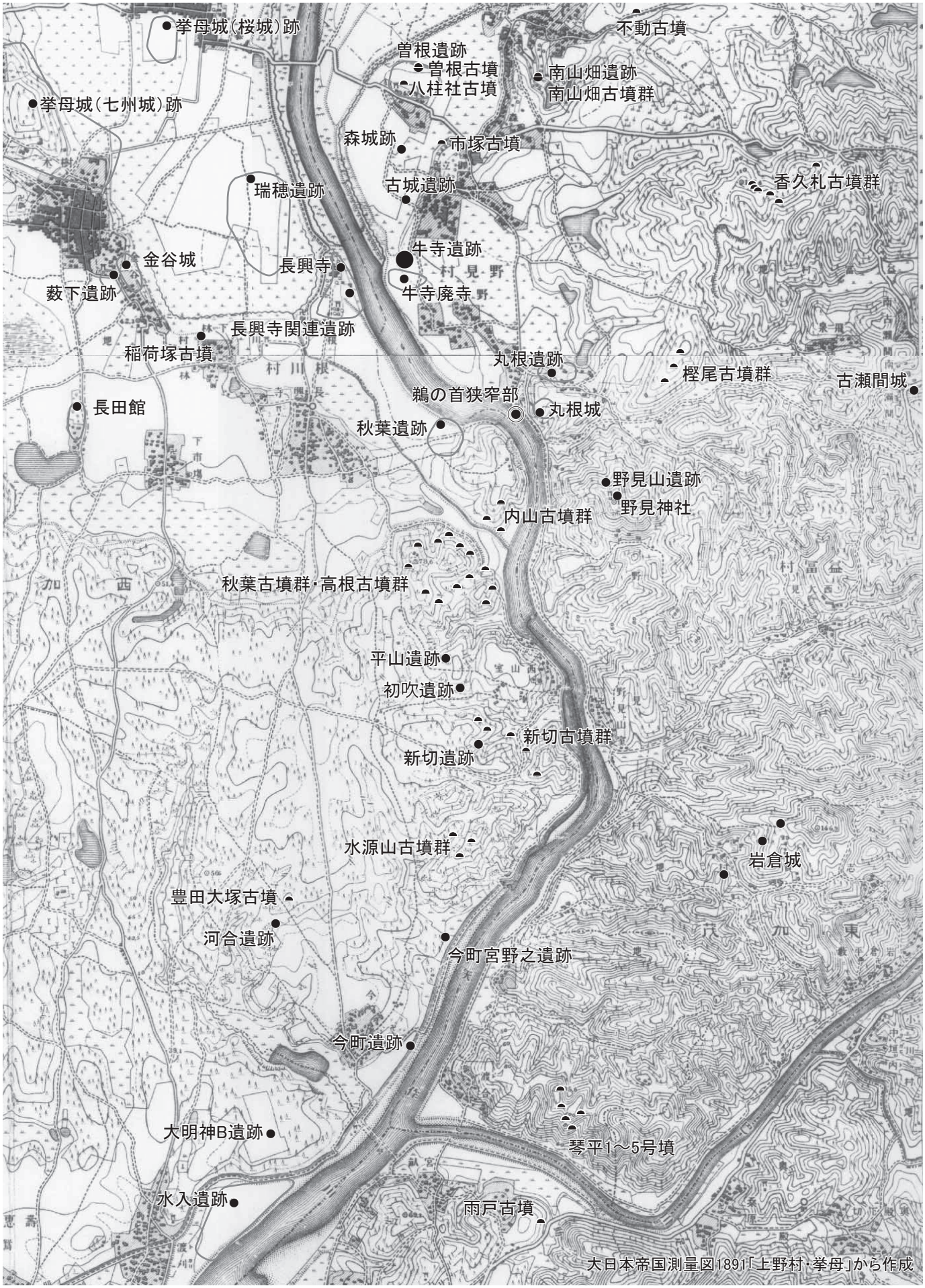


図２　周辺の遺跡 -2　1:25,000

そのまま大政奉還を迎える。これに対して、矢作川右岸は小大名や旗本領・幕府直轄領が入り組み、改易や転封も度々見られるなど複雑な様相を呈していた。このうち、挙母町周辺では三宅康貞が慶長９（1604）年に挙母城（桜城）を築城するが、寛文４（1664）年に廃絶したと言われている。その後、本多忠利による天和３（1683）年の整備を経て、寛延２（1749）年には内藤政苗の入封に伴い、宝暦６（1756）年に再度の築城が開始される。しかし、この作業は矢作川の氾濫により難航し、安永８（1779）年には施工地点が南西部の童子山に変更される。挙母城（七州城）である。なお、これらの二城は部分的ではあるが、数次に渡る発掘調査が実施され、前者は石垣と堀、後者は石垣・土塁・建物・柵列等が検出されている。

参考・引用文献

愛知県教育委員会　1944『愛知県中世城郭調査報告書』Ⅱ（西三河地区）
愛知県史編さん委員会　2003『愛知県史』資料編　考古　旧石器・縄文　愛知県
愛知県史編さん委員会　2003『愛知県史』資料編２　考古２　弥生　愛知県
愛知県史編さん委員会　2005『愛知県史』資料編３　考古３　古墳　愛知県
愛知県史編さん委員会　2010『愛知県史』資料編４　考古４　飛鳥～平安　愛知県
愛知県史編さん委員会　2017『愛知県史』資料編５　考古５　鎌倉～江戸　愛知県
新修豊田市史編さん専門委員会　2013『新修豊田市史』18 資料編考古Ⅰ　豊田市
新修豊田市史編さん専門委員会　2015『新修豊田市史』19 資料編考古Ⅱ　豊田市
新修豊田市史編さん専門委員会　2017『新修豊田市史』20 資料編考古Ⅲ　豊田市
豊田市教育委員会・豊田市史編さん専門委員会　1976『豊田市史』第一巻 豊田市


曽根遺跡（曽根遺跡公園）


八柱社古墳


古城遺跡


丸根城（丸根城址公園）

第Ⅱ章　遺構

1　概要

今回報告する調査区は、調査年度により 18 区と 21 区に区分している。面積は前者が 800 ㎡、後者が 2,800 ㎡となる。遺構検出面は 21 区中央部以東がほぼ平坦となるが、緩やかに傾斜しながら 18 区へと続く。標高は最高値が 21 区の東壁中央付近で 38.6 ｍをはかる。21 区の南西端は 37.4 ｍ、18 区の南端は 37.5 ｍとなる。遺構の分布状況は、21 Ａ区の南東側～ 21 Ｂ区北東部の標高約 38 ｍ以上に集中する傾向を示す。この部分は遺構検出面が概ね黄褐色シルト層となるが、21 Ａ区南西部と北部、21 Ｂ区中央～西部ではこれが流失しており、黄褐色シルトの下層に位置する礫層の上面が遺構検出面となっている（図３～５）。なお、調査区は遺構検出面から地表面までほぼ整地層に覆われており、近年の大規模な造成を受けていることが考えられる。

以下、遺構の事実報告を調査区ごとに記述する。図版 1 に示す様に、各調査区は排土処理の関係で 18 区をＡ～Ｃ区、21 区をＡ・Ｂ区に細分して調査している。ここでは煩雑さを避けるため年度毎にまとめて記述し、時期別変遷は第Ⅴ章に記述する。なお、調査が複数年度に渡っている関係から、遺構番号の重複が見られる。これについては先頭に年度を付与する事で区分したいが、21 区と 18 区では遺構数に極端な差があるため、18 区の遺構のみ調査年度を付与し、21 区には基本的にこれを付けない方針をとる。

2　18 区の遺構

18 区 024SB（図６）

18 Ａ・Ｂ区の境界の南側で確認できた。014SK・015SK・030SK・036SK・027SK・025SK で構成される。055SK と近接し、南側の一部が調査区外となる。平面形は２間×２間以上で、短辺 3.9 ｍ、長辺は 4.1 ｍまで計測できる。主軸はN-４°-Wをはかる。出土遺物は得られなかった。

18 区 042SK（図７、図版 19）

18 Ｃ区南側で確認できた。平面形は楕円形を呈し、長径は 0.8 ｍ、短径は 0.6 ｍ、深さは 0.1 ｍとなる。埋土は焼土・炭化物などを含む。基底部の一部は被熱が確認できる。なお、炭化物から試料を採取して放射性年代測定を実施しており、詳細は第Ⅳ章に記した。

18 区 055SK（図７、図版 19）

18 Ｃ区西側で確認できた。024SB と近接する。平面形は楕円形を呈し、長径 0.8 ｍ、短径 0.5 ｍ、深さは 0.2 ｍとなる。出土遺物は（図 53- ３）を図示した。

18 区 001SD（図７、図版 19）

18 Ａ区と 21 Ｂ区で確認できた。21 Ｂ区との境界部で南に屈曲し、西側は 21 Ｂ区の南東隅で確認した 847SX に連続し、屈曲部分を形成する。南端部は調査区外となる。北側 5.1 ｍ地点は 21 Ｂ区 003SD の南端となる。長さは、東西 8.2 ｍ、南北は 4.2 ｍまで確認した。幅は 4.3 ｍ、深さは 0.3 ｍとなる。主軸はN-95°-Ｅだが、屈曲後はN-４°-Ｅをはかる。出土遺物は（図 53- ４・５）を図示した。

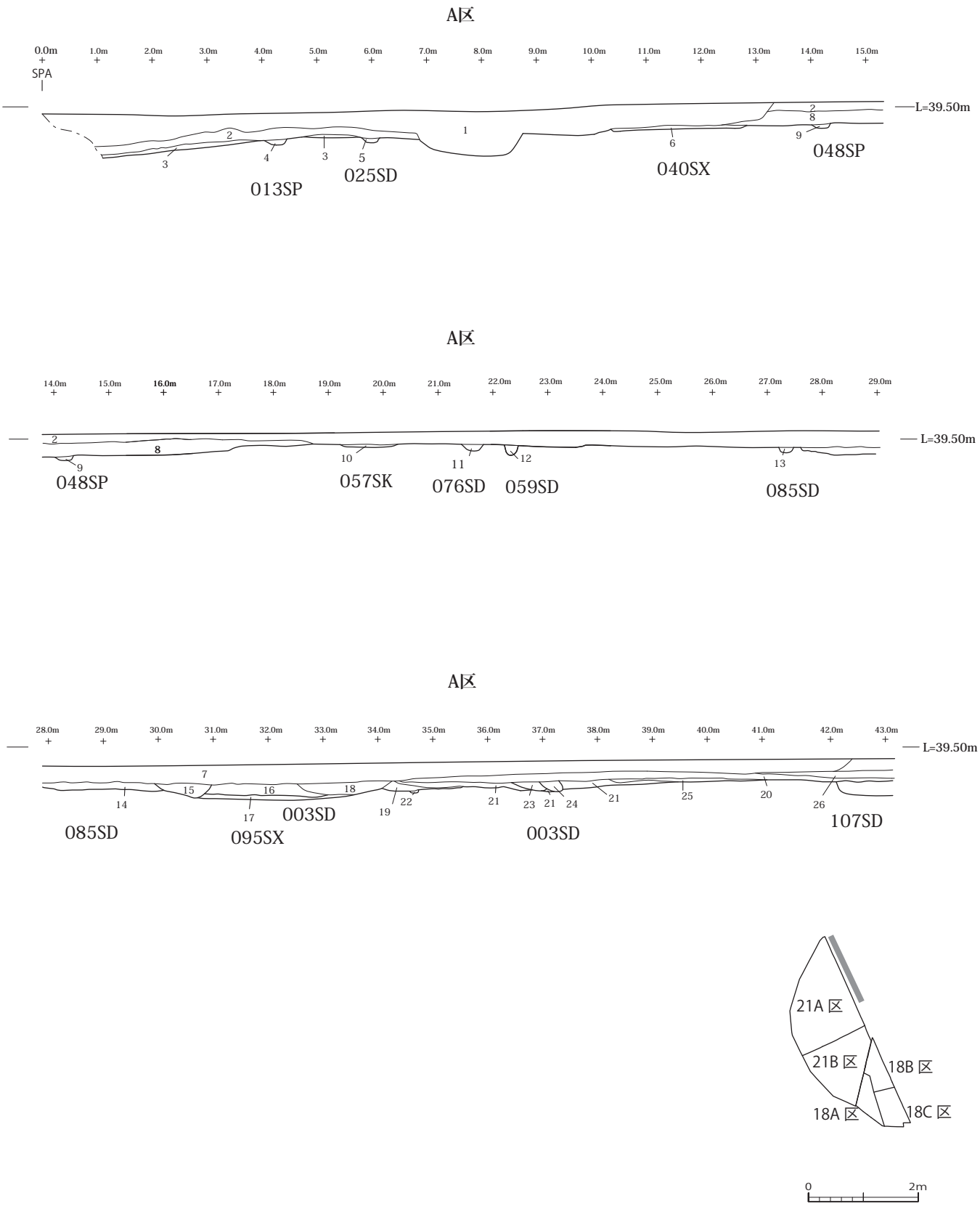
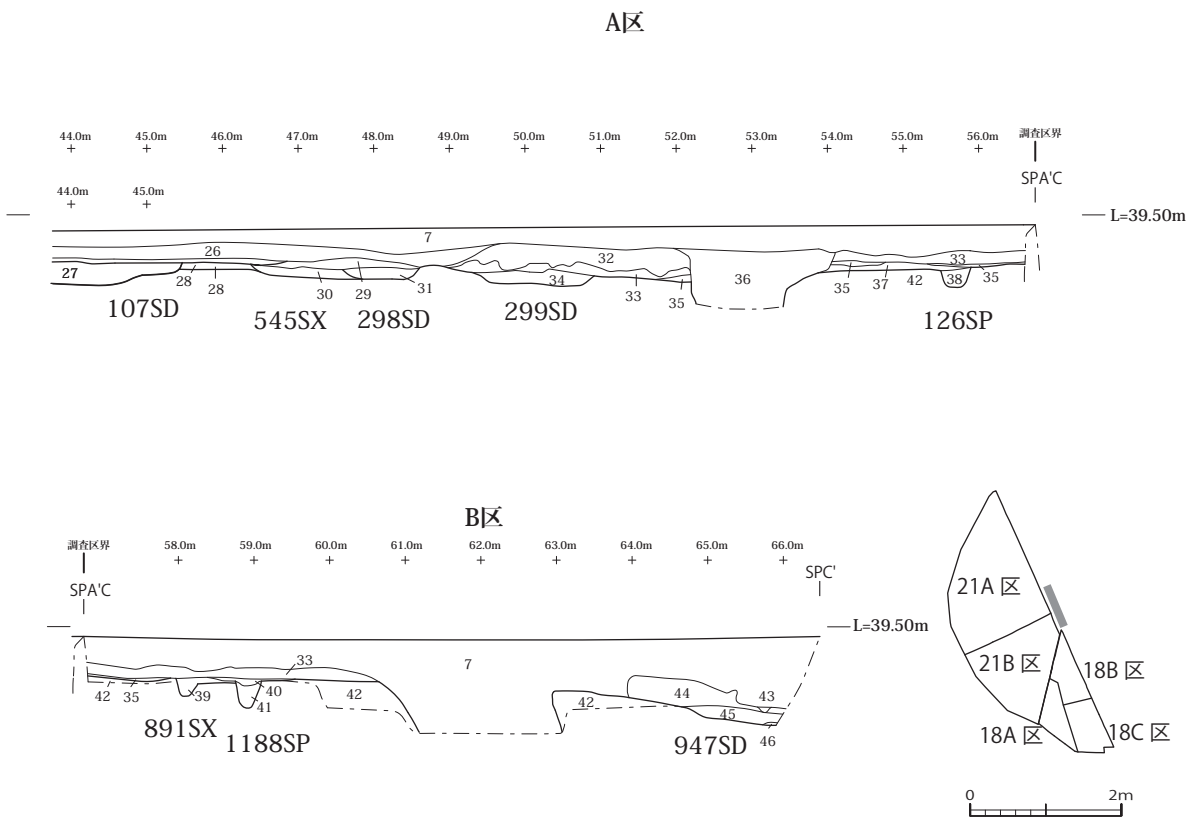
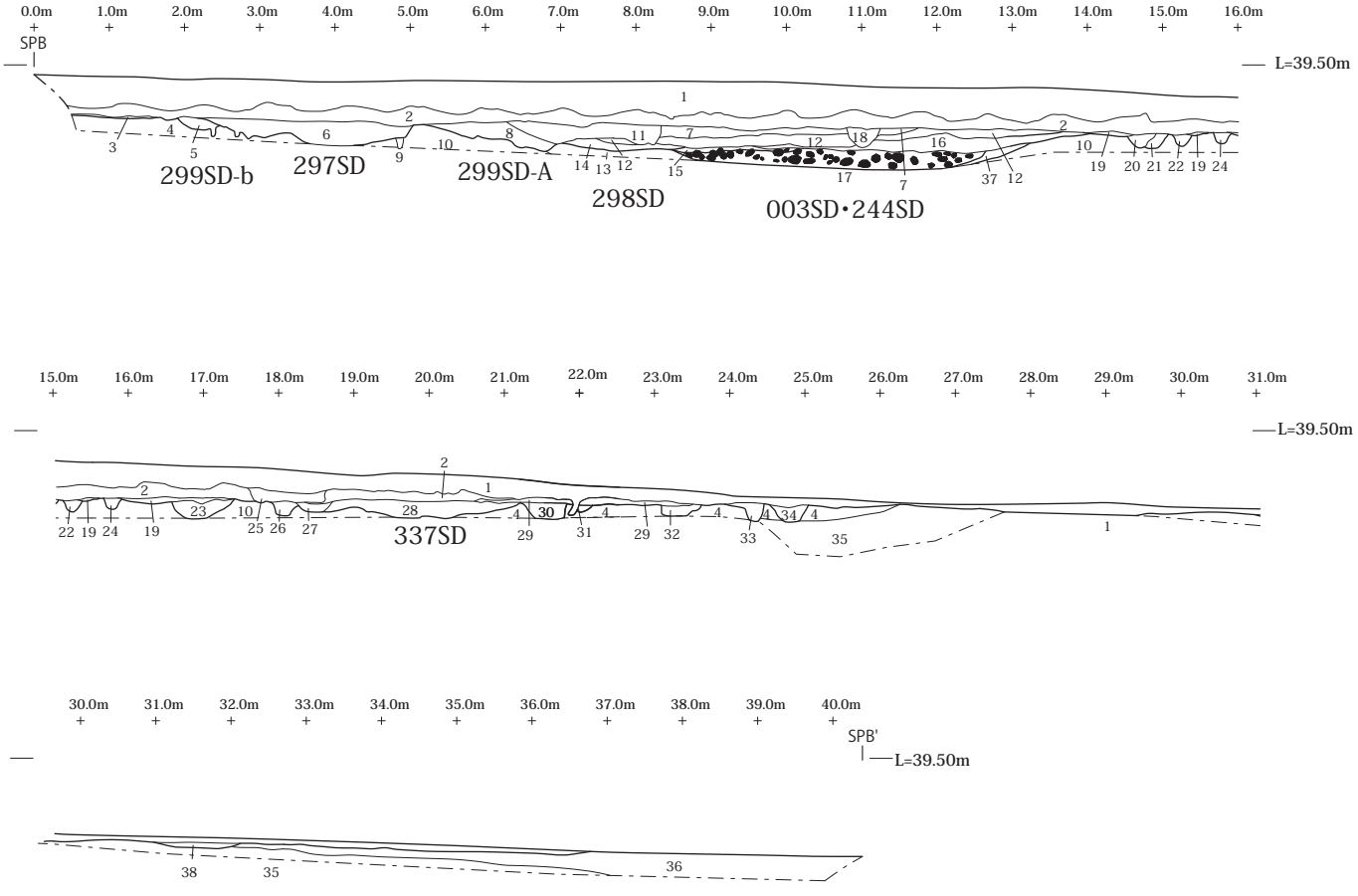


図3　東壁断面図 -1　1:100



1,　上位5Y5/1灰色砂礫土径2～5cm礫多く含む 下位2.5YR6/1黄灰色砂質土 細粒砂 径2～10cm円礫多く含む
　2.5Y7/2灰黄色及び10YR5/6黄褐色シルトブロック含む 整地層
2,　10YR5/3にぶい黄褐色シルト 粘性弱い 炭化物微量含む 整地層
3,　10YR3/4暗褐色シルト 粘性ややあり 地山ブロック微量含む
4,　2.5Y5/2暗灰黄色シルト 粘性弱い（013SP）
5,　2.5Y4/2暗灰黄色粘性シルト（025SD）
6,　10YR4/5灰黄褐色粘性シルト（040SX）
7,　2.5Y4/2暗灰黄色シルト 地山ブロック多く含む　径3～5㎜礫含む 整地層
8,　10YR4/3にぶい黄褐色砂質土 極細粒砂 粘性弱い
9,　7.5YR3/2黒褐色粘性シルト 地山ブロック多く含む（048SP）
10,　2.5Y5/2暗灰黄色シルト 粘性弱い（057SK）
11,　7.5YR4/2灰褐色粘性シルト（076SD）
12,　10YR4/2灰黄褐色粘性シルト 地山土微量含む（059SD）
13,　10YR4/2灰黄褐色粘性シルト（085SD）
14,　7.5YR4/2灰褐色粘性シルト 焼土微量含む 炭化物微量含む 径2～3㎜マンガン結核含む（003SD-c層）
15,　10YR3/3暗褐色粘性シルト 焼土微量含む 炭化物微量含む 地山ブロック微量含む（003SD-c層）
16,　10YR3/3暗褐色粘性シルト 15より暗い 炭化物含む 地山ブロック微量含む 径2～3㎜マンガン結核含む（003SD-c層）
17,　10YR4/3にぶい黄褐色粘性シルト 炭化物微量含む 地山ブロック微量含む マンガンの集積斑状に混じる（095SX）
18,　10YR3/4暗褐色粘性シルト 炭化物微量含む 地山ブロック含む 径2～3㎜マンガン結核含む（003SD-c層）
19,　10YR3/4暗褐色粘性シルト 18より明るい 地山ブロック多く含む マンガンの集積斑状に混じる（003SD-c層）
20,　10YR5/2灰黄褐色シルト しまり弱い 炭化物微量含む
21,　10YR4/2灰黄褐色粘性シルト 焼土微量含む 炭化物微量含む 地山ブロック微量含む マンガンの集積斑状に混じる（003SD-c層）
22,　10YR5/3にぶい黄褐色粘性シルト 焼土微量含む 地山ブロック含む（173SD）
23,　7.5YR4/1褐灰色粘性シルト（SP）
24,　7.5YR3/2黒褐色粘性シルト 地山ブロック含む（SP）
25,　10YR4/4褐色シルト
26,　7.5YR5/1褐灰色シルト　粘性弱い　径2～5㎜礫含む
27,　7.5YR3/2黒褐色粘性シルト　焼土微量含む 地山ブロック微量含む
　径5～10cm円礫含む　遺物多く含む（107SD）
28,　10YR3/4暗褐色粘性シルト　炭化物微量含む
29,　10YR4/2灰黄褐色粘性シルト
30,　10YR4/2灰黄褐色粘性シルト 29より暗い 地山ブロック微量含む（545SX）
31,　10YR3/3暗褐色粘性シルト 焼土微量含む 炭化物微量含む 地山ブロック微量含む（298SD）
32,　2.5Y5/3黄褐色砂礫土 中粒砂 径3～5㎜程度礫多く含む 盛土
33,　10YR4/1褐灰色シルト 粘性弱い
34,　10YR4/3にぶい黄褐色粘性シルト（299SD）
35,　10YR4/2灰黄褐色粘性シルト
36,　2.5Y5/2暗灰黄色砂礫土 中粒砂 カクラン
37,　7.5YR5/4にぶい褐色粘性シルト マンガンの集積斑状に混じる
38,　7.5YR3/2黒褐色粘性シルト（126SP）
39,　10YR4/2灰黄褐色粘性シルト 地山ブロック含む（891SX）
40,　7.5YR4/4褐色粘性シルト マンガンの集積斑状に混じる
41,　7.5YR4/2灰褐色粘性シルト（1188SP）
42,　10YR5/6黄褐色粘性シルト 一部にマンガンの集積あり 10YR5/1褐灰色粘性シルト混じる 地山層
43,　7.5YR4/3褐色粘性シルト
44,　7.5YR4/2灰褐色粘性シルト 焼土微量含む 炭化物含む 遺物含む（947SD）
45,　7.5YR4/4褐色粘性シルト 焼土微量含む 炭化物微量含む　径2～3㎜マンガン結核含む 径3cm程度礫含む（947SD）
46,　10YR5/4にぶい黄褐色粘土 粘性強い 酸化鉄斑混じる（947SD）

図4　東壁断面図-2　1:100



1, 5Y5/1灰色砂礫土 径2～5㎝礫多く含む 下位2.5YR6/1黄灰色砂質土 細粒砂 径2～10㎝円礫多く含む
2.5Y7/2灰黄色及び10YR5/6黄褐色シルトブロック含む 整地層 東壁7層対応
2, 10YR5/2灰黄褐色シルト しまり弱い 炭化物微量含む 整地層
3, 10YR4/2灰黄褐色粘性シルト 地山土多く含む 東壁35層対応
4, 10YR5/6黄褐色粘性シルト 径2～3㎜礫微量含む 一部にマンガンの集積あり
10YR5/1褐灰色粘性シルト混じる 地山層 東壁42層対応
5, 10YR4/3にぶい黄褐色粘性シルト 地山ブロック含む 炭化物微量含む (299SD-B)
6, 10YR3/3暗褐色粘性シルト 焼土微量含む 炭化物微量含む 遺物含む 径3～15㎝円礫含む マンガン粒混じる(297SD)
7, 2.5Y4/3オリーブ褐色粘性シルト 地山土微量混じる 炭化物微量含む (003SD-b層,298SD)
8, 10YR3/3暗褐色粘性シルト 炭化物微量含む 一部に径5～15㎝礫含む マンガン粒混じる (299SD-A)
9, 10YR5/1褐灰色粘性シルト
10, 10YR6/6明黄褐色粘性シルト 径1～2㎜礫含む マンガン粒混じる 10YR5/1褐灰色粘性シルト混じる 地山層
11, 2.5Y4/1黄灰色砂質土 極細粒砂 しまりあり 2.5Y5/2暗黄灰色砂質土混じる 径2～3㎝礫含む
12, 2.5Y5/2暗灰黄色粘性シルト 炭化物微量含む (003SD-b層,298SD)
13, 2.5Y3/3暗オリーブ褐色粘性シルト 径1～2㎜マンガン結核含む 地山層
14, 2.5Y4/2暗灰黄色粘性シルト (003SD-b層,298SD)
15, 2.5Y4/4オリーブ褐色粘性シルト (003SD-c層,244SD)
16, 2.5Y4/4オリーブ褐色粘性シルト＋10YR5/3にぶい黄褐色粘性シルトの混合土 マンガン粒混じる (003SD-d層,244SD)
17, 10YR5/3にぶい黄褐色粘性シルト 径8～15㎝円礫大量に含む 1～2㎜マンガン結核微量含む マンガン粒混じる (244SD)
18, 2.5Y4/1黄灰色粘性シルト 地山ブロック含む
19, 2.5Y5/2暗灰黄色粘性シルト 地山土微量混じる
20, 10YR5/2灰黄褐色粘性シルト 5Y5/2灰オリーブ色砂質土混じる
21, 2.5Y4/1黄灰色粘性シルト 径1～2㎜マンガン結核含む 遺物含む
22, 2.5Y4/1黄灰色粘性シルト
23, 10YR4/2灰黄褐色粘性シルト 径1～2㎜礫微量含む 径1～2㎜マンガン結核含む
24, 2.5Y4/1黄灰色粘性シルト 地山ブロック微量含む
25, 5Y5/2灰オリーブ色砂質土 細粒砂 しまりあり 地山ブロック含む 2.5Y7/2灰黄色シルトブロック含む
26, 10YR4/2灰黄褐色粘性シルト 地山ブロック含む 径1～2㎜礫含む
27, 2.5Y4/1黄灰色砂質土 極細粒砂 しまりあり
28, 2.5Y4/4オリーブ褐色粘性シルト 径2～3㎜礫含む 径5～10㎝円礫含む 地山ブロック微量含む 炭化物微量含む
29, 10YR4/1褐灰色粘性シルト 径2～3㎜礫含む 地山土微量混じる
30, 10YR4/2灰黄褐色粘性シルト 径2～3㎜礫含む 径2～5㎝円礫含む
31, 10YR4/2灰黄褐色粘性シルト 径2～3㎜礫含む 地山ブロック含む
32, 10YR4/2灰黄褐色粘性シルト 径1～3㎜礫含む 炭化物微量含む
33, 10YR4/3にぶい黄褐色粘性シルト 径1～3㎜礫含む
34, 10YR4/2灰黄褐色粘性シルト 径2～20㎜礫含む
35, 10YR4/6褐色砂質土 中粒砂 径5～20㎝円礫多く含む 地山層
36, 10YR4/1褐灰色砂質土 細粒砂 径10～20㎝円礫含む
37, 2.5Y3/3暗オリーブ褐色粘性シルト 径1～2㎜マンガン結核含む (003SD-a層)
38, 7.5YR3/2黒褐色粘性シルト (530SD)

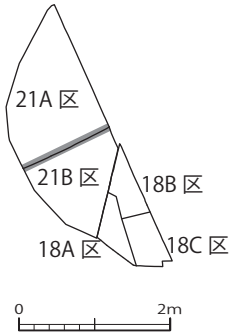
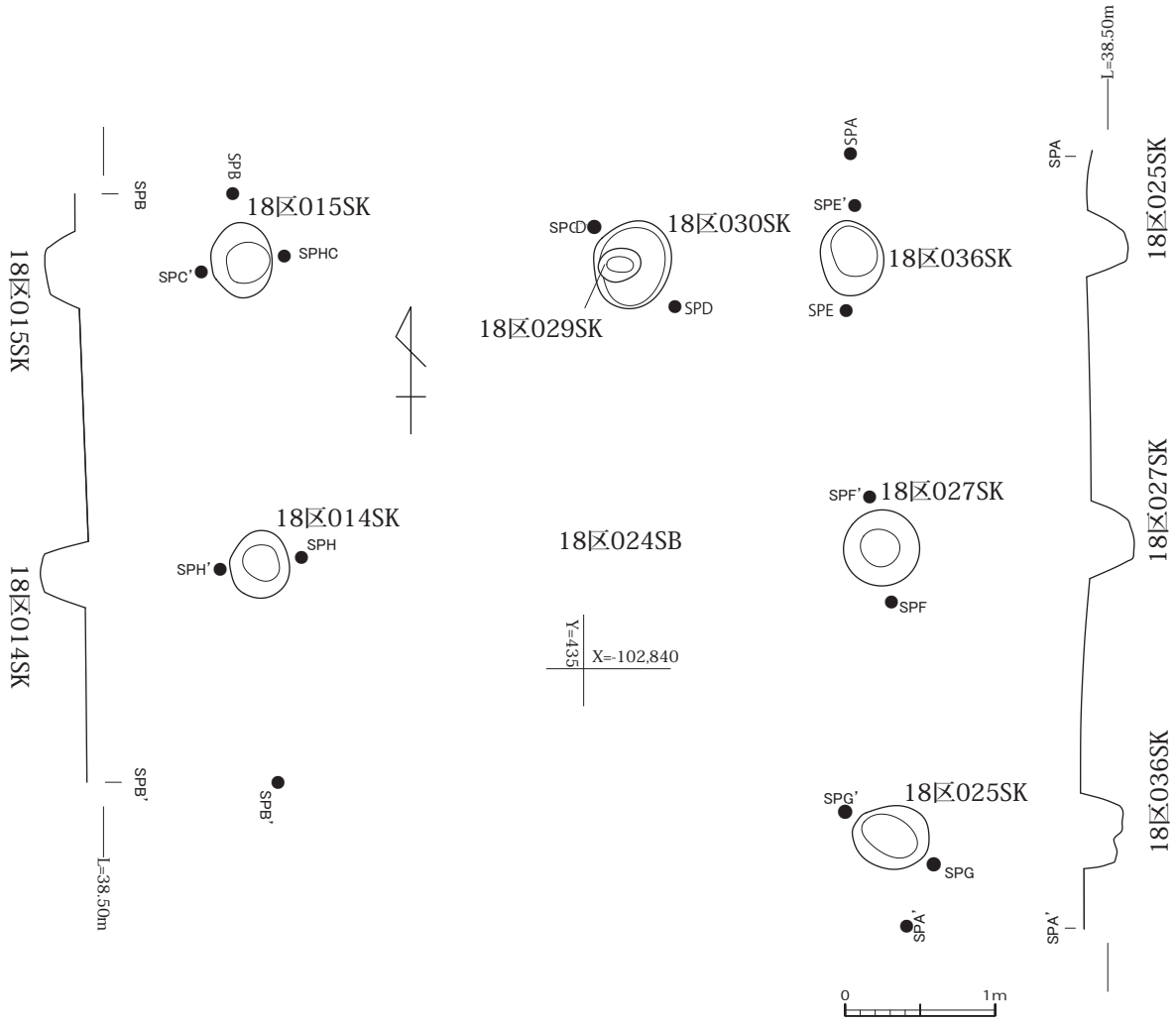
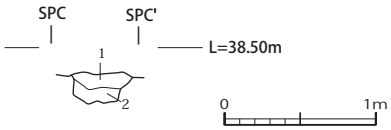


図5　21A 区南壁断面図　1:100

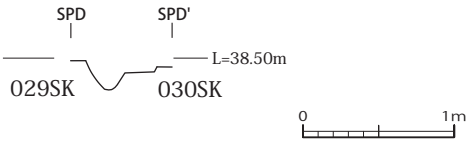


18区015SK

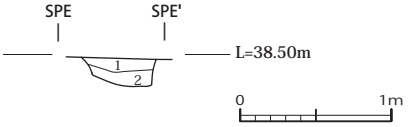


1. 10YR3/4 暗褐色 中粒砂 粘性やや強い 風化花崗岩粒状に多く混じる
2. 10YR3/3 暗褐色 中粒砂 粘性やや強い 風化花崗岩粒状に多く混じる

18区030SK

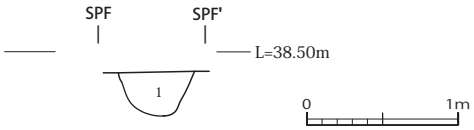


18区036SK



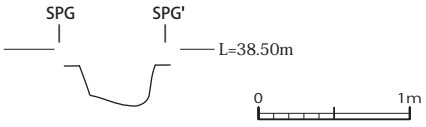
1. 10YR4/3にぶい黄褐色 中粒砂 粘性やや強い 風化花崗岩粒状に混じる
2. 10YR3/4暗褐色 中粒砂 粘性やや強い 風化花崗岩粒状に混じる

18区027SK

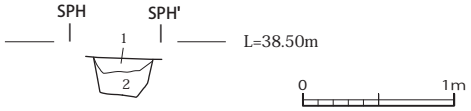


1. 10YR4/3 にぶい黄褐色 中粒砂 粘性やや強い 風化花崗岩粒状に混じる

18区025SK

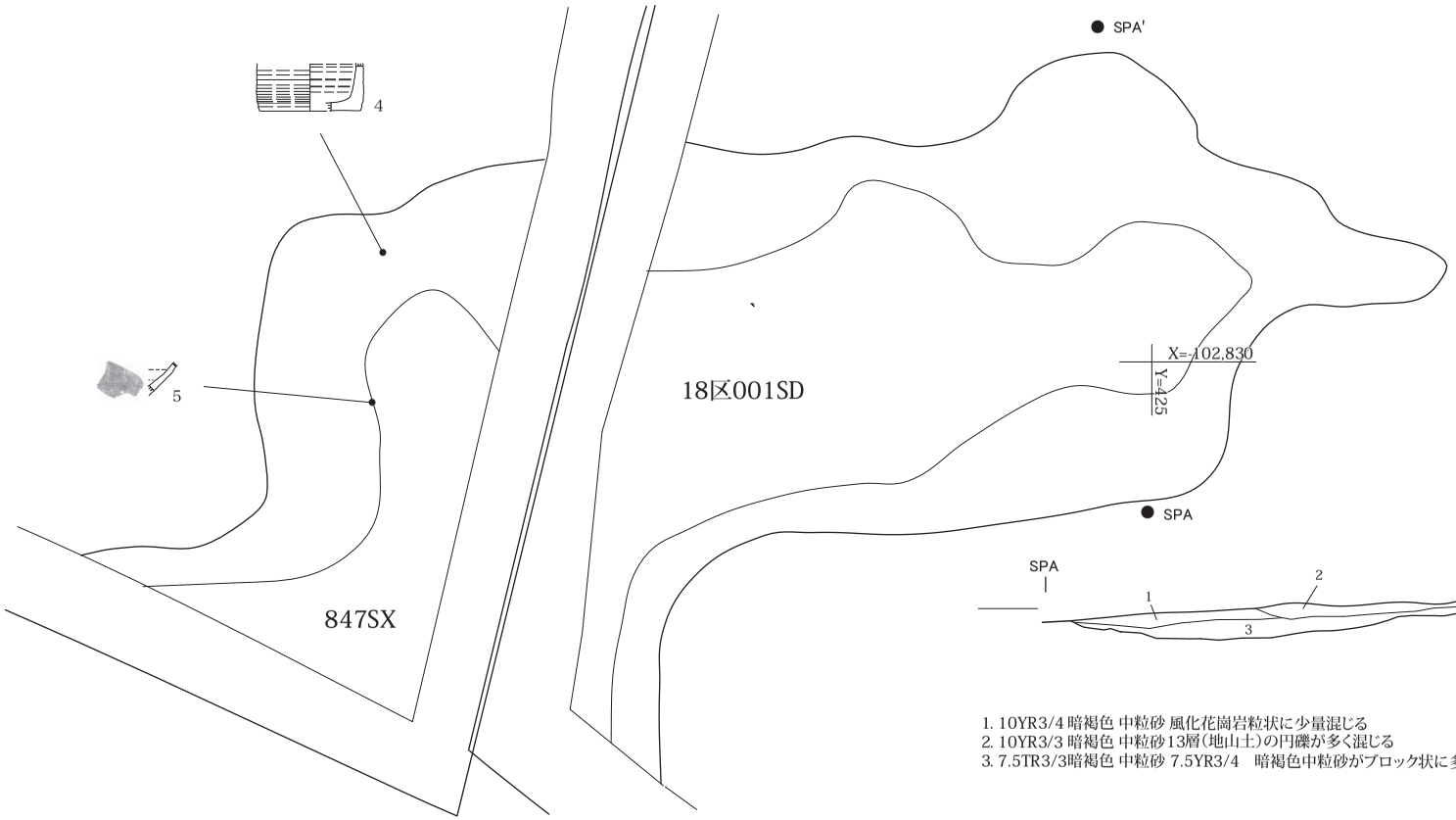


18区014SK



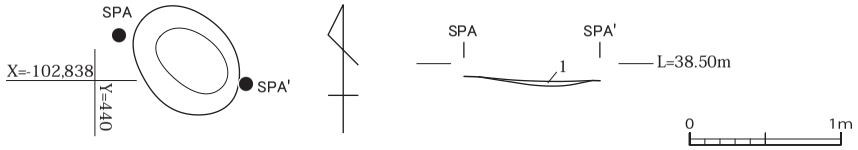
1. 10YR3/4 暗褐色 中粒砂 粘性やや強い 風化花崗岩粒状に多く混じる
2. 10YR3/3 暗褐色 中粒砂 粘性やや強い 風化花崗岩粒状に多く混じる

図6　18 区 024SB　1:50



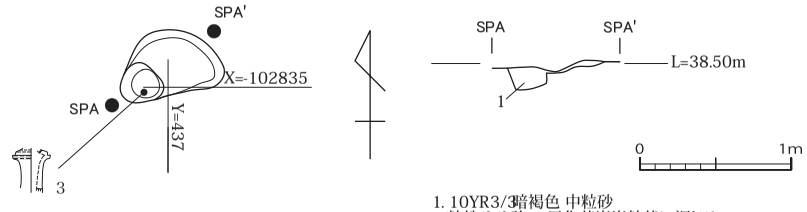
1. 10YR3/4 暗褐色 中粒砂 風化花崗岩粒状に少量混じる
2. 10YR3/3 暗褐色 中粒砂13層(地山土)の円礫が多く混じる
3. 7.5TR3/3暗褐色 中粒砂 7.5YR3/4　暗褐色中粒砂がブロック状に多く混じる

18区042SK



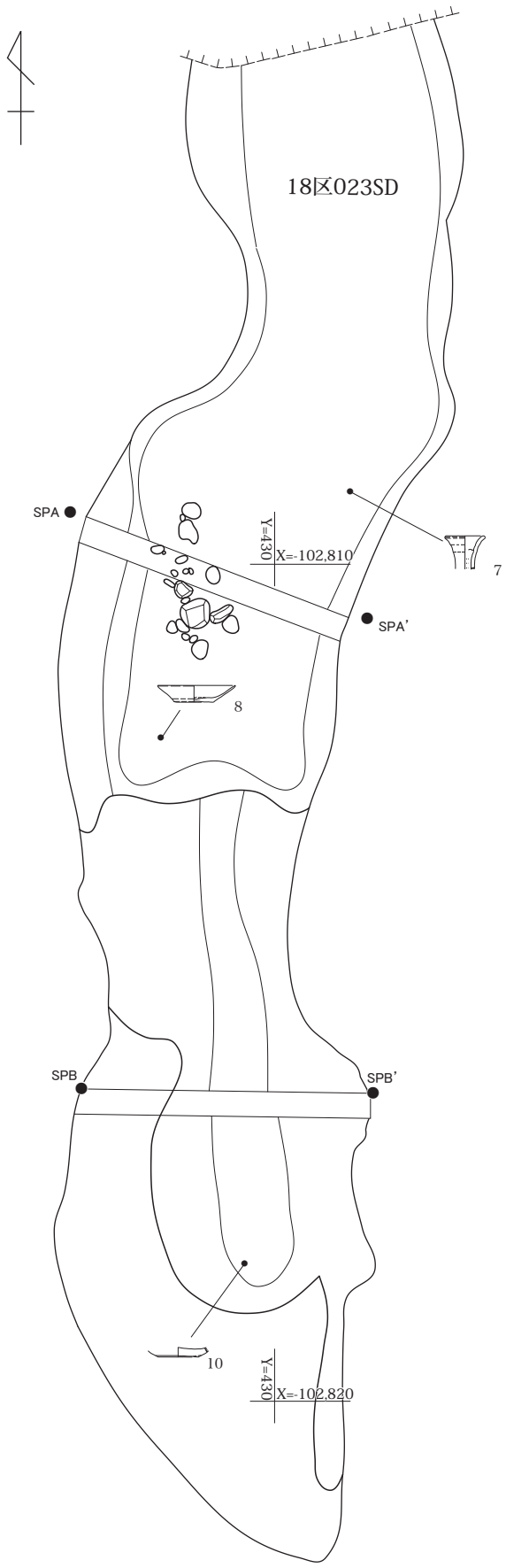
1. 10YR4/6 褐色 中粒砂
粘性やや強い 焼土、炭化物が多く混じる

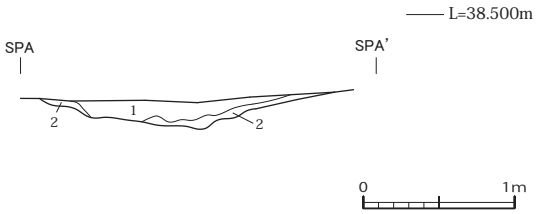
18区055SK



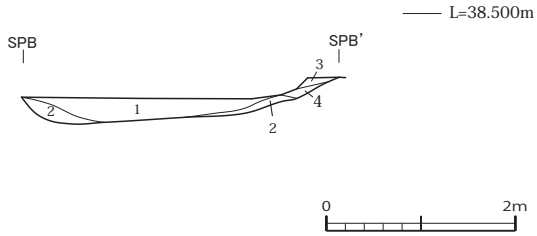
1. 10YR3/3暗褐色 中粒砂
粘性やや強い 風化花崗岩粒状に混じる

図7　18区001SD・18区042SK・18区055SK　1:50





1. 10YR3/3 暗褐色 中粒砂 粘性やや強い 風化花崗岩粒状に多く混じる
2. 10YR5/4 にぶい黄褐色 中粒砂 粘性やや強い しまり弱い 一部は強く還元化



1. 10YR3/3 暗褐色 中粒砂 粘性やや強い 風化花崗岩粒状に多く混じる
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色 中粒砂 粘性やや強い 地山(10YR5/6)がブロック状に混じる
3. 10YR4/2 灰黄褐色 中粒砂 径3cm以下の円礫､角礫少量混じる
4. 10YR3/4 暗褐色 中粒砂 粘性やや強い しまり弱い

図8　18区023SD　1:50　1:80

18区023SD （図8、図版19）

18Ｃ区東部で確認できた。18.0ｍを検出するが、北側は撹乱により消失する。幅は2.2ｍ、深さは0.3ｍとなる。やや蛇行する溝で、主軸は概ねＮ－３°－Ｗをはかる。中央部に10～20㎝大の礫が点在する。出土遺物は（図53-6～10）を図示した。

３　21区の遺構

竪穴建物・竪穴状遺構

370SI（図９、図版22・31）

Ａ区西側で確認できた。西側が撹乱により消失する竪穴建物で、東端部から1.3ｍまで残存する。一辺は3.7ｍ、深さは2.0ｍで、主柱穴は605SP・674SPとなるのか。東壁には幅が0.1ｍ、深さは0.1ｍとなる周溝も検出されている。605SPは直径0.3ｍ、深さ0.1ｍの円形、674SPは長径0.2ｍ、短径0.1ｍ、深さ0.1ｍの楕円形となる。なお、近接する368SKは、一辺0.6ｍ、深さが0.2ｍ程度のやや不整形な土坑で、370SIと関連する可能性が高い。なお、368SKが370SIの南西隅の床面上の土坑ならば、東西は3.5ｍ以上の規模となる。出土遺物は、埋土から出土した（図53-11）と368SKから出土した（図53-12）を図示した。

411SI（図９、図版22）

Ａ区西側で確認できた。不鮮明だが竪穴状遺構として報告する。東側の多くが撹乱により消失する。139SD、544SDに切られる。平面形は西壁で0.6ｍ、深さは0.1ｍをはかる。東西方向は東端が撹乱により消失するが、3.2ｍ程度までは計測できる。743SD・742SDが周溝、736SP・739SPが主柱穴となるのか。736SPは直径0.4、深さは0.2ｍで、平面形はやや歪む円形となる。739SPは、直径0.2ｍ、深さは0.2ｍ。平面形は円形を呈し、基底部には根石を据える。また、742SDは南西隅で検出され、南北方向は1.5ｍ、東西方向は0.6ｍまで計測できる。幅は0.4ｍで、深さ0.1ｍとなる。743SDは北西隅に位置し、全長1.5ｍ程度、幅0.3ｍ、深さは0.1ｍとなる。出土遺物は（図53-13～17）を図示した。

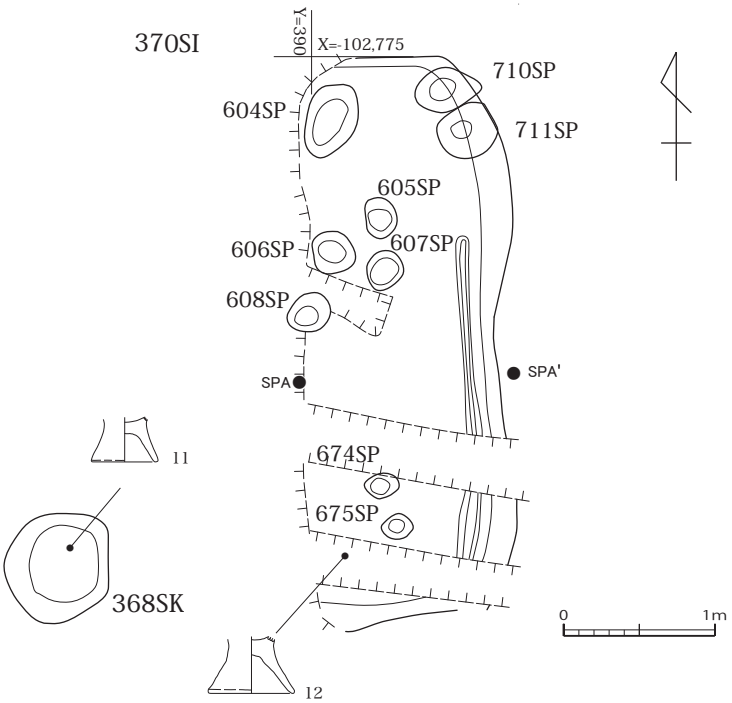
掘立柱建物

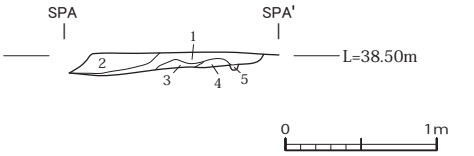
480SB（図10・11、図版23）

Ａ区南側で確認できた。800SBの西側に位置する。474SK・475SK・476SK・490SK・491SK・766SK・492SK・479SK・478SK・477SK・489SK・498SKで構成される。主要遺構との重複関係は確認できない。平面形は２間×４間で、長辺10.5ｍ、短辺は5.0ｍとなる。528SPはやや小型だが、間仕切りなどを想定しておく。479SP・508SPは根石を確認している。主軸はＮ-98°-Ｅをはかる。出土遺物は柱穴から中世土器の小片を得た。

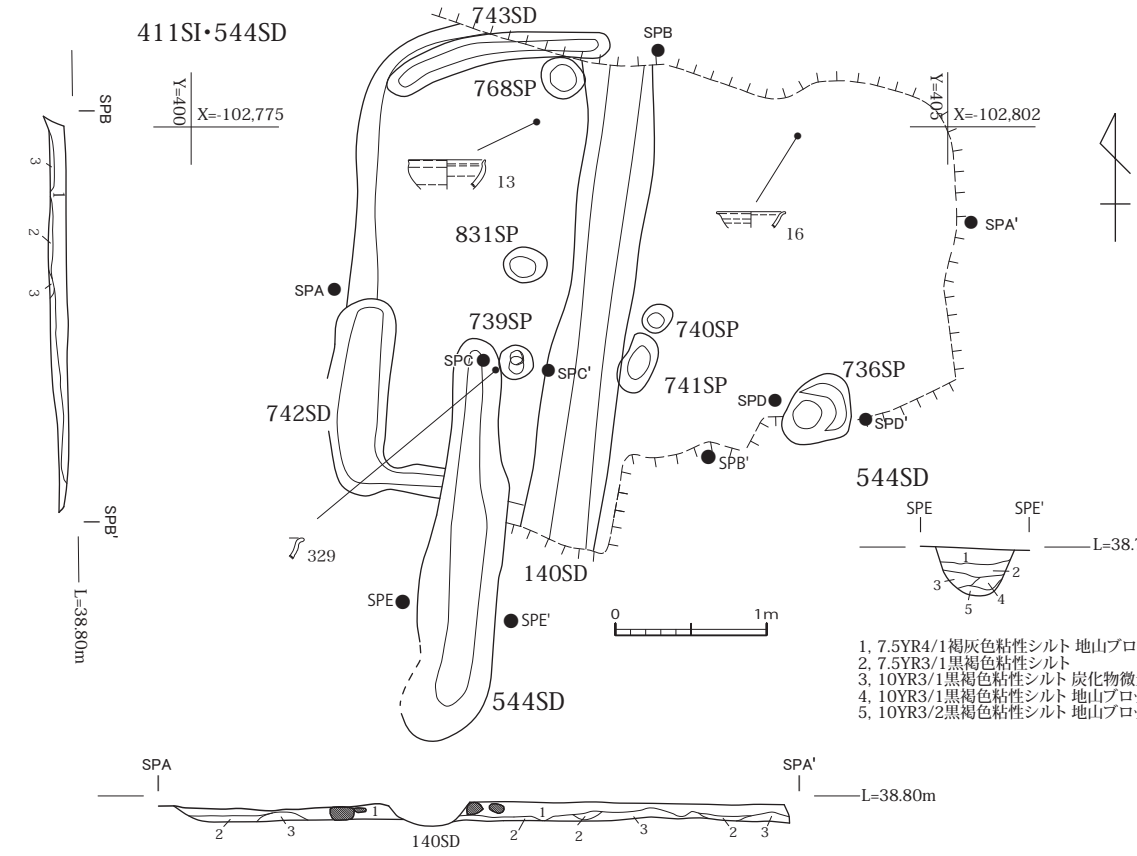
600SB（図12・13、図版24）

Ａ区南側で確認できた。800SBの北側に位置する。829SK・840SK・820SK・836SK・837SK・838SK・790SK・839SK・824SK・828SKで構成される。820SKが806SP・799SP、836SKが821SK・770SD、824SKが770SD・821SKに、790SK・838SKが244SPに切られる。819SEとも重複するが、柱穴は切り合わない。平面形は１間×４間で、長辺9.5ｍ、短辺は5.5ｍとなる。主軸はＮ-４°-Ｗをはかる。なお、820SKには柱根（図63-419）が残存していた。試料を採取して放射性年代測定を実施しており、詳細は第Ⅳ章に記した。出土遺物は柱根の他に、柱穴から中世土器の小片を得た。





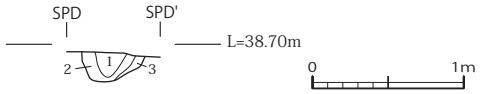
1, 7.5YR3/3暗褐色粘性シルト 地山ブロック微量含む
2, 7.5YR3/2黒褐色粘性シルト 地山ブロック含む　径1～2㎜礫含む
3, 7.5YR3/3暗褐色粘性シルト 地山ブロック多く含む
4, 10YR5/6黄褐色粘性シルト 地山再堆積土
5, 7.5YR3/2黒褐色粘性シルト 地山土微量混じる



1, 7.5YR4/1褐灰色粘性シルト 地山ブロック含む 炭化物微量含む
2, 7.5YR3/1黒褐色粘性シルト
3, 10YR3/1黒褐色粘性シルト 炭化物微量含む
4, 10YR3/1黒褐色粘性シルト 地山ブロック含む
5, 10YR3/2黒褐色粘性シルト 地山ブロック多く含む

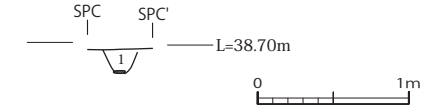
1, 7.5YR4/2灰褐色粘性シルト　炭化物微量含む　マンガンの集積斑状に混じる　径2～3㎜礫含む
2, 7.5YR4/1褐灰色粘性シルト　炭化物微量含む
3, 7.5YR3/3暗褐色粘性シルト　地山ブロック多く含む

736SP



1,7.5YR4/2灰褐色粘性シルト 炭化物含む マンガン粒混じる 柱痕
2,7.5YR4/2灰褐色粘性シルト 1層より暗い 遺物､炭化物含む
　地山ブロック微量含む 径2～3㎜礫含む
3,7.5YR4/3暗褐色粘性シルト 地山ブロック含む径1～2㎜礫含む

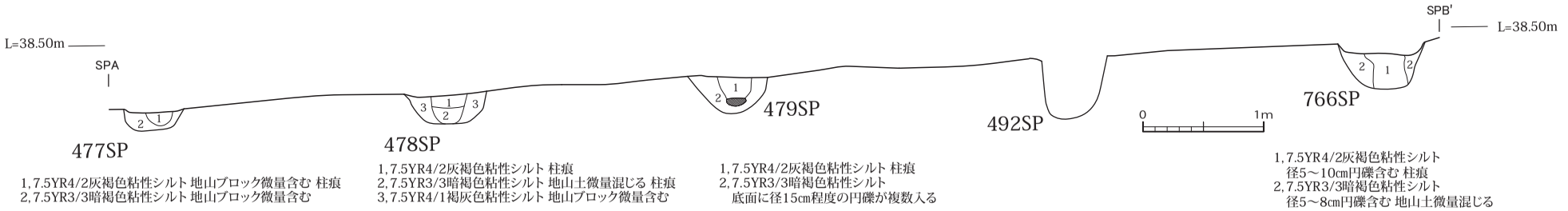
739SP



1,7.5YR4/2灰褐色粘性シルト 炭化物微量含む 地山土混じる

図9　370SI・411SI　1:50

図10　480SB-1　1:50



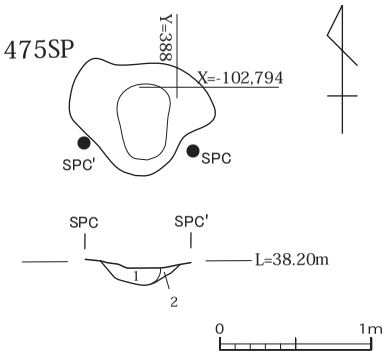
1, 7.5YR4/2灰褐色粘性シルト 地山ブロック微量含む 柱痕
2, 7.5YR3/3暗褐色粘性シルト 地山ブロック微量含む

1, 7.5YR4/2灰褐色粘性シルト 柱痕
2, 7.5YR3/3暗褐色粘性シルト 地山土微量混じる 柱痕
3, 7.5YR4/1褐灰色粘性シルト 地山ブロック微量含む

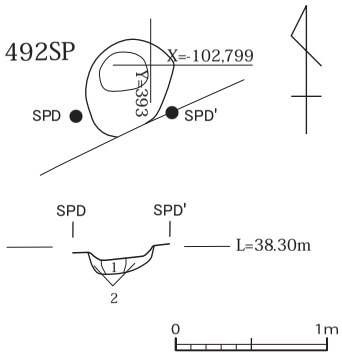
1, 7.5YR4/2灰褐色粘性シルト 柱痕
2, 7.5YR3/3暗褐色粘性シルト
底面に径15㎝程度の円礫が複数入る

1, 7.5YR4/2灰褐色粘性シルト
径5～10㎝円礫含む 柱痕
2, 7.5YR3/3暗褐色粘性シルト
径5～8㎝円礫含む 地山土微量混じる

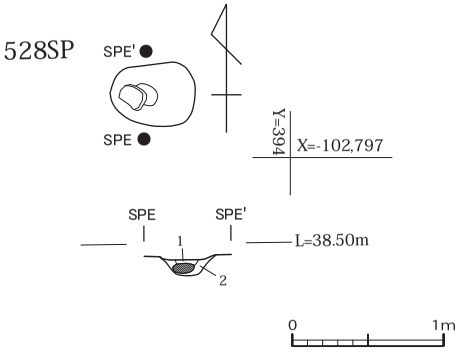
図11 480SB-2 1:50



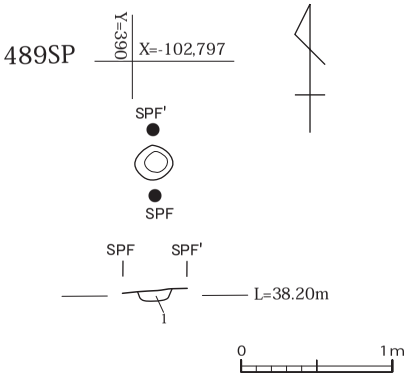
1, 7.5YR4/2灰褐色粘性シルト 柱痕
2, 7.5YR3/3暗褐色粘性シルト 地山土混じる



1, 7.5YR4/2灰褐色粘性シルト 柱痕
2, 7.5YR3/3暗褐色粘性シルト 焼土微量含む 炭化物微量含む



1, 7.5YR4/2灰褐色粘性シルト 柱痕
2, 7.5YR3/3暗褐色粘性シルト 地山土混じる
底面に径20㎝程度の円礫あり



1, 7.5YR4/2灰褐色粘性シルト 地山ブロック微量含む

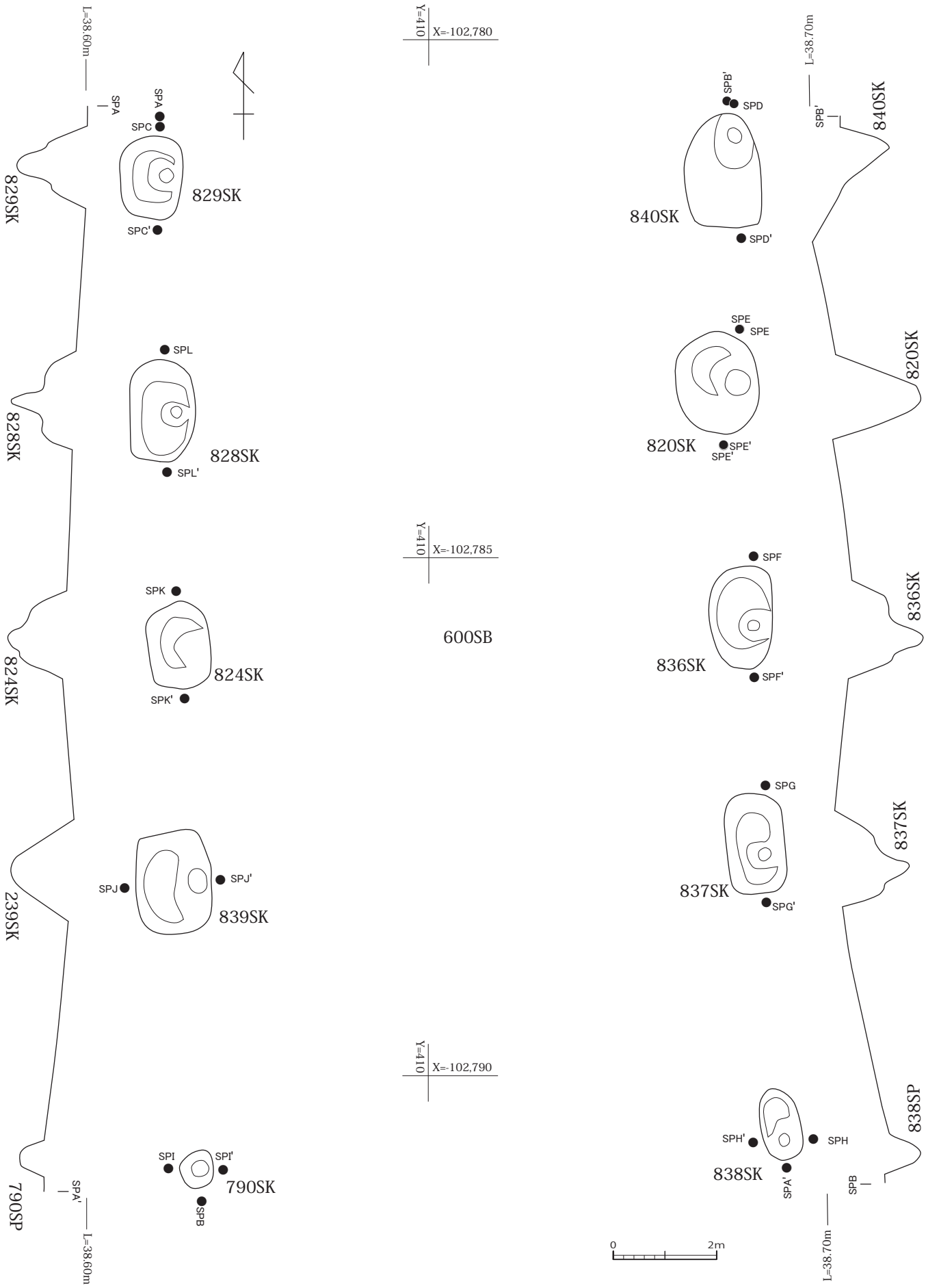
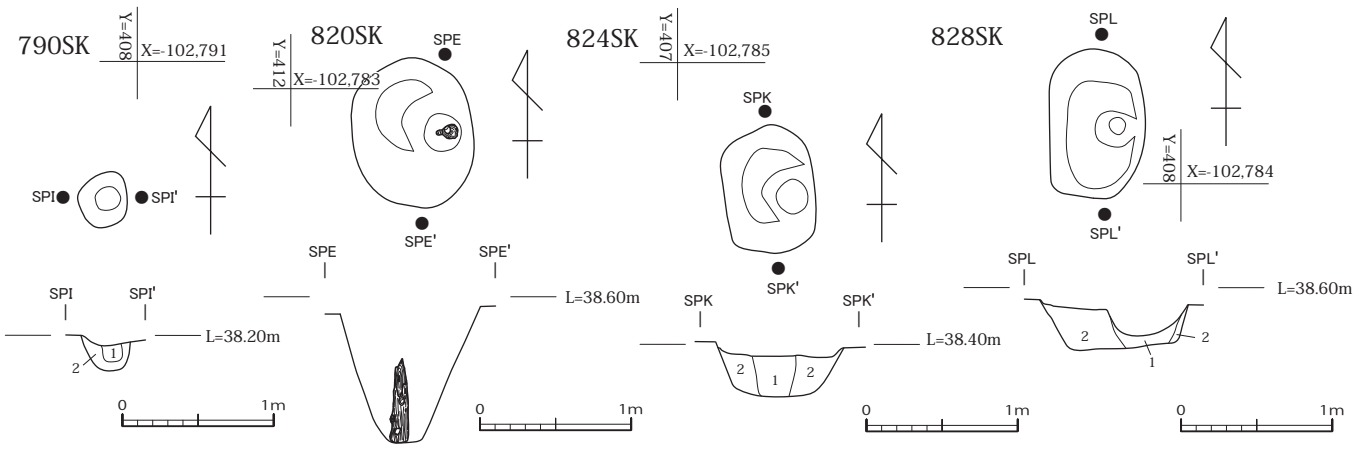


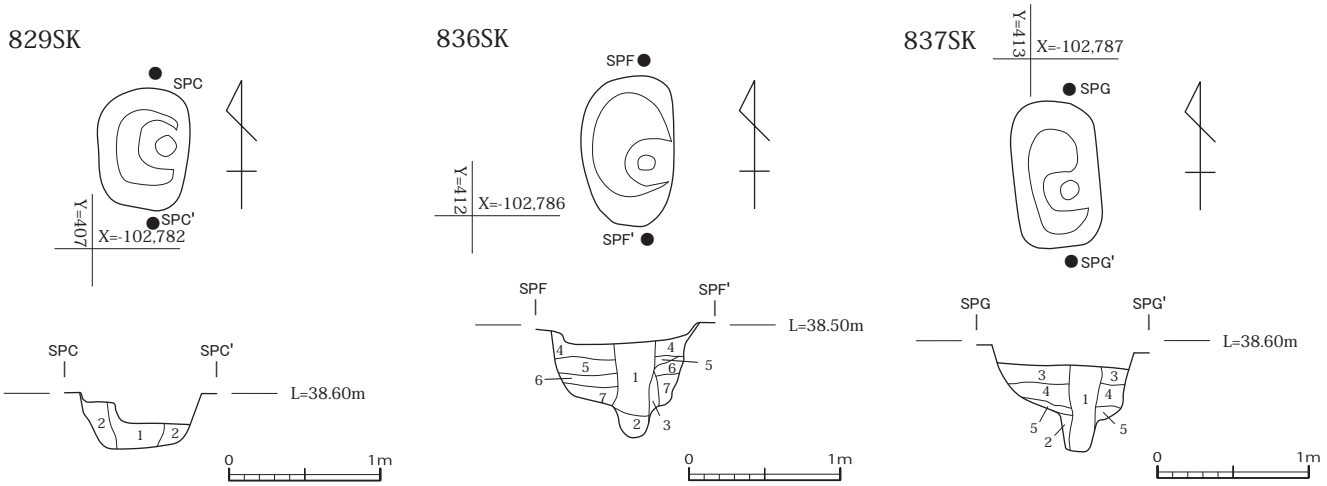
図12　600SB-1　1:50



1,7.5YR4/2灰褐色粘性シルト 炭化物微量含む 柱痕
2,7.5YR5/2灰褐色粘性シルト 地山ブロック含む

1,10YR4/2灰黄褐色粘性シルト マンガン粒混じる
赤褐色(2.5YR5/3)及び橙色(2.5YR6/1)焼土ブロック含む
長さ0.5～2㎝炭化物含む　地山ブロック微量含む
2,10YR5/2灰黄褐色粘性シルト マンガン粒混じる 地山ブロック含む

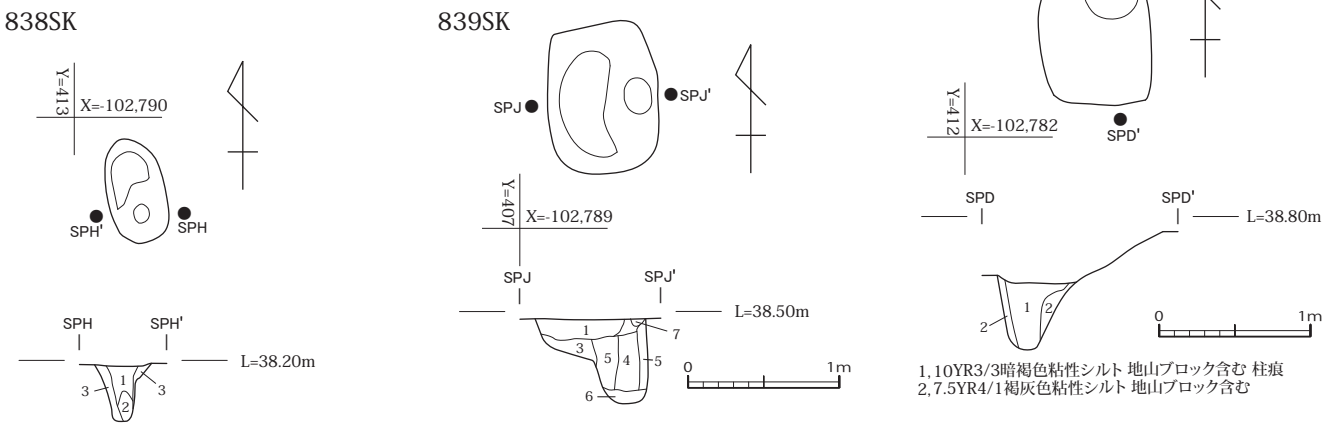
1,10YR3/3暗褐色粘性シルト 柱痕
2,10YR5/2灰黄褐色粘性シルト
マンガン粒混 地山土ブロック多く含む



1,10YR4/2灰黄褐色粘性シルト 径2～3㎜マンガン結核含む
マンガン粒混じる 地山ブロック含む 柱痕
2,10YR5/2灰黄褐色粘性シルト マンガン粒混じる
地山土多く混じる

1,7.5YR4/1褐灰色粘性シルト 焼土・炭化物微量含む
7・6層及び基盤層との境界に酸化鉄の堆積あり 柱痕
2,10YR3/1黒褐色粘土 粘性強い 柱痕
3,7.5YR5/1褐灰色粘性シルト 砂礫含む
4,10YR5/2灰黄褐色粘性シルト 地山ブロック微量含む
5,10YR4/2灰黄褐色粘性シルト 径10㎝程度円礫含む
6,10YR4/2灰黄褐色粘性シルト 5層より暗い
地山ブロック含む
7,10YR4/1褐灰色粘性シルト 地山ブロック多く含む

1,7.5YR4/1褐灰色粘性シルト　炭化物微量含む 柱痕
2,7.5YR5/1褐灰色粘性シルト 地山ブロック多く含む
3,10YR5/2灰黄褐色粘性シルト 地山ブロック含む
4,10YR4/2灰黄褐色粘性シルト 地山ブロック多く含む
5,10YR5/6黄褐色粘性シルト 地山土多く混じる



1,7.5YR4/1褐灰色粘性シルト 炭化物微量含む 柱痕
2,10YR3/1黒褐色粘土 粘性強い 柱痕
3,10YR4/2灰黄褐色粘性シルト　地山ブロック含む

1,10YR5/2灰黄褐色粘性シルト 地山ブロック含む 径2～3㎜マンガン結核含む マンガン粒混じる
2,10YR5/2灰黄褐色粘性シルト 1層より暗い マンガン粒混じる
3,10YR5/3にぶい黄褐色粘性シルト 炭化物微量含む　地山ブロック微量含む マンガン粒混じる
4,10YR4/2灰黄褐色粘性シルト 炭化物微量含む 地山ブロック微量含む 柱痕
5,10YR4/2灰黄褐色粘性シルト 4層より暗い 焼土微量含む 炭化物含む
地山ブロック含む マンガン粒混じる
6,10YR3/3暗褐色粘性シルト
7,10YR4/1褐灰色粘性シルト

1,10YR3/3暗褐色粘性シルト 地山ブロック含む 柱痕
2,7.5YR4/1褐灰色粘性シルト 地山ブロック含む

図13　600SB-2　1:50

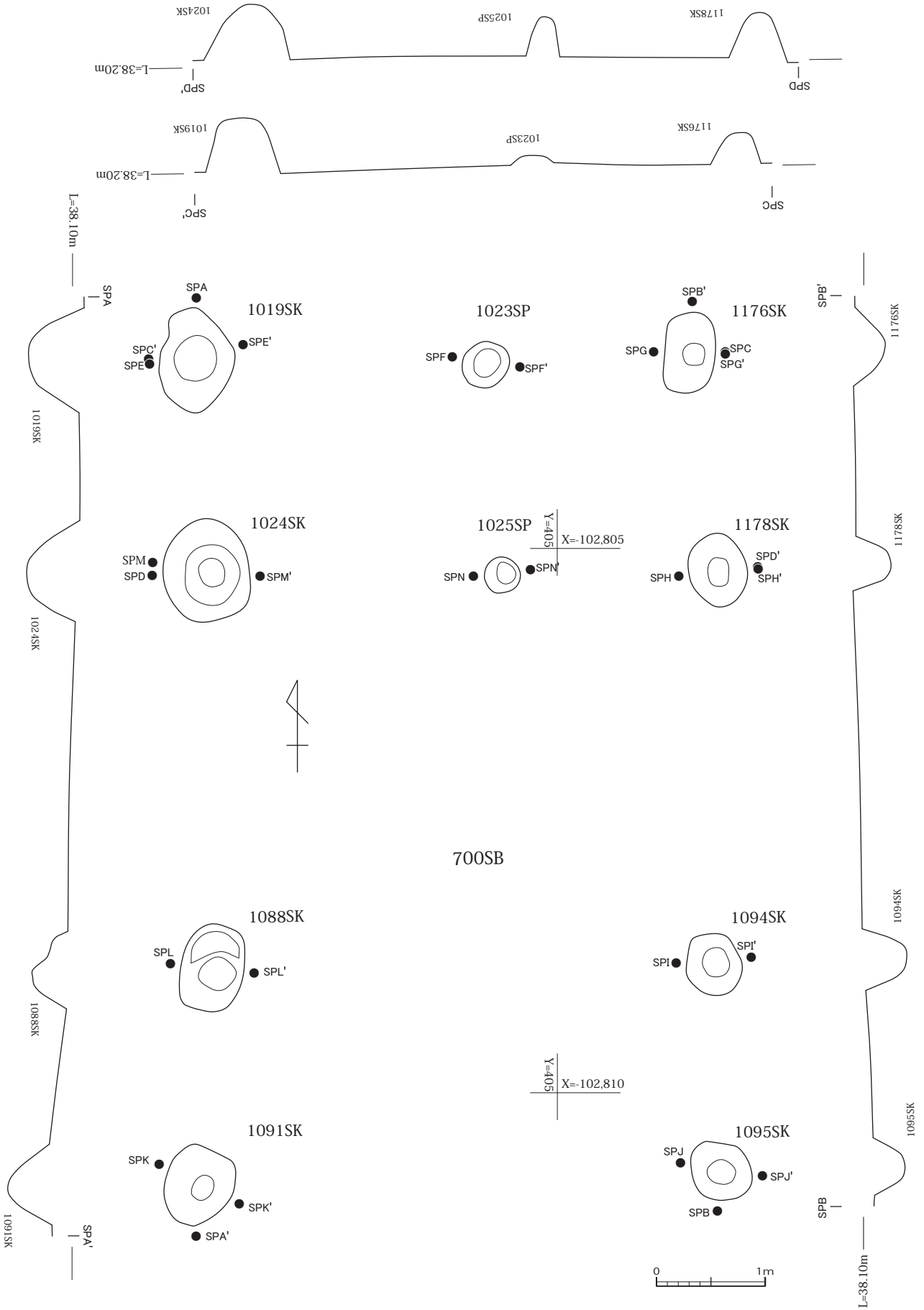
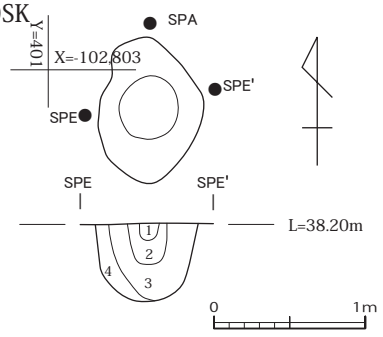


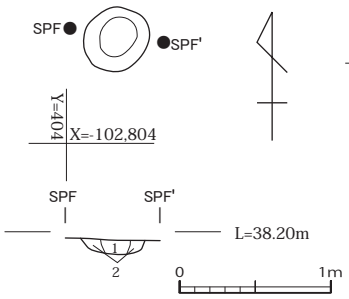
図14　700SB-1　1:50

1019SK



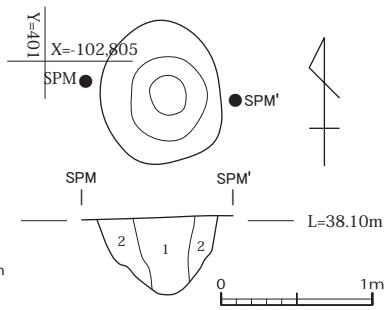
1, 7.5YR5/6明褐色砂質土 細粒砂 径2～3㎜礫含む
径3～5cm円礫含む 地山土の再堆積
2, 7.5YR4/2灰褐色粘性シルト 径3～5cm円礫含む 柱痕
3, 7.5YR3/2黒褐色粘性シルト 地山ブロック微量含む
下位に径5～10cm円礫含む 2との境に径25cm・厚さ6cm程度の円礫あり
4, 7.5YR4/1褐灰色粘性シルト 地山ブロック多く含む

1023SP



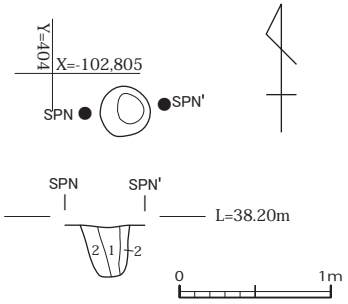
1, 7.5YR3/3暗褐色粘性シルト 柱痕
2, 7.5YR3/2黒褐色粘性シルト 径2～3cm礫含む

1024SK



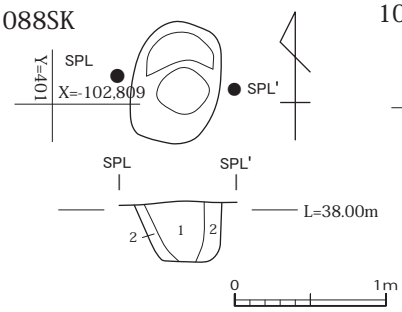
1, 7.5YR4/2灰褐色粘性シルト 径10～20cm円礫含む
下位に径2～5㎜礫多く含む 柱痕
2, 7.5YR3/2黒褐色粘性シルト 径5～25cm円礫含む

1025SP



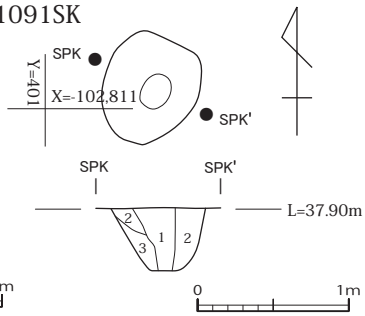
1, 7.5YR3/3暗褐色粘性シルト 地山ブロック微量含む
径2～3cm礫含む 柱痕
2, 7.5YR3/2黒褐色粘性シルト 焼土微量含む 炭化物微量含む

1088SK



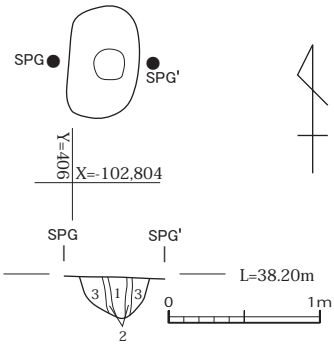
1, 7.5YR3/3暗褐色粘性シルト 炭化物微量含む
上位に径20cm程度円礫含む 柱痕
2, 7.5YR3/2黒褐色粘性シルト 地山ブロック微量含む
径5cm程度円礫含む

1091SK



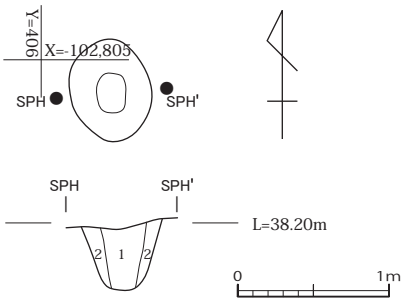
1, 7.5YR3/3暗褐色粘性シルト 焼土微量含む
炭化物微量含む　径2～3cm円礫含む 柱痕
2, 7.5YR3/2黒褐色粘性シルト 径10cm程度円礫含む
3, 7.5YR4/3褐色砂質土 細粒砂 粘性弱い

1176SK



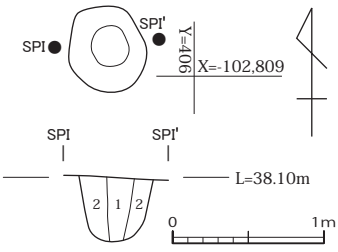
1, 7.5YR4/2灰褐色粘性シルト 上位に径3～5cm円礫含む 柱痕
2, 7.5YR4/1褐灰色粘性シルト 酸化鉄斑混じる
径1～2㎜マンガン結核含む 柱痕
3, 7.5YR3/2黒褐色粘性シルト 地山ブロック微量含む
径3cm程度円礫含む

1178SK



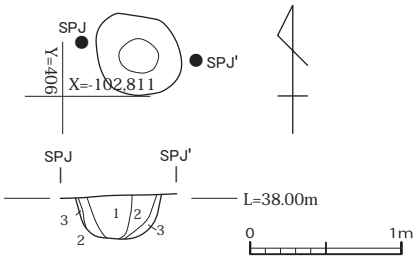
1, 7.5YR4/2灰褐色粘性シルト マンガンの集積斑状に混じる
径10～20cm円礫含む
2, 7.5YR3/2黒褐色粘性シルト 炭化物微量含む
地山ブロック含む 径3～15cm円礫多く含む

1094SK



1, 7.5YR4/2灰褐色粘性シルト マンガンの集積斑状に混じる
下位に径15cm程度円礫含む 柱痕
2, 7.5YR3/2黒褐色粘性シルト 径10～20cm円礫多く含む

1095SK



1, 7.5YR4/2灰褐色粘性シルト 粘性強い 柱痕
2, 7.5YR4/1褐灰色粘性シルト
3, 7.5YR4/1褐灰色粘性シルト 粘性強い
地山ブロック含む 径3～5cm円礫含む

図15　700SB-2　1:50

700SB（図 14・15、図版 25）

Ｂ区西側で確認できた。800SB の北東に位置する。1019SK・1023SK・1176SK・1178SK・1094SK・1095SK・1091SK・1088SK・1024SK・1025SK で構成される。1053SX を切る。平面形は２間×３間で、長辺 7.5 m、短辺は 4.5 mとなる。1025SP はやや小型だが、間仕切りなどを想定しておく。主軸はN-２°-Ｅをはかる。出土遺物は柱穴から中世土器の小片を得た。

800SB（図 16・17、図版 26）

Ｂ区北側で確認できた。600SB の南側に位置する。1008SK・921SK・932SK・935SP・936SK・939SP・944SK・1087SP・1061SK・1054SK・1039SK・1033SK・1014SK・1010SK で構成される。337SD・1040SD と重複するが、柱穴は切り合わない。平面形は 3 間× 4 間で、長辺 7.5 m、短辺は 4.8 mとなる。主軸はＮ-86°-Ｅをはかる。出土遺物は、921SK から出土した（図 53-18）、936SK から出土した（図 53-19）と、1033SP から出土した（図 53-20）を図示した。

1205SB（図 18、図版 27）

Ａ区西側で確認できた。140SD の南側区画の北端に位置する。639SK・284SK・618SK・ 695SK・652SK・673SK・366SK・363SK・664SK で構成される。695SP が 414SK を切る。618SP が 285SD に切られる。692SP を柱穴と考えないのであれば、平面形は２間×２間で、長辺 4.2 m、短辺は 4.0 mとなる。618SP が 285SD、639SK が 350SD に切られる。主軸はN-５°-Ｅをはかる。出土遺物は SK618 から出土した（図 62-386）を図示した。

1207SB（図 19、図版 27）

Ａ区西側で確認できた。140SD の北側区画の東端に位置する。516SK・157SK・158SK・159SK・628SK・517SK で構成される。平面形は 1 間×３間で、長辺 2.1 m、短辺は 1.1 m。やや小型で柱通りも良好とは言えない。西側の柱穴は未確認となる。主軸はN-９°-Ｅをはかる。出土遺物は柱穴から中世土器の小片を得た。

1208SB（図 19、図版 27）

Ａ区東側で確認できた。600SB の北側に位置する。187SP・188SP・169SP・195SP・197SP・744SP・191SP・190SP で構成される。平面形は２間×２間で、長辺 2.6 m、短辺は 2.4 mとなる。主軸はN-８°-Wをはかる。出土遺物は柱穴から中世土器の小片を得た。

柵

580SA（図 20、図版 28）

Ａ区西側で確認できた。140SD の南西屈曲部分に位置する。逆Ｌ字状に屈曲する柵で、南北ラインは 419SP・422SP・388SP・575SP・438SK・553SP、東西ラインが 553SP・576SP・585SP・461SP で構成される。柱穴中心で計測する柱間は、概ね 0.3 mとなるが、東西ラインでは 576SP と 553SP 間で 585SP がこれを二分する。575SP が 437SD を、422SP が 742SD（411SI）を切る。規模は南北が 12.0 mで、東西は 4.5 mとなる。主軸は前者がN-２°-Ｅ。後者はN-90°-Wをはかる。出土遺物は柱穴から中世土器の小片を得た。

1201SA（図 20、図版 28）

Ａ区西側で確認できた。580SA の西側に位置する。459SP・458SP・455SP・449SP・447SP・441SP・552SP・549SP で構成されるが、間隔が一定せず軸線もやや歪む。140SD と重複するが、柱穴とは切り合わない。全長は 10.5 mで、主軸はN-86°-Wをはかる。出土遺物は柱穴から中世土器の小片を得た。

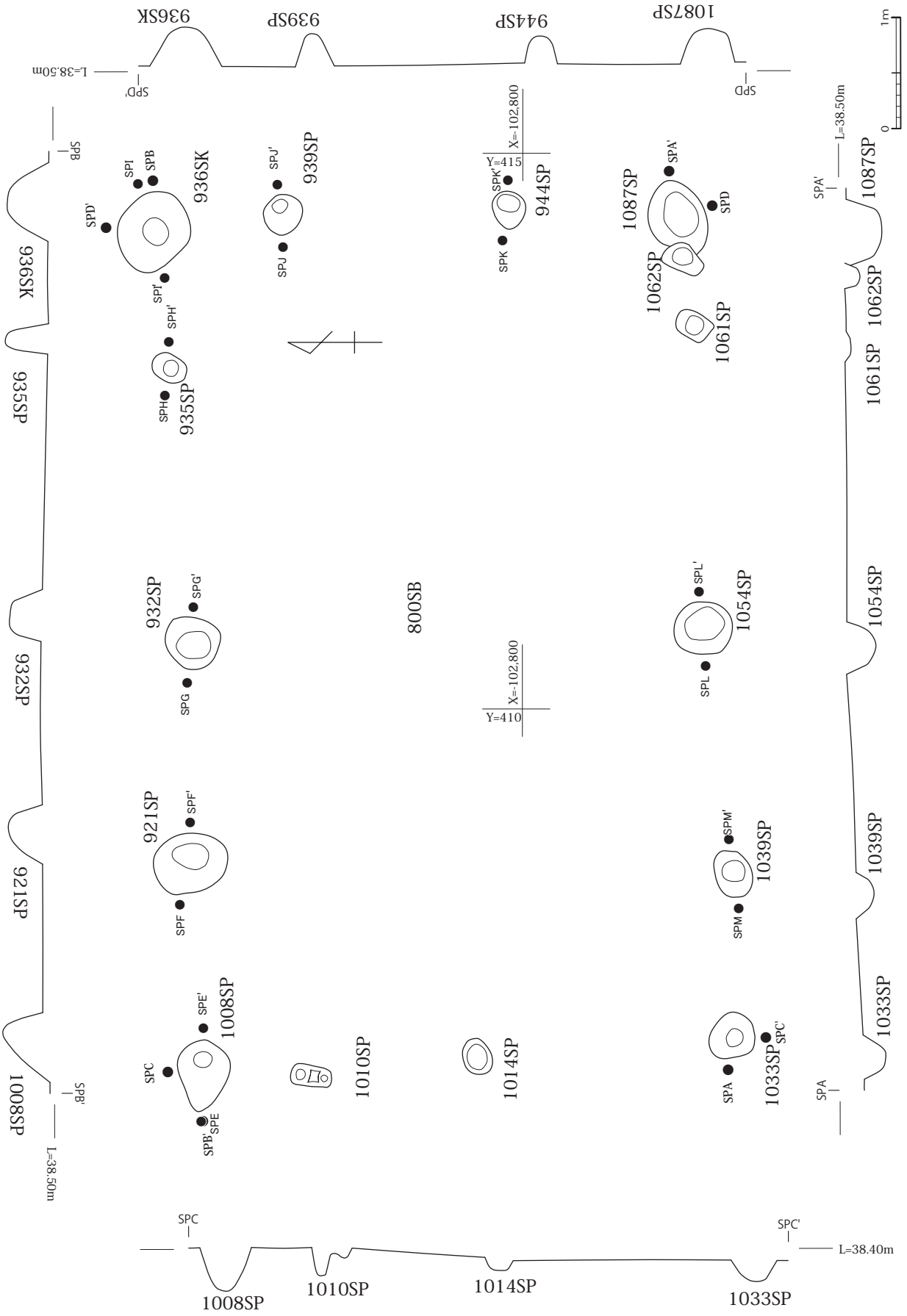
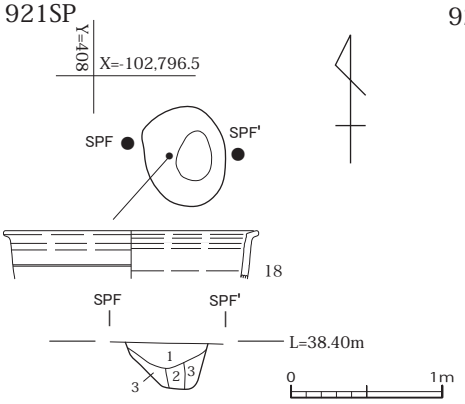


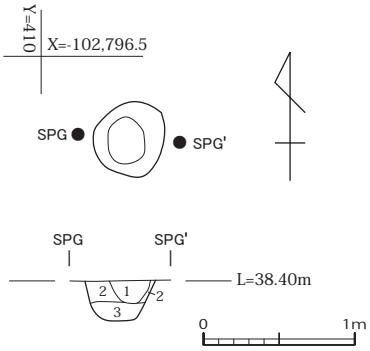
図16　800SB-1　1:50

921SP



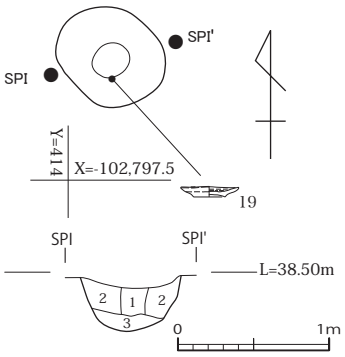
1, 10YR4/1褐灰色粘性シルト 焼土微量含む 炭化物微量含む
地山ブロック含む マンガンの集積斑状に混じる
2, 7.5YR4/2灰褐色粘性シルト 地山土多く混じる
マンガンの集積斑状に混じる 柱痕
3, 7.5YR4/1褐灰色粘性シルト 地山土混じる
径2～5㎜マンガン結核含む

923SP



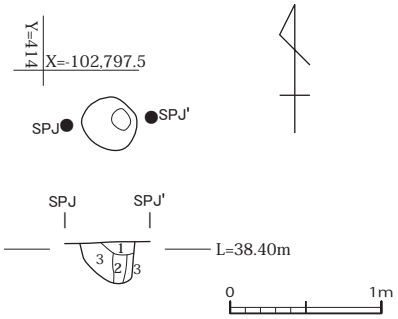
1,10YR4/2灰黄褐色粘性シルト
焼土微量含む 炭化物微量含む
2,10YR4/1褐灰色粘性シルト 地山ブロック多く含む
径2～3㎜マンガン結核含む
3,10YR3/2黒褐色粘性シルト 地山ブロック微量含む

936SK



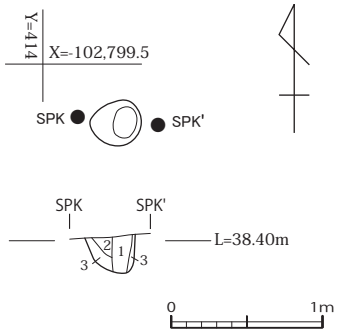
1, 10YR4/2灰黄褐色粘性シルト 地山ブロック微量含む
マンガンの集積斑状に混じる 柱痕
2, 10YR4/1褐灰色粘性シルト 地山ブロック多く含む
マンガンの集積斑状に混じる
3, 7.5YR4/1褐灰色粘性シルト 地山ブロック多く含む

939SP



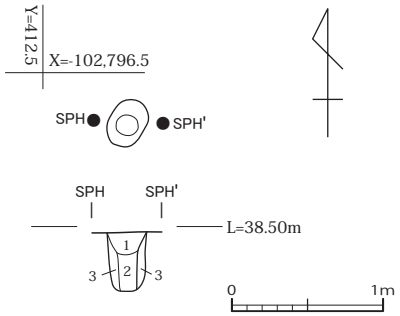
1, 7.5YR5/2灰褐色粘性シルト マンガンの集積斑状に混じる
2, 7.5YR4/2灰褐色粘性シルト 柱痕
3, 7.5YR4/1褐灰色粘性シルト 炭化物微量含む 地山ブロック含む

944SP



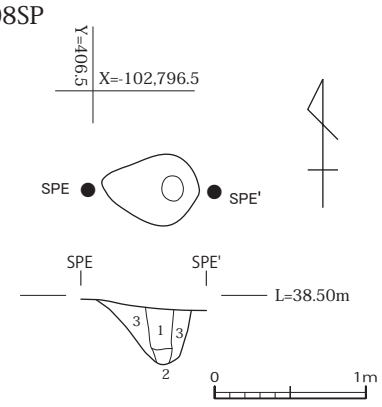
1, 7.5YR3/3暗褐色粘性シルト 柱痕
2, 7.5YR4/2灰褐色粘性シルト
地山ブロック微量含む
3, 7.5YR3/2黒褐色粘性シルト
地山ブロック微量含む

953SK



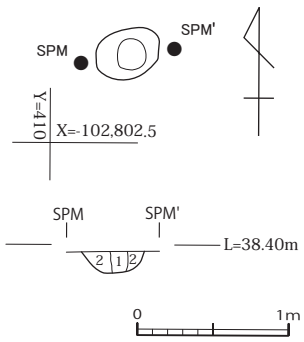
1, 7.5YR4/1褐灰色粘性シルト 地山ブロック微量含む
マンガンの集積斑状に混じる
2, 7.5YR4/2灰褐色粘性シルト 径3㎝程度礫含む 柱痕
3, 7.5YR4/3褐色粘性シルト 地山ブロック多く含む

1008SP



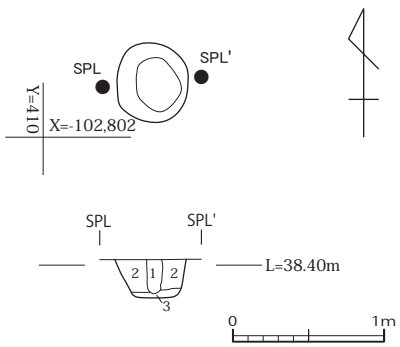
1,10YR4/2灰黄褐色粘性シルト 焼土微量含む
炭化物微量含む 遺物含む 柱痕
2,2.5Y4/1黄灰色粘土 粘性強い 柱痕
3,10YR4/1褐灰色粘性シルト 地山ブロック多く含む
マンガンの集積斑状に混じる 径５～8㎝円礫含む

1039SP



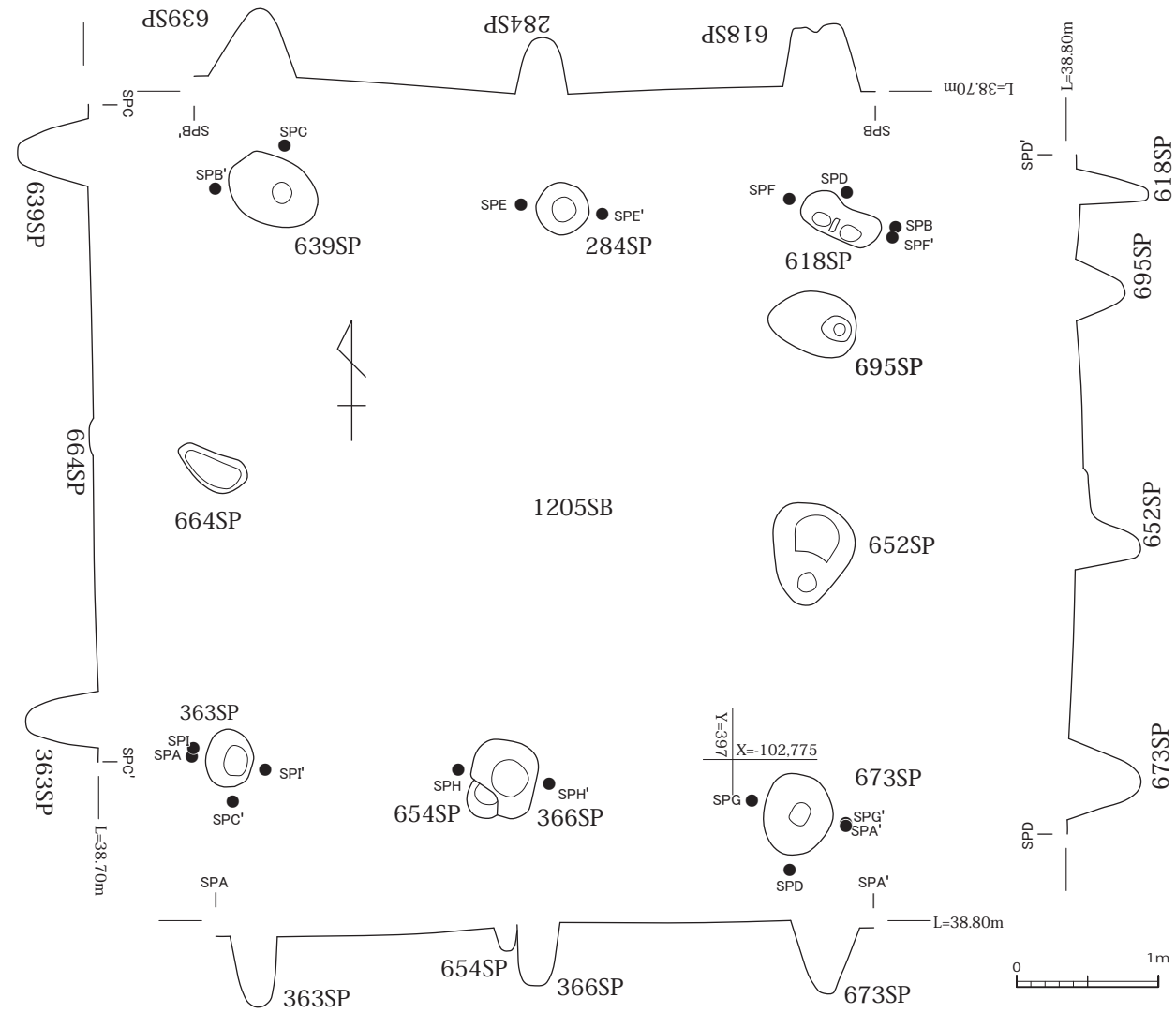
1,7.5YR4/2灰褐色粘性シルト 地山ブロック含む
マンガンの集積斑状に混じる 柱痕
2,7.5YR4/1褐灰色粘性シルト 焼土微量含む
マンガンの集積斑状に混じる

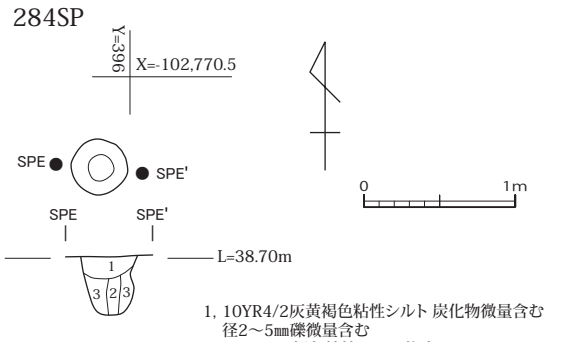
1054SP



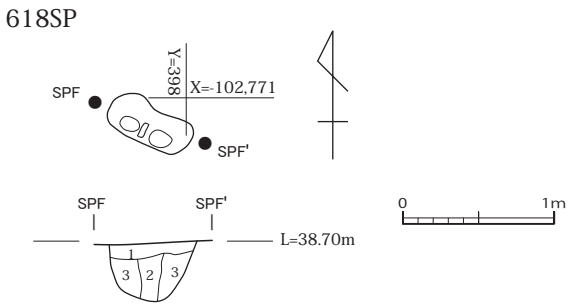
1, 10YR4/1褐灰色粘性シルト
マンガンの集積斑状に混じる 柱痕
2, 7.5YR4/1褐灰色粘性シルト 焼土微量含む
炭化物微量含む 地山ブロック微量含む
3, 10YR3/3暗褐色粘性シルト 地山ブロック微量含む

図17　800SB-2　1:50

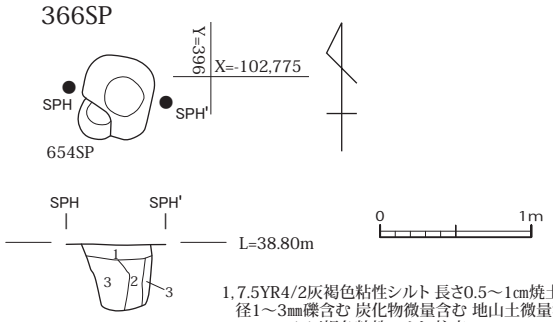




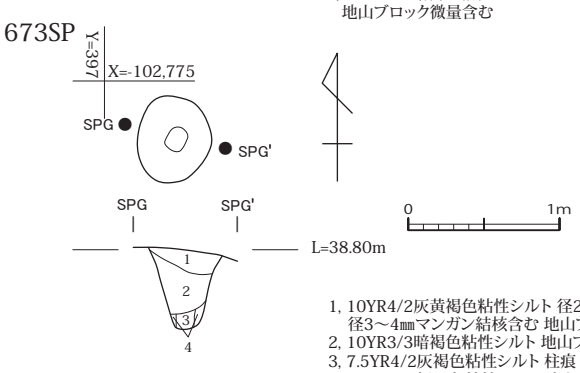
1, 10YR4/2灰黄褐色粘性シルト 炭化物微量含む
径2～5㎜礫微量含む
2, 7.5YR4/3褐色粘性シルト 柱痕
3, 7.5YR3/3暗褐色粘性シルト 地山ブロック微量含む



1, 10YR4/2灰黄褐色粘性シルト
遺物含む 地山土多く混じる
2, 7.5YR4/3褐色粘性シルト 柱痕
3, 7.5YR3/3暗褐色粘性シルト
地山ブロック微量含む



1, 7.5YR4/2灰褐色粘性シルト 長さ0.5～1cm焼土ブロック含む
径1～3㎜礫含む 炭化物微量含む 地山土微量混じる
2, 7.5YR4/2灰褐色粘性シルト 柱痕
3, 7.5YR3/2黒褐色粘性シルト 径1～2㎜礫含む
地山土多く混じる



1, 10YR4/2灰黄褐色粘性シルト 径2～3㎜礫含む
径3～4㎜マンガン結核含む 地山ブロック含む
2, 10YR3/3暗褐色粘性シルト 地山ブロック含む
3, 7.5YR4/2灰褐色粘性シルト 柱痕
4, 7.5YR4/1褐灰色粘性シルト 地山土多く混じる

図18　1205SB　1:50

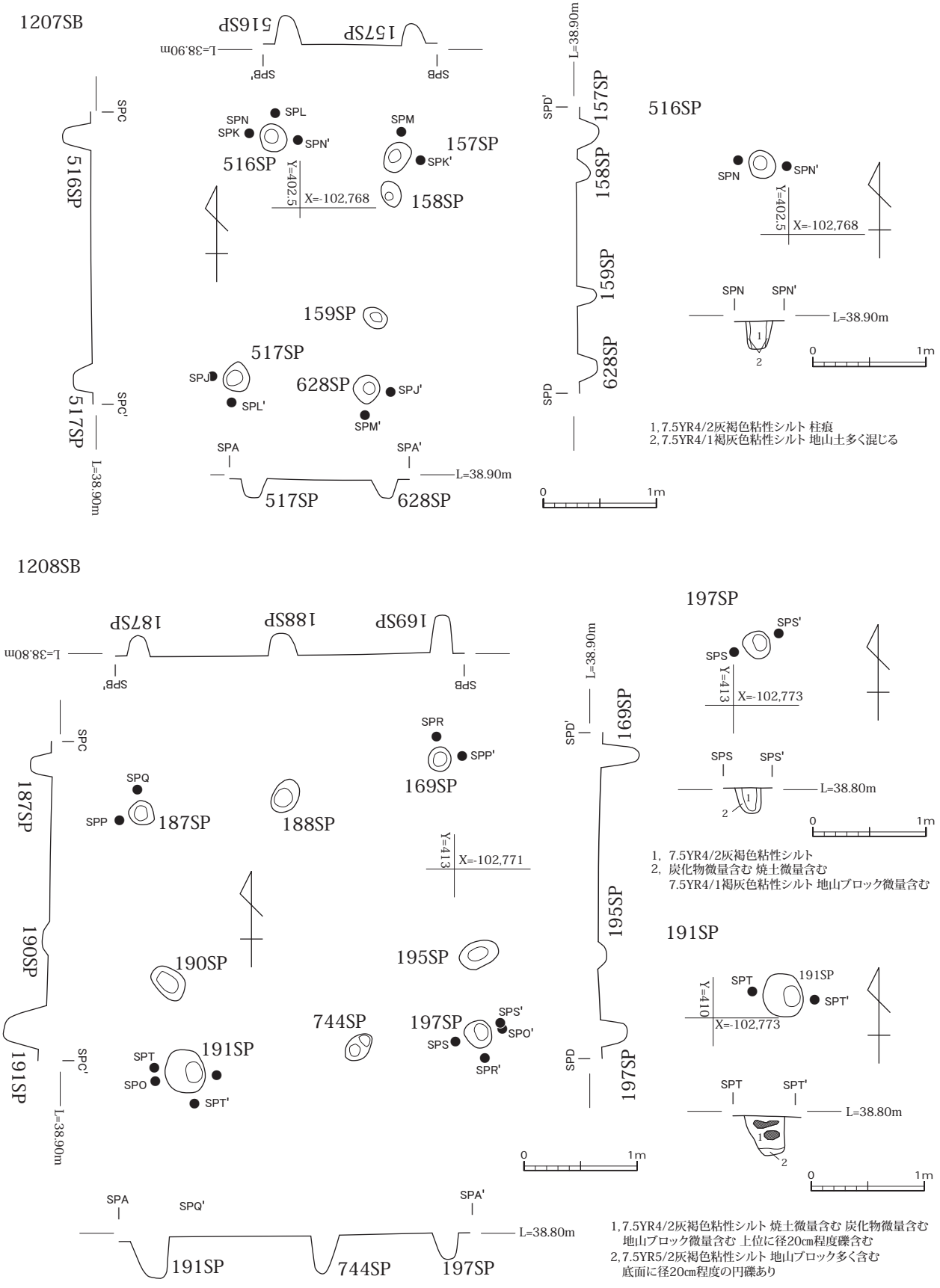
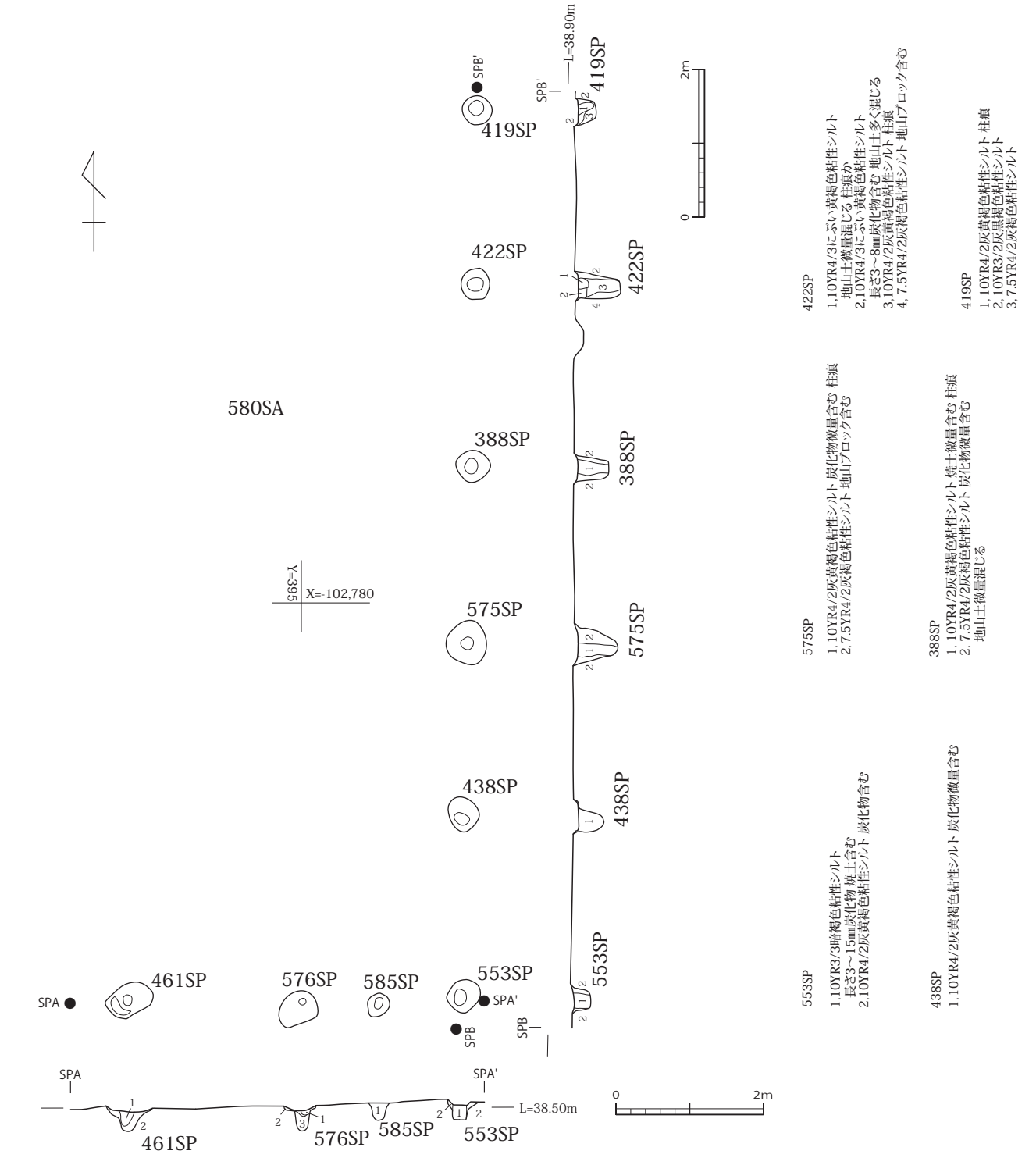


図19　1207SB・1208SB　1:50



461SP
1,10YR4/2灰黄褐色粘性シルト 炭化物微量含む
2,10YR3/3暗褐色粘性シルト 地山ブロック微量含む

576SP
1,10YR3/3暗褐色粘性シルト粘性シルト
2,10YR3/2黒褐色粘性シルト　地山土多く含む
3,10YR4/2灰黄褐色粘性シルト

585SP
1,7.5YR4/2灰褐色粘性シルト

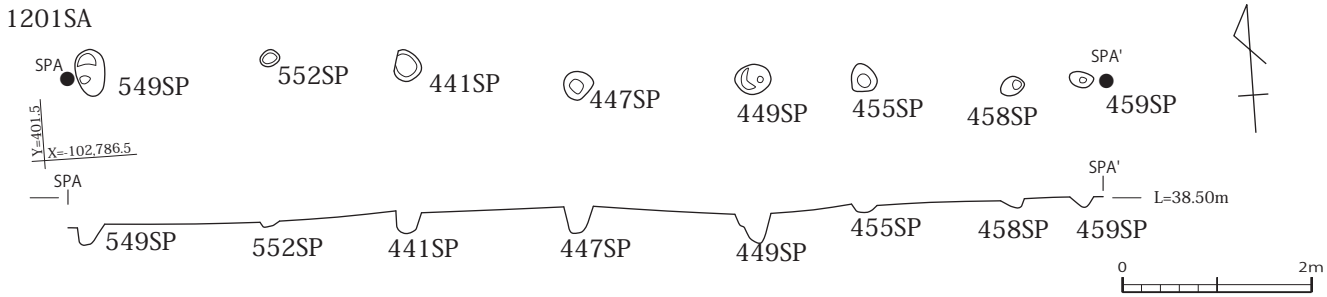
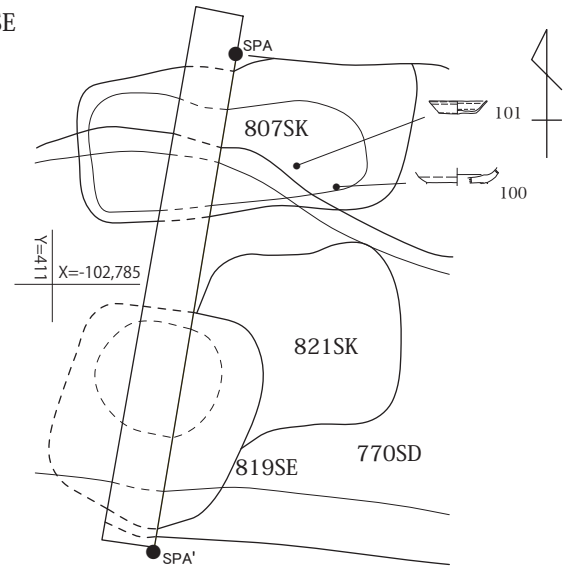
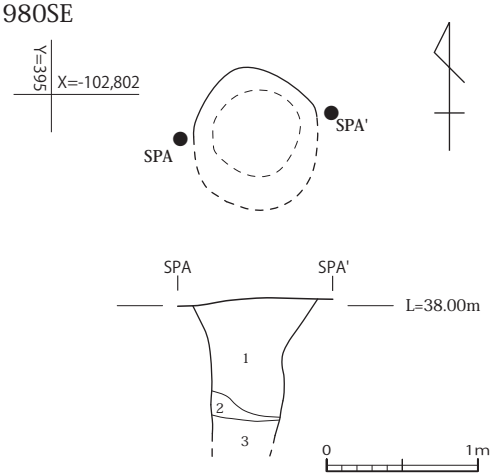


図 20　1201SA・580SA　1:80

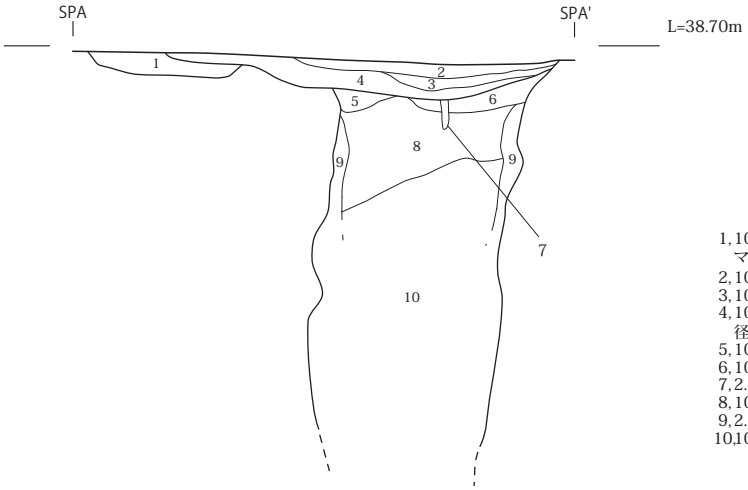
819SE



980SE

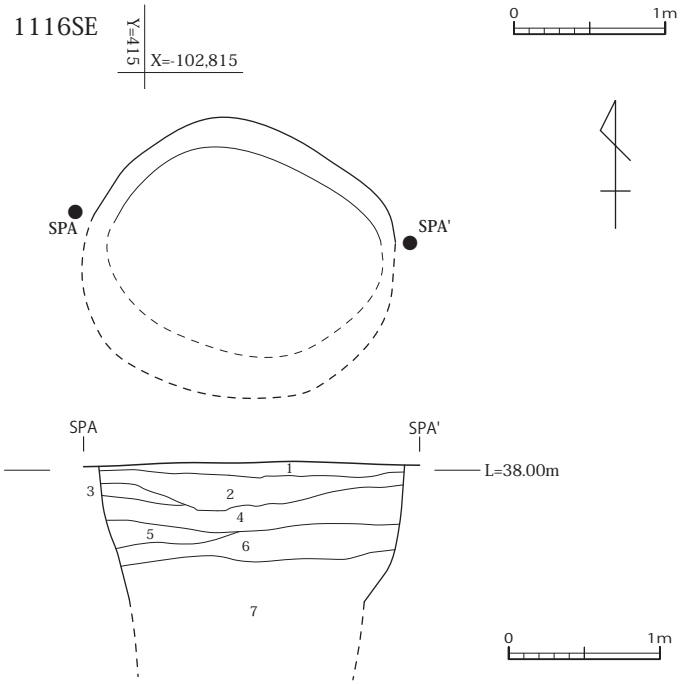


1,10YR4/3にぶい黄褐色砂質土 細粒砂 径10～20㎝円礫多く含む
2,7.5YR5/4にぶい褐色砂質土 中粒砂 地山土の再堆積
3,10YR4/2灰黄褐色砂質土 細粒砂 粘性あり 径10㎝程度の円礫含む



1,10YR4/1褐灰色粘性シルト 地山ブロック微量含む
マンガンの集積斑状に混じる (807SK)
2,10YR5/2灰黄褐色粘性シルト (770SD)
3,10YR5/3にぶい黄褐色粘性シルト マンガンの集積斑状に混じる (770SD)
4,10YR4/2灰黄褐色粘性シルト 炭化物微量含む
径2～3㎜マンガン結核含む 地山土微量混じる (770SD)
5,10YR4/3にぶい黄褐色粘性シルト 地山ブロック含む マンガン粒混じる (819SE)
6,10YR3/3暗褐色粘性シルト 炭化物微量含む 地山ブロック微量含む (819SE)
7,2.5Y4/1黄灰色粘性シルト (819SE)
8,10YR3/4暗褐色粘性シルト 炭化物微量含む 地山ブロック含む (819SE)
9,2.5Y4/2暗灰黄色粘性シルト (819SE)
10,10YR3/2黒褐色粘性シルト 炭化物微量含む 地山ブロック微量含む (819SE)

1116SE



1,10YR4/1褐灰色粘性シルト マンガンの集積斑状に混じる
2,10YR4/2灰黄褐色粘性シルト 地山ブロック微量含む 遺物含む
3,10YR4/3にぶい黄褐色粘性シルト
4,10YR4/2灰黄褐色粘性シルト＋7.5YR3/3暗褐色粘性シルトの混合土
地山ブロック多く含む マンガンの集積斑状に混じる
5,10YR3/4暗褐色粘性シルト 焼土微量含む 炭化物微量含む
6,7.5YR4/2灰褐色粘性シルト 粘性強い 炭化物微量含む
7.5YR5/1褐灰色粘土含む マンガンの集積斑状に混じる
7,7.5YR3/3暗褐色粘性シルト 粘性強い
マンガンの集積斑状に混じる 径5㎝程度円礫含む

図21　819SE・980SE・1116SE　1:50

井戸

819SE（図 21、図版 29）

Ａ区南側で確認できた。770SD に切られ、821SK を切る。600SB と重複するが、柱穴は切り合わない。平面形はやや歪む隅丸長方形を呈し、長辺 1.4 m、短辺は 1.2 mとなる。断ち割り調査により深さ 2.8 mまで掘り下げたが、基底部には到達できなかった。構造材も未検出となる。出土遺物は（図 53-21 ～ 23）を図示した。

980SE（図 21、図版 29）

Ｂ区北側で確認できた。700SB の北西に位置する。平面形は楕円形を呈し、長辺 1.1 m、短辺は 0.8 mとなる。断ち割り調査により深さ 1.4 mまで掘り下げたが、基底部には到達できなかった。構造材も未検出となる。出土遺物は得られなかった。

1116SE （図 21、図版 29）

Ｂ区南側で確認できた。003SD の南端西側に位置する。検出面では南側が撹乱により消失するが、平面形は楕円形を呈し、長辺 2.0 m、短辺は 0.7 mとなる。断ち割り調査により深さ 2.0 mまで掘り下げたが、基底部には到達できなかった。構造材も未検出となる。出土遺物は（図 53-24）を図示した。

土坑

106SK（図 22、図版 31）

Ａ区北側で確認できた。1208SB の南東に位置する。平面形は卵形を呈し、長径 1.4 m、短径は 1.1 m、深さは 0.1 mとなる。出土遺物は（図 53-25 ～ 29）を図示した。

153SK（図 22、図版 30）

Ａ区西側で確認できた。253SK を切る。平面形は円形を呈し、直径 1.0 m、深さは 0.3 mとなる。基底部からやや遊離した位置から、縄文土器２個体以上と、直径 18 ㎝大の扁平な花崗岩や円礫が出土している。出土遺物は（図 53-30 ～ 36、図 63- Ｓ９）を図示した。

160SK（図 23、図版 30）

Ａ区南側で確認できた。784SK・770SD を切り、758SP に切られる。平面形はやや歪む楕円形を呈し、長径 1.6 m、短径は 1.3 m、深さは 0.1 mとなる。出土遺物は土師器皿が中心となり、（図 54-37 ～ 64）を図示した。

253SK（図 24）

Ａ区西側で確認できた。153SK に切られ、平面形は楕円形を呈する。長径は 0.7 m、短径は 0.6 mまで確認した。深さは 0.3 mとなる。出土遺物は得られなかった。

263SK（図 42）

Ａ区西側で確認できた。140SD・285SD に近接し、263SD を切る。平面形は不整形な隅丸長方形を呈し、長径 1.1 m、短径は 0.5 m、深さは 0.3 mとなる。出土遺物は（図 54-70）を図示した。

300SK（図 52、図版 31）

Ａ区南側で確認できた。782ST の北東に位置する。平面形はやや歪む長方形を呈し、長径 1.9 m、短径は 1.6 m、深さは 0.1 mとなる。770SD を切り、782ST に切られる。出土遺物は（図 54-65 ～ 69）を図示した。

321SK（図 24、図版 31）

Ａ区南側で確認できた。300SK に近接する。平面形は隅丸長方形を呈し、長径 0.7 m、短径は 0.6 m、深さは 0.2 mとなる。出土遺物は（図 54-71 ～ 73）を図示した。

349SK（図 24）

Ａ区西側で確認できた。1205SB の西側に近接し、北側は撹乱により消失する。長径は 1.1 ｍまで確認し、短径は 0.8 ｍ、深さは 0.1 ｍとなる。平面形は楕円形を呈するのか。出土遺物は得られなかった。

382SK（図 25）

Ａ区西側で確認できた。370SI の南東に位置する。平面形はやや歪む卵形を呈し、長径 2.3 ｍ、短径は 1.6 ｍ、深さは 0.2 ｍとなる。出土遺物は（図 54-74、図 63- Ｓ１）を図示した。

391SK（図 25）

Ａ区西側で確認できた。433SK の西側に位置する。平面形は楕円形を呈し、長径 1.7 ｍ、短径 0.7 ｍ、深さは 0.3 ｍとなる。出土遺物は中世土器小片を得た。

414SK（図 25）

Ａ区西側で確認できた。1205SB に位置するが、柱穴とは切り合わない。415SP を切り、695SP、695SP に切られる。平面形は楕円形を呈し、長径は 1.2 ｍまで確認した。短径は 1.0 ｍ、深さは 0.4 ｍとなる。出土遺物は（図 54-75・76）を図示した。

433SK（図 26）

Ａ区西側で確認できた。139SD に切られる。平面形はやや歪む長方形を呈し、長径 2.1 ｍ、短径は 1.7 ｍ、深さは 0.2 ｍとなる。出土遺物は（図 55-77 ～ 84）を図示した。

556SK（図 26）

Ａ区南側で確認できた。235ST の南西に位置し、平面形は隅丸長方形を呈する。長径 1.8 ｍ、短径は 1.2 ｍ、深さは 0.1 ｍとなる。出土遺物は（図 55-85 ～ 87）を図示した。

564SK（図 26）

Ａ区南側で確認できた。244SD の南側に位置し、平面形は卵形を呈する。長径 1.6 ｍ、短径は 1.0 ｍ、深さは 0.3 ｍとなる。出土遺物は中世土器の小片を得た。

578SK（図 44・45）

Ａ区南側で確認できた。139SD の南端部に位置し、140SD を切る。平面形は楕円形を呈する。長径 3.1 ｍ、短径は 1.8 ｍまで確認した。深さは 0.1 ｍとなる。出土遺物は（図 55-89）を図示した。

640SK（図 52）

Ａ区北部で確認できた。140SD の北側に位置する。507ST に切られる。平面形はやや歪む楕円形を呈する。長径 1.4 ｍ、短径は 0.9 ｍ、深さは 0.3 ｍとなる。出土遺物は（図 55-86、図 63- Ｓ４）を図示した。

784SK（図 23、図版 30）

Ａ区東側で確認できた。179SD の東側に位置し、003SD・770SD を切り、160SK に切られる。平面形は円形を呈する。長径は 1.3 ｍまで確認し、短径は 1.2 ｍ、深さは 0.1 ｍとなる。土師器皿がまとまって出土している。出土遺物は（図 55-90 ～ 99）を図示した。

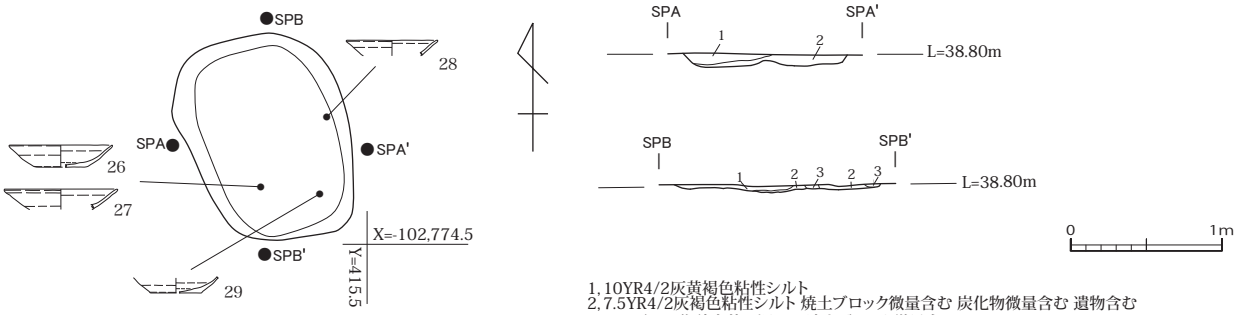
807SK（図 21）

Ａ区南側で確認できた。820SK（600SB）を切り、770SD・806SD に切られる。819SE に近接し、平面形は長方形を呈する。長径 2.2 ｍ、短径は 1.0 ｍ、深さは 0.2 ｍとなる。出土遺物は（図 55-100・101）を図示した。

864SK（図版 32）

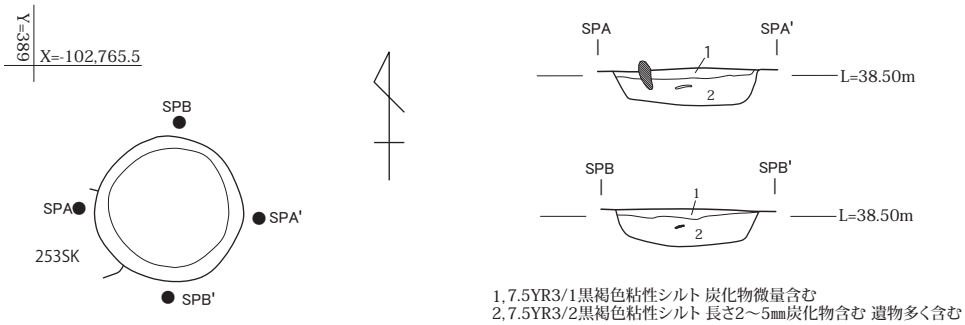
Ｂ区南側で確認できた。857SD の南側に位置する。平面形は円形を呈し、一辺 0.8 ｍ、深さは 0.3 ｍ

106SK



1,10YR4/2灰黄褐色粘性シルト
2,7.5YR4/2灰褐色粘性シルト 焼土ブロック微量含む 炭化物微量含む 遺物含む
マンガンの集積斑状に混じる 地山ブロック微量含む
3,7.5YR4/1褐灰色粘性シルト 地山ブロック多く含む マンガンの集積斑状に混じる

153SK



1,7.5YR3/1黒褐色粘性シルト 炭化物微量含む
2,7.5YR3/2黒褐色粘性シルト 長さ2～5㎜炭化物含む 遺物多く含む

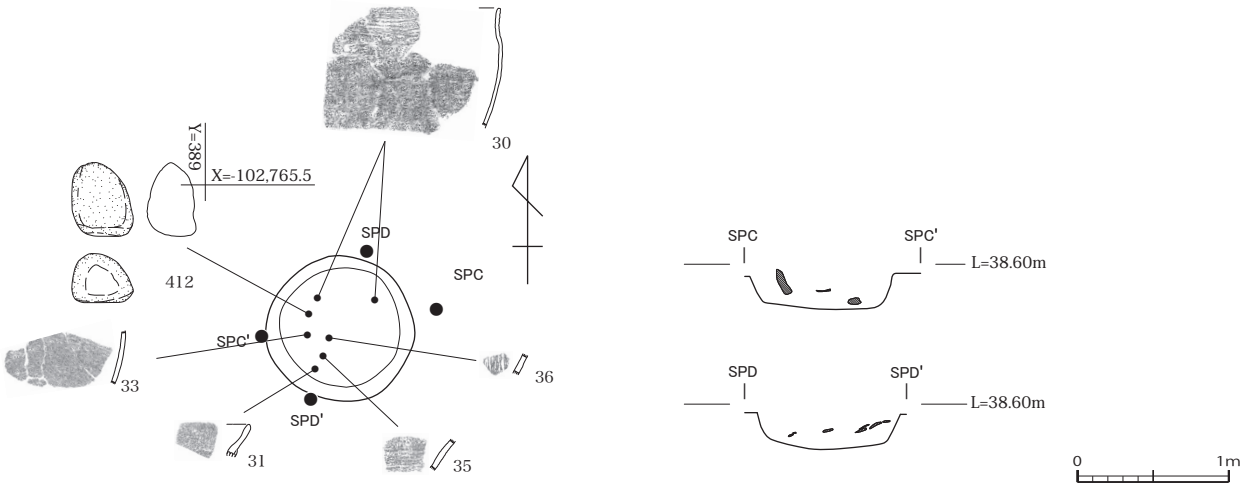
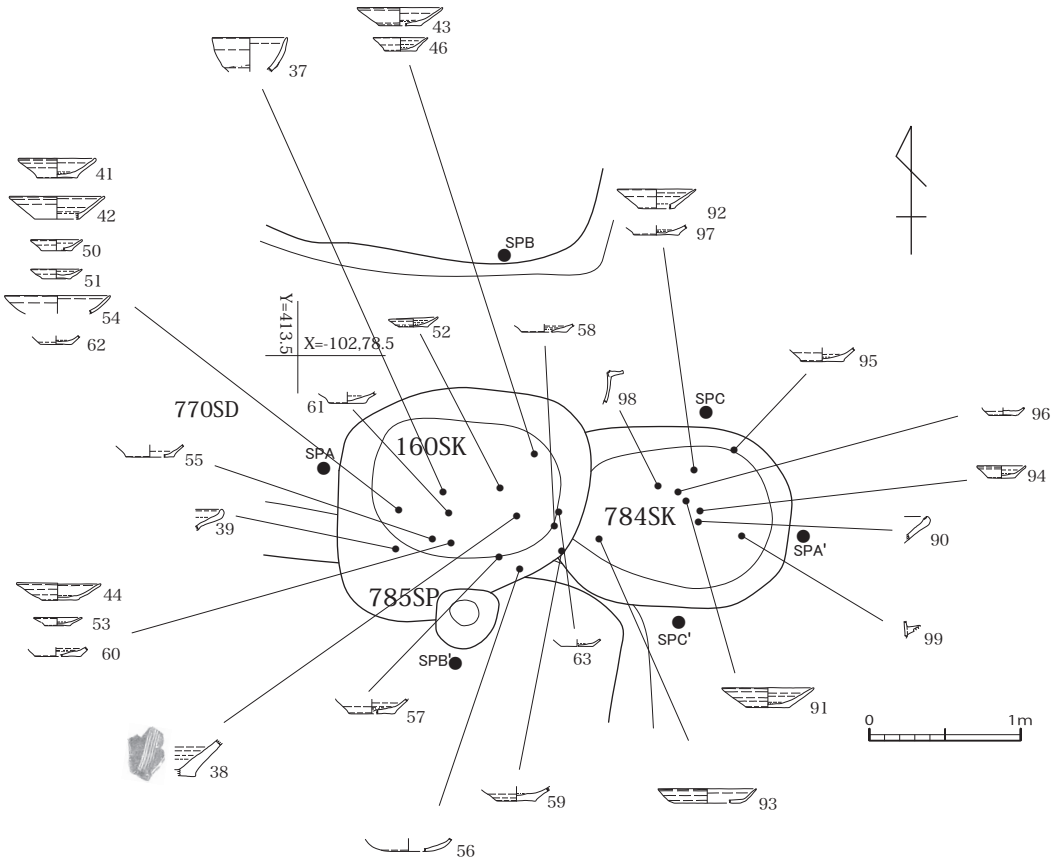
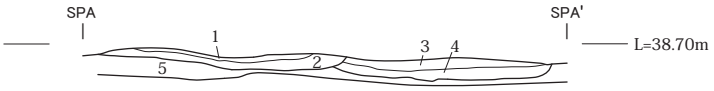
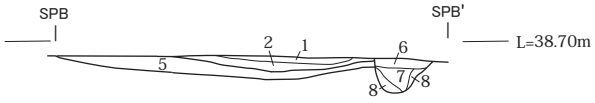
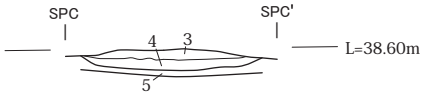


図 22　土坑 -1　1:50





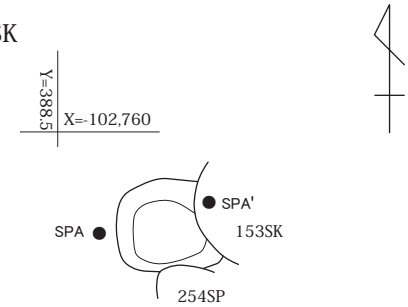


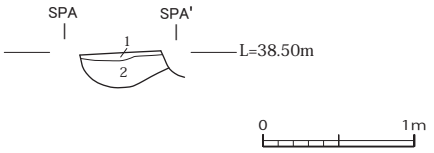


1, 10YR5/2灰黄褐色粘性シルト 赤褐色(2.5YR5/3)及び橙色(2.5YR6/1)
焼土ブロック多く含む　長さ3～5㎜炭化物含む (160SK)
2, 10YR5/2灰黄褐色粘性シルト 1層より暗い
赤褐色(2.5YR5/3)焼土ブロック微量含む 炭化物微量含む (160ST)
3, 10YR4/2灰黄褐色粘性シルト 焼土微量含む 遺物含む (784SK)
4, 10YR4/2灰黄褐色粘性シルト 3層より暗い 焼土ブロック微量含む (784SK)
5, 10YR4/3にぶい黄褐色粘性シルト 地山土多く混じる (770SD)
6, 10YR4/3にぶい黄褐色粘性シルト　炭化物微量含む 地山ブロック含む (785SP)
7, 10YR4/2灰黄褐色粘性シルト 地山ブロック微量含む
径10㎝程度円礫含む (785SP)
8, 10YR4/1褐灰色粘性シルト 地山ブロック含む (785SP)

図 23　土坑 -2　1:50

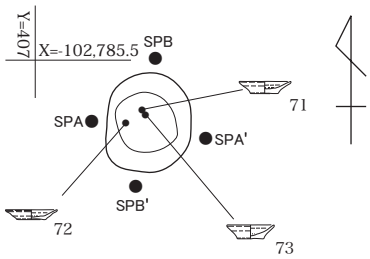
253SK

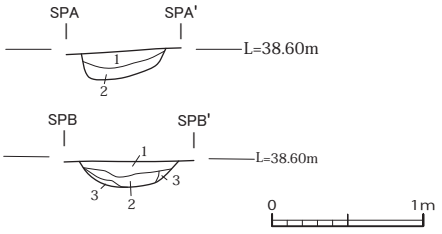




1, 7.5YR4/3褐色粘性シルト
2, 7.5YR3/2黒褐色粘性シルト 地山ブロック含む 径3～5㎜礫含む

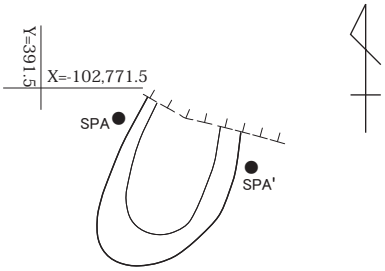
321SK

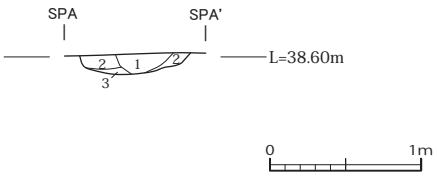




1, 10YR4/2灰黄褐色粘性シルト 焼土ブロック多く含む 炭化物多く含む
　地山ブロック含む　マンガンの集積斑状に混じる
2, 10YR5/2灰黄褐色粘性シルト 焼土含む 炭化物含む マンガンの集積斑状に混じる
3, 10YR4/3にぶい黄褐色粘性シルト 地山ブロック多く含む

349SK

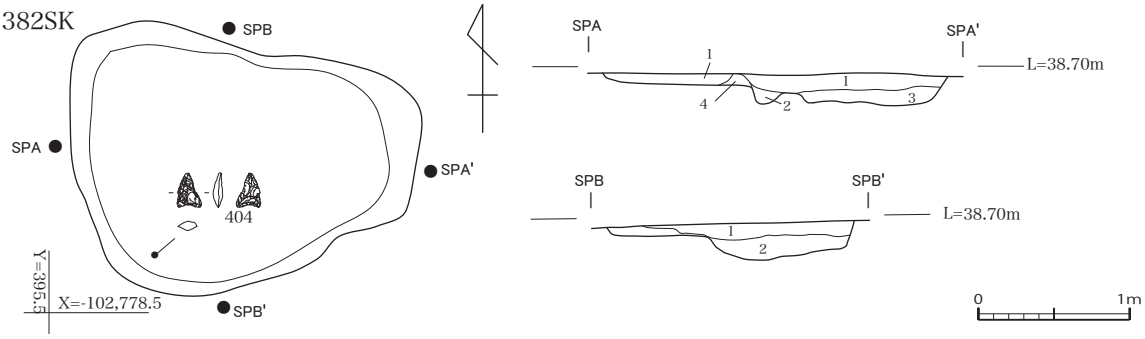




1, 7.5YR4/2灰褐色粘性シルト 径2～3㎜礫含む
　炭化物微量含む　焼土微量含む
2, 7.5YR4/2灰褐色粘性シルト 地山ブロック含む
3, 7.5YR5/2灰褐色粘性シルト 地山ブロック多く含む

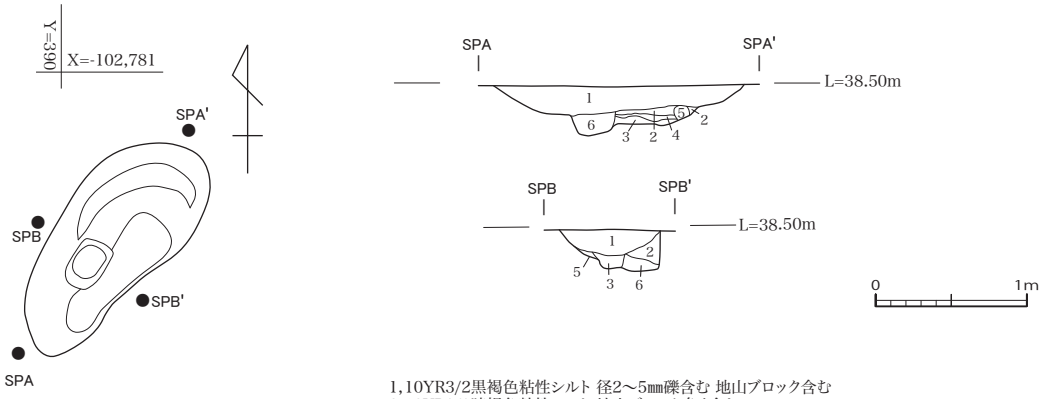
図 24　土坑 -3　1:50

382SK



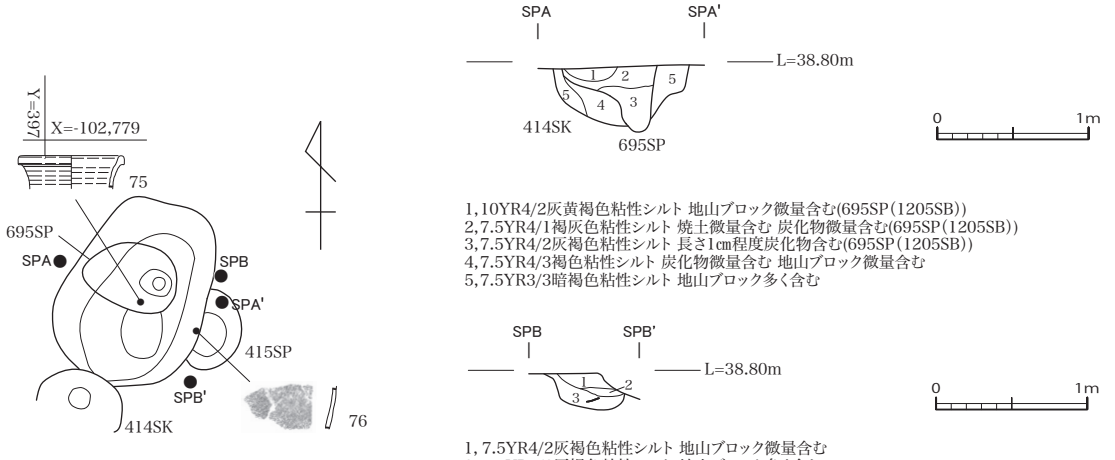
1,7.5YR4/2灰褐色粘性シルト 炭化物微量含む　地山ブロック微量含む
2,7.5YR3/2黒褐色粘性シルト 炭化物含む　地山ブロック微量含む マンガンの集積斑状に混じる
3,7.5YR3/2黒褐色粘性シルト 長さ0.5～1㎝炭化物含む 地山土混じる
4,10YR5/6黄褐色粘性シルト 地山再堆積土

391SK



1,10YR3/2黒褐色粘性シルト 径2～5㎜礫含む 地山ブロック含む
2,10YR3/3暗褐色粘性シルト 地山ブロック多く含む
3,10YR3/4暗褐色粘性シルト
4,10YR4/3にぶい黄褐色粘性シルト
5,10YR5/6黄褐色粘性シルト 地山土ブロック
6,7.5YR3/3暗褐色粘性シルト

414SK

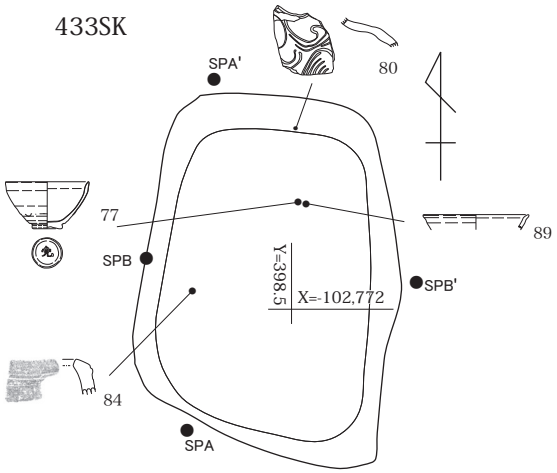


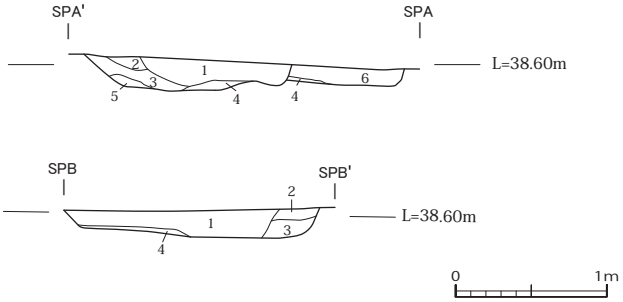
1,10YR4/2灰黄褐色粘性シルト 地山ブロック微量含む(695SP(1205SB))
2,7.5YR4/1褐灰色粘性シルト 焼土微量含む 炭化物微量含む(695SP(1205SB))
3,7.5YR4/2灰褐色粘性シルト 長さ1cm程度炭化物含む(695SP(1205SB))
4,7.5YR4/3褐色粘性シルト 炭化物微量含む 地山ブロック微量含む
5,7.5YR3/3暗褐色粘性シルト 地山ブロック多く含む

1,7.5YR4/2灰褐色粘性シルト 地山ブロック微量含む
2,7.5YR5/2灰褐色粘性シルト 地山ブロック多く含む
3,7.5YR3/3暗褐色粘性シルト 遺物含む

図25　土坑-4　1:50

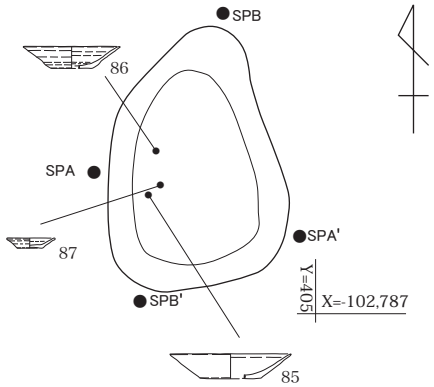
433SK

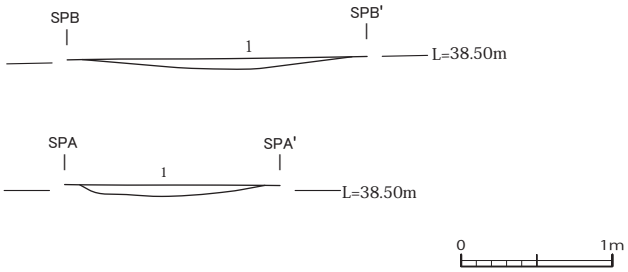




1,10YR5/2灰黄褐色粘性シルト 径2～3㎜礫含む
　マンガンの集積斑状に混じる 地山ブロック微量含む
2,10YR5/3にぶい黄褐色粘性シルト マンガンの集積斑状に混じる 地山ブロック微量含む
3,10YR4/2灰黄褐色粘性シルト マンガンの集積斑状に混じる 地山ブロック微量含む
4,10YR4/1褐灰色粘性シルト
5,10YR5/6黄褐色粘性シルト 地山再堆積土
6,10YR5/2灰黄褐色粘性シルト 径5㎜程度の焼土ブロック含む
　マンガンの集積斑状に混じる 炭化物・地山ブロック微量含む

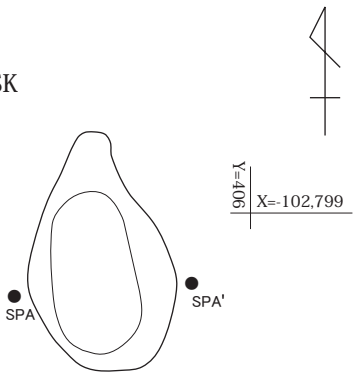
556SK

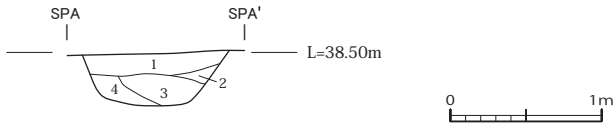




1,7.5YR5/2灰褐色粘性シルト 焼土・炭化物・遺物含む
　地山ブロック微量含む

564SK





1, 10YR4/2灰黄褐色粘性シルト マンガンの集積斑状に混じる
2, 10YR4/2灰黄褐色粘性シルト 炭化物・地山ブロック微量含む
3, 10YR3/3暗褐色粘性シルト 炭化物微量含む
4, 10YR4/3にぶい黄褐色粘性シルト 地山ブロック微量含む

図 26　土坑 -5　1:50

となる。近世甕（図 55-102）を正位で埋設した土坑で、基底部付近のみを検出した。出土遺物は 102 の他、（図 55-103）を図示した。

ピット

調査時に小型で深い土坑に SP を付したため、これを踏襲している。ただし、法量など区分は厳密なものではない。

031SP（図 27、図版 33）

Ａ区北側で確認できた。030ST 南側に位置する。平面形は円形を呈し、直径 0.5 m、深さは 0.1 mとなる。断面観察により柱痕を確認した。出土遺物は得られなかった。

097SP（図 27、図版 33）

Ａ区東側で確認できた。095SX の北側に位置する。平面形は楕円形を呈し、長径 0.3 m、短径は 0.2 m、深さは 0.1 mとなる。断面観察により柱痕を確認した。出土遺物は（図 56-106・107）を図示した。

109SP（図版 33）

Ａ区東側で確認できた。107SD 西側に位置し、003SD に切られる。平面形は楕円形を呈し、長径は 0.6 mまで確認し、短径 0.3 m、深さは 0.1 mとなる。出土遺物は（図 56-108）を図示した。

110SP（図版 33）

Ａ区東側で確認できた。107SD の南側に位置し、003SD に切られる。平面形は円形を呈し、直径 0.3 m、深さは 0.2 mとなる。断面観察により柱痕を確認した。出土遺物は（図 56-109）を図示した。

154SP（図 27、図版 33）

Ａ区西側で確認できた。1207SB の北側に位置し、平面形は円形を呈する。直径 0.3 m、深さは 0.1 mとなる。断面観察により柱痕を確認した。出土遺物は得られなかった。

186SP（図 27）

Ａ区東側で確認できた。1208SB の南西に位置し、平面形は円形を呈する。直径 0.2 m、深さは 0.2 mとなる。断面観察により柱痕を確認した。出土遺物は得られなかった。

202SP（図 27、図版 33）

Ａ区東側で確認できた。1208SB の南側に位置し、平面形は円形を呈する。直径 0.3 m、深さは 0.3 mとなる。断面観察により柱痕を確認した。出土遺物は中世土器の小片を得た。

207SP（図版７）

Ａ区東側で確認できた。1208SB の南側に位置し、平面形は楕円形を呈する。長径 0.3 m、短径は 0.2 m、深さは 0.1 mとなる。出土遺物は（図 56-112）を図示した。

234SP（図版 33）

Ａ区南側で確認できた。235ST の北側に位置し、平面形は円形を呈する。直径 0.2 m、深さは 0.1 mとなる。出土遺物は（図 56-114・115）を図示した。

270SP（図版 33）

Ａ区西側で確認できた。244SD の南側に位置し、平面形は楕円形を呈する。長径 0.3 m、短径 0.2 m、深さは 0.3 mとなる。検出面で根石とも考えられる扁平な礫が検出されている。出土遺物は得られなかった。

336SP（図版 33）

Ａ区南側で確認できた。244SD の南側に位置し、771SP を切る。平面形は楕円形を呈し、直径 0.6 m、短径 0.5 m、深さは 0.2 mとなる。出土遺物は（図 56-118・119）を図示した。

372SP（図 27）
　A区西側で確認できた。1205SB に近接し、平面形は不整形な楕円形を呈する。長径 0.7 m、短径は 0.4 m、深さは 0.4 mとなる。断面観察により柱痕を確認した。出土遺物は得られなかった。
380SP（図 27）
　A区西側で確認できた。370SI の南側に位置し、平面形は円形を呈する。直径 0.3 m、深さは 0.3 mとなる。断面観察により柱痕を確認した。出土遺物は得られなかった。
415SP（図 25）
　A区西側で確認できた。414SK に切られる。平面形は楕円形か。長径 0.6 m、短径は 0.3 mまで計測した。深さは 0.2 mとなる。出土遺物は得られなかった。
424SP（図 27）
　A区西側で確認できた。544SD を切る。平面形は円形を呈する。直径 0.6 m、深さは 0.5 mとなる。断面観察により柱痕を確認した。出土遺物は中世土器の小片を得た。
451SP（図 27、図版 33）
　A区東側で確認できた。1201SA の南側に位置する。平面形は円形を呈し、直径 0.3 m、深さは 0.3 mとなる。断面観察により柱痕を確認した。出土遺物は得られなかった。
469SP（図版 33）
　21 A区南側で確認できた。463SP・463SD に切られる。直径 0.5 m、短径は 0.4 mまで確認した。平面形は円形を呈するのか。深さは 0.1 mをはかる。出土遺物は得られなかった。
602SP（図 27）
　A区西側で確認できた。1205SB と重複するが、柱穴とは切り合わない。平面形は楕円形を呈し、長径 0.3 m、短径は 0.2 m、深さは 0.2 mとなる。断面観察により柱痕を確認した。出土遺物は得られなかった。
611SP（図 28、図版 33）
　A区西側で確認できた。411SB の北西側に位置する。平面形は円形を呈し、直径 0.4 m、深さは 0.4 mとなる。断面観察により柱痕を確認した。出土遺物は得られなかった。
613SP（図 28）
　A区東側で確認できた。411SB の北側に位置する。平面形は隅丸長方形を呈し、長径 0.5 m、短径は 0.4 m、深さは 0.2 mとなる。断面観察により柱痕を確認した。出土遺物は中世土器の小片を得た。
656SP（図 28、図版 33）
　A区西側で確認できた。411SB の西側に位置する。平面形は円形を呈し、長径 0.4 m、短径は 0.3 m、深さは 0.3 mとなる。断面観察により柱痕を確認した。出土遺物は得られなかった。
695SP（図 25）
　A区西側で確認できた。1205SB に位置するが、柱穴とは重複しない。414SK を切る。平面形は楕円形を呈する。長径 0.6 m、短径は 0.4 m、深さは 0.4 mとなる。断面観察により柱痕を確認した。出土遺物は得られなかった。
732SP（図 51）
　A区北側で確認できた。上面は 292ST に切られる。平面形は隅丸正方形を呈し、一辺 0.6 m、深さは 0.1 mとなる。出土遺物は得られなかった。
750SP（図版 33）
　A区東側で確認できた。173SD の西側に位置する。平面形は円形を呈し、直径 0.3 m、深さは 0.2 m

となる。出土遺物は土師器皿の小片を得た。

768SP（図版 33）

Ａ区南側で確認できた。411SI に切られる。平面形は楕円形を呈する。長径 0.3 m、短径は 0.2 m、深さは 0.2 mとなる。基底部で根石を確認した。出土遺物は得られなかった。

785SP（図 23、図版 30）

Ａ区南側で確認できた。160SK を切り、平面形はやや歪む円形を呈する。直径 0.4 m、深さは 0.2 mとなる。出土遺物は得られなかった。

888SP（図 28）

Ｂ区北側で確認できた。 297SD の東側に位置し、平面形は円形を呈する。直径 0.4 m、深さは 0.1 mとなる。断面観察により柱痕を確認した。出土遺物は得られなかった。

942SP（図 28・図版 33）

Ｂ区北側で確認できた。800SB の東側に位置し、平面形は楕円形を呈する。長径 0.6 m、短径は 0.4 m、深さは 0.6 mとなる。断面観察により柱痕を確認した。出土遺物は（図 56-130）を図示した。

948SP（図 28）

Ｂ区北側で確認できた。297SD の東側に位置し、平面形は円形を呈する。直径 0.3 m、深さは 0.2 mとなる。断面観察により柱痕を確認した。出土遺物は得られなかった。

955SP（図 28）

Ｂ区東側で確認できた。957SD の東側に位置し、平面形は円形を呈する。直径 0.2 m、深さも 0.2 mとなる。断面観察により柱痕を確認した。出土遺物は中世土器の小片を得た。

963SP（図 28・図版 33）

Ｂ区東側で確認できた。1117SD の北西側に位置し、平面形は円形を呈する。直径 0.3 m、深さは 0.1 mとなる。基底部で根石を、断面観察では柱痕を確認した。出土遺物は得られなかった。

1030SP（図 28）

Ｂ区東端で確認できた。平面形は円形を呈する。長径 0.4 m、短径は 0.3 m、深さは 0.4 mとなる。断面観察により柱痕を確認した。出土遺物は得られなかった。

1074SP（図版 33）

Ｂ区西側で確認できた。1041SD の南側に位置し、平面形は円形を呈する。長径 0.5 m、短径は 0.4 m、深さは 0.1 mとなる。出土遺物は（図 56-132）を図示した。

1124SP（図 28）

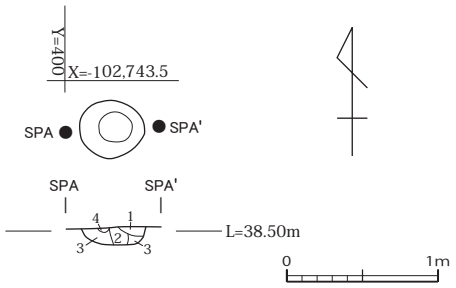
Ｂ区西側で確認できた。平面形は楕円形を呈する。長径 0.4 m、短径は 0.3 m、深さは 0.3 mとなる。断面観察により柱痕を確認した。出土遺物は（図 56-131）を図示した。

溝

003SD（図 29 ～ 39、図版 16・17・34 ～ 36）

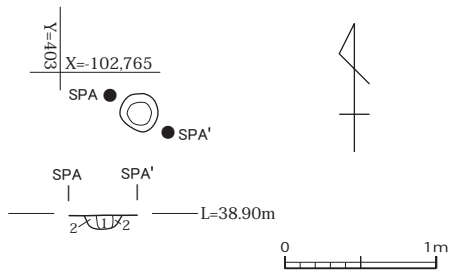
21 区東側と 18 区西側で確認できた。57.0 mを検出するが、北側は調査区外となる。幅は 2.3 m～ 9.0 m。南端部は 18 区 002SK と連続し、南側で短く屈曲する。主軸はN－０°-Wをはかる。深さは図版 16 に表現する様に、Ｃ－Ｃ’とＤ－Ｄ’ラインでは 0.5 mとなるが、全体的に 0.2 mと浅いのが特徴的となる。形状から数度の掘り直しが繰り返されたことが想定できたが、不鮮明で段階ごとに掘り分けることが困難であった。このため、掘り残した８本のベルトの断面を観察し、これをａ層～ｄ層と区分している。堆積順はａ層が最下層で、上層へｃ層→ｄ層→ｂ層と続く。この中でａ層の北端は、ｂ層～ｄ層

031SP



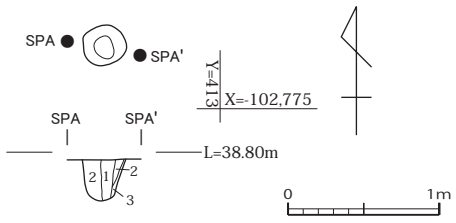
1,7.5YR4/2灰褐色粘性シルト 炭化物微量含む
2,7.5YR3/2黒褐色粘性シルト 地山土混じる 柱痕か
3,7.5YR3/2黒褐色粘性シルト　炭化物微量含む 地山ブロック含む
4,10YR5/4にぶい黄褐色粘性シルト カクラン土

154SP



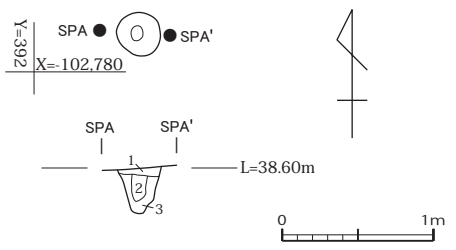
1, 10YR4/2灰黄褐色粘性シルト 柱痕
2, 10YR4/3にぶい黄褐色粘性シルト 炭化物微量含む

202SP



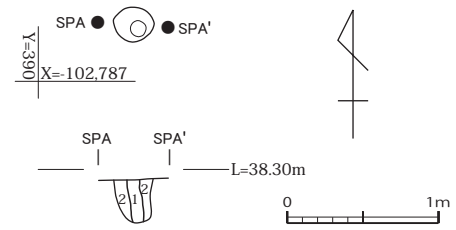
1,7.5YR4/2灰褐色粘性シルト 柱痕
2,7.5YR4/3褐色粘性シルト 焼土微量含む マンガンの集積斑状に混じる
3,7.5YR4/1褐灰色粘性シルト 地山ブロック微量含む

380SP



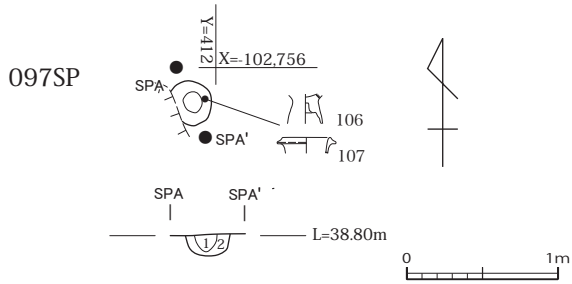
1, 10YR4/3にぶい黄褐色粘性シルト
2, 10YR4/2灰黄褐色粘性シルト 炭化物微量含む 柱痕
3, 10YR4/2灰黄褐色粘性シルト 地山土混じる

451SP



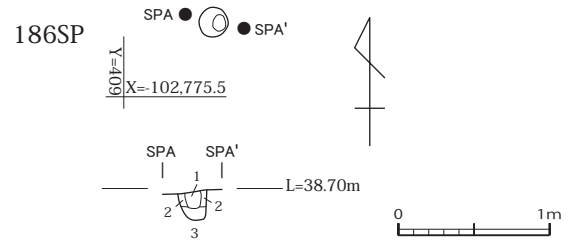
1,10YR4/2灰黄褐色粘性シルト 炭化物微量含む 柱痕
2,10YR4/3にぶい黄褐色粘性シルト 地山ブロック微量含む

097SP



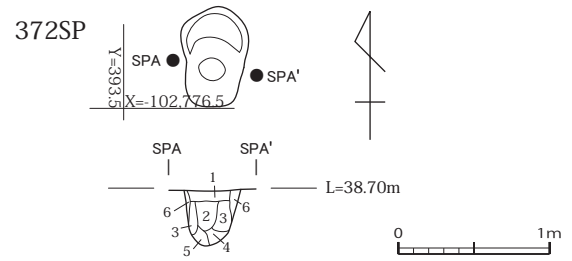
1,7.5YR3/2黒褐色粘性シルト 炭化物微量含む 遺物含む
2,7.5YR3/3暗褐色粘性シルト 地山ブロック多く含む

186SP



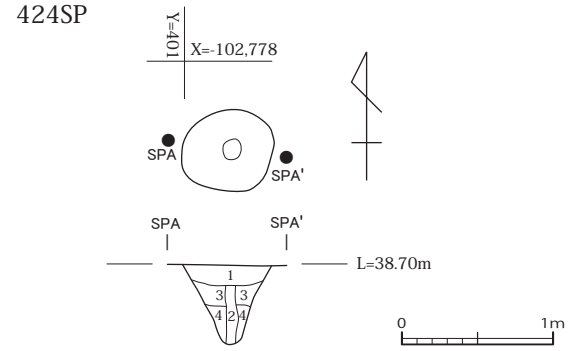
1,10YR5/2灰黄褐色粘性シルト マンガンの集積斑状に混じる 柱痕
2,10YR4/2灰黄褐色粘性シルト 炭化物微量含む 地山土微量混じる
3,10YR4/1褐灰色粘性シルト 地山ブロック多く含む

372SP



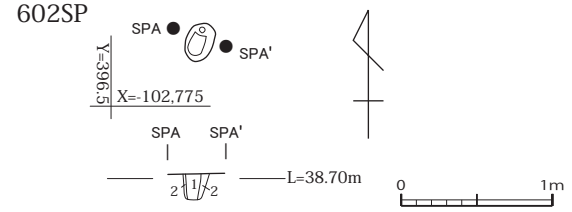
1, 10YR4/3にぶい黄褐色粘性シルト 径3～5㎜炭化物含む
2, 10YR4/2灰黄褐色粘性シルト 柱痕か
3, 10YR4/2灰黄褐色粘性シルト 地山ブロック微量含む
4, 10YR4/2灰黄褐色粘性シルト 地山ブロック多く含む
5, 10YR3/2黒褐色粘性シルト 地山ブロック微量含む
6, 10YR5/3にぶい黄褐色粘性 ルト 地山ブロック多く含む

424SP



1, 10YR5/2灰黄褐色粘性シルト マンガンの集積斑状に混じる
2, 10YR4/2灰黄褐色粘性シルト 柱痕
3, 10YR4/3にぶい黄褐色粘性シルト 地山ブロック微量含む
4, 7.5YR4/2灰褐色粘性シルト 地山ブロック微量含む

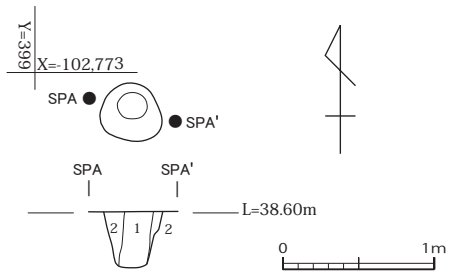
602SP



1, 7.5YR4/2灰褐色粘性シルト 地山ブロック微量含む 柱痕
2, 7.5YR4/1褐灰色粘性シルト 地山ブロック多く含む

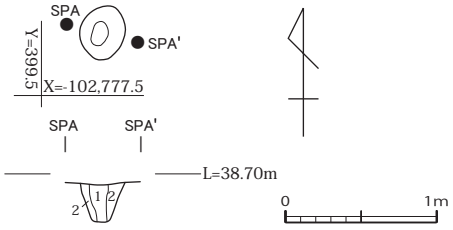
図 27　ピット -1　1:50

611SP



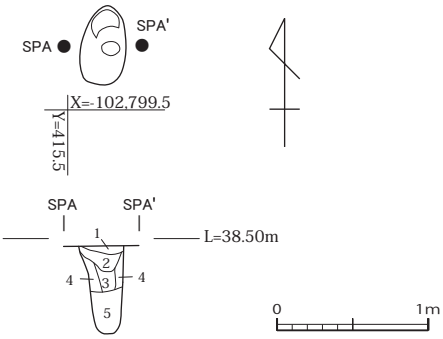
1, 7.5YR4/2灰褐色粘性シルト 柱痕
2, 7.5YR5/2灰褐色粘性シルト 炭化物微量含む 地山土微量混じる

656SP



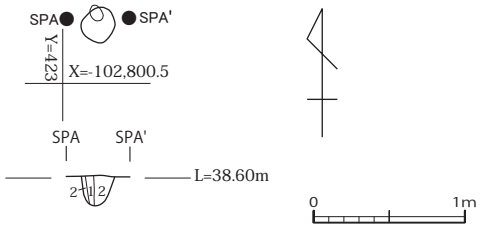
1, 7.5YR4/3褐色粘性シルト 炭化物微量含む 柱痕
2, 7.5YR4/2灰褐色粘性シルト 炭化物微量含む
地山ブロック含む

942SP



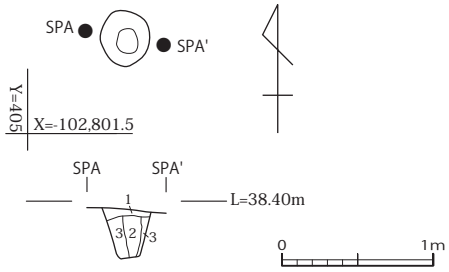
1, 10YR4/2灰黄褐色粘性シルト 地山ブロック微量含む
2, 10YR4/3にぶい黄褐色粘性シルト 地山ブロック多く含む
3, 7.5YR4/2灰褐色粘性シルト 炭化物微量含む 地山土微量混じる
マンガンの集積斑状に混じる 柱痕
4, 7.5YR4/1褐灰色粘性シルト 焼土微量含む マンガンの集積斑状に混じる
5, 7.5YR3/3暗褐色粘性シルト 遺物含む

955SP



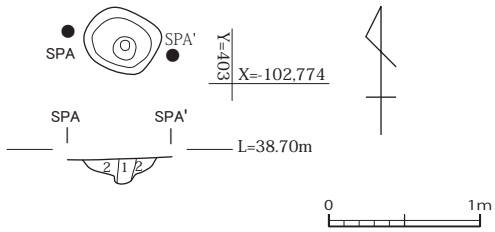
1,7.5YR4/2灰褐色粘性シルト 柱痕
2,7.5YR4/1褐灰色粘性シルト 焼土微量含む 地山土微量混じる

1030SP



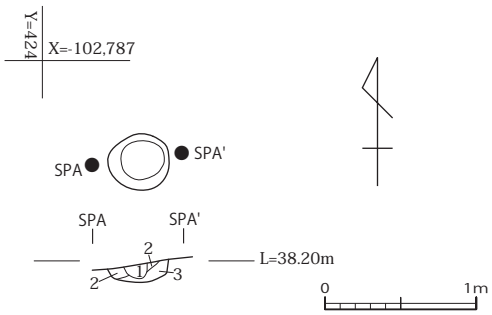
1, 10YR4/1褐灰色粘性シルト マンガンの集積斑状に混じる
2, 10YR4/2灰黄褐色粘性シルト 炭化物微量含む
径2～3㎝礫含む マンガンの集積斑状に混じる 柱痕
3, 7.5YR4/1褐灰色粘性シルト マンガンの集積斑状に混じる

613SP



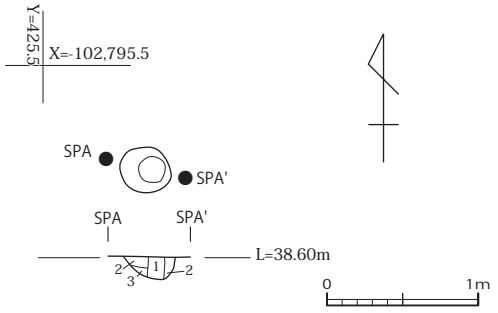
1, 7.5YR4/2灰褐色粘性シルト 地山土微量混じる 柱痕
2, 7.5YR5/2灰褐色粘性シルト 炭化物微量含む
地山ブロック多く含む

888SP



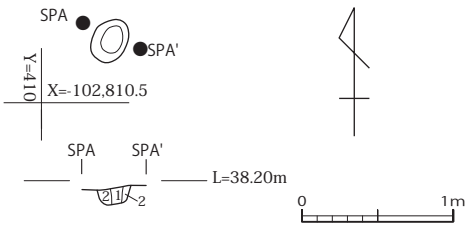
1, 7.5YR4/2灰褐色粘性シルト 炭化物微量含む 柱痕
2, 7.5YR3/3暗褐色粘性シルト
3, 7.5YR3/2黒褐色粘性シルト 地山ブロック微量含む

948SP



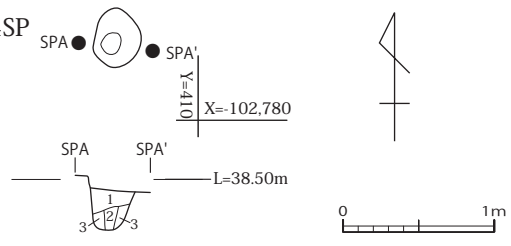
1, 10YR4/2灰黄褐色粘性シルト 柱痕
2, 10YR4/3にぶい黄褐色粘性シルト 地山土微量混じる
3, 10YR4/4 褐色粘性シルト

963SP



1, 10YR4/2灰黄褐色粘性シルト マンガンの集積斑状に混じる
径3～5㎜マンガン結核含む 地山土混じる 柱痕
2, 10YR4/1褐灰色粘性シルト 地山土微量混じる 径3～5㎜マンガン結核含む

1124SP



1, 10YR5/2灰黄褐色粘性シルト 焼土微量含む
マンガンの集積斑状に混じる 径3～5㎜マンガン結核含む
2, 10YR4/2灰黄褐色粘性シルト 地山ブロック微量含む
マンガンの集積斑状に混じる 径2～3㎜マンガン結核含む 柱痕
3, 10YR4/1褐灰色粘性シルト 地山ブロック含む
マンガンの集積斑状に混じる 径2～3㎜マンガン結核含む

図28　ピット-2　1:50

とは重複せず、21区南側でこれと合流する。また、Ｆ－Ｆ’～Ｈ－Ｈ’ラインまでは、ａ層とｃ層のみが確認され、このうちｃ層は調査区外へと伸び、最上層となるｂ層はＡライン～Ｅラインで確認できる。21Ａ区では244SDはｃ・ｄ層以降、770SDと806SDはｄ層と、21A区の主軸を東西とする溝群とはｃ・ｄ層（特にｄ層）に対応している。298SDはｂ層に対応する。別遺構との重複は、173SD・765SL・095SX・1164SXを切り、21B区では957SD・1041SDに切られる。出土遺物は（図56-133～150、218～277、図57-151～217、図62-387・388）を図示した。775415グリッド付近でｂ層に伴う土師器皿の集中域が確認されている（図30・32）。なお、集中域の出土遺物は、付表３の備考欄に記入している。

008SD（図40）

Ａ区西側で確認できた。140SDの北西隅に位置する。全長6.2ｍを検出するが、西側は調査区外となる。幅0.4ｍで、深さは0.1ｍとなる。主軸はN-78°-Wだが、東端で鈍く屈曲し、N-47°-Ｅをはかる。出土遺物は（図58-228）を図示した。

044SD（図版2・3）

Ａ区北側で確認できた。140SDの北に位置する。全長12.3ｍを検出する。幅は0.6ｍで、深さは0.1ｍとなるが、北端から3.1～5.2ｍ間では幅を広げ、0.6ｍとなる。主軸はN-14°-Wをはかる。出土遺物は得られなかった。

098SD（図41・44）

Ａ区東側で確認できた。140SDの北区画の北東隅に近接する。全長10.0ｍを検出するが、わずかに弧状を呈する。幅0.8ｍで、深さは0.1ｍとなる。主軸はN-６°-Ｅをはかる。出土遺物は中世土器小片を得た。

107SD（図30・図版39）

Ａ区東側で確認できた。003SDの東側に位置し、全長3.4ｍを検出するが、北側は調査区外となる。幅は1.0ｍで、深さは0.2ｍとなる。主軸はN-４°-Wをはかる。出土遺物は（図58-230～249、251～253、図62-389）を図示した。なお、南側にやや集中して10～20㎝大の花崗岩・濃飛流紋岩・アプライト・チャートなどの礫が点在している。

139SD（図41・43・45・46、図版37・38）

Ａ区西側で確認できた。433SK･140SDを切り、南端は578SKと接する。全長32.5ｍを検出し、幅は0.3ｍ～0.6ｍ、深さは0.2ｍとなる。長軸に沿って東側に寄せて、10～20㎝程度の礫を１～２段程度積み上げた石組みが残存する。石組みは基本的に長辺を東西方向に積み上げて東側を揃えた構造となっている。断面の埋土を観察すると、礫列を挟んで西側と東側の埋土が異なり、後者が石組みの裏込めであったことが想定される。使用石材は、濃飛流紋岩・ヘンマ岩・チャート・フォルンフェルス・花崗岩などで構成されている。主軸はN-７°-Ｅをはかる。出土遺物は（図58-250、図62-390）を図示した。

140SD（図40～45、図版37・38）

Ａ区西側で確認できた。139SD・578SKに切られ、411SIを切る。南東端では244SDと接する。やや東側に偏する長方形の区画を形成する溝で、内側下端で計測した規模は、南北方向が29.6ｍで、東西は北側が東西11.5ｍ、南側は14.2ｍとなる。溝の幅と深さは一様ではなく、東側は幅0.8ｍ、深さは0.3ｍ、西側が、幅2.1ｍ、深さは0.4ｍ、南側は幅0.8ｍ、深さは0.1ｍ、北側は幅1.3ｍ、深さは0.4ｍとなるが、285SDにより北区画と南区画に分割されている。東溝で計測した主軸は北区画がN-15°-Ｅ、南区画が、N-５°-Ｅをはかる。各区画の規模を溝内側の下場で計測すると、北区画が東西11.3ｍ、南北は12.0ｍ、南区画が東西14.3ｍ、南北は17.0ｍ。北区画南側と南区画北側には小型の土坑が集中し、1027SB・1205SBなどの掘立柱建物も確認されている。出土遺物は（図58-254～260、図62-391）を図

示した。

171SD（図 29）

Ａ区東側で確認できた。095SX を切る。173SD と並行する。全長 3.3 ｍを検出し、幅 0.1 m、深さは 0.1 ｍとなる。主軸はN-19°-Ｅをはかる。出土遺物は中世土器の小片を得た。

173SD（図 29）

Ａ区東側で確認できた。北側を 003SD に切られ、765SL を切る。全長 1.8 ｍを検出するが、北側は調査区外となる。幅 0.3 m、深さは 0.1 m、主軸はN-19°-Ｅをはかる。出土遺物は中世土器の小片を得た。

179SD（図 47）

Ａ区東側で確認できた。西側に 140SD が位置しており、端部との間隔は 2.1 ｍとなる。南側 3.2 ｍが 180SD と並行するＬ字状の溝で、東西 1.4 m、南北は 3.4 m、幅 0.6 ｍで、深さは 0.1 ｍとなる。180SD との間隔は 0.6 m。主軸は東西がN-78°-W、南北はN-９°-Ｅをはかる。出土遺物は中世土器の小片を得た。

180SD（図 47）

Ａ区東側で確認できた。南端部が 770SD に接続する。北側が 179SD と並行するＬ字状の溝で、東西 3.2 m、南北は 13.0 m、幅は 0.4 ｍで、深さは 0.3 ｍとなる。屈曲地点より 3.1 ｍ南側地点で西側に分岐する。分岐部分の端部は撹乱により消滅するが、最大でも全長 3.0 m程度となる。主軸は東西がN-77°-W、南北はN-4°-Ｅをはかる。179SD との間隔は 0.6 m。西側には 140SD が位置しており、端部との間隔は 2.1 ｍとなる。出土遺物は（図 58-261・262）を図示した。

244SD（図 49・50、図版 39）

Ａ区南側で確認できた。600SB（838SP・790SP）を切り、西側は 140SD、東端が 003SD と接続する。全長 13.6 ｍを検出し、幅 1.3 m、深さは 0.3 ｍとなる。主軸はN-87°-Wをはかる。003SD との接続部分を中心に、５～ 20 ㎝大の多量の礫や土器類を含む。出土遺物は（図 58-263 ～ 271、図 62-392）を図示した。

262SD（図 42）

Ａ区西側で確認できた。140SD・285SD と近接し、東側を 263SK に切られる。003SD の c 層以降に合流する。全長は 1.1 ｍまで検出し、幅 0.5 m、深さは 0.2 ｍとなる。主軸はN-73°-Ｅをはかる。出土遺物は得られなかった。

285SD（図 42・43）

Ａ区西側で確認できた。618SP（1205SB）を切る。140SD の区画を分割する溝で、両端が 140SD と接する。全長 11.0 ｍを検出し、幅 0.4 m、深さは 0.1 ｍとなる。主軸はN-75°-Wをはかる。出土遺物は（図 59-272）を図示した。

297SD（図 31・32、39）

Ａ区東側で確認できた。299SD-B・900SD・1137SD を切る。全長 1.6 ｍを検出するが、南北端は撹乱によって消失し、21 Ａ区と 21 Ｂ区の境界部は削平されて一部が消滅する。幅は 0.5 m、深さは 0.1 ｍとなる。主軸はN-４°-Wをはかる。上面に５～ 10 ㎝大の礫が点在するが、これらは後述する 299SD-A の上面にも及んでいる。297SD の埋没最終段階には 299SD-A の窪地も残存したため、これらに礫が集められた可能性が高い。出土遺物は（図 59-273）を図示した。

298SD（図 31 ～ 33・37・38）

Ａ区南東側～ 21 Ｂ区北西側で確認できた。299SD-A を切り、003SD・957SD・1125SD に切られる。並

走する 003SD はｂ層に対応する。全長 20.4 ｍを検出するが、北側は調査区外となる。幅は 0.9 ～ 1.2 ｍで、深さは 0.2 ｍとなる。クランク状に屈曲して、屈曲部と南端は 003SD と接続し、Ｅ－Ｅ’ラインでは、003SD のｄ層・ｂ層に切られる。主軸はN－３°-Wをはかる。出土遺物は南端部にやや集中が認められる。（図 59-274 ～ 284）を図示した。

299SD（図 32 ～ 33・37・39、図版 39）

Ａ・Ｂ区東側で確認できた。南端部は撹乱により消滅する。北側は調査区外で検出した。21 Ａ区の調査時に南壁付近で中央部が 297SD に切られるものと考え、西側を 299SD-A、東側を 299SD-B と区分したが、21 Ｂ区においては 297SD の両側にこれが分かれる様子が確認できた。このため、本来はこれらを別遺構として認識すべきだったのかもしれないが、混乱を避けるため調査時の遺構番号を踏襲している。

西側の 299SD-A は、全長 19.0 ｍ、幅 0.7 ～ 1.3 ｍ、深さは 0.3 ｍ。主軸は 21 Ａ区ではN－３°-Ｅをはかるが、21 Ｂ区においては緩やかに蛇行する。003SD を切り、297SD・298SD・1125SD に切られ、南端は不鮮明となる。出土遺物は（図 59-285 ～ 321、図 62-393 ～ 395、図 63- Ｓ７）を図示した。なお、790420 グリッド付近の上層で土師器皿の集中域が確認されている（図 32）。集中域の出土遺物は、付表３の備考欄に記入している。

東側の 299SD-B は、全長 15.0 ｍ、幅 0.4 ～ 0.7 ｍ、深さは 0.3 ｍで、主軸はN－４°-Wをはかる。297SD-B に切られる。出土遺物は（図 59-322）を図示した。

337SD（図版 9・10）

Ａ区南側・21 Ｂ区北側で確認できた。1040SD と間隔 0.8 ｍで並行し、1041SD とは間隔 0.6 ｍで直交する。800SB と重複するが、柱穴は切り合わない。全長 16.0 ｍを検出し、幅 10.0 ｍ、深さは 0.2 ｍとなる。主軸はN－２°-Wをはかる。出土遺物は（図 60-324 ～ 326）を図示した。

350SD（図 42）

Ａ区西側で確認できた。1205SB（639SP）を切る。全長 2.6 ｍを検出するが、西端は撹乱により消滅する。幅 0.5 ｍ、深さは 0.1 ｍとなる。主軸はN-74°-Ｅをはかる。出土遺物は得られなかった。

406SD（図 47）

Ａ区東側で確認できた。179SD に切られる。全長 0.3 ｍまで検出し、幅 0.2 ｍ、深さは 0.2 ｍとなる。主軸はN-56°-Wをはかる。出土遺物は（図 60-327）を図示した。

410SD（図 31・39）

Ａ区東側で確認できた。298SD と並行する。全長 1.2 ｍを検出するが、北側は撹乱により消滅する。幅 0.6 ｍ、深さ 0.2 ｍとなる。主軸はN-15°-Ｅをはかる。出土遺物は得られなかった。

437SD（図 45・図版 39）

Ａ区西側で確認できた。140SD・580SA の南西屈曲部に位置し、580SA（575SP・585SP）に切られ、557SD と並行する。全長 5.4 ｍを検出し、幅 0.5 ｍ、深さは 0.1 ｍとなる。主軸はN－８°-Ｅをはかる。出土遺物は中世土器の小片を得た。

519SD（図 47）

Ａ区東側で確認できた。179SD・180SD に切られる。東西 2.0 ｍ、南北は 0.3 ｍで、幅は 0.3 ｍ、深さは 0.1 ｍとなる。主軸はN-87°-Wをはかる。出土遺物は得られなかった。

544SD（図 9）

Ａ区西側で確認できた。411SI を切る。全長 2.7 ｍを検出し、幅 0.5 ｍ、深さ 0.3 ｍとなる。主軸はN－３°-Ｅをはかる。出土遺物は（図 60-328 ～ 330）を図示した。

577SD（図 45・図版 39）

Ａ区西側で確認できた。140SD・580SA の南西屈曲部に位置し、437SD と並行する。全長 2.8 ｍを検出し、幅 0.7 ｍ、深さは 0.2 ｍとなる。主軸はN－８°－Ｅをはかる。出土遺物は中世土器の小片を得た。

622SD（図 42）

Ａ区西側で確認できた。西側は 140SD と接し、285SD・350SD とほぼ並行する。全長 2.1 ｍを検出し、幅 0.8 ｍ、深さは 0.2 ｍとなる。主軸はN-74°-Wをはかる。出土遺物は中世土器の小片を得た。

770SD（図 48）

Ａ区南側で確認できた。東側が 003SD、西側が 180SD と接し、600SK・790SD・160SK・784SK・600SB（836SK・824SK）・819SE・807SK に切られる。全長 8.5 ｍを検出し、幅 2.6 ｍ、深さは 0.2 ｍとなる。主軸はN-86°-Wをはかる。出土遺物は（図 60-331 ～ 342、図 62-396）を図示した。

779SD（図 48）

Ａ区南側で確認できた。細長い土坑とも理解できるが、ここでは溝として報告する。003SD・806SD・600SB（820SK）を切る。全長 5.2 ｍを検出し、幅 1.6 ｍ、深さは 0.1 ｍとなる。主軸はN-77°-Wをはかる。出土遺物は（図 60-343）を図示した。

806SD（図 48）

Ａ区南側で確認できた。779SD・782ST に切られ、600SB（820SK）を切る。東側は 003SD のｄ・ｂ層に接続する。全長 5.3 ｍを検出し、幅 1.6 ｍ、深さは 0.1 ｍとなる。主軸はN-88°-Wをはかる。出土遺物は得られなかった。

852SD（図版 11）

Ｂ区南側で確認できた。700SB の南側に位置し、北側は撹乱により消滅する。全長 3.8 ｍを検出し、幅 0.2 ｍ、深さは 0.1 ｍとなる。主軸はN-17°-Ｅをはかる。出土遺物は得られなかった。

857SD（図版 14）

Ｂ区南側で確認できた。864SK の北側に位置し、西側は調査区外となる。全長 12.7 ｍを検出し、幅 0.3 ｍ、深さは 0.1 ｍとなる。主軸はN-77°-Wをはかる。出土遺物は得られなかった。

885SD（図版 11・14）

Ｂ区南側で確認できた。852SD の東側、857SD の北側に位置し、全長 2.1 ｍを検出し、幅 0.2 ｍ、深さは 0.1 ｍとなる。主軸はN-17°-Ｅをはかる。出土遺物は得られなかった。

900SD（図 32・39）

Ｂ区北部で確認できた。297SD・299SD-B・1137SD に切られる。東端は攪乱により消失する。全長 3.2 ｍを検出し、幅 0.6 ｍ、深さは 0.1 ｍとなる。主軸はN-90°-Ｅをはかる。出土遺物は中世土器の小片を得た。

957SD（図 33・38）

Ｂ区北側で確認できた。003SD・298SD を切り、南端は撹乱により消失する。3.8 ｍまで検出し、幅 0.8 ｍ、深さは 0.3 ｍとなる。主軸はN-37°-Wをはかる。出土遺物は（図 60-345）を図示した。

987SD（図版 11）

Ｂ区南側で確認できた。825SD の北西側に位置し、全長 2.4 ｍを検出し、幅 0.3 ｍ、深さは 0.1 ｍとなる。主軸はN-17°-Ｅをはかる。出土遺物は得られなかった。

1041SD（図 36・39）

Ｂ区東側で確認できた。800SB の南側に近接し、003SD を切る。337SD と直交し、間隔は前者が 0.3 ｍ。全長 10.0 ｍを検出し、幅 0.6 ｍ、深さは 0.3 ｍとなる。埋土に多量の礫を含む。主軸はN-87°-Ｅをは

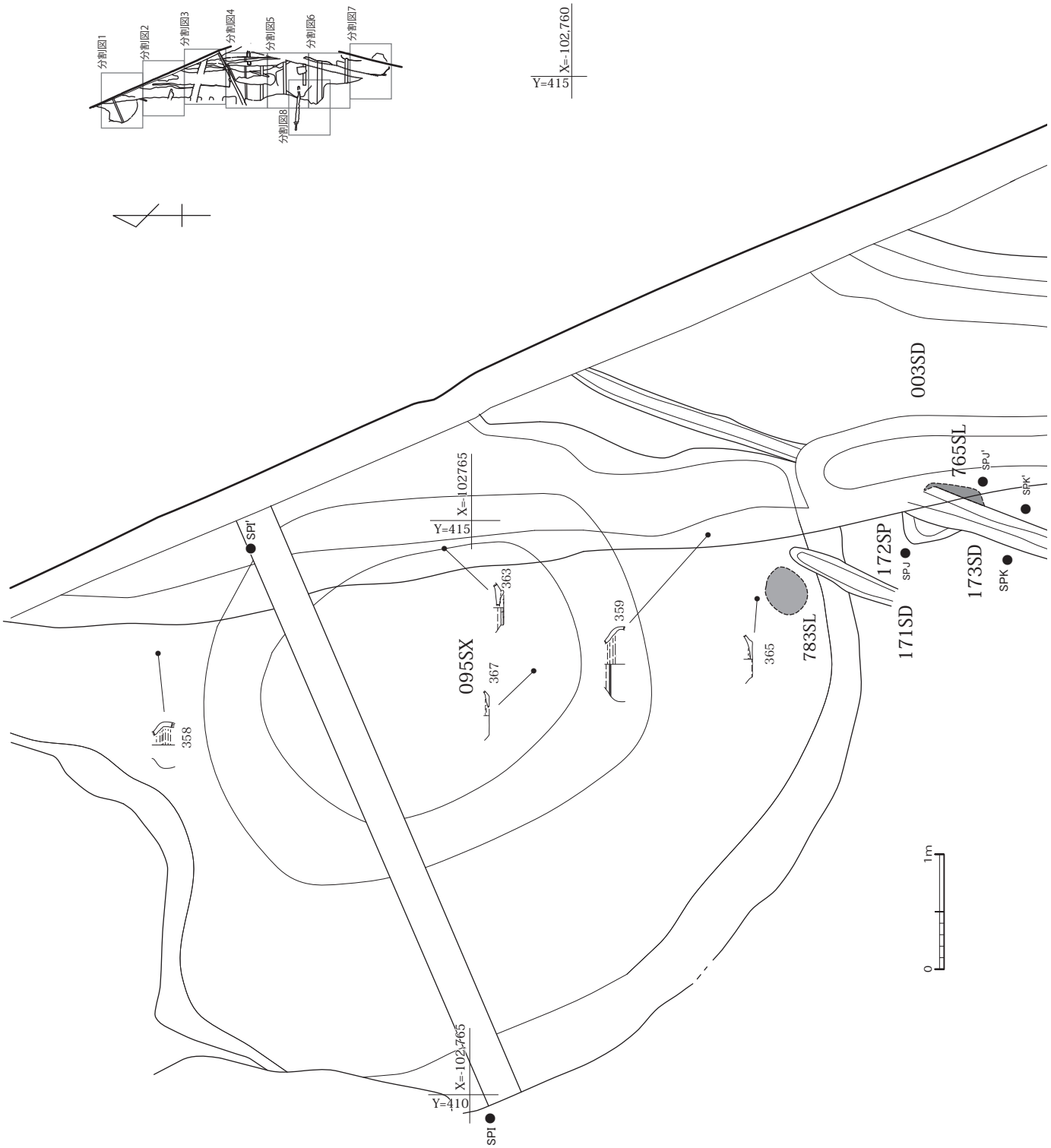


図 29　003SD 周辺分割図 -1　1:50

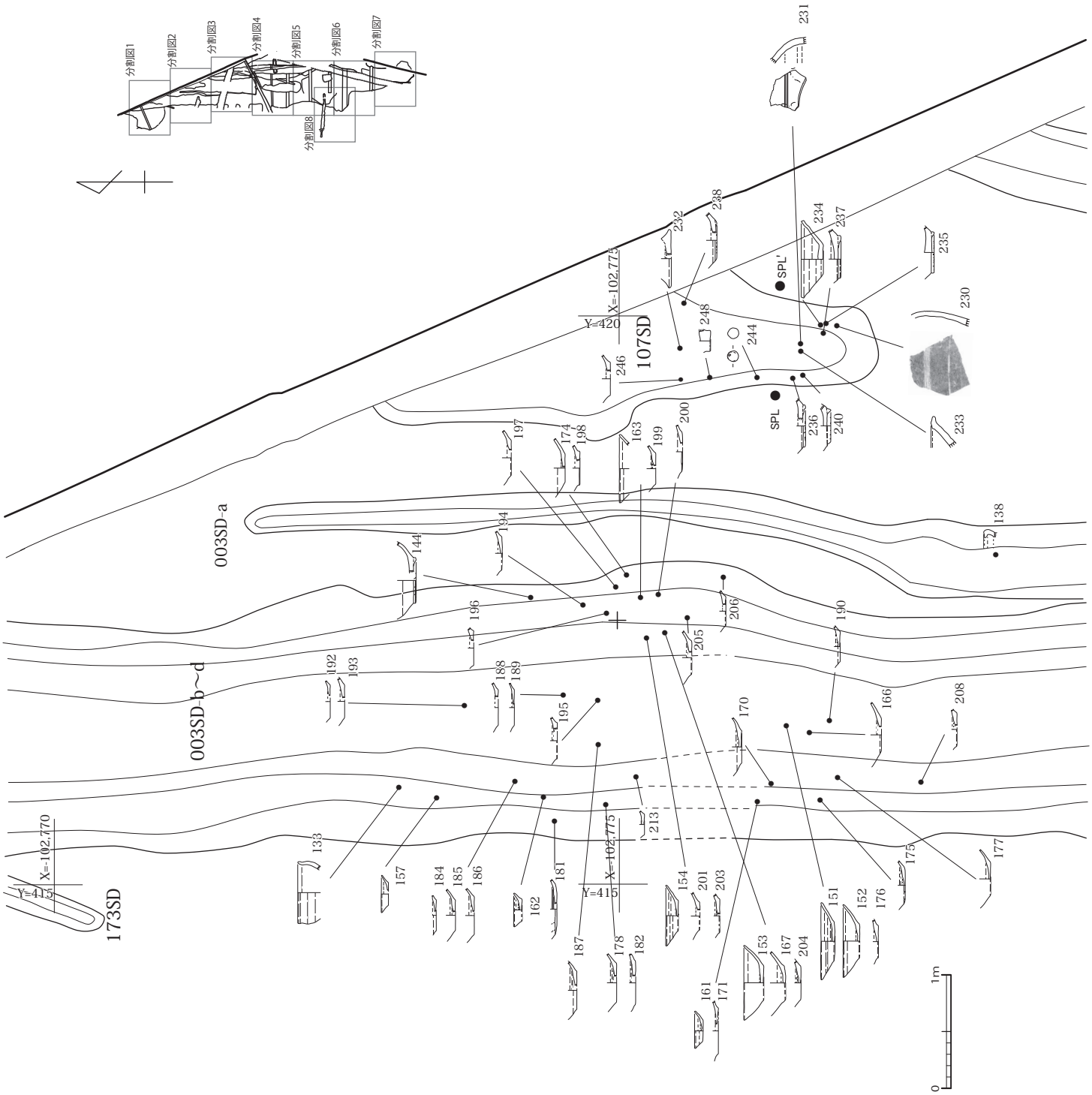


図 30　003SD 周辺分割図 -2　1:50

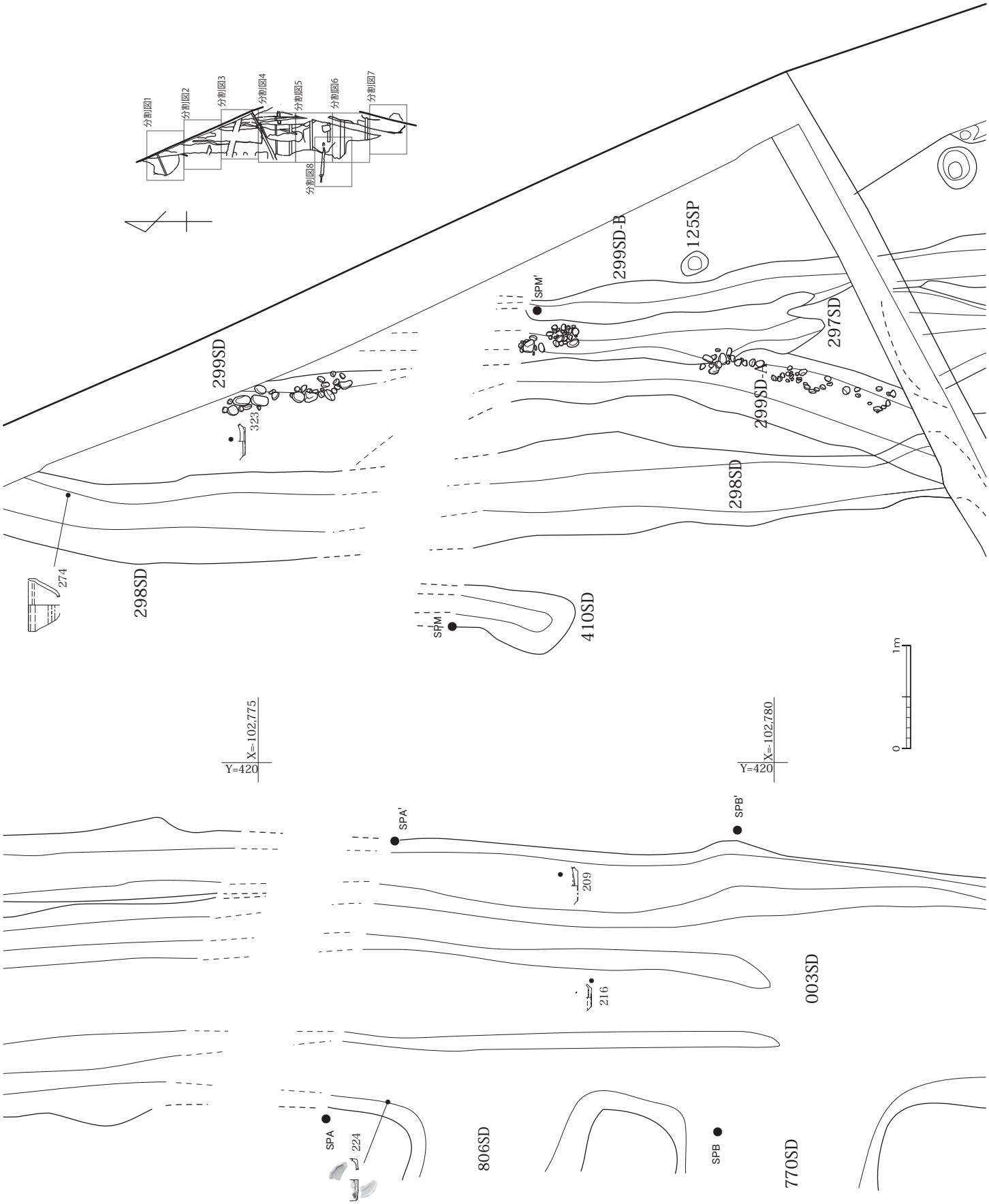


図 31　003SD 周辺分割図 -3　1:50

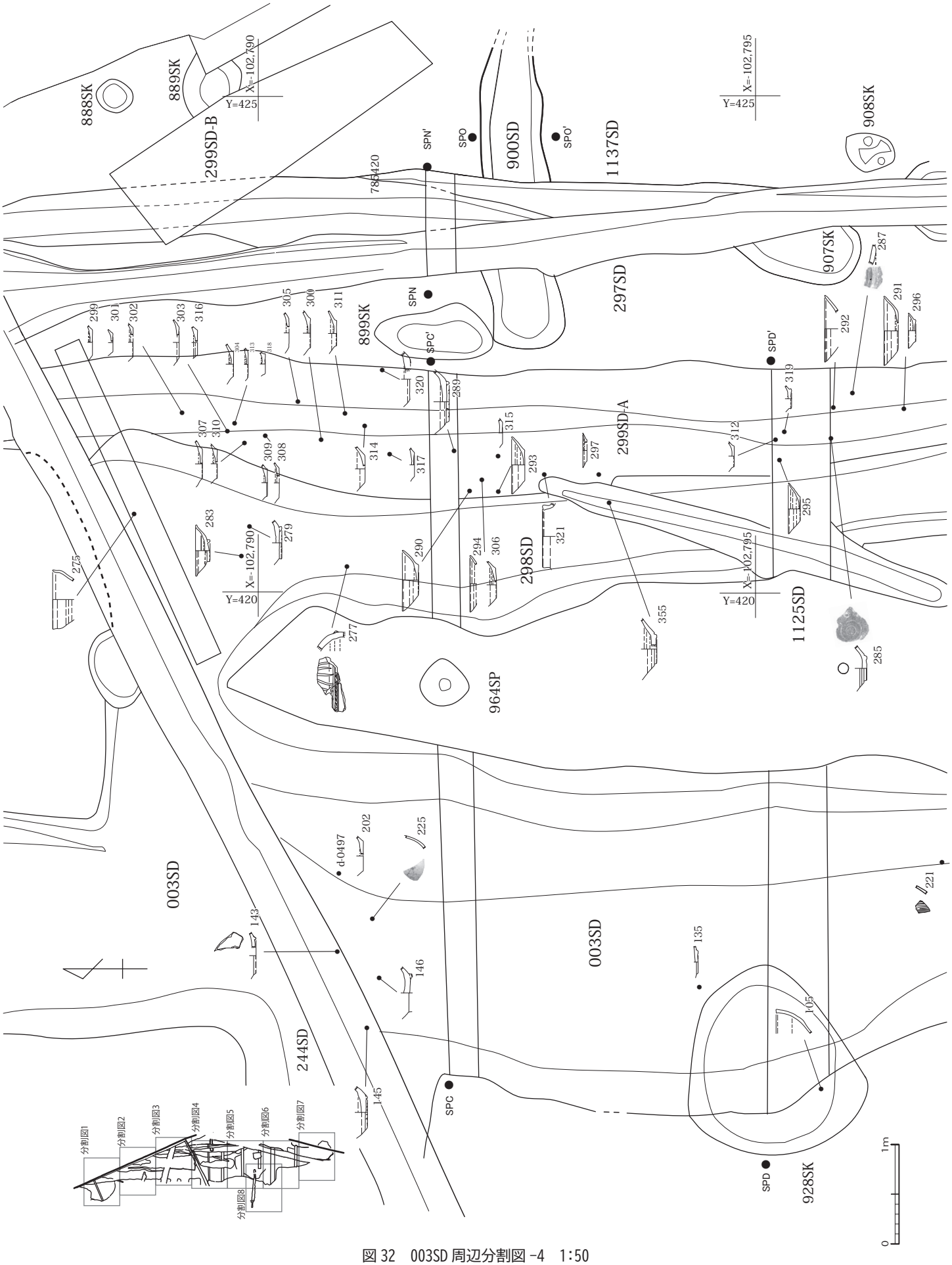


図 32　003SD 周辺分割図 -4　1:50

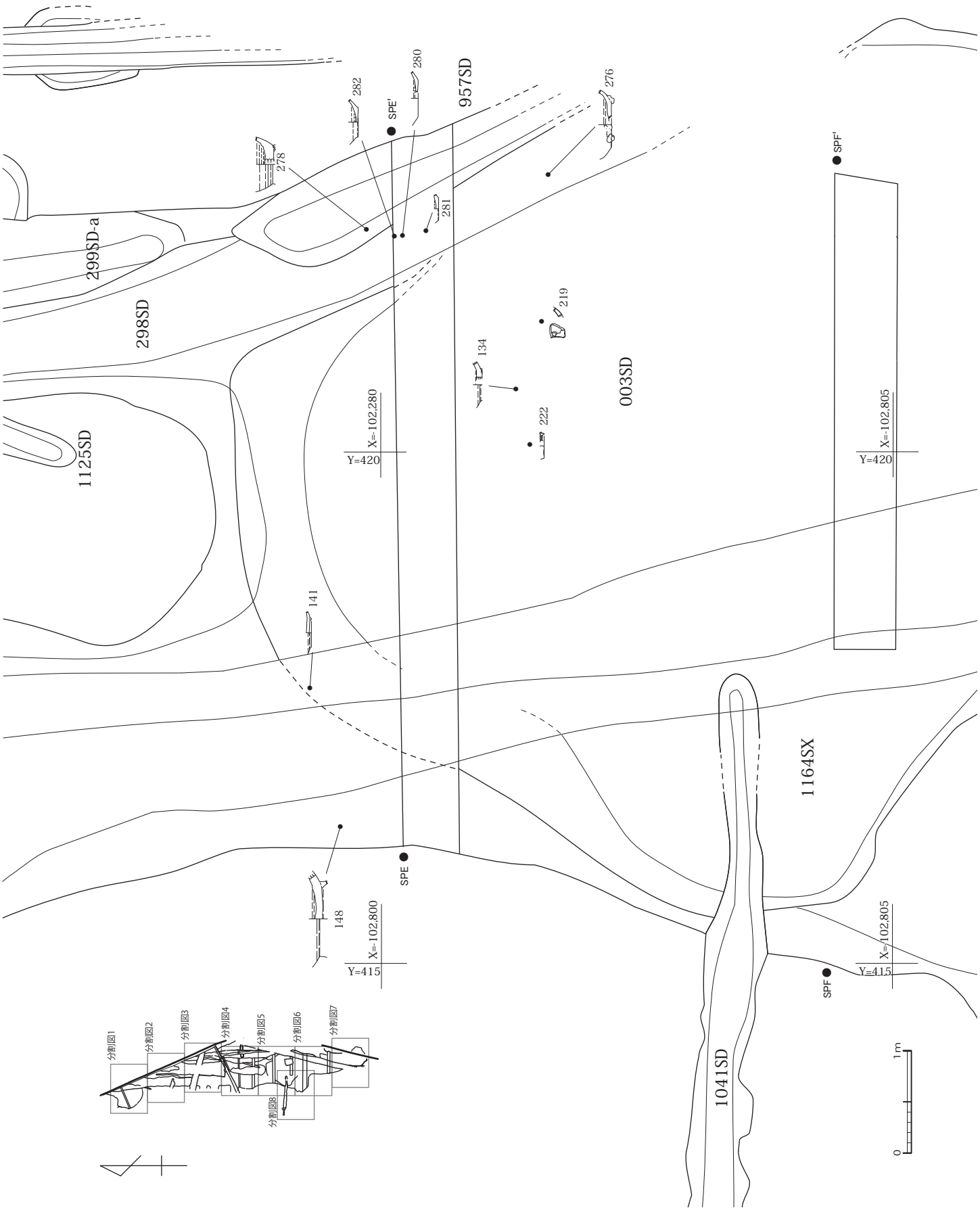


図 33　003SD 周辺分割図 -5　1:50

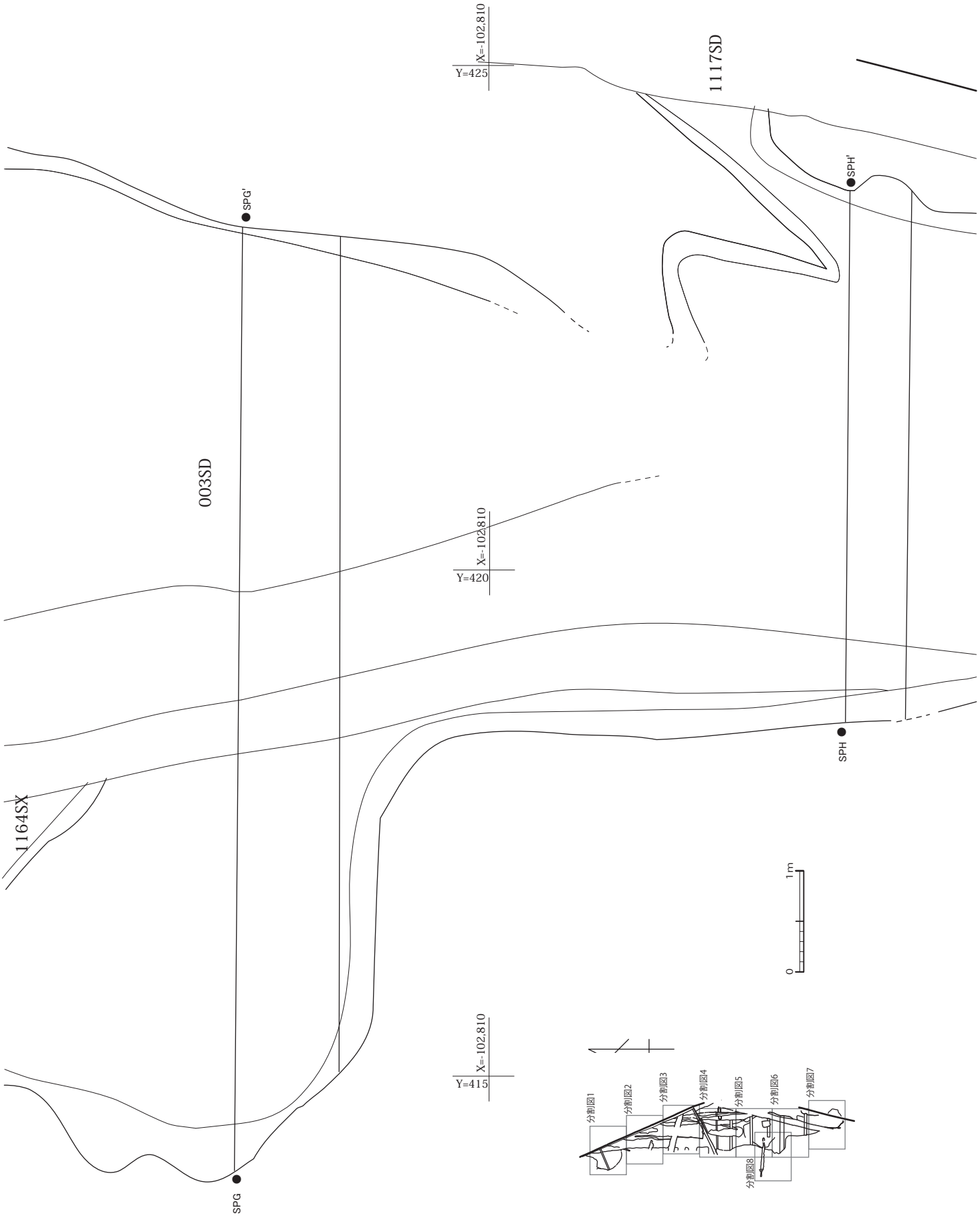


図 34　003SD 周辺分割図 -6　1:50

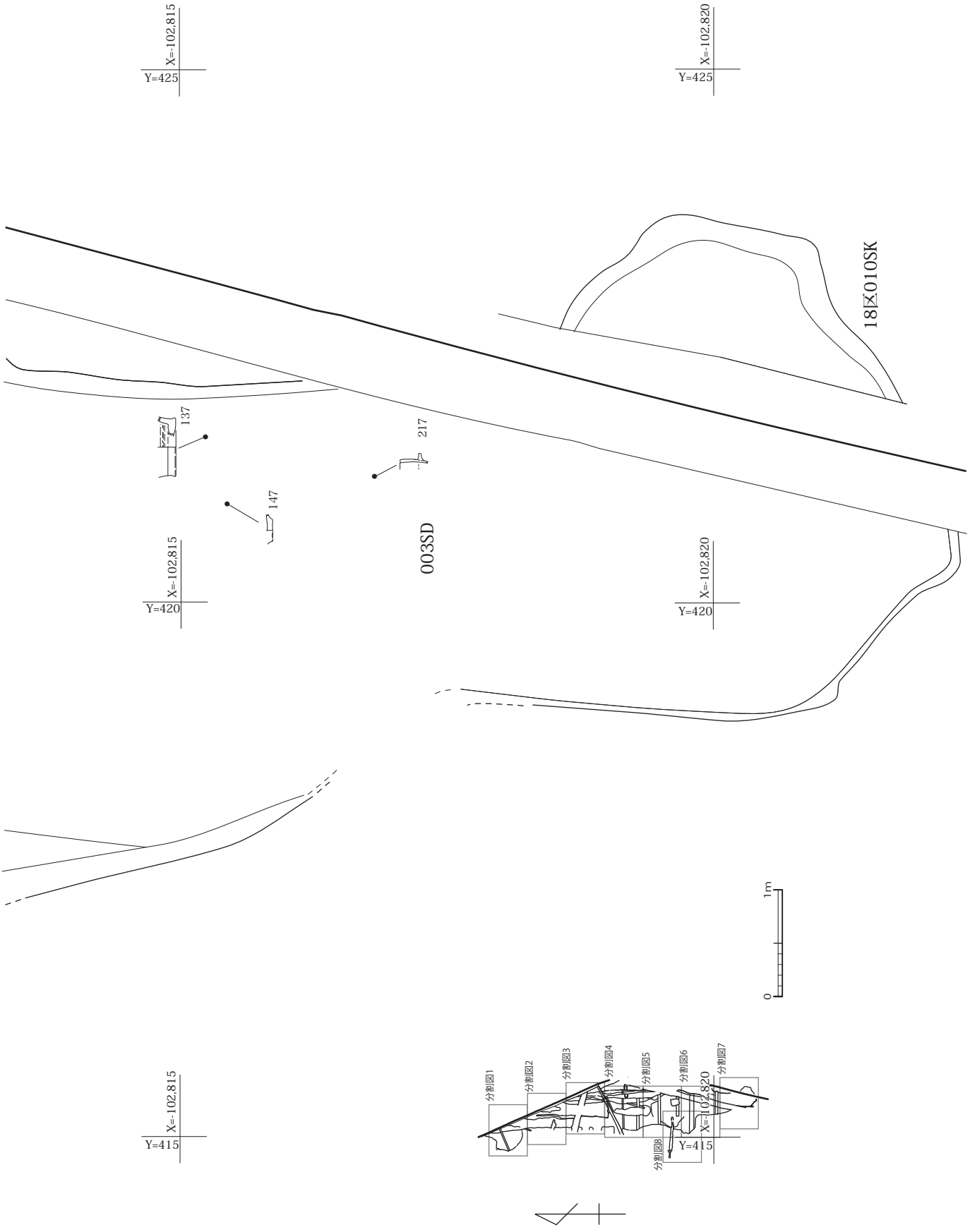


図 35　003SD 周辺分割図 -7　1:50

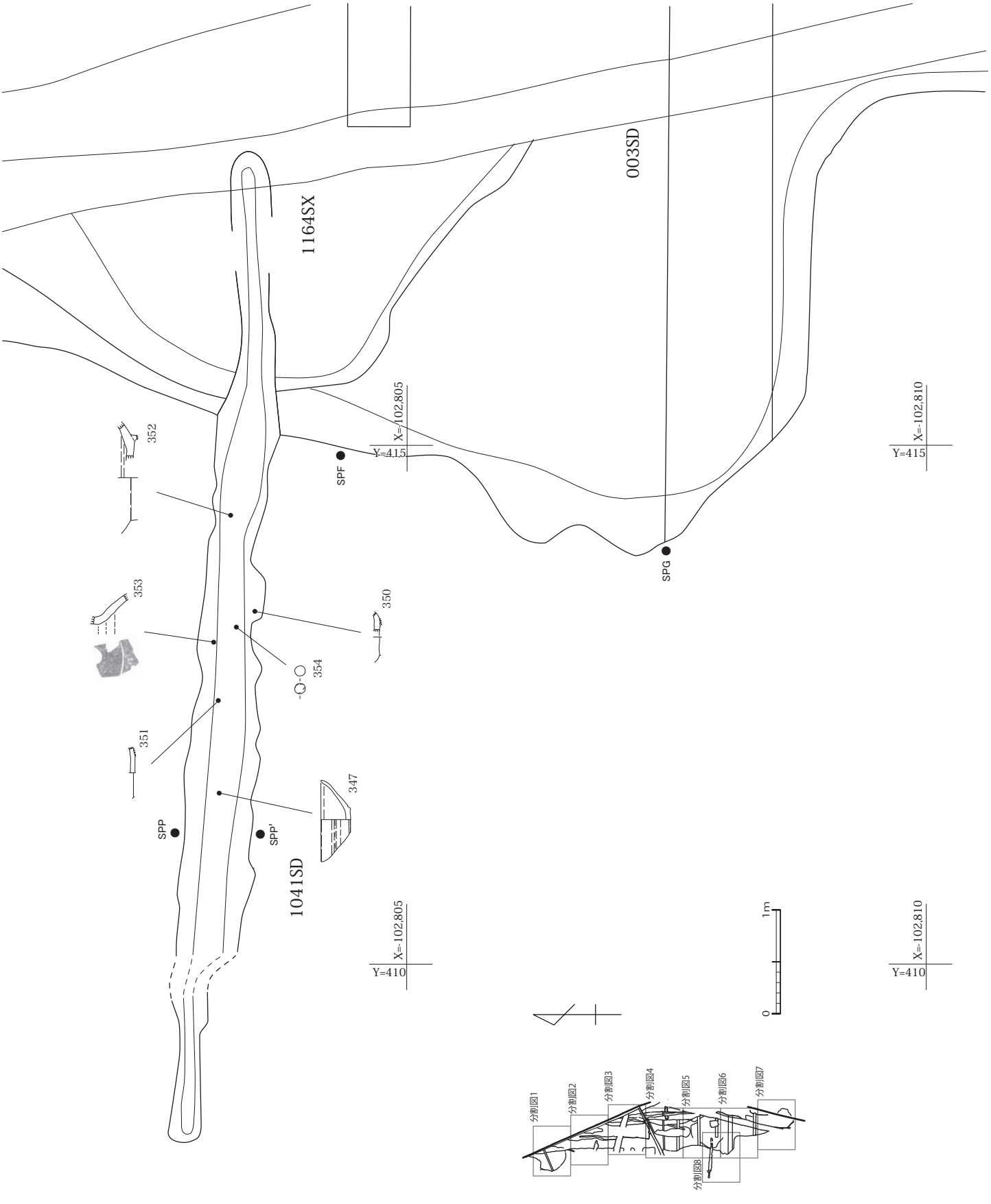
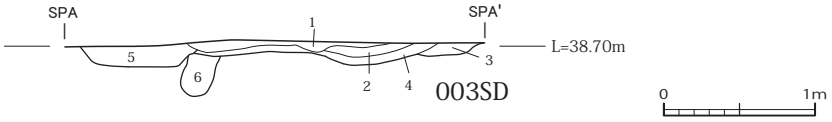
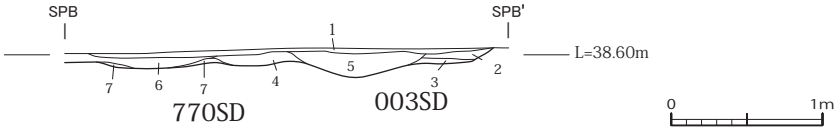


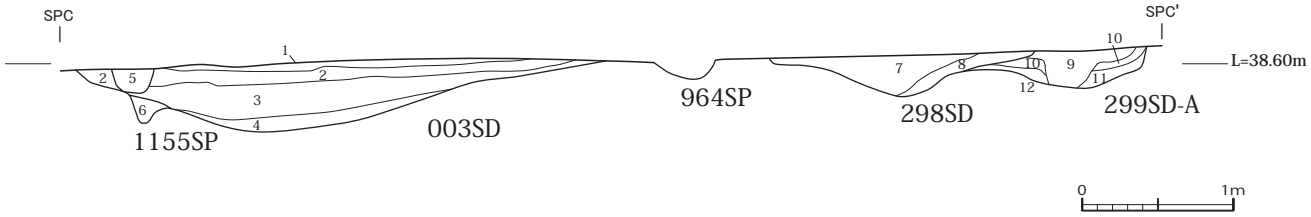
図 36　003SD 周辺分割図 -8　1:50



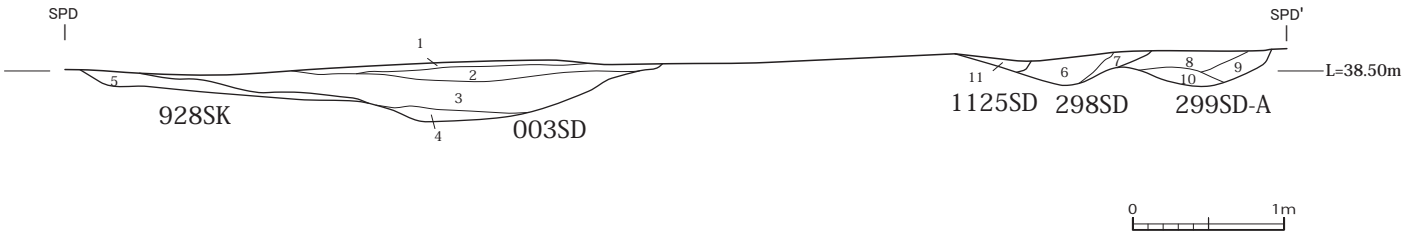
1, 10YR4/2灰黄褐色粘性シルト (003SD-b層)
2, 10YR4/3にぶい黄褐色粘性シルト (003SD-b層)
3, 10YR5/3にぶい黄褐色粘性シルト マンガンの集積斑状に混じる　(003SD-a層)
4, 10YR3/3暗褐色粘性シルト 焼土微量含む 炭化物微量含む 遺物含む マンガンの集積斑状に混じる (003SD-c層)
5, 10YR3/3暗褐色粘性シルト 焼土微量含む　炭化物微量含む 遺物含む マンガンの集積斑状に混じる (003SD-b層)
6, 10YR3/3暗褐色粘性シルト マンガンの集積斑状に混じる 地山ブロック含む



1, 10YR4/2灰黄褐色粘性シルト (003SD-ｂ層)
2, 10YR5/3にぶい黄褐色粘性シルト マンガン粒混じる (003SD-a層)
3, 7.5YR4/2灰褐色粘性シルト 地山ブロック含む (003SD-a層)
4, 10YR3/4暗褐色粘性シルト (003SD-c層,770SD)
5, 10YR3/3暗褐色粘性シルト 焼土微量含む 炭化物微量含む 遺物多く含む マンガン粒混じる (003SD-c層)
6, 10YR3/3暗褐色粘性シルト 5より明るい　マンガン粒混じる (003SD-d,770SD層)
7, 10YR5/2灰黄褐色粘性シルト 地山ブロック多く含む (770SD層)

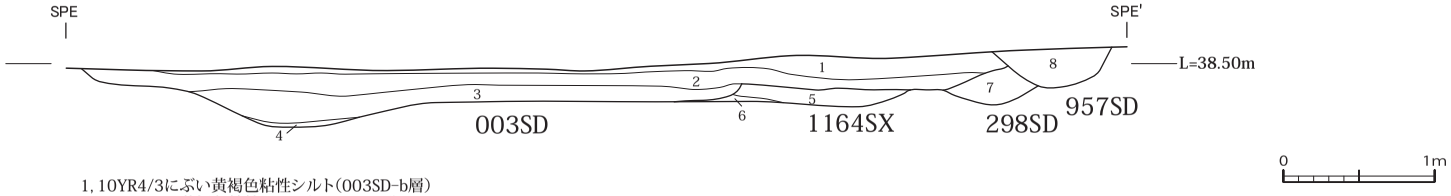


1, 10YR4/3にぶい黄褐色粘性シルト(003SD-b層)
2, 10YR4/2灰黄褐色粘性シルト(003SD-d層,244SD)
3, 10YR3/3暗褐色粘性シルト 焼土微量含む 炭化物微量含む マンガンの集積斑状に混じる(003SD-c層,244SD)
4, 10YR3/4暗褐色粘性シルト 焼土微量含む 炭化物微量含む マンガンの集積斑状に混じる 地山ブロック微量含む(003SD-a層)
5, 10YR4/1褐灰色粘性シルト 地山ブロック微量含む(SP)
6, 10YR4/2灰黄褐色粘性シルト マンガンの集積斑状に混じる(1155SP)
7, 10YR5/4にぶい黄褐色粘性シルト 焼土微量含む　炭化物微量含む　遺物含む(298SD)
8, 10YR4/3にぶい黄褐色粘性シルト 地山土微量混じる(298SD)
9, 10YR4/2灰黄褐色粘性シルト 炭化物微量含む　径5～10㎝円礫多く含む 遺物多く含む(299SD-A)
10,10YR4/2灰黄褐色粘性シルト 9より明るい 地山ブロック含む(299SD-A)
11,10YR4/1褐灰色粘性シルト(299SD-A)
12,10YR4/1褐灰色粘性シルト　11より暗い 地山ブロック多く含む(299SD-A)

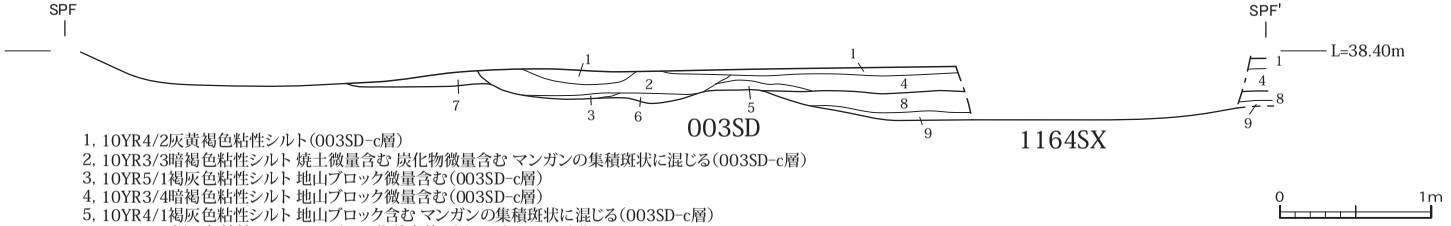


1, 10YR4/3にぶい黄褐色粘性シルト(003SD-b層)
2, 10YR4/2灰黄褐色粘性シルト(003SD-d層)
3, 10YR3/3暗褐色粘性シルト 焼土微量含む 炭化物微量含む マンガンの集積斑状に混じる(003SD-c層)
4, 10YR3/4暗褐色粘性シルト 焼土微量含む 炭化物微量含む マンガンの集積斑状に混じる 地山ブロック微量含む(003SD-a層)
5, 10YR3/3暗褐色粘性シルト 焼土微量含む 炭化物微量含む 下位に地山ブロック多く含む 径2㎜程度マンガン結核含む(928SK)
6, 10YR5/4にぶい黄褐色粘性シルト 焼土微量含む　炭化物微量含む 遺物含む(298SD)
7, 10YR4/3にぶい黄褐色粘性シルト 地山土微量混じる(298SD)
8, 10YR4/2灰黄褐色粘性シルト 炭化物微量含む　径5～10㎝円礫多く含む 遺物多く含む(299SD-A)
9, 10YR4/1褐灰色粘性シルト(299SD-A)
10,10YR3/4暗褐色粘性シルト マンガンの集積斑状に混じる(299SD-A)
11,10YR5/3にぶい黄褐色粘性シルト 径3㎝程度円礫含む(1125SD)

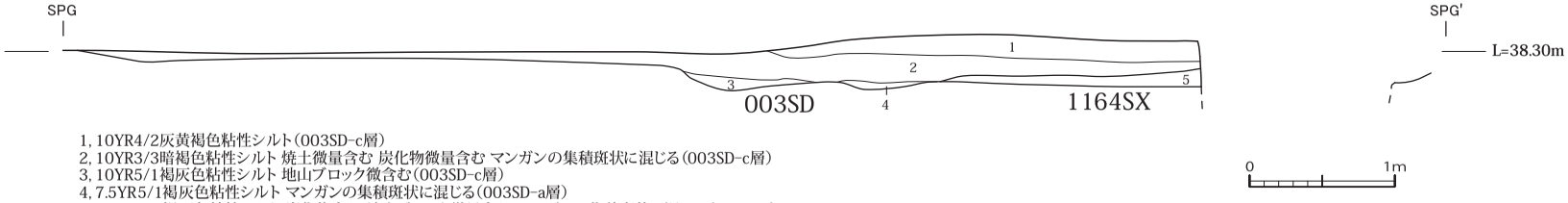
図 37　003SD 等断面図 -1　1:50



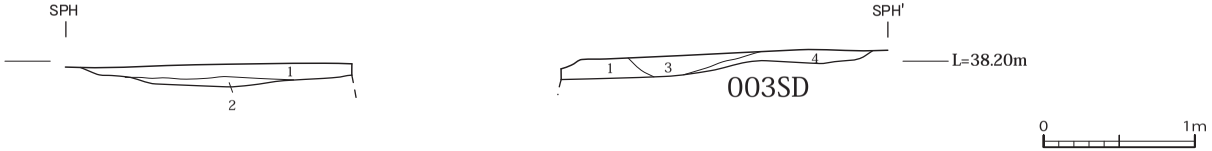
1, 10YR4/3にぶい黄褐色粘性シルト(003SD-b層)
2, 10YR4/2灰黄褐色粘性シルト(003SD-d層)
3, 10YR3/3暗褐色粘性シルト 焼土微量含む 炭化物微量含むマンガンの集積斑状に混じる(003SD-c層)
4, 10YR5/1褐灰色粘性シルト 地山ブロック微量含む(003SD-層)
5, 10YR3/4暗褐色粘性シルト 焼土微量含む 炭化物微量含む地山土微量混じる
一部に10YR3/2黒褐色粘性シルト混じる 遺物含む(1164SX)
6, 7.5YR4/2灰褐色粘性シルトマンガンの集積斑状に混じる(1164SX)
7, 10YR4/3にぶい黄褐色粘性シルト 径5～10㎝円礫多く含む　遺物含む(298SD)
8, 10YR4/4褐色粘性シルト径2～15㎝円礫非常に多く含む(957SD)



1, 10YR4/2灰黄褐色粘性シルト(003SD-c層)
2, 10YR3/3暗褐色粘性シルト 焼土微量含む 炭化物微量含む マンガンの集積斑状に混じる(003SD-c層)
3, 10YR5/1褐灰色粘性シルト 地山ブロック微量含む(003SD-c層)
4, 10YR3/4暗褐色粘性シルト 地山ブロック微量含む(003SD-c層)
5, 10YR4/1褐灰色粘性シルト 地山ブロック含む マンガンの集積斑状に混じる(003SD-c層)
6, 7.5YR5/1褐灰色粘性シルト マンガンの集積斑状に混じる(003SD-a層)
7, 7.5YR5/2灰褐色粘性シルト 地山ブロック含む マンガンの集積斑状に混じる(1164SX)
8, 7.5YR5/1褐灰色粘性シルト 炭化物含む 地山ブロック微量含む マンガンの集積斑状に混じる(1164SX)
9, 5YR6/1褐灰色粘性シルト 粘性強い 地山ブロック微量含む マンガンの集積斑状に混じる(1164SX)

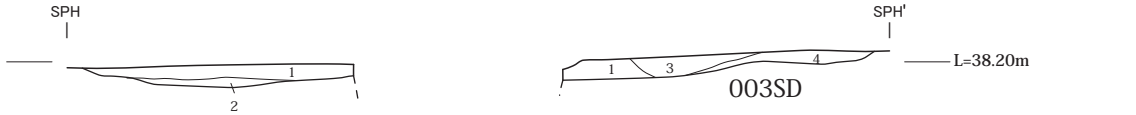


1, 10YR4/2灰黄褐色粘性シルト(003SD-c層)
2, 10YR3/3暗褐色粘性シルト 焼土微量含む 炭化物微量含む マンガンの集積斑状に混じる(003SD-c層)
3, 10YR5/1褐灰色粘性シルト 地山ブロック微含む(003SD-c層)
4, 7.5YR5/1褐灰色粘性シルト マンガンの集積斑状に混じる(003SD-a層)
5, 7.5YR5/1褐灰色粘性シルト 炭化物含む 地山ブロック微量含む マンガンの集積斑状に混じる(1164SX)

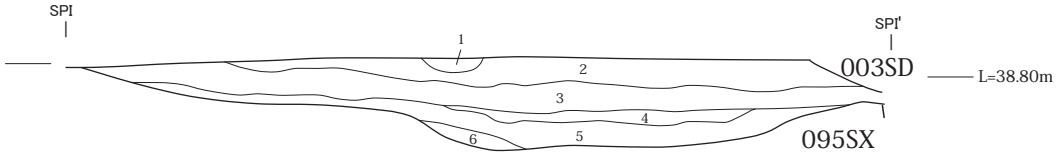


1, 10YR3/3暗褐色粘性シルト 焼土微量含む 炭化物微量含む マンガンの集積斑状に混じる(003SD-c層)
2, 10YR5/1褐灰色粘性シルト 地山ブロック微量含む(003SD-a層)
3, 10YR3/4暗褐色粘性シルト マンガンの集積斑状に混じる(003SD-c層)
4, 10YR4/1褐灰色粘性シルト 径2～3㎜礫含む マンガンの集積斑状に混じる(003SD-a層)

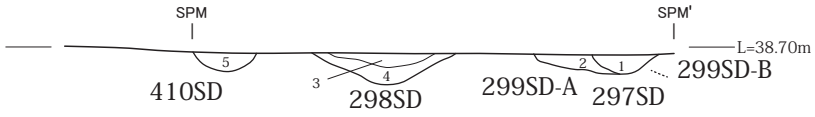
図 38　003SD 等断面図 -2　1:50



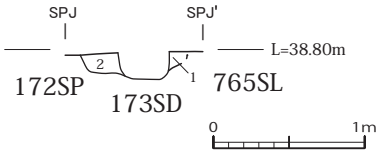
1,10YR3/3暗褐色粘性シルト 焼土微量含む 炭化物微量含む マンガンの集積斑状に混じる（003SD-c層）
2,10YR5/1褐灰色粘性シルト 地山ブロック微量含む（003SD-a層）
3,10YR3/4暗褐色粘性シルト マンガンの集積斑状に混じる（003SD-c層）
4,10YR4/1褐灰色粘性シルト 径2～3㎜礫含む マンガンの集積斑状に混じる（003SD-a層）



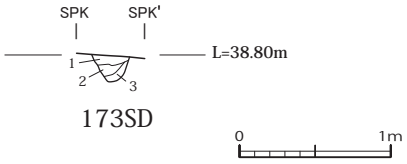
1, 10YR5/1褐灰色粘性シルト
2, 7.5YR5/2灰褐色粘性シルト 焼土微量含む　炭化物微量含む マンガンの集積斑状に混じる
3, 7.5YR4/2灰褐色粘性シルト 焼土微量含む 化物微量含む 径2～3㎜マンガン結核含む
4, 7.5YR4/2灰褐色粘性シルト 3層より明るい 地山ブロック多く含む マンガンの集積斑状に混じる
5, 7.5YR4/1褐灰色粘性シルト 径2～3㎜マンガン結核含む
6, 7.5YR3/2黒褐色粘性シルト



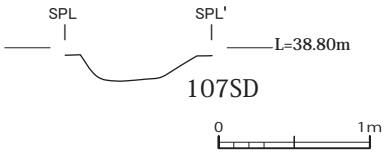
1, 2.5Y5/1黄灰色シルト 粘性弱い 径3㎜程度礫微量含む (297SD)
2, 10YR4/3にぶい黄褐色粘性シルト (299SD-A)
3, 10YR4/2灰黄褐色粘性シルト 径2～3㎜マンガン結核含む (298SD)
4, 10YR4/1褐灰色粘性シルト 焼土微量含む マンガンの集積斑状に混じる (298SD)
5, 10YR4/2灰黄褐色粘性シルト (410SD)

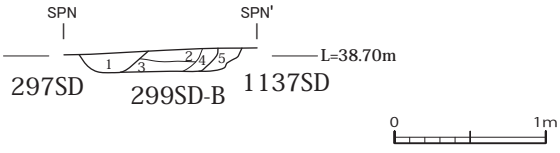


1,2.5YR5/6明赤褐色 地山被熱部分 (765SL)
2,10YR4/2灰黄褐色粘性シルト 焼土微量含む (128SP)

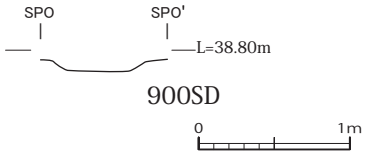


1,10YR4/2灰黄褐色粘性シルト 焼土微量含む (173SD)
2,10YR5/3にぶい黄褐色粘性シルト 焼土微量含む 地山ブロック含む (173SD)
3,10YR4/1褐灰色粘性シルト 焼土ブロック微量含む (173SD)





1, 2.5Y5/1黄灰色シルト 粘性弱い (297SD)
2, 10YR4/3にぶい黄褐色粘性シルト (299SD-B)
3, 10YR4/2灰褐色粘性シルト マンガンの集積斑状に混じる (299SD-B)
4, 7.5YR4/2灰褐色粘性シルト 焼土微量含む マンガンの集積斑状に混じる (299SD-B)
5, 7.5YR4/1褐灰色粘性シルト 地山ブロック含む マンガンの集積斑状に混じる (1137SD)



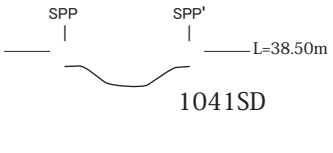


図 39　003SD 等断面図 -3　1:50

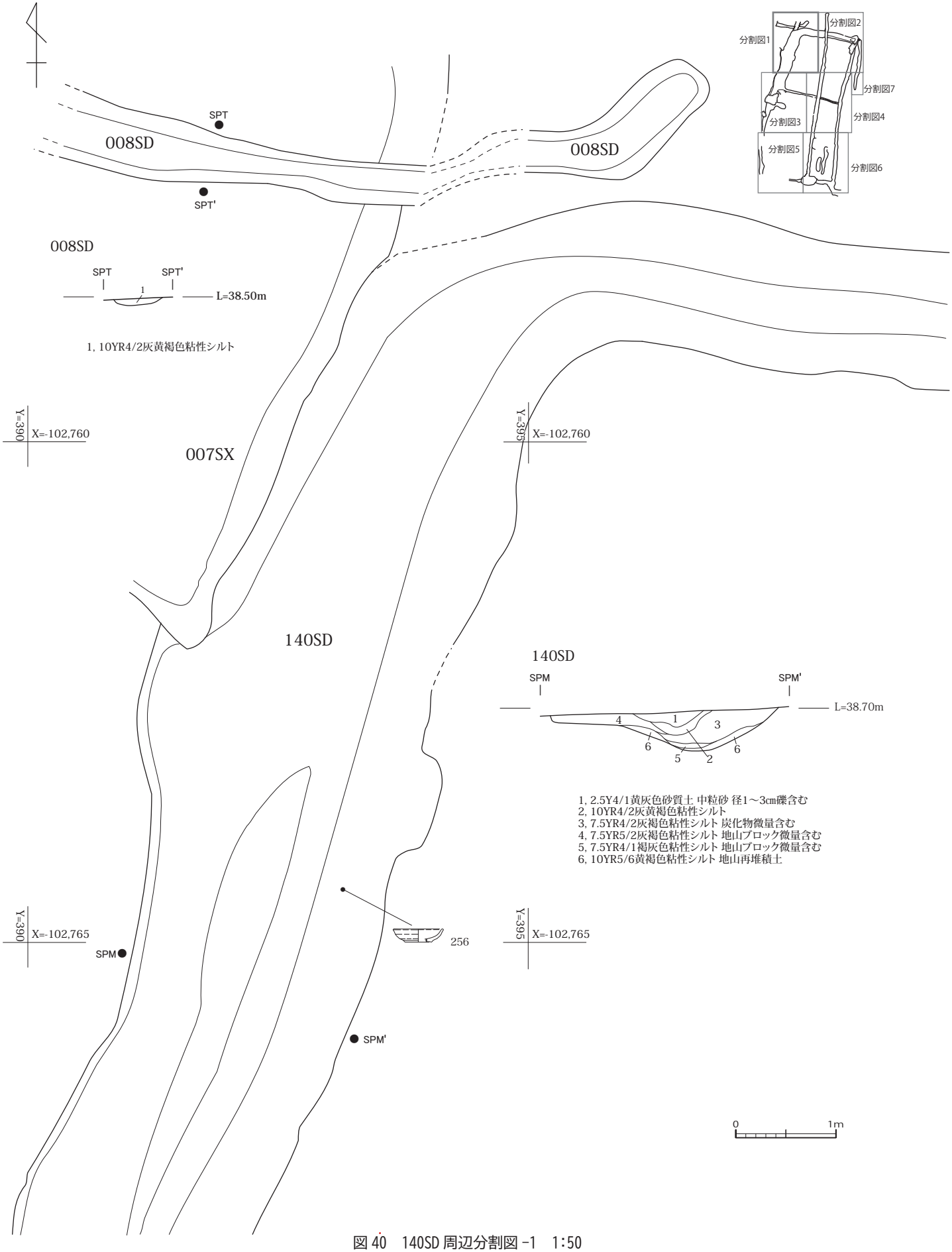


図 40　140SD 周辺分割図 -1　1:50

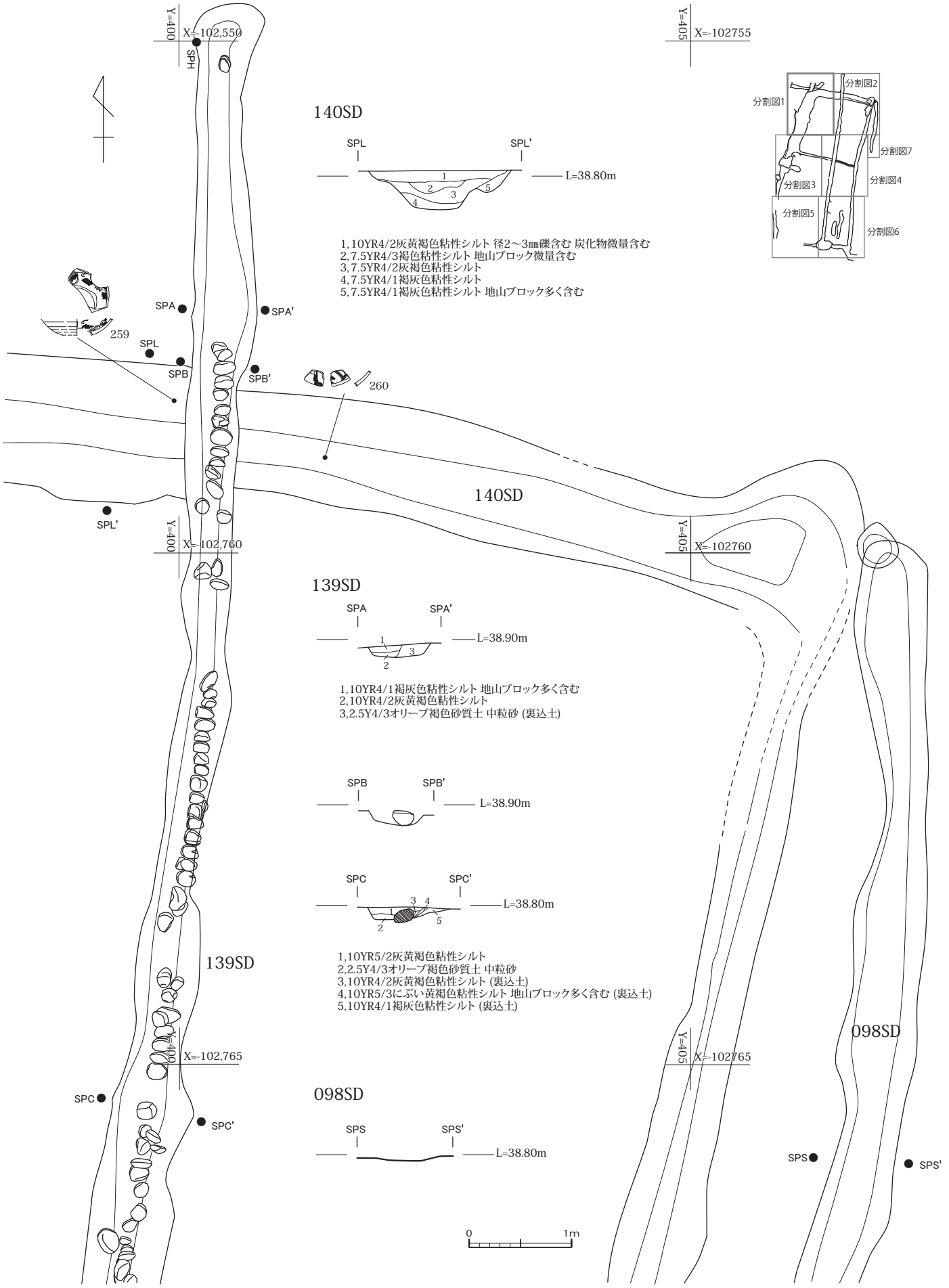


図 41　140SD 周辺分割図 -2　1:50

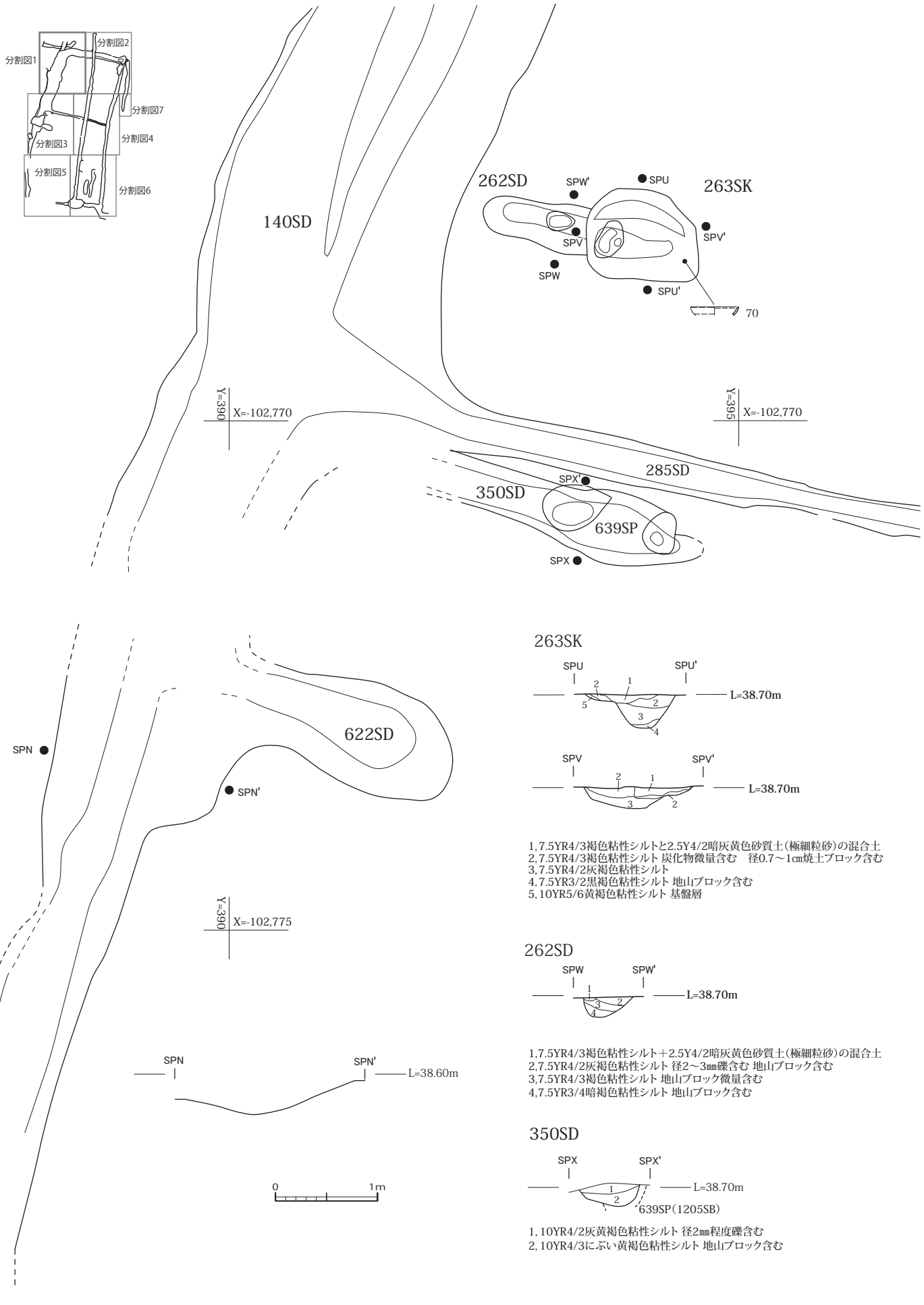


図 42　140SD 周辺分割図 -3　1:50

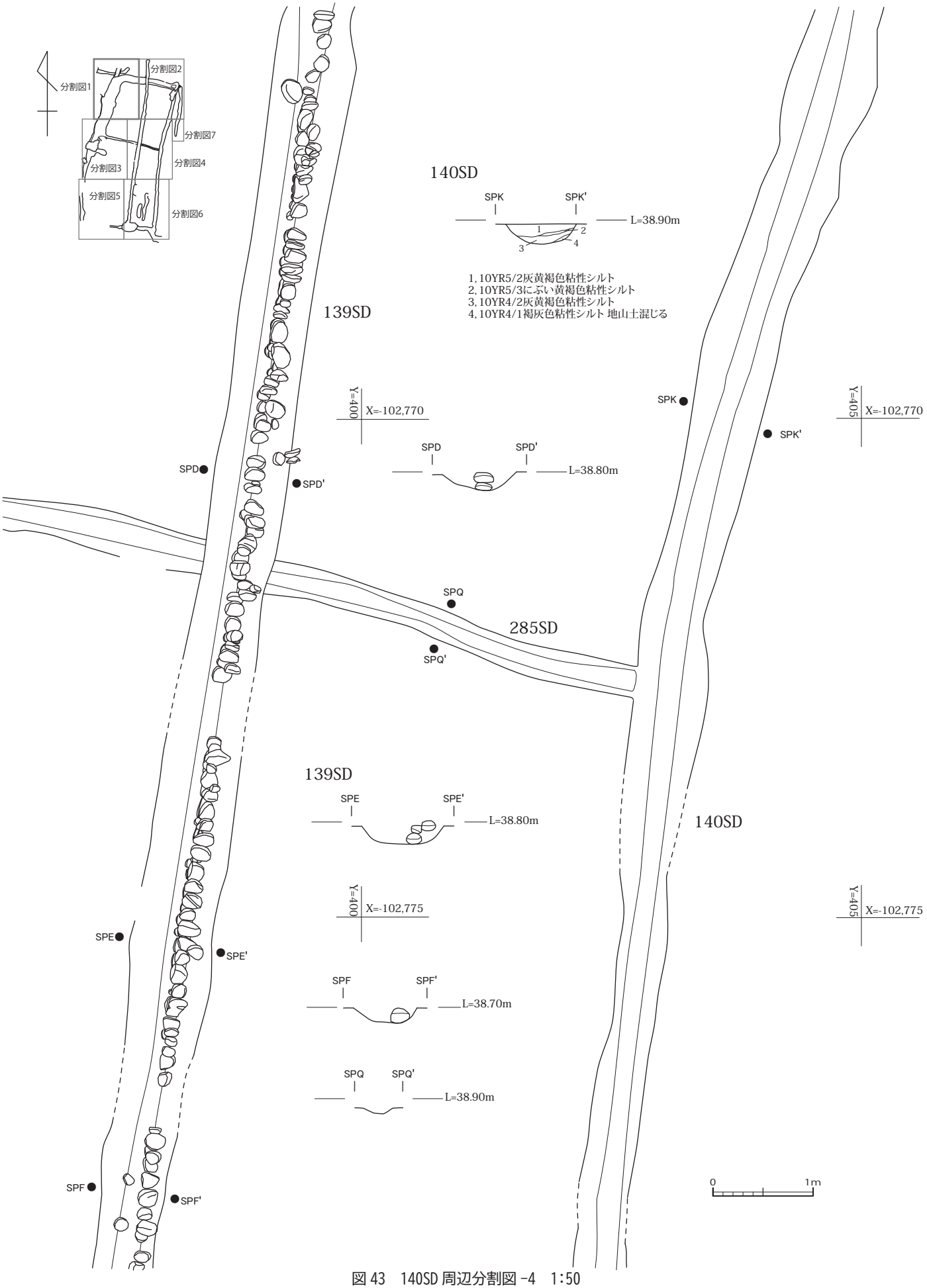


図 43　140SD 周辺分割図 -4　1:50

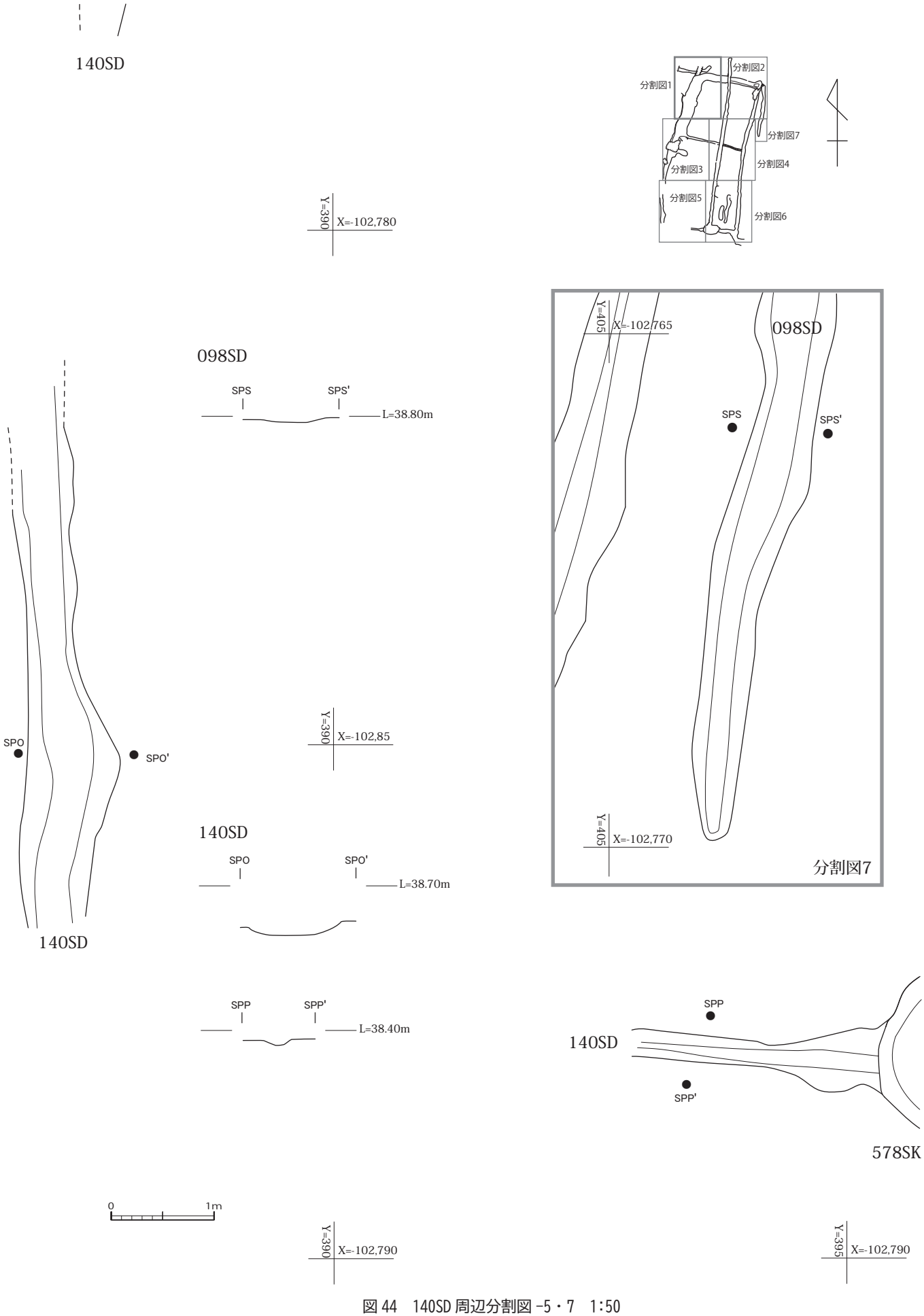


図 44　140SD 周辺分割図 -5・7　1:50

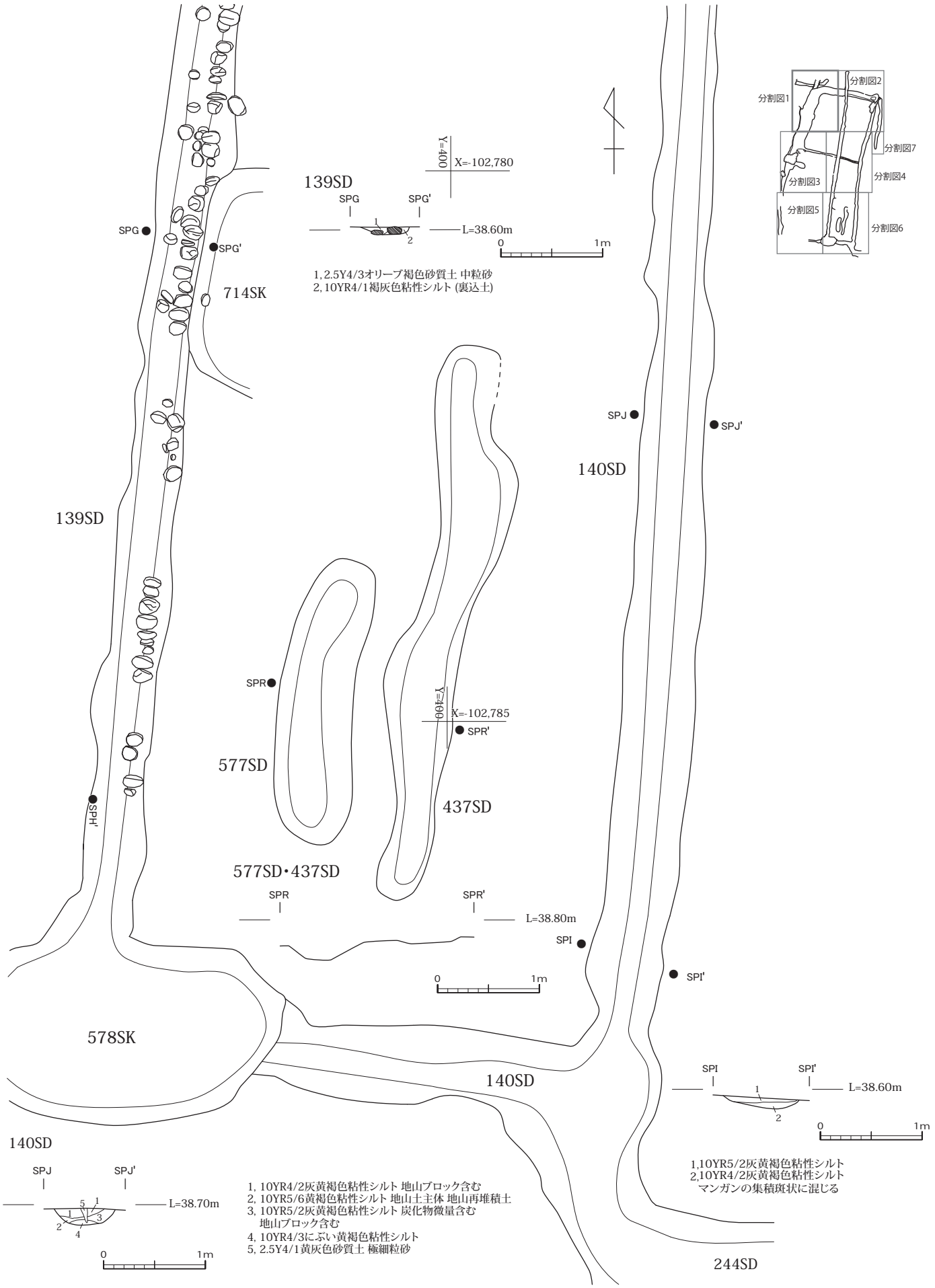


図 45　140SD 周辺分割図 -6　1:50

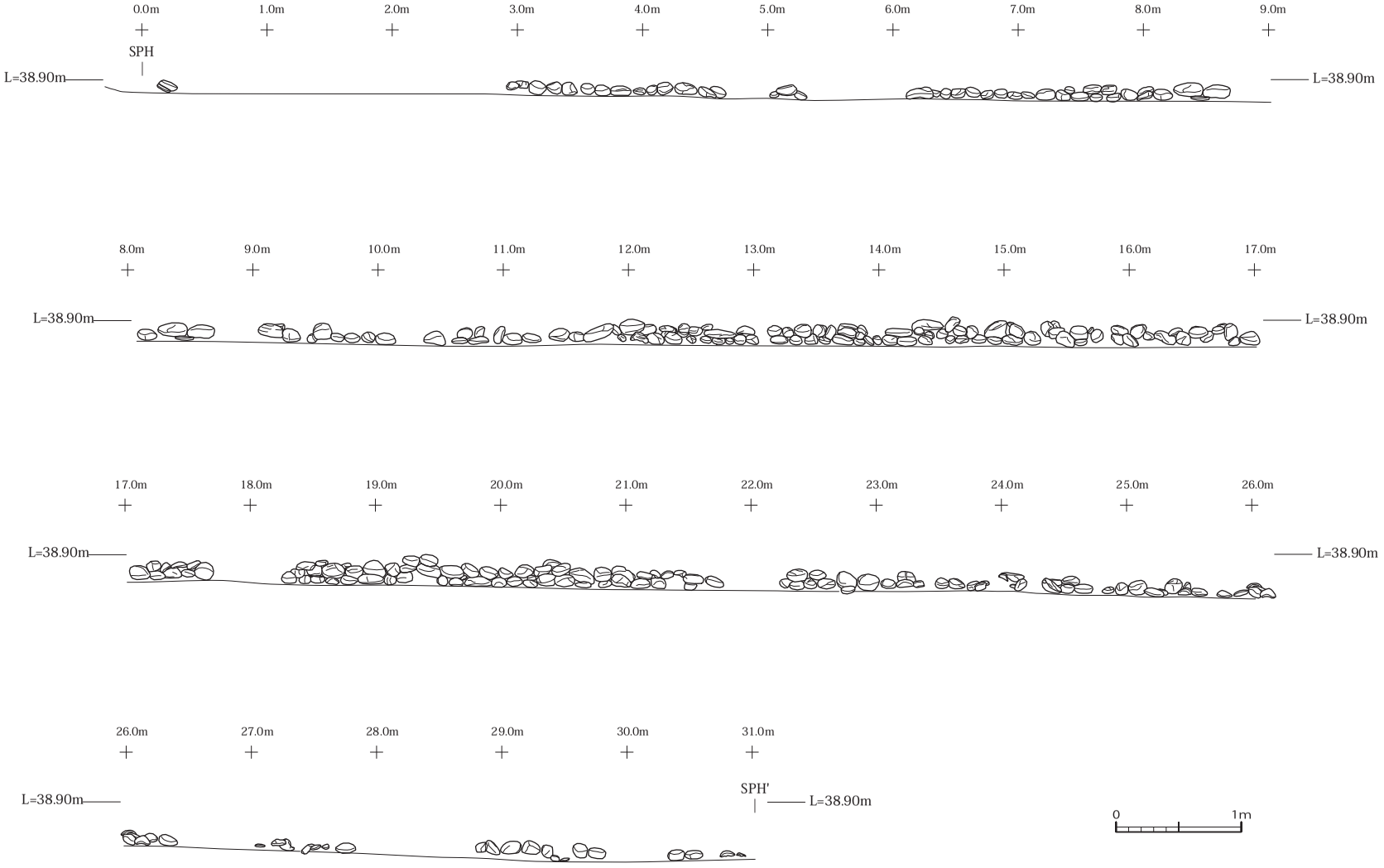


図 46　139SD 側面図　1:50

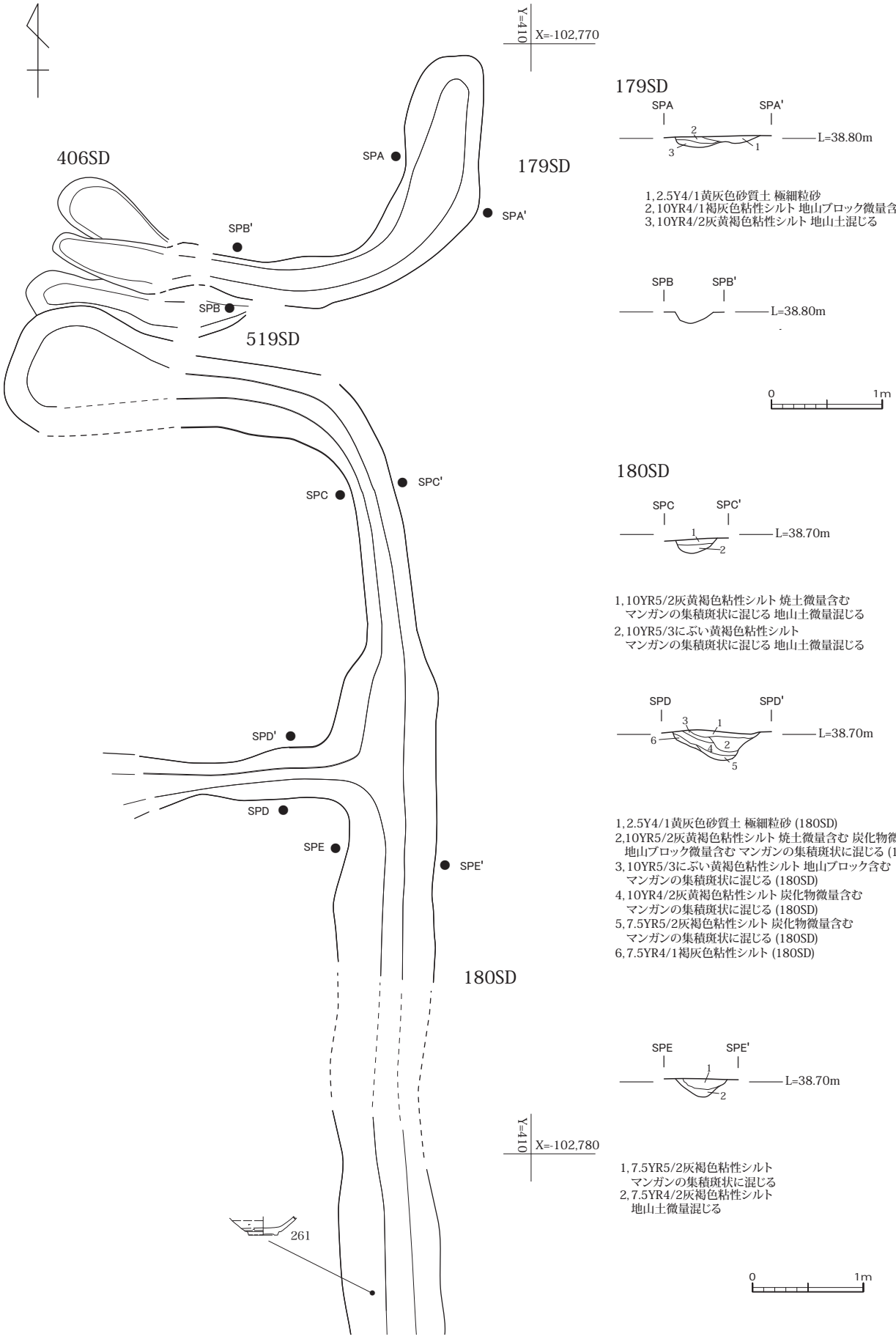


図 47　179SD・180SD　1:50

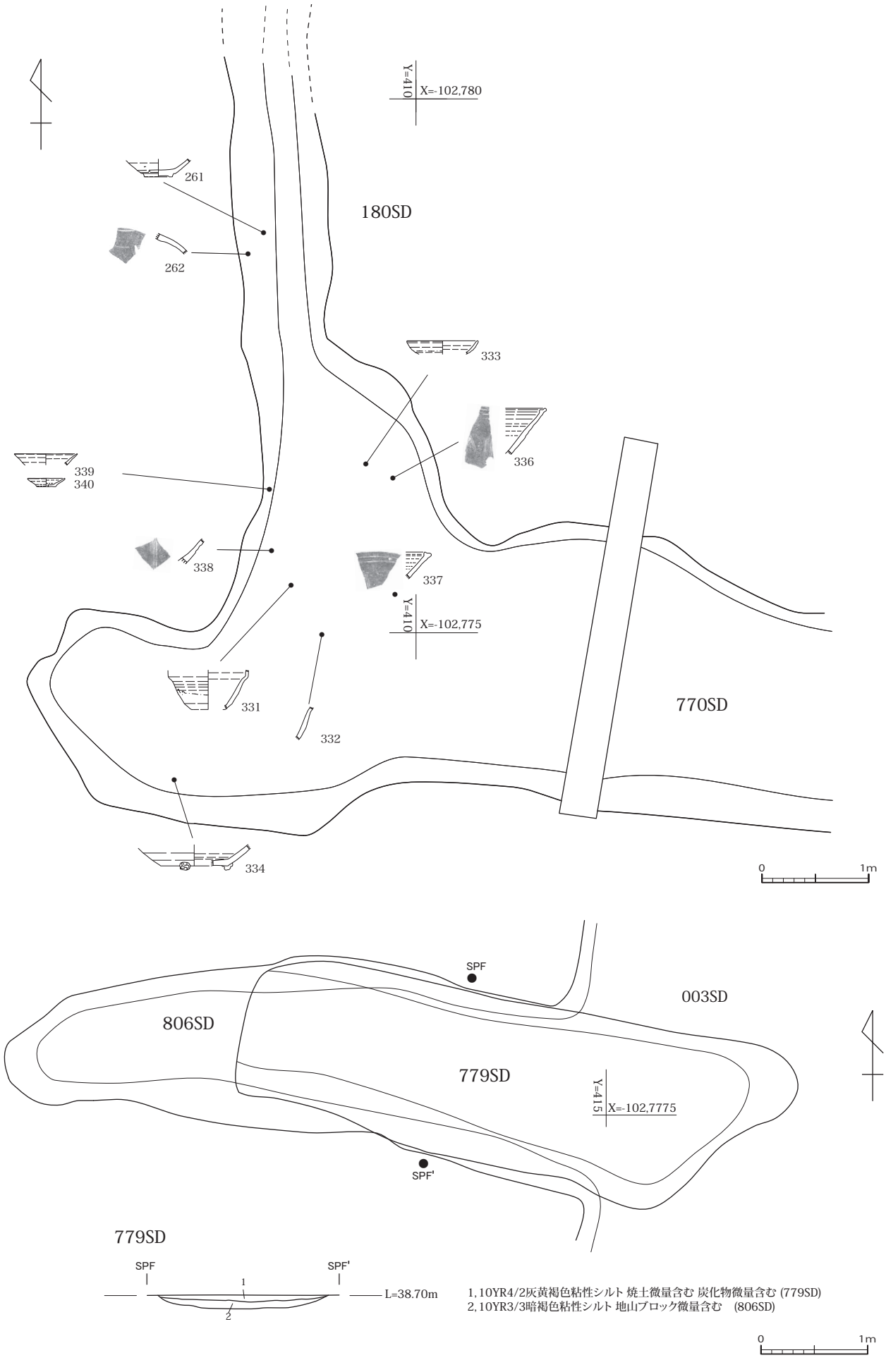


図 48　798SD・770SD-1・779SD・806SD　1:50

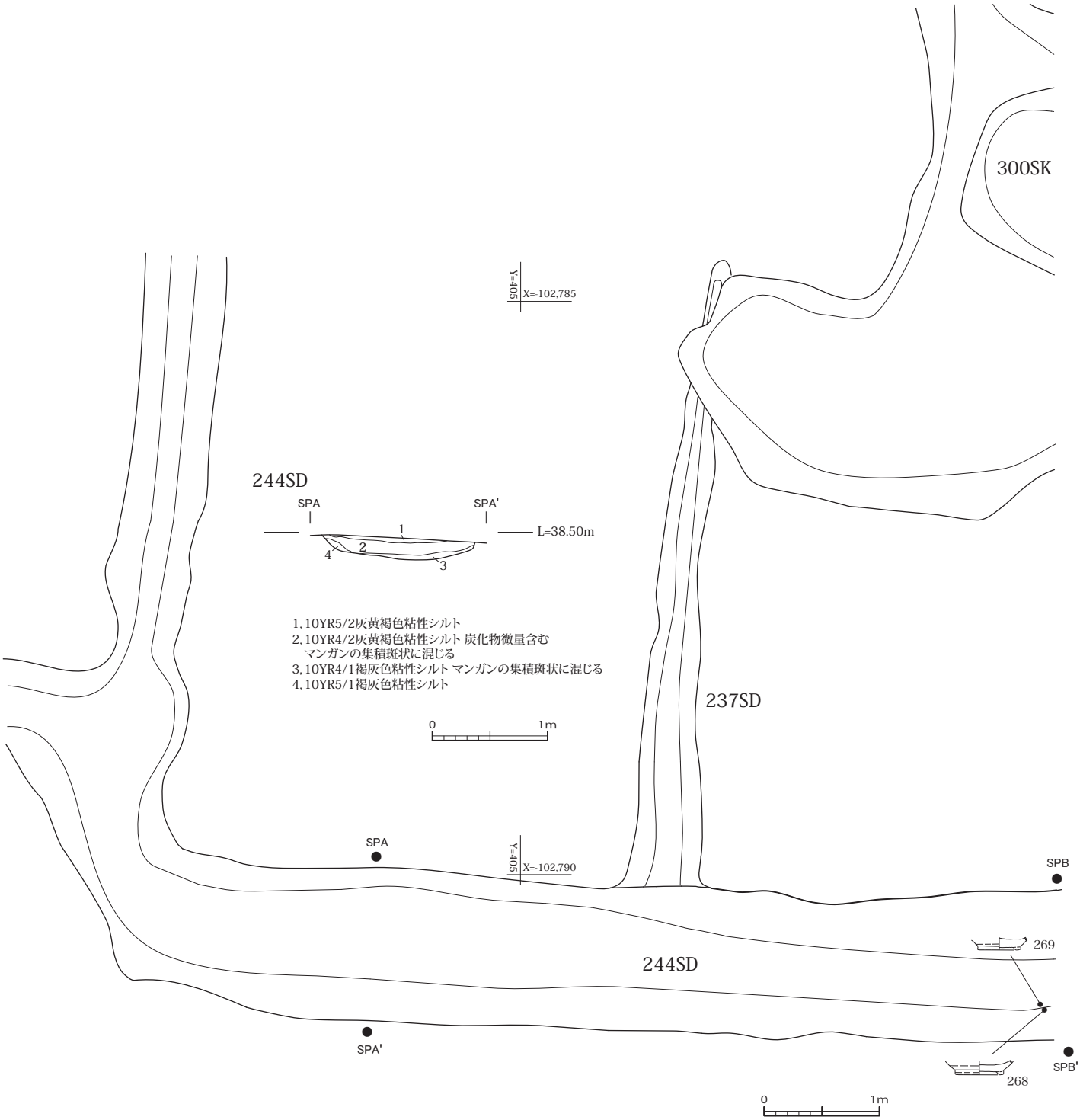


図 49　244SD-1 1:50

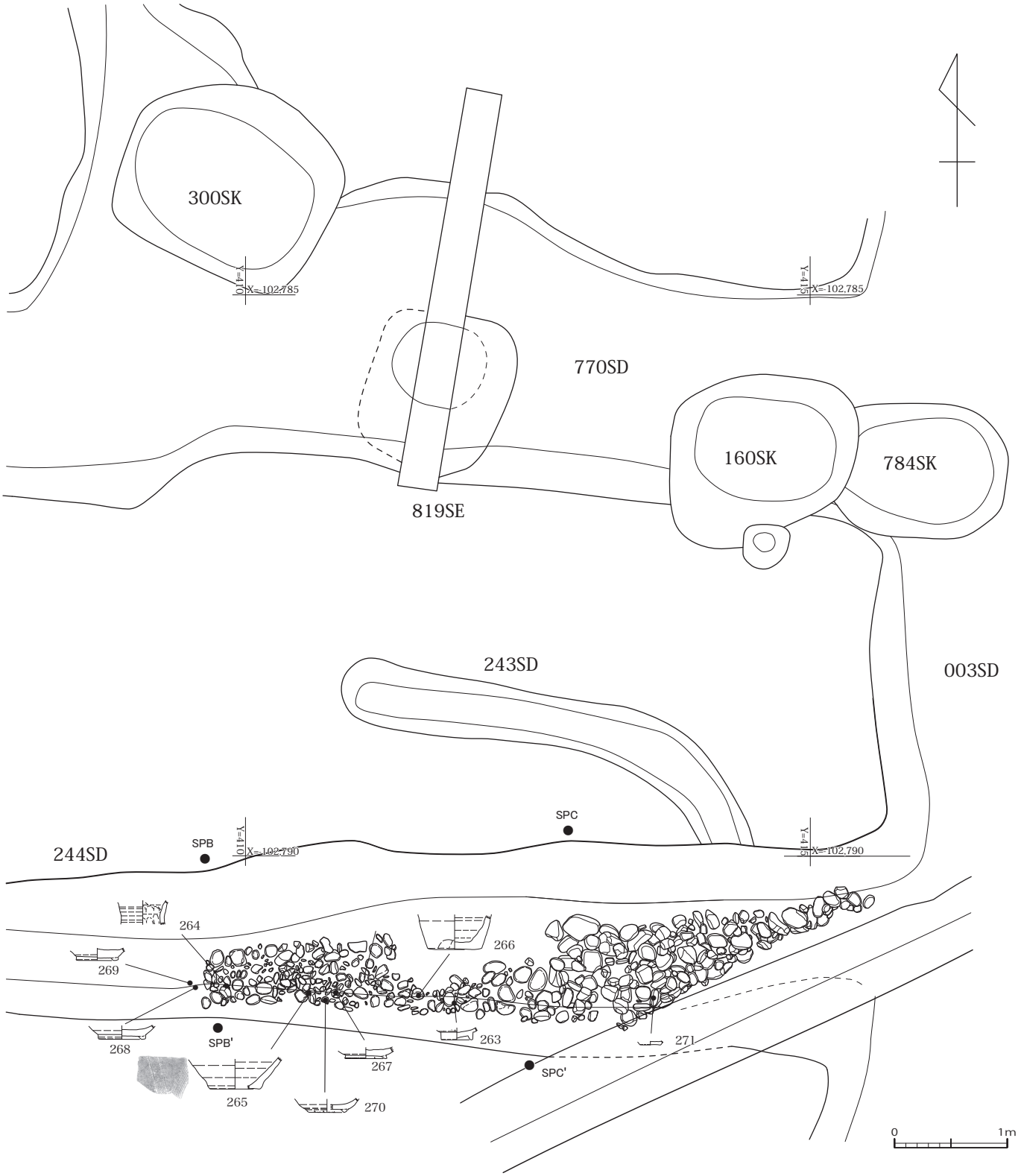


図 50　244SD-2・770SD-2　1:80・1:50

かる。出土遺物は（図 60-347 ～ 354、図 62-399）を図示した。

1114SD（図版 12）

Ｂ区東側で確認できた。852SD・885SD の北東側に位置する。全長 2.0 ｍを検出し、幅 0.3 m、深さは 0.1 ｍとなる。主軸はＮ -21°-Ｅをはかる。出土遺物は得られなかった。

1125SD（図 32）

Ａ区南側・22 Ｂ区北側で確認できた。298SD-A・298SD を切る。全長 4.4 ｍを検出し、幅 0.4 m、深さは 0.1 ｍとなる。主軸はN-18°-Wをはかる。出土遺物は（図 60-355）を図示した。

1137SD（図 32、39）

Ｂ区東側で確認できた。299SD・297SD に大きく切られ、全長 4.0 ｍのみ残存する。深さは 0.1 ｍとなる。幅は計測できない。主軸はＮ- １°-Ｅをはかる。出土遺物は得られなかった。

1040SD（図版 9・12）

Ｂ区南側で確認できた。337SD と間隔 0.8 ｍで並行し、1041SD と間隔を 0.3 ｍあけて直交する。800SB と重複するが、柱穴は切り合わない。全長 6.3 ｍを検出し、幅 1.2 m、深さは 0.1 ｍとなる。主軸はＮ-２°-Wをはかる。出土遺物は（図 60-346）を図示した。

火葬施設

以下、７基を火葬施設として報告する。被熱面の存在と埋土中の骨片（焼骨）に着眼するが、被熱が観察できるものにも埋土に骨片を含むものと含まないものがある。一方、被熱は観察できないが、埋土に骨片を含むものも確認されている。

030ST（図 51、図版 40）

Ａ区北側で確認できた。平面形は円形を呈し、直径 0.9 m、深さは 0.3 ｍとなる。壁面は部分的に被熱し、基底部にはこれが崩落したと考えられる焼土ブロックも確認できる。埋土には炭化物を含むが、骨片は確認できない。出土遺物は得られなかった。

235ST（図 51、図版 40・41）

Ａ区北側で確認できた。556SK の北東部に位置し、平面形は隅丸長方形を呈する。長径 0.8 m、短径は 0.6 m、深さは 0.2 ｍとなる。基底部と壁面の一部が被熱し、前者の上面には厚さ５㎝程度の炭化物層も観察できる。骨片は確認できない。炭化物層の上面には 10 ㎝大の花崗岩を主体とする拳大の礫が方形に配置され、一部の礫の上面には被熱痕も観察できる。炭化物から試料を採取して放射性年代測定を実施しており、詳細は第Ⅳ章に記した。出土遺物は得られなかった。

274ST（図版 41）

Ａ区西側で確認できた。263SK の東側に位置し、平面形は隅丸長方形を呈する。長径 1.0 m、短径は 0.5 m、深さは 0.2 ｍとなる。基底部には長辺 20 ㎝程度の礫を配置する。埋土には焼土や炭化物片・骨片を含まず、壁面や礫に被熱は観察できない。出土遺物は得られなかった。

292ST（図 51、図版 41）

Ａ区北側で確認できた。705ST の南側、507ST の北西に位置する。平面形は不整形な卵形を呈し、732SP・293SP に切られる。壁面は被熱が確認できない。南側は撹乱により消失する。短径は 1.1 ｍで、長径は 1.4 ｍまで確認した。深さは 0.1 ｍとなる。埋土に炭化物と、わずかに焼土ブロックや骨片を含む。炭化物から試料を採取して放射性年代測定を実施しており、詳細は第Ⅳ章に記した。

507ST（図 52、図版 41）

Ａ区北側で確認できた。292ST の南東側 292ST の南東側に位置する。640SK を切る。平面形はやや歪む長方形を呈するのか。長径は 1.3 ｍで、短径 0.8 ｍ、深さは 0.3 ｍとなる。壁面と床面が被熱し、埋土には焼土ブロックと炭化物を含む他、視覚的に明らかに異質な極細粒砂のブロックが含まれていた。何らかの目的で意図的に入れ込まれた可能性を持つため、土壌から試料を採取して、砂粒組成分析を実施おり、詳細はⅣ章で報告する。出土遺物は得られなかった。

705ST（図 51、図版 42）

Ａ区北側で確認できた。292ST の北側で確認され、064SP を切る。平面形は卵形を呈する。長径 0.4 ｍ、短径は 0.3 ｍ、深さは 0.1 ｍとなる。壁面に被熱は確認できないが、埋土に炭化物と骨片を含む。出土遺物は得られなかった。

782ST（図 52・図版 42）

Ａ区南側で確認できた。300SK・806SD を切る。被熱部分の平面形は円形を呈し、一辺 0.6 ｍ、深さは 0.1 ｍとなる。南側にもわずかに被熱部分が確認され、一連のものと考えるのであれば規模はさらに大きいのかもしれない。壁面と床面が比熱し、埋土には炭化物と骨片を含む。出土遺物は（図 61-356、図 63-Ｍ１～Ｍ５）を図示した。なお、出土した炭化物と骨片の年代測定を実施しており、結果は第Ⅳ章に記した。

焼土面

遺構検出面が被熱している部分を焼土面として報告する。いずれも時期は特定できない。

113SL（図 52、図版 42）

Ａ区東で確認できた焼土面。107SD の南側に位置する。平面形は楕円形を呈し、長径は 0.5 ｍ、短径は 0.4 ｍとなる。出土遺物は得られなかった。

506SL（図 52）

Ａ区北側で確認できた焼土面。507ST の北側に近接して検出した。平面形は楕円形を呈し、長径は 0.3 ｍ、短径は 0.2 ｍとなる。出土遺物は得られなかった。

765SL（図 29・39）

Ａ区東で確認できた焼土面。003SD･0173SD に切られる。平面形は楕円形を呈するのか。長径は 0.7 ｍ、短径は 0.5 ｍとなる。出土遺物は得られなかった。

783SL（図 52、図版 42）

Ａ区東側で確認できた焼土面。095SX の基底部で検出した。平面形は円形を呈し、直径は 0.4 ｍとなる。出土遺物は得られなかった。

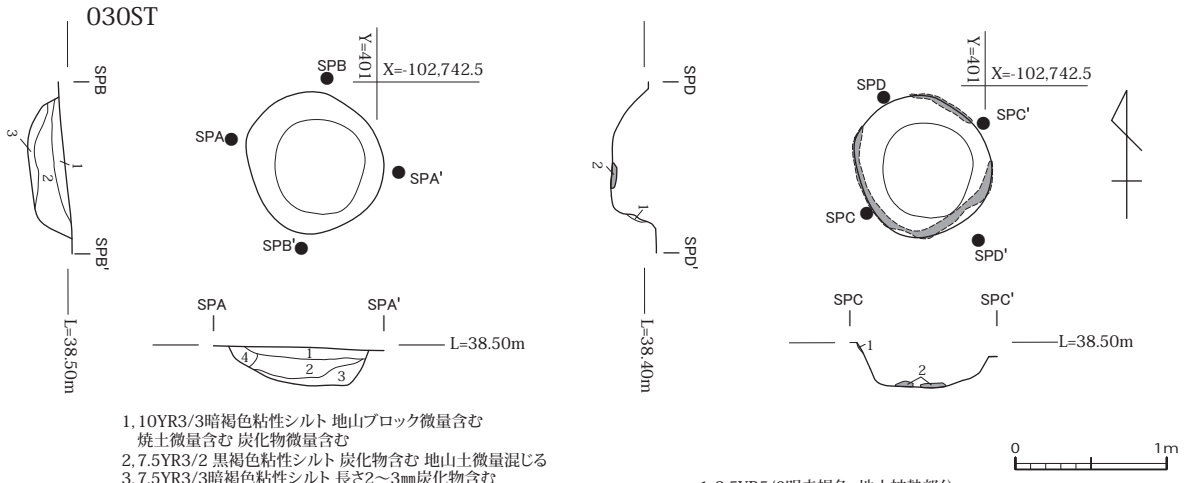
その他の遺構

095SX（図 29・39）

Ａ区東側で確認できた。上面は 003SD に切られる。平面形はやや歪む楕円形を呈し、長径は 6.0 ｍ、短径は 5.1 ｍまで確認し、東端は調査区外となる。深さは 0.6 ｍ。出土遺物は（図 61-357 ～ 369）を図示した。

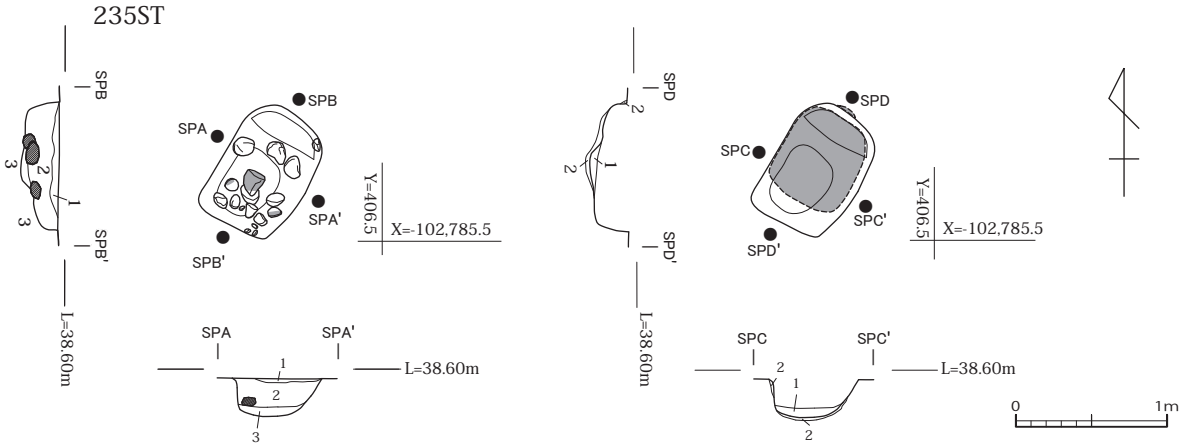
1164SX（図 33・34・36・38、図版 42）

Ｂ区東側で確認できた。上面は 003SD のｃ層に切られる。平面形はやや歪む円形を呈する。長径は 8.5 ｍ、短径は 7.0 ｍ、深さは 0.2 ｍとなる。出土遺物は（図 61-370 ～ 372）を図示した。



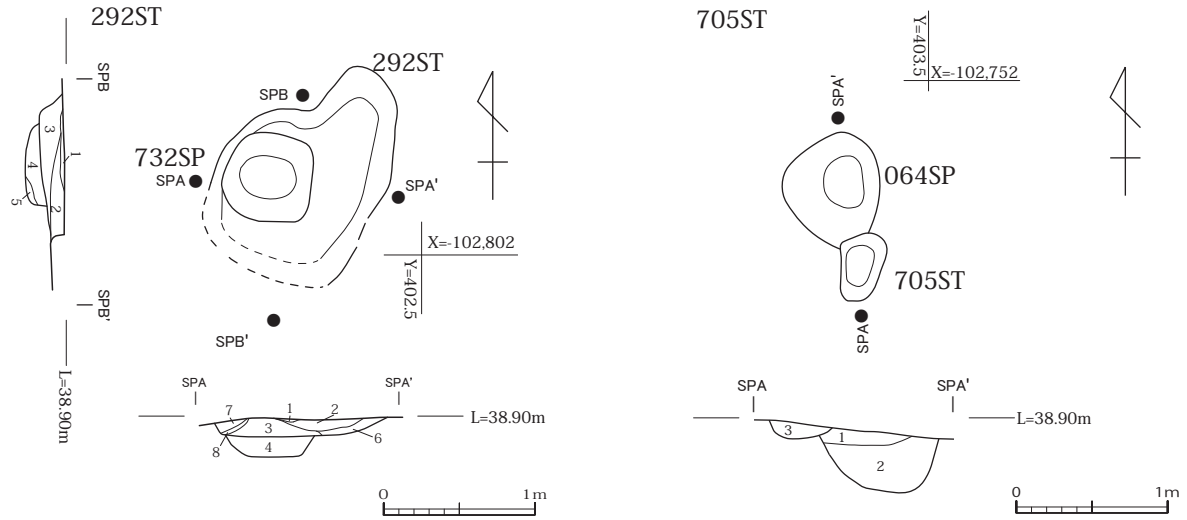
1, 10YR3/3暗褐色粘性シルト 地山ブロック微量含む
　焼土微量含む 炭化物微量含む
2, 7.5YR3/2 黒褐色粘性シルト 炭化物含む 地山土微量混じる
3, 7.5YR3/3暗褐色粘性シルト 長さ2～3㎜炭化物含む
　底面に焼土壁の落ち込みが入る 地山土混じる
4, 7.5YR4/2灰褐色粘性シルト 炭化物微量含む 地山ブロック微量含む

1, 2.5YR5/6明赤褐色 地山被熱部分
2, 2.5YR4/4にぶい赤褐色焼土塊



1, 10YR4/4褐色粘性シルト 炭化物微量含む 地山土微量混じる
2, 10YR5/4にぶい黄褐色粘性シルト 長さ1～2㎝炭化物含む
3, 10YR3/2黒褐色粘性シルト 炭化物主体

1, 10YR3/2黒褐色粘性シルト 炭化物主体
2, 2.5YR5/6明赤褐色 地山被熱部分

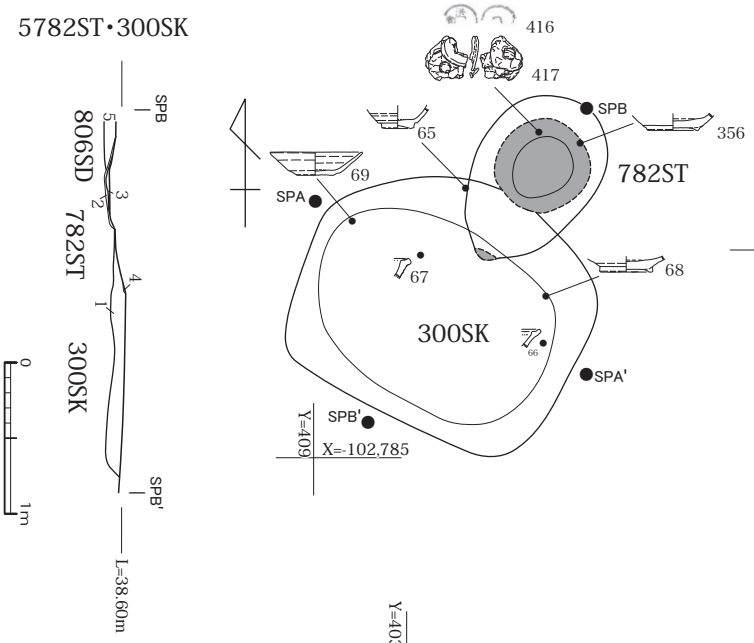


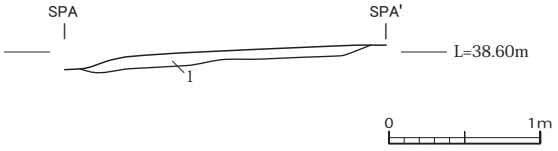
1, 5YR4/3にぶい赤褐色粘性シルト 焼土ブロック含む 炭化物含む (292ST)
2, 10YR4/2灰黄褐色粘性シルト 焼土微量含む 炭化物微量含む　(292ST)
3, 7.5YR4/3褐色粘性シルト 骨片含む 焼土微量含む
　炭化物微量含む 地山ブロック微量含む (292ST)
4, 7.5YR4/2灰褐色粘性シルト 地山ブロック含む　(732SP)
5, 7.5YR4/4褐灰色粘性シルト 地山ブロック多く含む (732SP)
6, 10YR4/3にぶい黄褐色粘性シルト 骨片含む 焼土微量含む
　炭化物多く含む 地山ブロック含む (292ST)
7, 10YR3/3暗褐色粘性シルト (292ST)
8, 10YR5/4にぶい黄褐色粘性シルト (292ST)

1, 7.5YR3/2黒褐色粘性シルト 炭化物微量含む 地山ブロック含む (064SP)
2, 7.5YR3/3暗褐色粘性シルト 地山土混じる 径10～20㎝円礫多く含む (064SP)
3, 10YR3/2黒褐色粘性シルト 3～５㎜焼土ブロック含む 長さ3～5㎜炭化物含む
　骨片微量含む (705ST)

図 51　火葬施設 -1　1:50

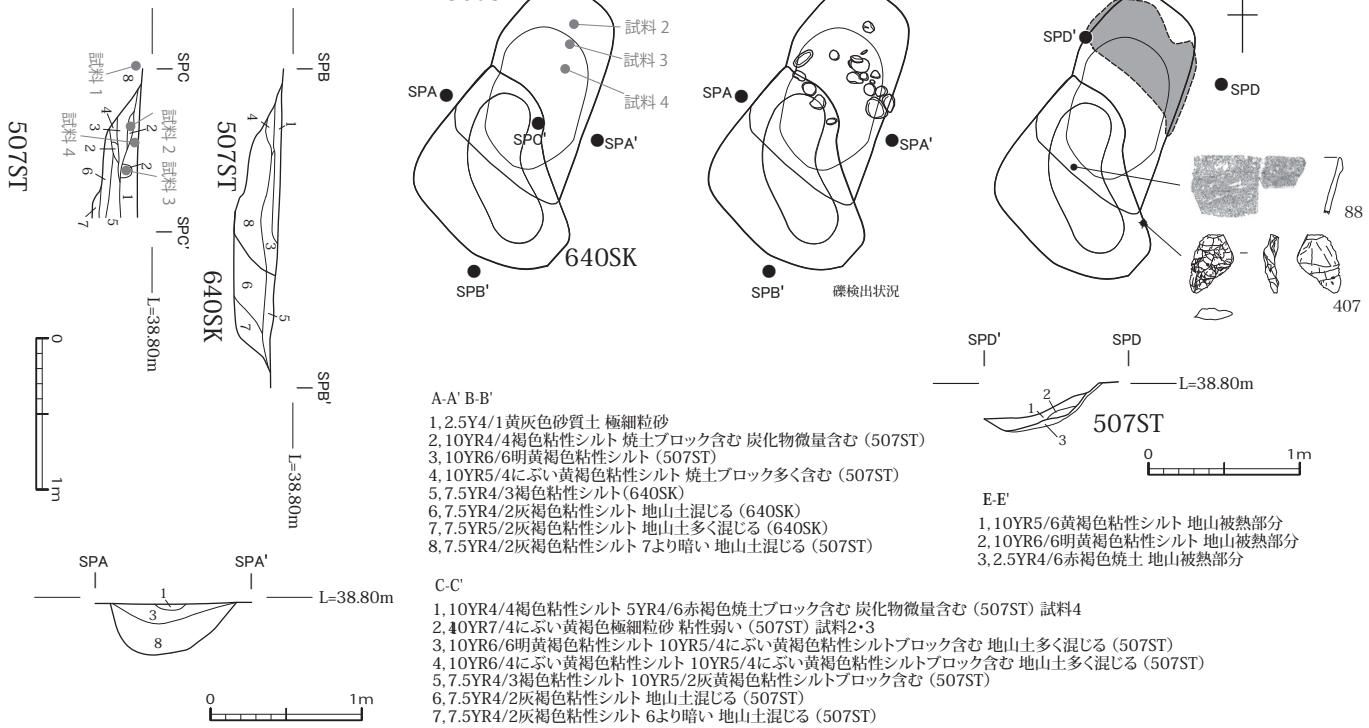
5782ST・300SK





1, 10YR4/2灰黄褐色粘性シルト (300ST)
2, 10YR3/4暗褐色粘性シルト 比熱部分 (782ST)
3, 10YR4/2灰黄褐色粘性シルト 暗赤褐色(2.5YR3/6)焼土ブロック含む 炭化物含む 骨片含む (782ST)
4, 2.5YR3/2暗赤褐色 地山被熱部分
5, 10YR3/3暗褐色粘性シルト (806SD)

507ST・640SK

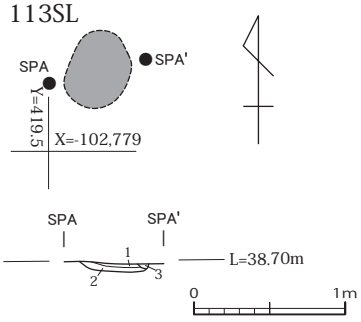


A-A' B-B'
1, 2.5Y4/1黄灰色砂質土 極細粒砂
2, 10YR4/4褐色粘性シルト 焼土ブロック含む 炭化物微量含む (507ST)
3, 10YR6/6明黄褐色粘性シルト (507ST)
4, 10YR5/4にぶい黄褐色粘性シルト 焼土ブロック多く含む (507ST)
5, 7.5YR4/3褐色粘性シルト(640SK)
6, 7.5YR4/2灰褐色粘性シルト 地山土混じる (640SK)
7, 7.5YR5/2灰褐色粘性シルト 地山土多く混じる (640SK)
8, 7.5YR4/2灰褐色粘性シルト 7より暗い 地山土混じる (507ST)

E-E'
1, 10YR5/6黄褐色粘性シルト 地山被熱部分
2, 10YR6/6明黄褐色粘性シルト 地山被熱部分
3, 2.5YR4/6赤褐色焼土 地山被熱部分

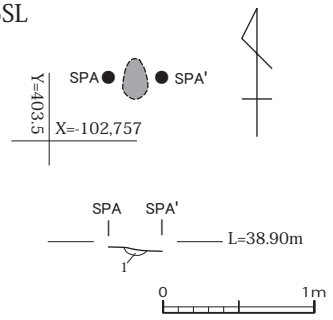
C-C'
1, 10YR4/4褐色粘性シルト 5YR4/6赤褐色焼土ブロック含む 炭化物微量含む (507ST) 試料4
2, 10YR7/4にぶい黄褐色極細粒砂 粘性弱い (507ST) 試料2・3
3, 10YR6/6明黄褐色粘性シルト 10YR5/4にぶい黄褐色粘性シルトブロック含む 地山土多く混じる (507ST)
4, 10YR6/4にぶい黄褐色粘性シルト 10YR5/4にぶい黄褐色粘性シルトブロック含む 地山土多く混じる (507ST)
5, 7.5YR4/3褐色粘性シルト 10YR5/2灰黄褐色粘性シルトブロック含む (507ST)
6, 7.5YR4/2灰褐色粘性シルト 地山土混じる (507ST)
7, 7.5YR4/2灰褐色粘性シルト 6より暗い 地山土混じる (507ST)
8, 10YR5/6黄褐色粘性シルト 基盤層 試料1

113SL



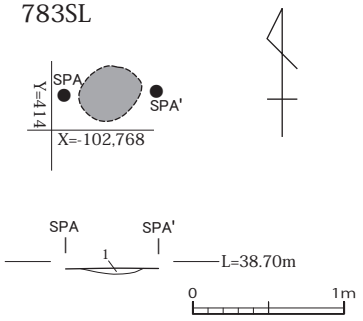
1, 10YR5/4にぶい黄褐色粘性シルト
2, 2.5YR4/4にぶい赤褐色 地山被熱部分
3, 2.5YR4/1黄灰色砂質土 極細粒砂

506SL



1, 2.5YR5/6明赤褐色　地山被熱部分　地山ブロック含む

783SL



1, 2.5YR4/6赤褐色 地山被熱部分

図 52　火葬施設 -2・焼土面　1:50

第Ⅲ章　遺物

1　概要

今回の調査により出土した遺物は、土器・陶磁器、石器・石製品類、金属製品、木製品などがある。帰属時期は縄文時代～近世に及び、コンテナ 28 箱を数える。以下、調査区毎に出土遺物を報告する。ここでは本センターのマニュアルに依拠し、遺物番号の前に遺物記号である土器・土製品（E）、石製品（S）、金属製品（M）、木製品（W）を付与するが、出土遺物の大部分を占める土器・土製品（E）については、これを省略して記述している。なお、器種など名称や分類の基準、年代観などは、文末に記した文献を参照とした。

2　18 区の遺物

18 区 009SK（図 53- 1）

1 は山茶碗の小皿。底部片となる。時期は山茶碗５型式。

18 区 017SK（図 53- 2）

２は山茶碗の碗。やはり底部片となる。高台端部にはモミガラの圧痕を残す。時期は山茶碗４型式。

18 区 055SK（図 53- 3）

３は須恵器の浄瓶。頸部片で、口端部を欠く。時期は折戸 10 窯式。

18 区 001SD（図 53- ４・５）

４・５は大窯期。４は建水か。底部片で、外面に糸切り痕を残す。時期は大窯３期。５は摺鉢の体部片で、時期は大窯Ⅲ期。

18 区 023SD（図 53- ６～ 10）

６は大窯期の小天目茶碗。底部片で、内面に鉄釉を施す。時期は大窯３～４期。７も大窯期の徳利。口縁部片で、外面にサビ釉を施す。８・９は土師器の皿。時期は 15 世紀後半だが、後者はやや古相か。10 は山茶碗の碗。底部片で、高台は剥離する。時期は山茶碗５型式。

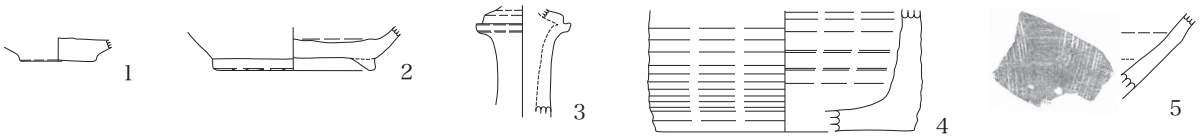
3　21 区の遺物

370SI（図 53-11・12）

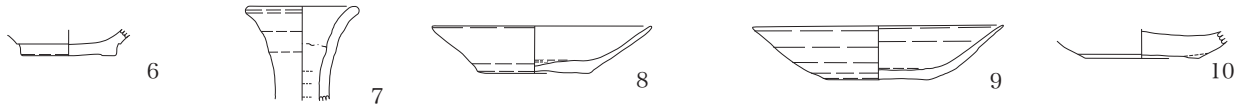
11 は台付甕の台部で、時期は弥生時代後期の寄道式となる。12 は 370SI 内の 368SK の出土。やはり台付甕の台部で、11 と同時期となる。

411SI（図 53-13 ～ 17）

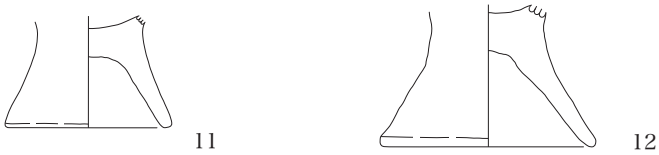
13 は古瀬戸の天目茶碗。口縁部片で、内外面に灰釉を施す。14 は古瀬戸の壺・瓶類の肩部片。外面に灰釉を施し、画花文も観察できる。時期は古瀬戸中期。15 は貿易陶磁。龍泉窯系青磁碗Ⅰ類の口縁部片。時期は 12 世紀中頃～ 12 世紀後半。16 は古瀬戸碗の口縁部片。端部で短く屈曲する。時期は古瀬戸後期。



1・・18区009SK　2・・18区017SK　3・・18区055SK　4・5・・18区001SD



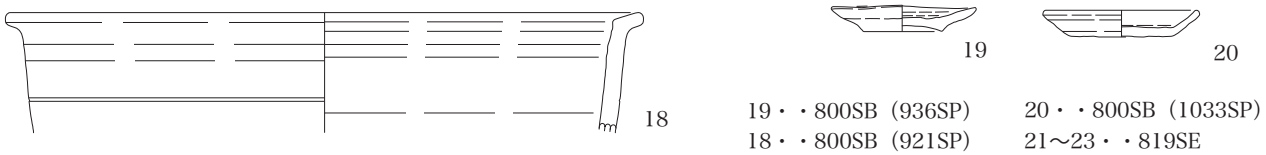
6～10・・18区023SD



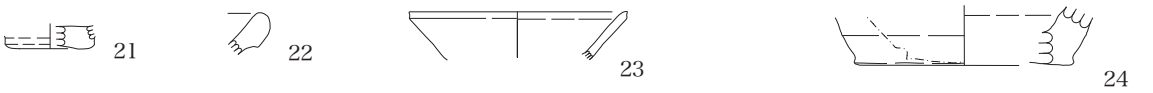
11・・370SI
12・・370SI（368SK）



13～17・・411SI

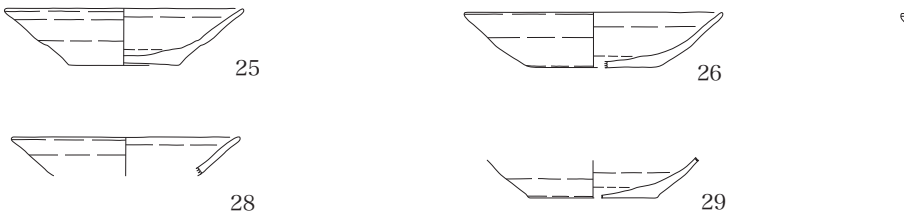


19・・800SB（936SP）　20・・800SB（1033SP）
18・・800SB（921SP）　21～23・・819SE



24・・1116SE

40～64・・106SK



30～36・・153SK

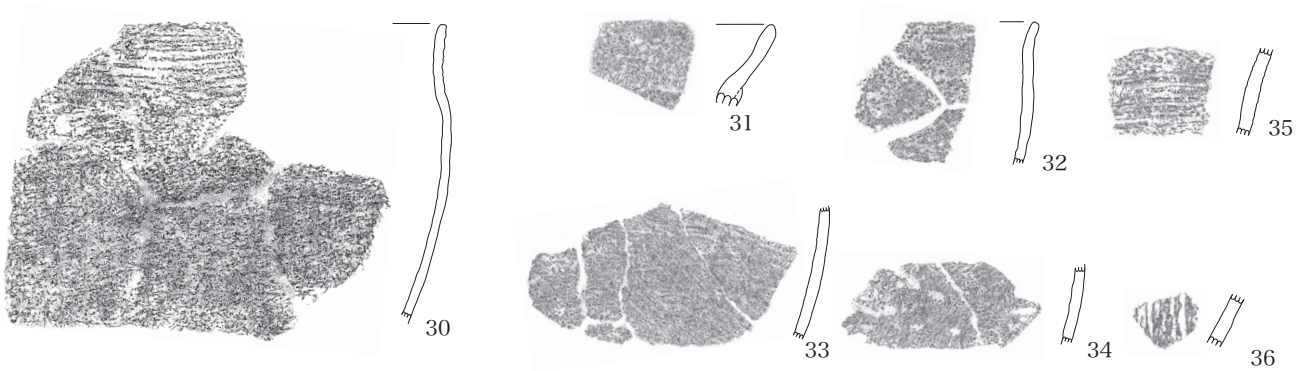


図53　出土遺物-1　1:4

17 は陶丸で、表面は摩滅する。重量は 9.6 ｇをはかる。

600SB（図 63- Ｗ１）

Ｗ１は 820SK から出土した柱根。残存長は 55 ㎝で、基底部は直径 12.0 ㎝となる。試料を採取して放射性年代測定を実施しており、詳細はⅣ章で報告する。

800SB（図 53-18 ～ 20）

18 は 921SP から出土した古瀬戸の桶。口縁部片で、内外面に鉄釉を施す。短く屈曲する形状で、端部に面を持ち、体部の外面には沈線文を刻む。時期は古瀬戸後Ⅳ期。19・20 は土師器の皿。小型で、内底部に焼成時の亀裂が入る。時期はいずれも 15 世紀後半。19 は 936SP、20 は 1033SP から出土した。

1205SB（図 62-386）

386 は 618SK から出土した平瓦。硬質な焼成で、時期は古代。

819SE（図 53-21 ～ 23）

21・22 は古瀬戸。21 は天目茶碗。底部片で、削り出し内反り高台となる。時期は古瀬戸後期前半。22 は壺の口縁部片で、端部は玉縁状を呈し、内外面には灰釉を薄く施す。23 は土師器の皿。口縁部片で、端部がフラットとなる。

1116SE（図 53-24）

24 は古瀬戸の口広有耳壺。底部片で、外底部に糸切り痕を残す。器壁はやや厚い。外面には鉄釉を施す。時期は古瀬戸後期。

106SK（図 53-25 ～ 29）

25 ～ 29 は土師器の皿。27 は口縁部にススが付着する。時期はいずれも 15 世紀後半。

153SK（図 53-30 ～ 36、図 63- Ｓ９）

30 ～ 35 は深鉢で、縄文晩期の西之山式。30 ～ 32 は口縁部片。30 は口縁部～体部の大型の破片で、口縁部付近に二枚貝による条痕文を施す。31 も口縁部片。外面に突帯を貼付する。32・35 は 30 と同一個体か。33・34 は体部片で同一個体か。33 の外面上部と 36 の外面には条痕文が確認できる。Ｓ９は叩石。石材は花崗岩で、重量は 86.7 ｇをはかる。

160SK（図 54-37 ～ 64）

37 ～ 39 は古瀬戸。37 は天目茶碗。底部を欠く。時期は古瀬戸後Ⅰ期。38・39 は摺鉢。38 は底部片となる。39 は口縁部片で、端部は短くくびれる。時期は古瀬戸後Ⅳ期だが、38 は大窯 1 期まで下がる可能性が強い。40 ～ 64 は土師器の皿。56 は器面が摩滅しており不明確だが、外面底部付近に手持ちヘラ削りを施すのかもしれない。時期はいずれも 15 世紀後半。

263SK（図 54-70）

70 は白磁の皿。口縁部片でⅧ類か。時期は 12 世紀中頃～ 12 世紀後半。

300SK（図 54-65 ～ 69）

65 ～ 69 は古瀬戸。65 は天目茶碗。底部片で、削り出し打ち反り高台となる。時期は古瀬戸後期後半。66 は摺鉢の口縁部片。時期は古瀬戸後Ⅳ期新。67 は卸目付大皿の口縁部片。時期は古瀬戸後Ⅳ期。68 は山茶碗。碗の底部片で、時期は山茶碗４型式。69 は土師器の皿。時期は 15 世紀後半。

321SK（図 54-71 ～ 73）

71 ～ 73 は土師器の皿。いずれも小型。73 は器高がやや高い。時期は 15 世紀後半。

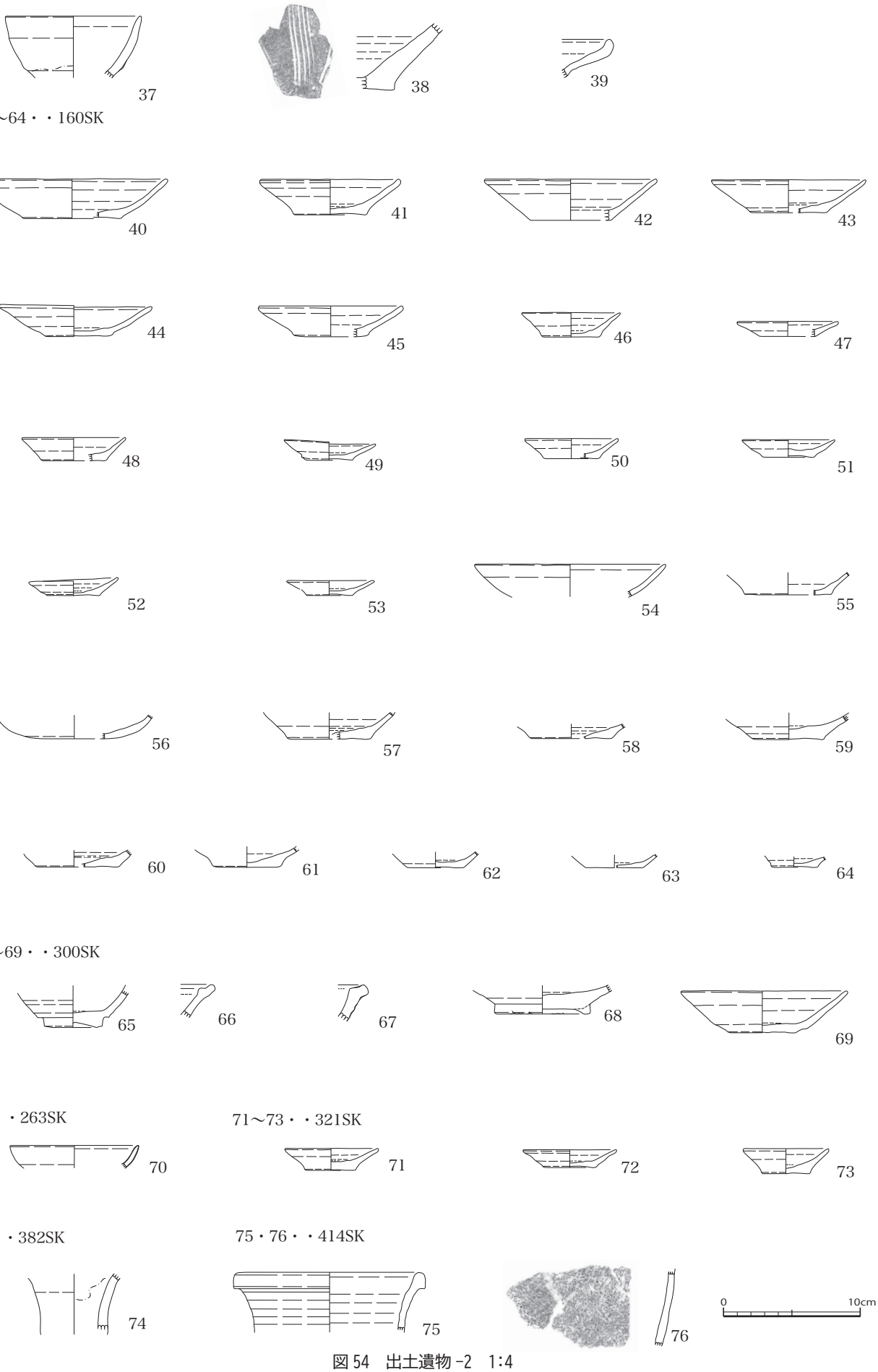

37
38
39
37～64・・160SK
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
65～69・・300SK
65
66
67
68
69
70・・263SK
70
71～73・・321SK
71
72
73
74・・382SK
74
75・76・・414SK
75
76
0
10cm

図 54　出土遺物 -2　1:4

382SK（図 54-74、図 63- Ｓ１）

74 は古瀬戸の壺・瓶類。頸部片で内面の上部と外面に灰釉を施す。時期は古瀬戸後Ⅳ期か。Ｓ 1 は石鏃で、石材はサヌカイトか。重量は 1.5 ｇをはかる。

414SK（図 54-75・76）

75 は古瀬戸。壺の口縁部片。端部は縁帯を形成する。時期は古瀬戸後Ⅳ期。76 は縄文土器中期の深鉢。体部片となる。

433SK（図 55-77 ～ 84）

77 ～ 80 は古瀬戸。77・78 は天目茶碗。77 は外底部に墨書を施す。鮮明だが判読はできない。底部片で、削り出し内反り高台となる。78 は底部を欠く。77 と同一個体である可能性が強いが、接合はしない。時期は古瀬戸後Ⅳ期。79 は平碗で、底部を欠く。時期は古瀬戸後期後半。80 は壺・瓶類の肩部片で、外面に灰釉を施す。画花文のモチーフは牡丹か。時期は古瀬戸中期。81・82 は山茶碗。81 は碗の底部片で、高台は剥離する。時期は山茶碗６型式。82 は碗もしくは小皿の底部片。時期は山茶碗６型式以降。83 は陶丸で、表面は摩滅する。重量は 8.5 ｇをはかる。84 は瓦質土器の火鉢。口縁部片で、端部に縁帯を持ち、外面に雷文を施す。

556SK（図 55-85 ～ 87）

85 ～ 87 は土師器の皿。87 は小型。時期は 15 世紀前半。

578SK（図 55-89）

89 は貿易陶磁。龍泉窯系の青磁碗Ｂ類で、底部を欠く。時期は 15 世紀後半～ 16 世紀前半。

640SK（図 55-88、図 63- Ｓ４）

88 は深鉢の口縁部片。端部は比厚し､外面には単節縄文を施す。時期は縄文時代中期後半～後期前葉。S4 は使用痕のある剥片。石材はチャートで、重量は 6.8 ｇ。

784SK（図 55-90 ～ 99）

90 は古瀬戸。摺鉢の口縁部片となる。時期は古瀬戸後Ⅳ期。91 ～ 99 は土師器。91 ～ 97 は皿。94 は小型で、やや器高が高い。93 は大型だが扁平な形状で、腰部が鈍く屈曲する。不鮮明だが、外面底部付近に手持ちヘラ削りを施すのか。時期はいずれも 15 世紀後半。98・99 は釜。鍔部片で外面の鍔部以下にススが付着する。時期はいずれも 15 世紀後半。

807SK（図 55-100・101）

100 は山茶碗。碗の底部片で、高台は剥離する。時期は山茶碗４型式。101 は土師器の皿。時期は 15 世紀後半。

864SK（図 55-102・103）

102・103 は近世陶器赤物の甕で、同一個体と思われ、時期は 17 世紀後半～ 18 世紀初頭。102 は底部片で、大きく歪む。外底部と体部外面の下端に墨書が確認できる。前者は『午〇〇』で、後者は縦方向に一筆で描く線を四本並べる。103 は 102 の内面から出土した口縁部片。時期は 17 世紀末～ 18 世紀初頭。

922SK（図 55-104）

104 は山茶碗。碗の口縁部片で、時期は 12 世紀代か。

928SK（図 55-105、図 63- Ｓ５）

105 は土師器の焙烙。口縁部片で体部は丸みを帯びる。外面にはススが付着する。Ｓ５は使用痕のある剥片。石材は下呂石で、重量は 2.4 ｇをはかる。

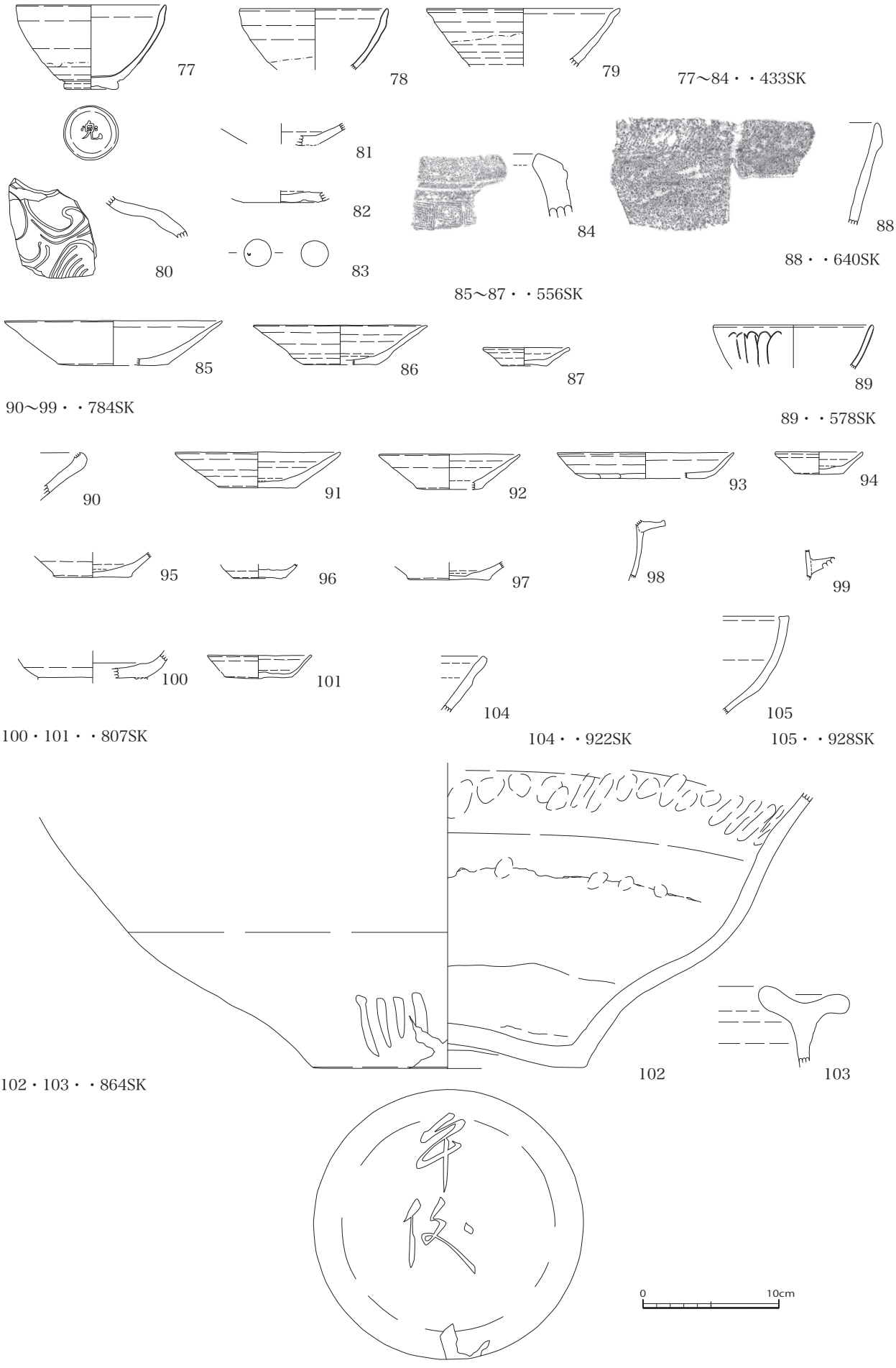

77
78
79
77～84・・433SK
81
82
83
80
84
88
88・・640SK
85～87・・556SK
85
86
87
89
90～99・・784SK
89・・578SK
90
91
92
93
94
95
96
97
98
99
100
101
104
105
100・101・・807SK
104・・922SK
105・・928SK
102
103
102・103・・864SK
0
10cm

図 55　出土遺物 -3　1:4

097SP（図 56-106・107）

106・107 は、胎土が類似する。同一個体と思われ、結合土器の可能性を持つ。時期は弥生後期～古墳前期か。

109SP（図 56-108）

108 は山茶碗。小皿でやや深い形状となる。時期は山茶碗５型式。

110SP（図 56-109）

109 は山茶碗。小皿でやはりやや深い形状となる。時期は山茶碗５型式。

124SP（図 56-110・111）

110・111 は山茶碗。碗の底部片で、高台端部にはモミガラの圧痕を残す。時期はいずれも山茶碗５型式。

207SP（図 56-112）

112 は縄文土器。深鉢の底部片となる。

229SP（図 56-113）

113 は土師器の皿。やや扁平な形状で、腰部が鈍く屈曲する。胎土が黒褐色で２～３㎜大の砂粒を含み、他の土師器皿と比較してやや異質となる。時期は 16 世紀前葉から中葉。

234SP（図 56-114・115）

114 は古瀬戸。天目茶碗で、底部を欠く。時期は古瀬戸後期前半。115 は土師器の皿。底部を欠く。時期は 15 世紀後半。

287SP（図 56-116）

116 は土師器の皿で、体部はやや外反気味となる。

315SP（図 56-117）

117 は古瀬戸の天目茶碗。底部を欠く。時期は古瀬戸後期前半。

336SP（図 56-118・119）

118・119 は土師器の皿。118 は小型。119 は口縁部を欠く。

338SP（図 63- Ｓ２）

Ｓ２は石鏃。石材は溶結凝灰岩で、重量は 0.1 ｇをはかる。

375SP（図 56-120）

120 は土師器の皿。ロクロ整形で、口縁部を欠く。

396SP（図 56-121）

121 は古瀬戸。天目茶碗の口縁部片。時期は古瀬戸後期前半。

708SP（図 56-122）

122 は古瀬戸。平碗の口縁部片。時期は古瀬戸後期前半。

751SP（図 56-123）

123 は山茶碗。碗の底部片。高台端部にはモミガラの圧痕を残す。時期は山茶碗６型式。

781SP（図 56-124）

124 は灰釉陶器の広縁段皿。高台を欠く。体部内外面に灰釉を薄く施す。時期は折戸 53 窯式。

883SP（図 56-125）

125 は山茶碗の碗。底部片で、高台は剥離する。時期は山茶碗６型式。

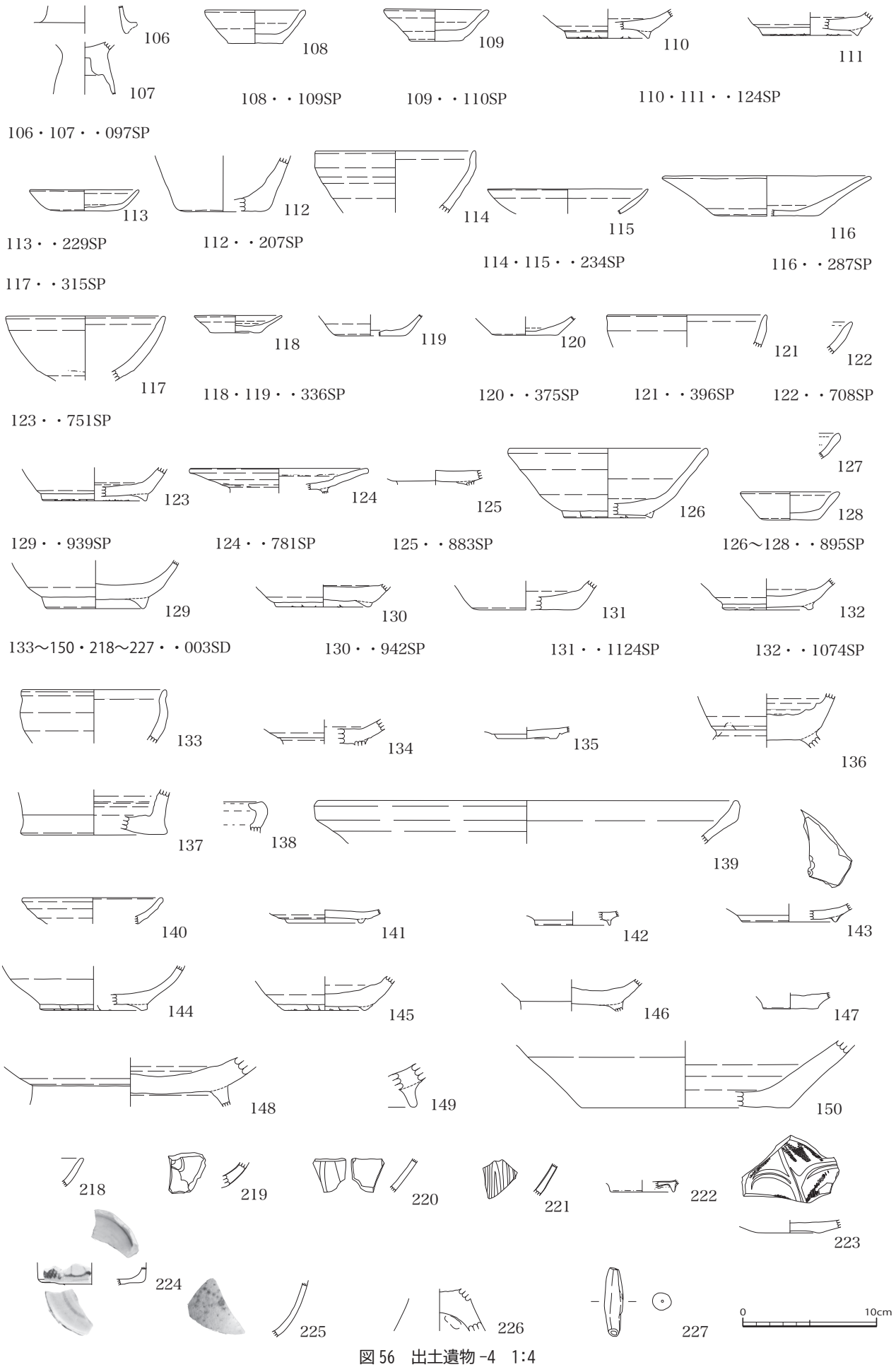

106
107
106・107・・097SP
108
108・・109SP
109
109・・110SP
110
111
110・111・・124SP
113
113・・229SP
112
112・・207SP
114
115
114・115・・234SP
116
116・・287SP
117
117・・315SP
118
119
118・119・・336SP
120
120・・375SP
121
121・・396SP
122
122・・708SP
123・・751SP
123
124
124・・781SP
125
125・・883SP
126
127
128
126～128・・895SP
129
129・・939SP
130
130・・942SP
131
131・・1124SP
132
132・・1074SP
133～150・218～227・・003SD
133
134
135
136
137
138
139
140
141
142
143
144
145
146
147
148
149
150
218
219
220
221
222
223
224
225
226
227
0
10cm

図 56　出土遺物 -4　1:4

895SP（図 56-126 ～ 128）

126 ～ 128 は山茶碗。126 は碗で全形を残し、腰部はやや張る。高台端部にはモミガラの圧痕を残す。時期は山茶碗６型式。127 ・128 は小皿。127 は口縁部片となる。128 はやや深手となる。時期は山茶碗５型式。

908SP（図 63- Ｓ６）

Ｓ６は使用痕のある剥片。石材はチャ－トで、重量は 8.1 ｇをはかる。

928SK（図 63- Ｓ５）

Ｓ５は使用痕のある剥片。石材は下呂石で、重量は 2.4 ｇをはかる。

939SP（図 56-129）

129 は山茶碗。碗の底部片で、時期は山茶碗５型式。

942SP（図 56-130）

130 は山茶碗。碗の底部片で、高台端部にはモミガラの圧痕を残す。時期は山茶碗５型式。

1124SP（図 56-131）

131 は山茶碗。碗の底部片で、高台が剥離する。

1074SP（図 56-132）

132 は山茶碗。碗の底部片。時期は山茶碗５型式。

003SD（図 56・57-133 ～ 227、図 62-387・388）

133 ～ 139 は古瀬戸。133 は天目茶碗。底部を欠く。時期は古瀬戸後期Ⅳ期新。134・135 は平碗の底部片。時期はいずれも古瀬戸後期前半。136 は花瓶。高台を欠く。内面はロクロ痕が明瞭。外面は灰釉を施し、外底部には糸切り痕を残す。298SD 資料と接合する。時期は古瀬戸後期。137 は梅瓶か。体部下方が括れる。外底部に糸切り痕を残し、外面には灰釉を施す。時期は古瀬戸後期。138 は内耳鍋。内湾する口縁部片で、端部はフラットとなる。時期は古瀬戸後期後半。139 は摺鉢で口縁部片。端部で縁帯を形成する。時期は古瀬戸後Ⅳ期。140 ～ 143 は大窯期で、140 は丸皿。志野釉を施す。時期は大窯４期。141 ～ 143 は丸皿もしくは端反皿で、付高台となる。いずれも灰釉を施し、143 の内底部には押印文も観察できる。時期は、143 が大窯１期ないし２期で、141・142 は時期が特定できない。144 ～ 149 は山茶碗。144 ～ 146 は碗。144・145 は高台にモミガラの圧痕を残す。146 は高台が剥離する。時期は 145・145 が山茶碗５型式。147 は小皿。底部が突出する。時期は山茶碗５型式。148・149 は鉢。いずれも底部片。150 は甕の底部片。151 ～ 217 は土師器。151 ～ 216 は皿。154・161 は口縁部にススが付着する。181・182・200 は外面底部付近に手持ちヘラ削りを施す。166・167 は器面が摩滅し、手持ちヘラ削りの有無が確認できないが、181・182・200 に形状が類似する。157 ～ 162、212 ～ 216 は小型となる。212 は底径 3.4 ㎝と、通常の小型品よりさらに小振となる。胎土は黒褐色でやや異質。217 は羽釜の口縁部片。外面にススが付着する。218 ～ 223 は貿易陶磁。いずれも青磁。218 は皿の口縁部片で、時期・産地は不明。219 ～ 221 は碗。219 は龍泉窯系Ⅰ類で、時期は 12 世紀中頃～ 12 世紀後半。220 は龍泉窯系Ⅱ－ｂ類もしくはⅡ－ｃ類で、時期は 13 世紀前半、221 は龍泉窯系Ｂ類で、時期は 15 世紀後半～ 16 世紀前半。222 は小碗で、龍泉窯系青磁Ⅱ類と思われ、時期は 13 世紀前半。223 は皿で、同安窯系Ⅰ－２－ｂ類。時期は 12 世紀中頃～ 12 世紀後半となる。224・225 は近世陶器でいずれも染付碗。224 は腰部が屈曲する筒形碗で、時期は 19 世紀初頭か。225 は丸碗。内外面に灰釉を施し、外面には染付を付加する。時期は 19 世紀初頭頃か。226 は台付甕の台部片。時期は弥生時代後期か。227 は土錘。

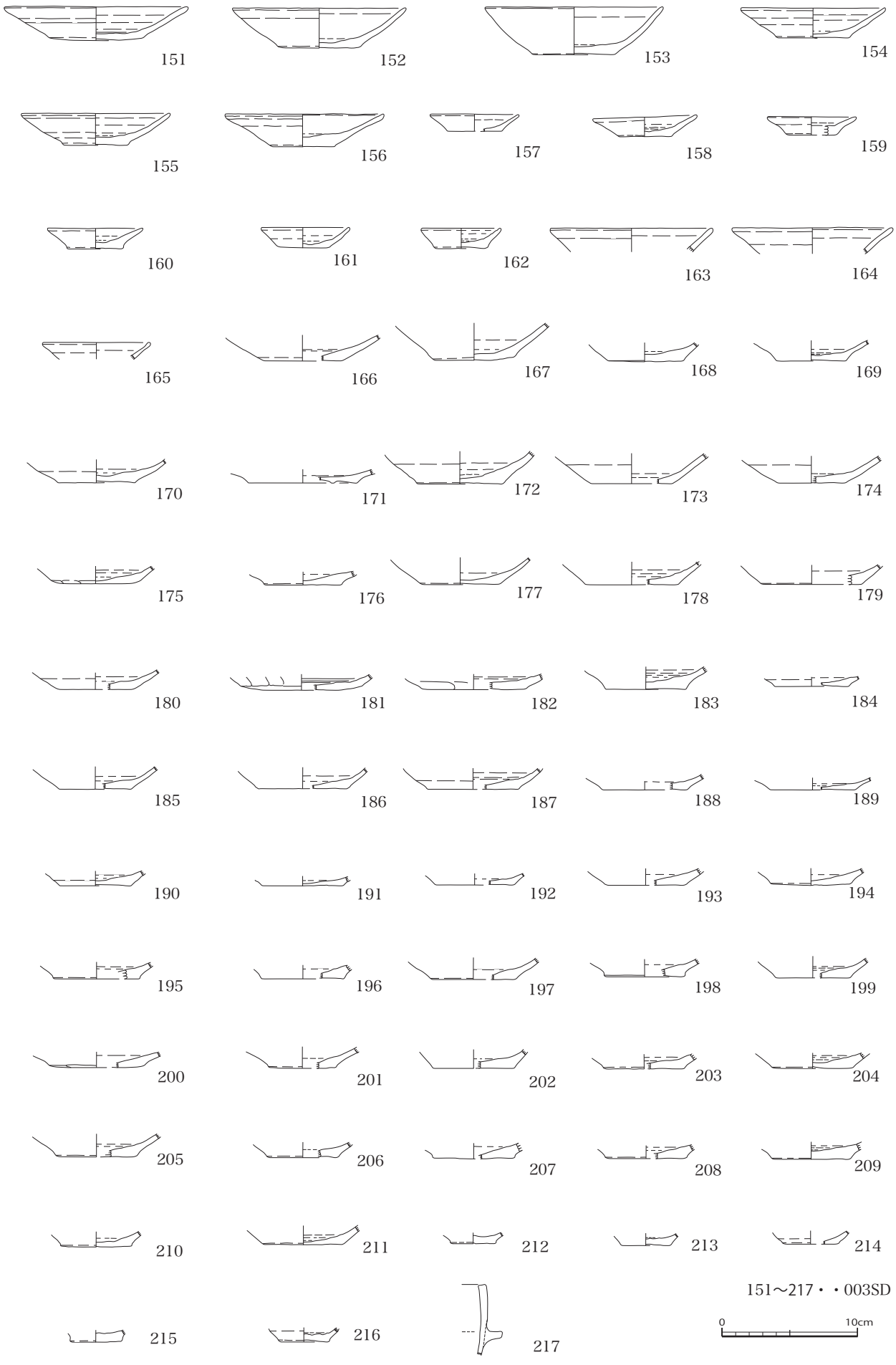

151
152
153
154
155
156
157
158
159
160
161
162
163
164
165
166
167
168
169
170
171
172
173
174
175
176
177
178
179
180
181
182
183
184
185
186
187
188
189
190
191
192
193
194
195
196
197
198
199
200
201
202
203
204
205
206
207
208
209
210
211
212
213
214
215
216
217
151～217・・003SD
0
10cm

図 57　出土遺物 -5　1:4

全長 5.1 ㎝、最大径 1.4 ㎝で、重量は 7.9 ｇとなる。387・388 は平瓦で、387 は軒平瓦。瓦当に忍冬唐草文を施す。表面には軽い燻しが観察できる。時期は 13 世紀後葉～ 15 世紀。388 は軟質な焼成で、時期は古代。なお、図示していないが、釘の可能性を持つ棒状の鉄製品も 1 点出土している。

008SD（図 58-228）

228 は古瀬戸。壺・瓶類の肩部片で、外面にクシ描きによる沈線を巡らす。時期は古瀬戸中期。

105SD（図 58-229）

229 は山茶碗。小皿で底部を欠く。やや深い形状となる。時期は山茶碗５型式。

107SD（図 58-230 ～ 249、251 ～ 253、図 62-389）

230 ～ 233 は古瀬戸。230・231 は壺・瓶類の体部片。230 は外面にクシ描きによる沈線を巡らす。時期は古瀬戸中期。231 は肩部片でやや小振りとなる。外面にヘラ描きによる沈線を二条巡らす。時期は古瀬戸中期前半。232 は花瓶の底部片か。内面はロクロ痕が明瞭で、外底面に糸切り痕を残す。時期は古瀬戸後Ⅳ期。233 は折縁深皿の口縁部片か。内外面に灰釉を施す。時期は古瀬戸後期後半。234 ～ 243 は山茶碗。いずれも碗で、234 は平底で浅く、やや深い形状で体部は直線的となる。時期は山茶碗９型式。235 ～ 241 は底部。241 は高台が剥離するが、235 ～ 240 は高台端部にモミガラ圧痕を残す。時期は 235・237・240 が山茶碗５型式、236・238・239 が山茶碗６型式。242・243 は碗もしくは小皿。いずれも平底となる。時期は山茶碗９型式か。244 は陶丸で、表面は摩滅する。重量は 7.4 ｇをはかる。245 ～ 248 は土師器の皿。247・248 は小型で底部が突出する。胎土の色調が赤褐色となり特徴的。時期は 13 世紀か。251・252 は貿易陶磁。いずれも青磁で、251 は龍泉窯系碗Ⅰ－ 1－ａ類で、時期は 12 世紀中頃～ 12 世紀後半。252 は同安窯系皿Ⅰ－ 1－ａ類で、時期は 12 世紀中頃～ 12 世紀後半。253 は須恵器蓋の鈕部片。389 は平瓦。硬質な焼成で、時期は古代。

139SD（図 58-250、図 62-390）

250 は瓦質土器か。筒状の形状で、底部は平底となる。内面には鍔が貼付され、体部下方は焼成前穿孔を施す。形状は全形が残存しないため不明確となる。燻しは、内面の鍔部の上方と底面以外で確認できる。器種、時期ともに不明。390 は飾り瓦か。外面を燻し、刺突により鱗を表現するのか。時期は近世以降。

140SD（図 58-254 ～ 260、図 62-391）

254・255 は古瀬戸。254 は天目茶碗の口縁部片となる。時期は古瀬戸後期前半。255 は壺・瓶類の肩部片。外面にクシ描きによる沈線を巡らす。時期は後期。256 は大窯期の丸皿。碁笥底で、内外面に志野釉を施す。時期は大窯４期。257 は山茶碗の碗。底部片で高台端部にモミガラ圧痕を残す。時期は山茶碗５型式。258 は土師器の皿。やはり底部片でロクロ整形による。259・260 は貿易陶磁。いずれも青磁碗で、259 が龍泉窯系Ⅰ－３－ａ類で、時期は 12 世紀中頃～ 12 世紀後半、260 は同安窯系Ⅰ－ 1－ｂ類で 12 世紀中頃～ 12 世紀後半となる。391 は平瓦。140SD の上部から出土。表面を燻す。時期は近世。

180SD（図 58-261・262）

261・262 は古瀬戸。261 は平碗で、底部片。内面に焼成時の降灰を未調整で残す。時期は古瀬戸後期後半。262 は壺・瓶類の肩部片。外面にヘラ描きによる二条の沈線を二段巡らし、耳部の剥離痕も観察できる。時期は古瀬戸後期前半。

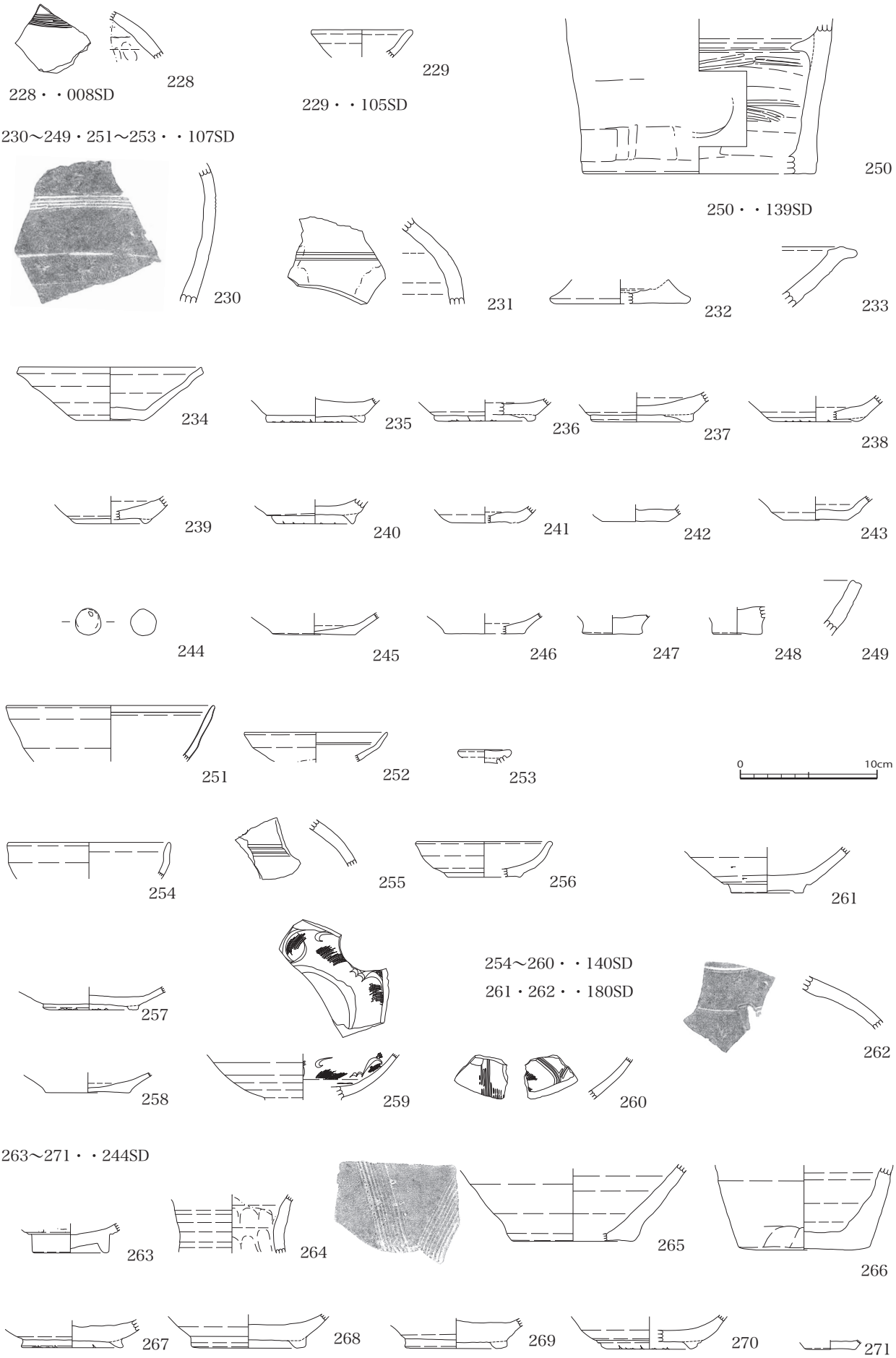

228
228・・008SD
229
229・・105SD
250
250・・139SD
230～249・251～253・・107SD
230
231
232
233
234
235
236
237
238
239
240
241
242
243
244
245
246
247
248
249
251
252
253
0
10cm
254
255
256
261
254～260・・140SD
261・262・・180SD
257
258
259
260
262
263～271・・244SD
263
264
265
266
267
268
269
270
271

図 58　出土遺物 -6　1:4

244SD（図 58-263 ～ 271、図 62-392）

263 は近世陶器の丸碗。底部片で、削り出し輪高台となる。時期は近世初頭か。264 は壺・瓶類の頸部片。時期は古瀬戸中期か。265 は摺鉢の底部片となる。時期は古瀬戸Ⅳ期～大窯 1 期。266 は壺の底部片で、外面体部下方には手持ちヘラ削り調整をラフに施す。267 ～ 270 は碗の底部片。いずれも高台端部にモミガラ圧痕を残す。時期は 267 ～ 239 が山茶碗５型式、270 が山茶碗６型式。271 は土師器皿の底部片。392 は丸瓦。大型品で表面を燻す。時期は 16 世紀前葉～中葉か。

285SD（図 59-272）

272 は陶丸で、表面は摩滅する。重量は 9.4 ｇをはかる。

297SD（図 59-273）

273 は須恵器。壺の底部片で、丸底となる。

298SD（図 59-274 ～ 284）

274 ～ 277 は古瀬戸。274・275 は天目茶碗の口縁部片。時期は古瀬戸後期か。276 は香炉の底部片か。底部と体部の境界に三足が付き、外底部には糸切り痕を残す。内外面には灰釉を施すが、外底部は露胎となる。時期は古瀬戸後Ⅳ期か。277 は壺・瓶類の肩部片で、外面にヘラによる直線を縦方向に並べる。最大径付近に突帯を貼付し、上面には斜め方向にヘラによる刻目文を加え、外面には灰釉を施す。時期は古瀬戸中期か。278・279 は山茶碗。いずれも碗の底部片で、278 は高台が剥離する。279 は高台端部にモミガラ圧痕を残す。時期は山茶碗６型式か。280 ～ 282 は土師器の皿。281 は小型となる。283 は貿易陶磁。003SD 資料と接合する。白磁皿Ⅴ－４－ａ類で、時期は 12 世紀中頃～ 12 世紀後半。284 は須恵器蓋。やや焼成不良の天井部片となる。

299SD-A（図 59-285 ～ 321、図 62-393 ～ 395、図 63- Ｓ７）

285 ～ 287・321 は古瀬戸。285 は平碗の底部片。時期は古瀬戸後期後半。286 は天目茶碗の底部片。削り出し内反り高台となる。時期は後期後半。287 は壺・瓶類の肩部片。外面にクシ描きによる沈線を巡らす。時期は古瀬戸中期か。321 は広口壺の口縁部片。口縁部は短く直立し、端部がわずかに窪む。外面には灰釉を施す。時期は古瀬戸後期か。288 は大窯期の摺鉢体部片か。290 ～ 318 は土師器の皿。291・298 は外底部周囲に手持ちヘラ削りを施す。289・319・320 は山茶碗。289・320 は碗の底部片。高台端部にモミガラ圧痕を残す。時期は山茶碗６型式。320 は高台が剥離する。319 は小皿。底部片となる。393 ～ 395 は平瓦。393・394 は硬質な焼成となる。395 は軟質な焼成。時期はいずれも古代。Ｓ７は使用痕のある剥片。石材はチャートで、重量は 6.0 ｇをはかる。

299SD-B（図 59-322）

322 は土師器の皿。器壁はやや厚い。

299SD（図 59-323）

323 は 299SD の分岐以北から出土した山茶碗の小碗。底部片で、時期は山茶碗４型式か。

337SD（図 60-324 ～ 326）

324 は古瀬戸。摺鉢の底部片で、時期は古瀬戸後Ⅳ期か。325・326 は土師器の皿。いずれも小型か。時期は 16 世紀中葉。

406SD（図 60-327）

327 は土師器の皿。底部片で、時期は 15 世紀後半。

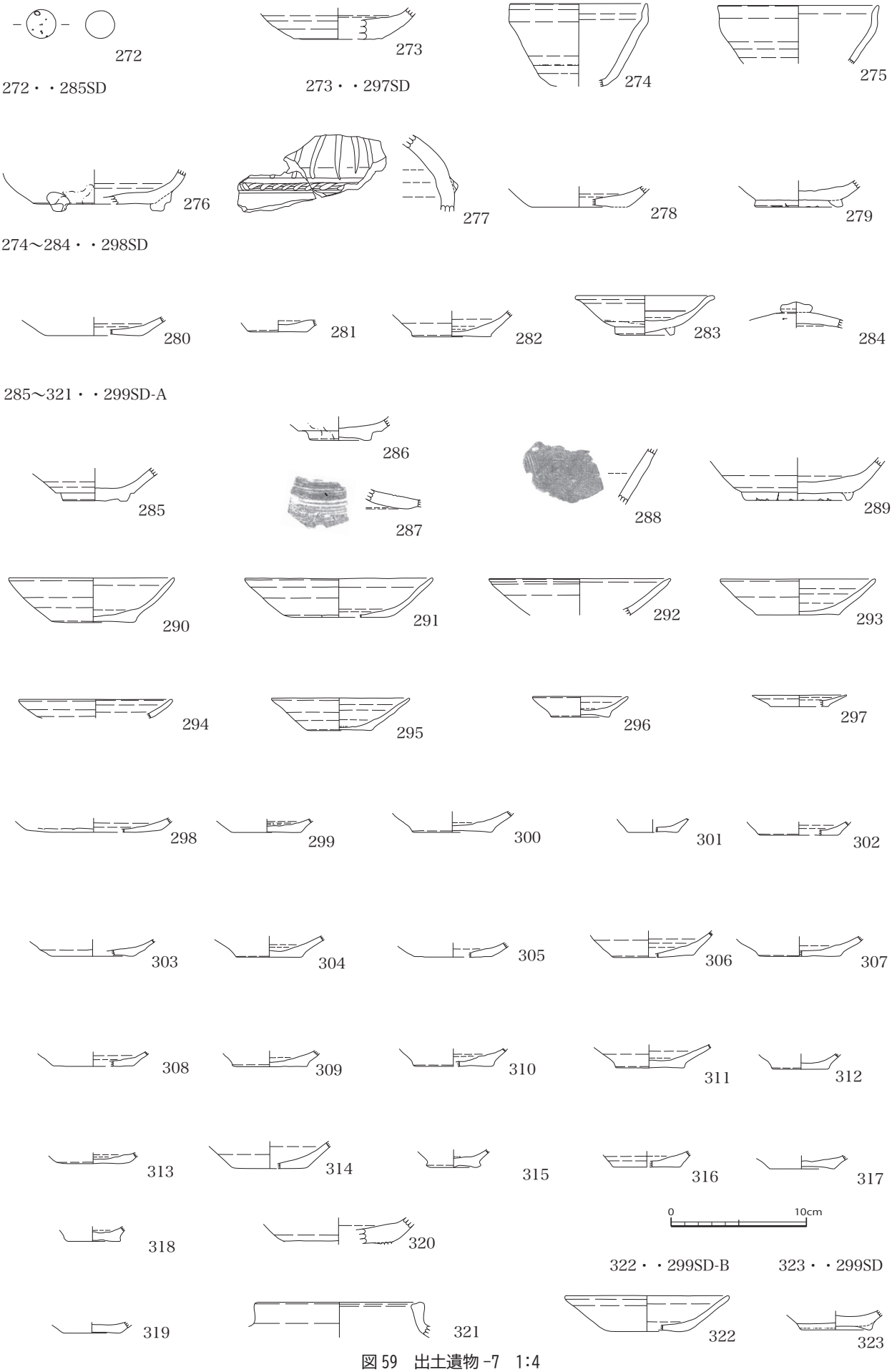

272
272・・285SD
273
273・・297SD
274
275
276
277
278
279
274～284・・298SD
280
281
282
283
284
285～321・・299SD-A
286
285
287
288
289
290
291
292
293
294
295
296
297
298
299
300
301
302
303
304
305
306
307
308
309
310
311
312
313
314
315
316
317
318
320
0
10cm
322・・299SD-B
323・・299SD
319
321
322
323

図 59　出土遺物 -7　1:4

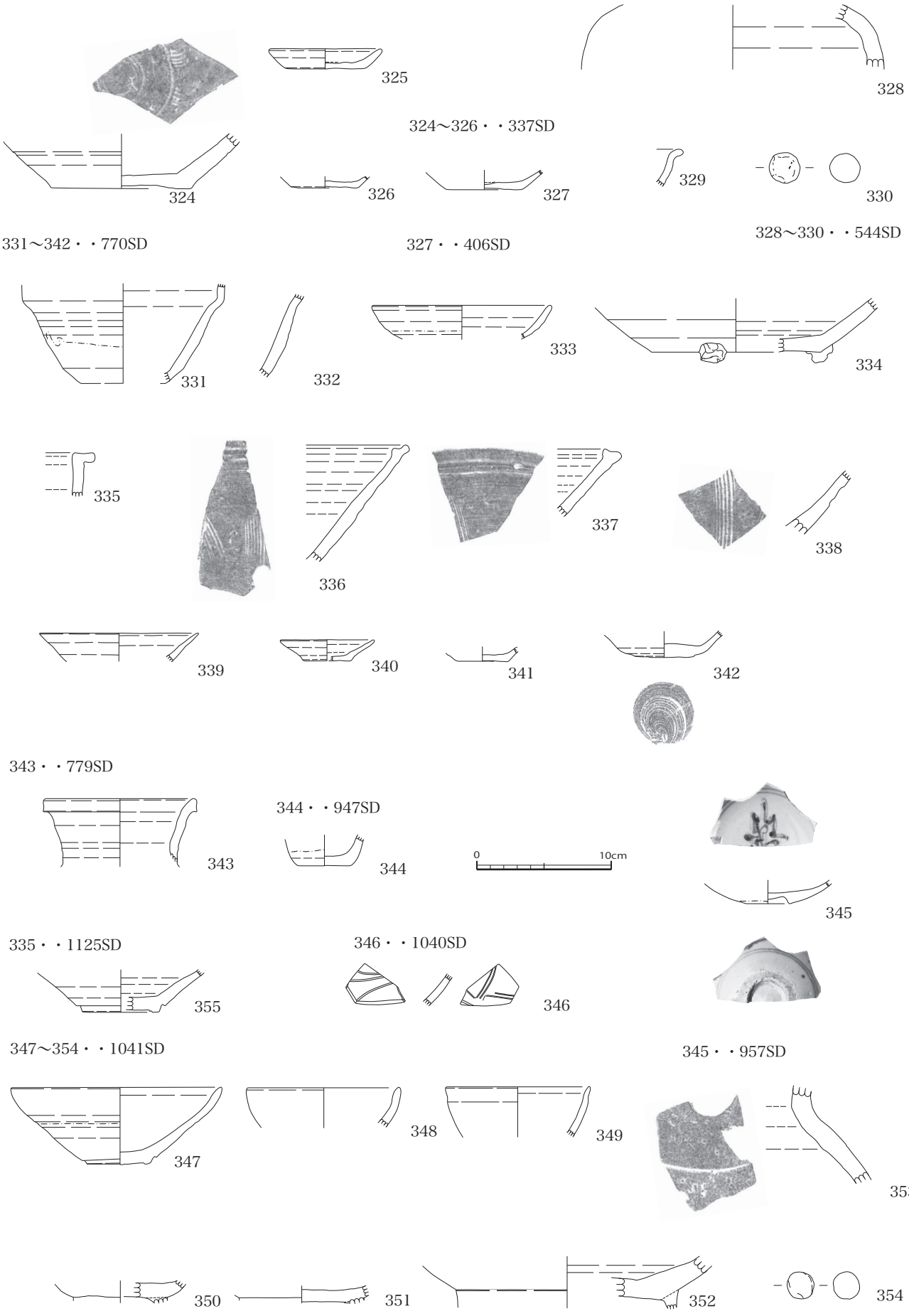
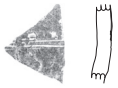

325
328
324～326・・337SD
324
326
327
329
330
331～342・・770SD
327・・406SD
328～330・・544SD
331
332
333
334
335
336
337
338
339
340
341
342
343・・779SD
343
344・・947SD
344
0
10cm
345
335・・1125SD
355
346・・1040SD
346
345・・957SD
347～354・・1041SD
347
348
349
353
350
351
352
354

図 60　出土遺物 -8　1:4

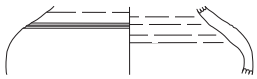
356・・782ST

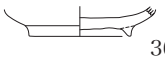


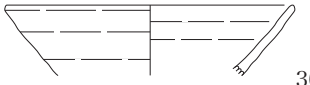
357～369・・095SX

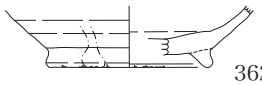




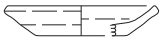


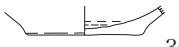




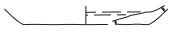








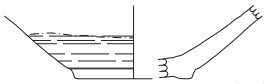








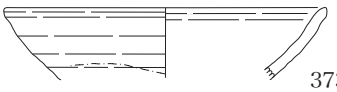
370～372・・1164SX

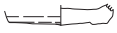


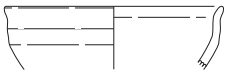


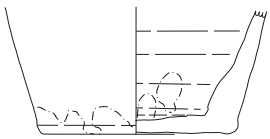


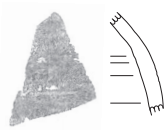
373～385・・遺構外

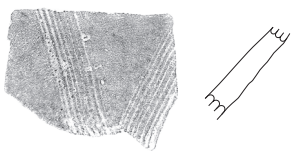




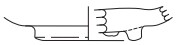


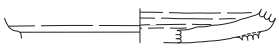




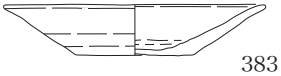


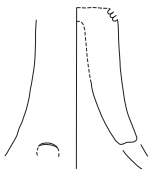














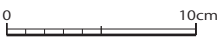


図 61　出土遺物 -9　1:4

554SD（図 60-328 ～ 330）

328 は壺・瓶類。肩部片で、鈍く屈曲する。329 は古瀬戸の折縁小鉢。口縁部の小片で、時期は古瀬戸後期。330 は陶丸で、表面は摩滅する。重量は 11.9 ｇをはかる。

770SD（図 60-331 ～ 342、図 62-396）

331 ～ 338 は古瀬戸。331・332 は天目茶碗の体部片。同一個体と思われるが、接合はしない。時期は古瀬戸後期。333 は縁釉皿の口縁部片。外面の下方を残し、全面に灰釉を施す。時期は古瀬戸後期前半。334 は盤類。底部と体部の境界に三足が付く。時期は古瀬戸後期後半。335 は鉢の口縁部片で、内外面に鉄釉を施す。口縁部は短く屈曲する形状で、端部に面を持つ。時期は古瀬戸後期か。336 ～ 338 は摺鉢の口縁部片。時期は 336 が古瀬戸後Ⅵ期新、337 が古瀬戸後Ⅳ期、338 は古瀬戸後Ⅵ期～大窯 1 期。339 ～ 341 は土師器の皿。340・341 は小型。時期は 15 世紀。342 は須恵器の杯。底部片で外底部に回転糸切り痕を残す。396 は平瓦。軟質な焼成で、時期は古代。

779SD（図 60-343）

343 は古瀬戸。壺・瓶類の口縁部片。端部で縁帯を形成する。時期は古瀬戸後期後半。

947SD（図 60-344）

344 は古瀬戸。茶入で、外面に鉄釉を施し、外底部には回転糸切り痕を残す。

957SD（図 60-345、図 62-397・398）

345 は貿易陶磁。染付皿でＣ群Ⅲ類の碁笥底皿となる。内面には壽文を描く。時期は 14 世紀末～ 15 世紀前半。397 は平瓦。柔質な焼成で、時期は古代。398 は軒平瓦で瓦当は外縁のみ残存する。表面には軽い燻しが観察できる。時期は 13 世紀後葉～ 15 世紀。なお、図示していないが、長さ 20 ㎝程度の棒状の鉄製品も出土している。

1040SD（図 60-346）

346 は貿易陶磁の青磁碗。体部の小片で外面にヘラ描蓮弁文を施す。

1041SD（図 60-347 ～ 354、図 62-399）

347 ～ 349 は古瀬戸。347 は平碗で、内面に焼成時の降灰を未調整で残す。時期は古瀬戸後Ⅳ期。348・349 は天目茶碗の口縁部片。時期は 348 が古瀬戸後期前半、349 が古瀬戸後期後半となる。350・351 は山茶碗。碗の底部片で、いずれも高台が剥離する。時期は 350 が山茶碗５型式、351 が山茶碗４ないし５型式。352 は鉢。やはり底部片。353 は壺の肩部片。肩部から緩やかに頸部に伸びる形状。外面に沈線文を施す。354 は陶丸で、表面は摩滅する。重量は 8.8 ｇをはかる。399 は平瓦。硬質な焼成で、時期は古代。

1125SD（図 60-355）

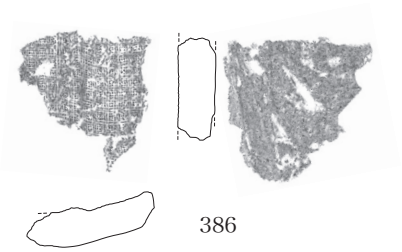
355 は古瀬戸の平碗。底部片で、時期は古瀬戸後期後半。

292ST（図 63- Ｓ 10）

S10 は臼玉。石材は滑石で、被熱は確認できない。

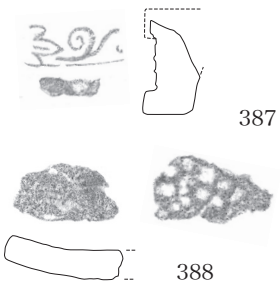
782ST（図 61-356、図 63-Ｍ１～Ｍ５）

356 は山茶碗の碗。被熱は確認できない。底部片で、時期は山茶碗６型式。混入か。Ｍ１～Ｍ５は銭貨だが、いずれも強い熱を受けているため劣化が進む。銭種はＭ３が洪武通宝と思われるが、他は不明。不明確だが、いくつかは接合すると思われ、総数は６枚以上となる可能性が強い（図 80）。



386

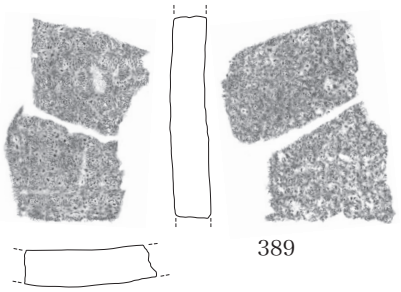
386・・1205SB（618SK）



387

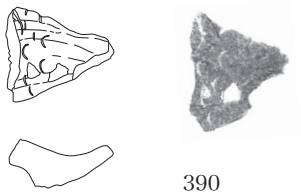
388

387・388・・003SD



389

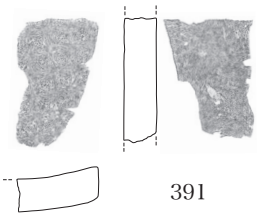
389・・107SD



390

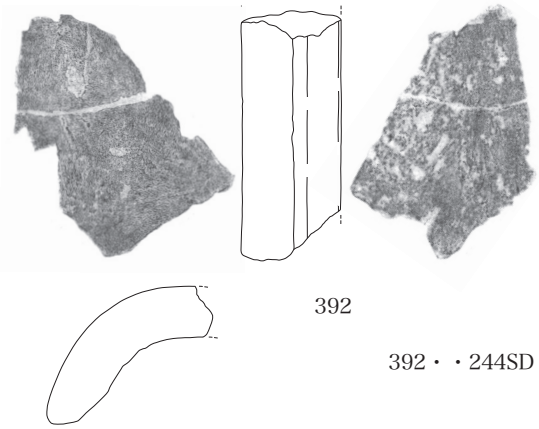
390・・139SD

393～395・・299SD—A



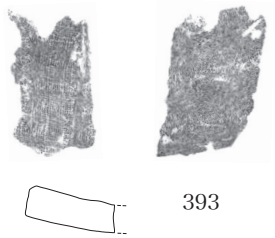
391

391・・140SD

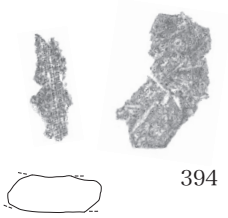


392

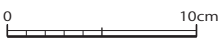
392・・244SD



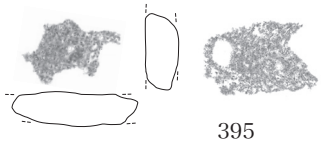
393



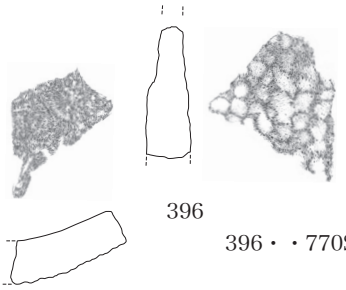
394



0 10cm

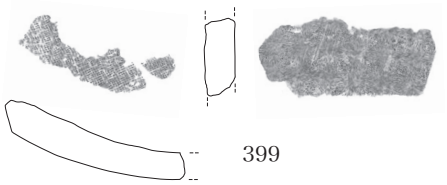


395



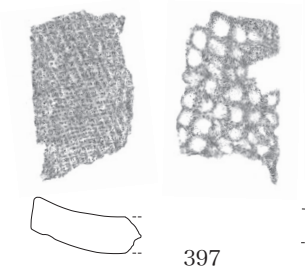
396

396・・770SD

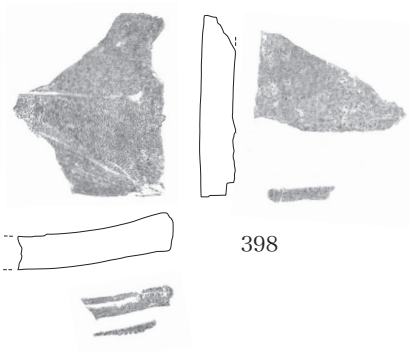


399

399・・1041SD



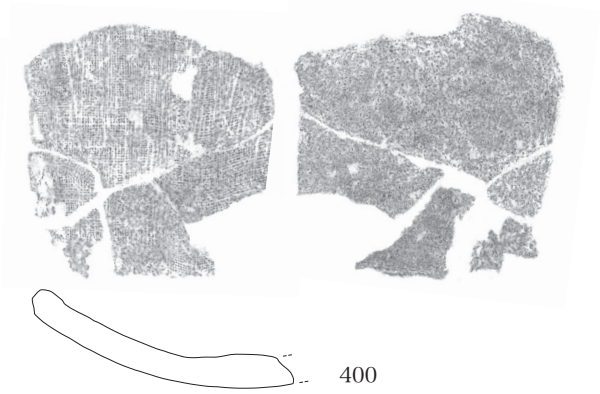
397



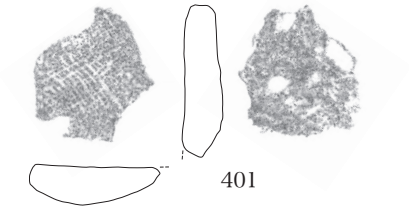
398

397・398・・957SD

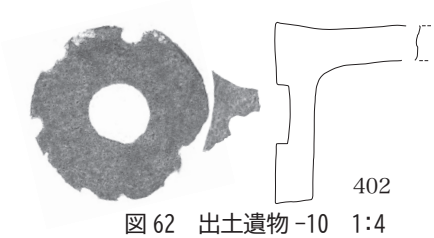
400～403・・・・遺構外



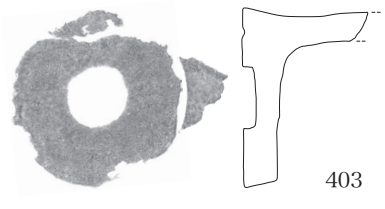
400



401



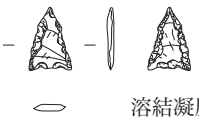
402



403

図 62　出土遺物 -10　1:4


サヌカイト
S1
S1・・382SK


溶結凝灰岩
S2
S2・・338SP


下呂石
S3
S3・・095SX

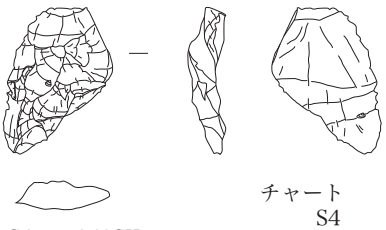
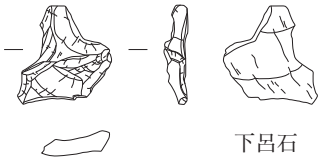


チャート
S4
S4・・640SK


下呂石
S5
S5・・928SK

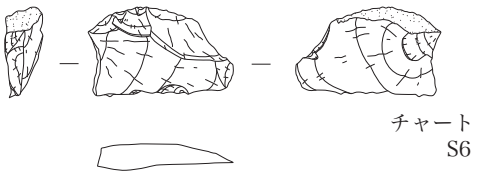


チャート
S6
S6・・908SP

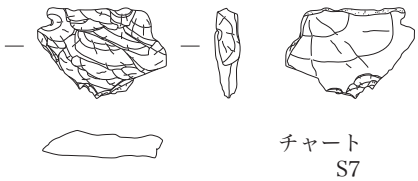
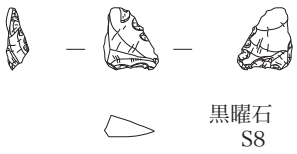
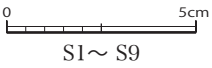
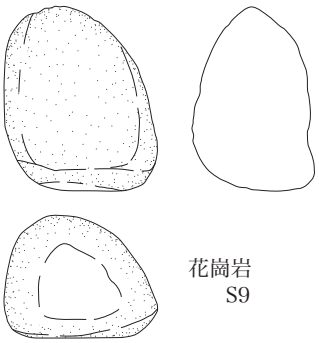


チャート
S7
S7・・299SD-A

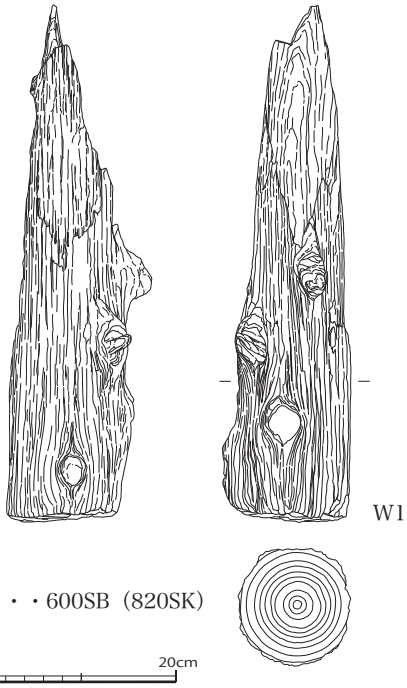

黒曜石
S8
S8・・遺構外

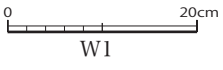

S1～ S9

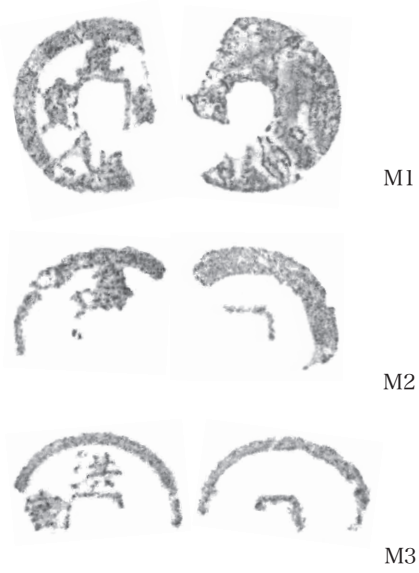

花崗岩
S9
S9・・153SK

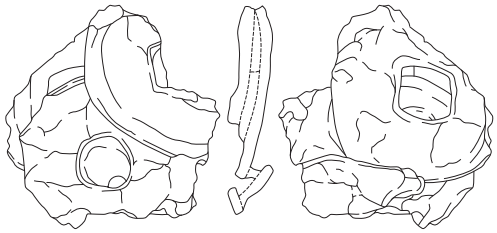

滑石
S10
S10・・292ST

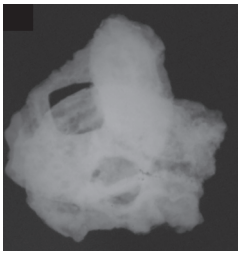

S10

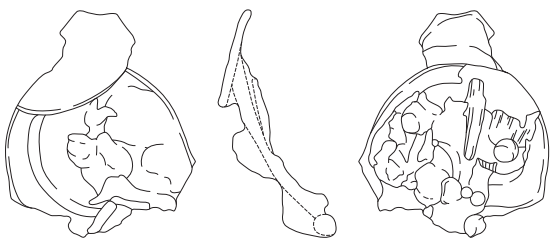

W1
W1・・600SB（820SK）


W1


M1
M2
M3
M1～M5・・782ST


M4




M5

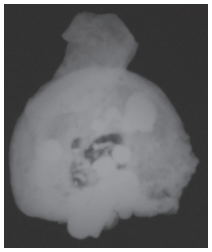

M1～M5

図 63　出土遺物 -11　1:1・1:2・1:8

095SX（図 61-357 ～ 369、図 63- Ｓ３）

357 ～ 359 は古瀬戸。いずれも壺・瓶類。357 は体部片。外面にクシ描きによる沈線を巡らす。時期は古瀬戸後期後半か。358・359 は肩部片。358 は小振り。359 は外面にヘラ描きによる二条の沈線を巡らす。時期はいずれも古瀬戸後期。360 は大窯期の端反皿ないし丸皿。底部片で付高台となる。内外面には灰釉を施す。時期は大窯１～２期。361 ～ 364 は山茶碗。361 ～ 363 は碗で、361 は口縁部となる。362・363 は底部片で、高台端部にモミガラ圧痕を残す。362 は渥美窯などで散見できる灰釉を施す碗なのかもしれない。時期は 361 が山茶碗４ないし５型式、362 が山茶碗３型式、363 は山茶碗６型式。364 は小皿。時期は山茶碗５型式。365 ～ 367 は土師器の皿。いずれも底部片となる。時期はいずれも 15 世紀後半。368 は土師器の伊勢型土鍋の口縁部片。369 は土錘。残存長は 3.3 ㎝となる。Ｓ３は石鏃。石材は下呂石。重量は 2.1 ｇをはかる。

1164SX（図 61-370 ～ 372）

370 は古瀬戸の平碗。時期は後期後半。371 は底部片で高台端部にも灰釉を施す。器種・時期ともに不明。372 は古瀬戸の壺･瓶類。体部片で､外面にクシ描きによる沈線を巡らす。時期は古瀬戸後期後半。

21 区遺構外資料（図 61-373 ～ 385、図 63-S8）

373 ～ 378 は古瀬戸。373・374 は平碗。373 は口縁部片。時期は古瀬戸後期後半。374 は底部片で、内面に焼成時の降灰を未調整で残す。時期は古瀬戸後期後半。375 は天目茶碗で、底部を欠く。時期は古瀬戸後Ⅳ期。376 は梅瓶の底部片。外面には灰釉を施す。時期は古瀬戸後期前半か。377 は壺・瓶類の体部片。外面にクシ描きによる沈線を巡らす。時期は古瀬戸後期後半。378 は大窯期。摺鉢の体部片。379･380 は貿易陶磁で、いずれも青磁の碗。379 は龍泉窯系Ｄ類で、時期は 14 世紀後半～ 15 世紀前半。380 は龍泉窯系碗Ⅰ類で､時期は 12 世紀中頃～ 12 世紀後半。381 は須恵器。やや大振りな杯の底部片で、高台は剥離する。382 は陶丸で、表面は摩滅する。重量は 9.5 ｇをはかる。383 は土師器の皿。384 は高杯の脚部片で､裾部を欠く。時期は弥生時代後期の寄道式となる。385 は古瀬戸で､徳利の口縁部片か。全面に灰釉を施す。400 ～ 403 は瓦。400・401 は軟質な焼成で、時期は古代。402・403 は軒桟瓦で類似した形状となる。外面を燻す。時期は近世以降。Ｓ８は使用痕のある剥片。石材は黒曜石。

参考・引用文献

愛知県史編さん委員会　2017 『愛知県史』資料編５　考古５ 鎌倉～江戸
愛知県史編さん委員会　2007 『愛知県史』別編　窯業２ 中世・近世　瀬戸系
愛知県史編さん委員会　2015 『愛知県史』別編　窯業１ 古代　猿投系
上田秀夫　1982 「14 ～ 16 世紀の青磁碗の分類」『貿易陶磁研究』NO.2　貿易陶磁研究会
小野正敏　1982 「15、16 世紀の染付碗、皿の分類とその年代」『貿易陶磁研究』NO. ２　貿易陶磁研究会
鈴木正貴　2017「時期区分と編年」『愛知県史』資料編５　考古５鎌倉～江戸 愛知県史編さん委員会
太宰府市教育委員会　2000 『大宰府条坊跡 XV- 陶磁器分類編 -』太宰府市の文化財 第 49 集
森田 勉　1982 「14 ～ 16 世紀の白磁の型式分類と編年」『貿易陶磁研究』NO. ２　貿易陶磁研究会
野村孝宏　2013 「古墳時代前期東日本における高杯状装飾器台」『東京大学考古学研究室研究紀要』第 37 号 東京大学考古学研究室
永井邦仁　2017「古代・中世の寺院と瓦」『新修豊田市史』 資料編　考古　Ⅲ 古代～近世　新修豊田市史編さん専門委員会

第Ⅳ章　科学分析

1　18 区の科学分析

（1）　分析の意図

18 区の科学分析は、043SK 出土の炭化材から採取した試料 1 点を用いて、放射性炭素代測定と樹種同定を実施している。042SK は埋土に焼土・炭化材を多く含む土坑で、周辺で確認された遺構とは明らかに異質となっていた。

以下、株式会社パレオ・ラボから提出された報告書（注 1 ）を若干要約して掲載する。

（2）　18 区出土炭化材の放射性炭素年代測定

試料と方法

18 区 024SK から出土した試料について、加速器質量分析法（AMS 法）による放射性炭素年代測定を行った。試料は、炭化材 1 点（試料 No.1:PLD-38486）である。なお、この試料には最終形成年輪が残っていなかった（注 1）。

測定試料の情報、調製データは表 3 のとおりである。

試料は調製後、加速器質量分析計（パレオ・ラボ、コンパクト AMS：NEC 製　1.5SDH）を用いて測定した。次に、得られた ^{14}C 濃度について同位体分別効果の補正を行った後、^{14}C 年代、暦年代を算出した。

結果

表２に、同位体分別効果の補正に用いる炭素同位体比（$\delta^{13}C$）、同位体分別効果の補正を行って暦年較正に用いた年代値と較正によって得られた年代範囲、慣用に従って年代値と誤差を丸めて表示した ^{14}C 年代、図 64 に暦年較正結果をそれぞれ示す。暦年較正に用いた年代値は下 1 桁を丸めていない値であり、今後暦年較正曲線が更新された際にこの年代値を用いて暦年較正を行うために記載した。

^{14}C 年代は AD1,950 年を基点にして何年前かを示した年代である。^{14}C 年代（yrBP）の算出には、^{14}C の半減期として Libby の半減期 5568 年を使用した。また、付記した ^{14}C 年代誤差（± 1 σ）は、測定の統計誤差、標準偏差等に基づいて算出され、試料の ^{14}C 年代がその ^{14}C 年代誤差内に入る確率が 68.2％であることを示す。

なお、暦年較正の詳細は以下のとおりである。

暦年較正とは、大気中の ^{14}C 濃度が一定で半減期が 5,568 年として算出された ^{14}C 年代に対し、過去の宇宙線強度や地球磁場の変動による大気中の ^{14}C 濃度の変動、および半減期の違い（^{14}C の半減期 5,730 ± 40 年）を較正して、より実際の年代値に近いものを算出することである。

^{14}C 年代の暦年較正には OxCal4.3（較正曲線データ:IntCal13）を使用した。なお、1 σ暦年代範囲は、

OxCal の確率法を使用して算出された ^{14}C 年代誤差に相当する 68.2%信頼限界の暦年代範囲であり、同様に 2 σ暦年代範囲は 95.4%信頼限界の暦年代範囲である。カッコ内の百分率の値は、その範囲内に暦年代が入る確率を意味する。グラフ中の縦軸上の曲線は ^{14}C 年代の確率分布を示し、二重曲線は暦年較正曲線を示す。

考察

042SL の試料 No. 1 (PLD-38486) は、^{14}C 年代で 9200 ± 35 ^{14}C BP、2 σ暦年代範囲（確率 95.4%）8541-8507 cal BC (8.3%) および 8490-8302 cal BC (87.1%) となった。これは、(小林　2008)、(工藤　2012)、(中島　2008) を参照すると、縄文時代早期中葉に相当する。

参考・引用文献

小林謙一　2008 「縄文時代の暦年代」『縄文時代の考古学 2　歴史のものさし』 257-269　同成社

工藤雄一郎　2012 『旧石器・縄文時代の環境文化史―高精度放射性炭素年代測定と考古学―』 373p　神泉社

中村俊夫　2000 「放射性炭素年代測定法の基礎」『日本先史時代の 14C 年代』 3-20　日本第四紀学会

中島 宏　2008 「押型文系土器 (沢式・樋沢式・細久保式土器)」『総覧縄文土器』 650-657　アム・プロモーション

Bronk Ramsey, C. (2009) Bayesian Analysis of Radiocarbon dates. Radiocarbon, 51(1), 337-360.

Reimer, P.J., Bard, E., Bayliss, A., Beck, J.W., Blackwell, P.G., Bronk Ramsey, C., Buck, C.E., Cheng, H., Edwards, R.L., Friedrich, M., Grootes, P.M., Guilderson, T.P., Haflidason, H., Hajdas, I., Hatte, C., Heaton, T.J., Hoffmann, D.L., Hogg, A.G., Hughen, K.A., Kaiser, K.F., Kromer, B., Manning, S.W., Niu, M., Reimer, R.W., Richards, D.A., Scott, E.M., Southon, J.R., Staff, R.A., Turney, C.S.M., and van der Plicht, J.(2013) IntCal13 and Marine13 Radiocarbon Age Calibration Curves 0-50,000 Years cal BP. Radiocarbon, 55(4), 1869-1887.

表 2　18 区放射性炭素年代測定および暦年較正の結果

測定番号	δ ^{13}C (‰)	暦年較正用年代 (yrBP ± 1 σ)	^{14}C 年代 (yrBP ± 1 σ)	^{14}C 年代を暦年代に較正した年代範囲	
				1 σ暦年代範囲	2 σ暦年代範囲
PLD-38486 試料 No.1 遺物 No.d-004	-24.95 ± 0.31	9202 ± 34	9200 ± 35	8456-8329 cal BC (68.2%)	8541-8507 cal BC (8.3%) 8490-8302 cal BC (87.1%)

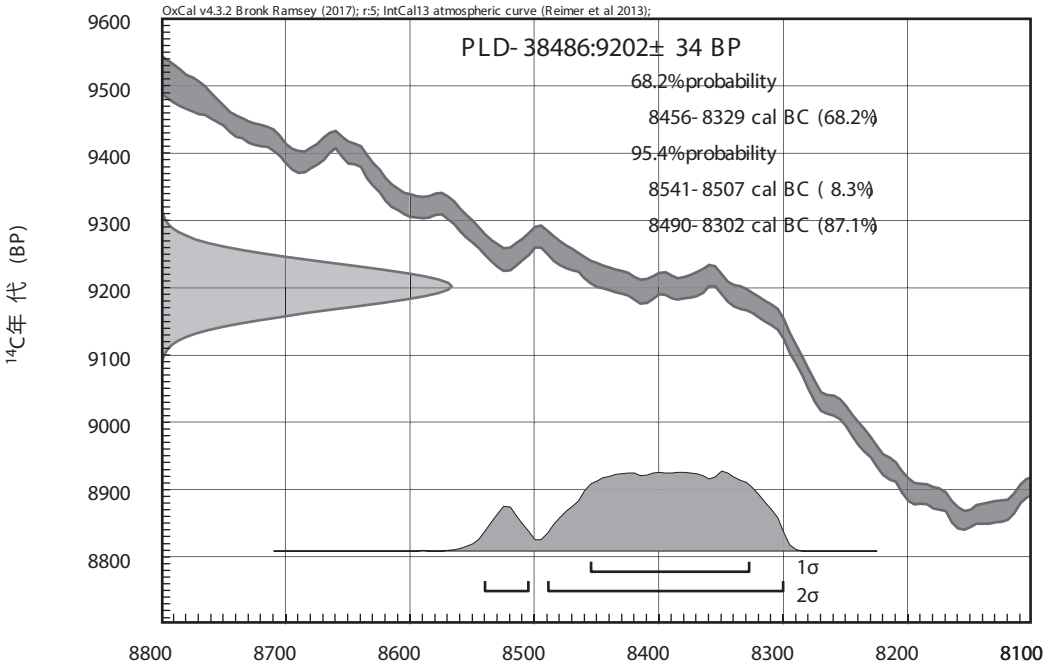


図 64　18 区出土炭化材の暦年較正結果

（3） 18 区出土炭化材の出土炭化材の樹種同定

試料と方法

樹種同定は、まず試料を乾燥させ、材の横断面（木口）、接線断面（板目）、放射断面（柾目）について、カミソリと手で割断面を作製し、整形して試料台にカーボンテープで固定した。その後イオンスパッタにて金蒸着を施し、走査型電子顕微鏡（KEYENCE 社製　VE-9800）にて検鏡および写真撮影を行なった。

結果

同定の結果、炭化材は広葉樹のコナラ属コナラ節（コナラ属コナラ節　Quercus sect. Prinus　ブナ科）であった。同定結果を表 3・図 65 に示す。

以下に、同定された材の特徴を記載し、図 65 に走査型電子顕微鏡写真を示す。

この試料は、年輪のはじめに大型の道管が 1 ～ 2 列並び、晩材部では急に径を減じた、薄壁で角張った道管が火炎状に配列する環孔材である。軸方向柔組織はいびつな線状となる。道管は単穿孔を有する。放射組織は同性で、単列のものと広放射組織がみられる。

コナラ属コナラ節にはコナラやミズナラなどがあり、温帯から暖帯にかけて広く分布する落葉高木の広葉樹である。代表的なミズナラの材は、やや重く強靭で、切削加工はやや難しい。

考察

試料は燃料材の残渣である可能性が考えられる。コナラ節を燃料材としてみると、火力は高くないが長時間燃焼し続けるという特徴を持ち、現在でも薪炭材として多く利用されている（伊東他　2011）。燃料材に適したコナラ節を伐採利用していたと考えられる。

注

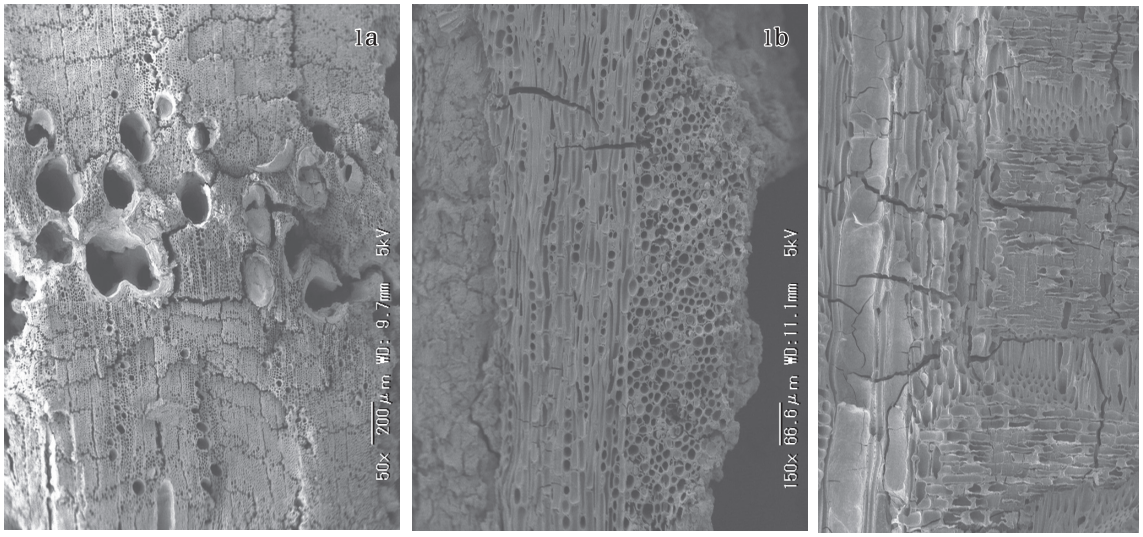
注 1　株式会社パレオ・ラボによる報告書の執筆者は、（2）がパレオ・ラボ AMS 年代測定グループの伊藤茂・佐藤正教・廣田正史・山形秀樹・Zaur Lomtatidze・小林克也の連名、（3）は、小林克也となる。

引用文献

伊東隆夫・佐野雄三・安部 久・内海泰弘・山口和穂　2011 『日本有用樹木誌』 238p　海青社

表 3　18 区測定試料および処理

測定番号	遺跡データ	試料データ	前処理
PLD-38486	試料 No.1 調査区：B グリッド：830440 遺構：042SK 遺物 No.d-004	種類：炭化材 試料の性状：最終形成年輪以外　部位不明 状態：dry	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N, 水酸化ナトリウム：1.0N, 塩酸：1.2N）



1a-1c. コナラ属コナラ節（No.1）a; 横断面 b; 接線断面 c; 放射断面

図 65　18 区出土炭化材の走査型電子顕微鏡写真

2　21 区の科学分析

（1） 分析の意図

21 区の科学分析は、放射性炭素年代測定と砂粒組成分析を実施した。前者は株式会社パレオ・ラボに外注したもので、試料は火葬施設から出土した炭化材（注１）が５点、焼骨が２点（注２）、600SB（790SK）から出土した柱根から１点採取している。

以下、株式会社パレオ・ラボから提出された報告書（注３）を若干編集して掲載する。

（2） 21 区出土炭化材の放射性炭素年代測定

試料と方法

21 区より検出された試料について、加速器質量分析法（AMS 法）による放射性炭素年代測定を行った。試料は、土坑 235ST から２点（試料 No.1：PLD-46437、試料 No.2：PLD-46438）、292ST から２点（試料 No.3：PLD-46439、試料 No.4：PLD-46440）、782ST から１点（試料 No.5：PLD-46441）の、計５点の出土炭化材と、土抗 820SK(600SB) から１点（試料 No.6：PLD-53874）の生材、土抗 292ST から１点（試料 No.7：PLD-53875）と土抗 782ST から１点（試料 No.8：PLD-53876）の計２点の焼骨である。測定試料の情報、調製データは表４のとおりである。試料は調製後、加速器質量分析計（パレオ・ラボ、コンパクト AMS:NEC 製 1.5SDH）を用いて測定した。得られた ^{14}C 濃度について同位体分別効果の補正を行った後、^{14}C 年代、暦年代を算出した。

結果

表４・５に、同位体分別効果の補正に用いる炭素同位体比（$\delta^{13}C$）、同位体分別効果の補正を行って暦年較正に用いた年代値と較正によって得られた年代範囲、慣用に従って年代値と誤差を丸めて表示した ^{14}C 年代、図 66 ～ 68 に暦年較正結果をそれぞれ示す。暦年較正に用いた年代値は下１桁を丸めていない値であり、今後暦年較正曲線が更新された際にこの年代値を用いて暦年較正を行うために記載した。

^{14}C 年代は AD1,950 年を基点にして何年前かを示した年代である。^{14}C 年代（yr BP）の算出には、^{14}C の半減期として Libby の半減期 5,568 年を使用した。また、付記した ^{14}C 年代誤差（± 1 σ）は、測定の統計誤差、標準偏差等に基づいて算出され、試料の ^{14}C 年代がその ^{14}C 年代誤差内に入る確率が 68.27%であることを示す。

なお、暦年較正の詳細は以下のとおりである。

暦年較正とは、大気中の ^{14}C 濃度が一定で半減期が 5,568 年として算出された ^{14}C 年代に対し、過去の宇宙線強度や地球磁場の変動による大気中の ^{14}C 濃度の変動、および半減期の違い（^{14}C の半減期 5,730 ± 40 年）を較正して、より実際の年代値に近いものを算出することである。

^{14}C 年代の暦年較正には OxCal4.4（較正曲線データ:IntCal20）を使用した。なお、1 σ暦年代範囲は、OxCal の確率法を使用して算出された ^{14}C 年代誤差に相当する 68.27%信頼限界の暦年代範囲であり、同様に 2 σ暦年代範囲は 95.45%信頼限界の暦年代範囲である。カッコ内の百分率の値は、その範囲内に暦年代が入る確率を意味する。グラフ中の縦軸上の曲線は ^{14}C 年代の確率分布を示し、二重曲線は暦年較正曲線を示す。

考察

試料について、同位体分別効果の補正および暦年較正を行った。以下、2σ暦年代範囲に着目して、測定結果を整理する。

235ST から採取された試料 1（PLD-46437）は、7959-7718 cal BC(94.25%)、8161-8144 cal BC(1.05%)、8135-8132 cal BC(0.15%) で、縄文時代早期に相当する。235ST から採取された試料 2（PLD-46438）は、8560-8324 cal BC(94.45%) で、縄文時代早期に相当する。292ST から採取された試料 3（PLD-46439）は、1284-1318 cal AD(44.20%)、1360-1389 cal AD(51.25%) で、鎌倉時代あるいは南北朝時代に相当する。292ST から採取された試料 4（PLD-46440）は、1296-1325 cal AD(40.61%)、1354-1393 cal AD(54.84%) で、鎌倉時代あるいは南北朝時代に相当する。782ST から採取された試料 5（PLD-46441）は、1291-1323 cal AD(40.02%)、1356-1392 cal AD(55.43%) で、鎌倉時代あるいは南北朝時代に相当する。820SK(600SB) から採取された試料 6（PLD-53874）は、1441-1496 cal AD(94.11%)、1601-1614 cal AD(4.34%) で、室町時代あるいは近世に相当する。292ST から採取された試料 7（PLD-53875）は、1278-1304 cal AD(72.42%)、1366-1381 cal AD(23.03%) で、鎌倉時代あるいは南北朝時代に相当する。782ST から採取された試料 8（PLD-53876）は、1417-1451 cal AD(95.45%) で、室町時代に相当する。

注１　火葬施設から出土した炭化材は、薪材や棺材と考えられるが、これらは古材を使用した可能性も考えられる。今回は試料の質量を確保するため炭化材のみを選択したが、第 IV 章３の注３に後述する様に、『中右記』保安元（1120）年９月 27 日の「以柴先敷地、於其上火葬成」など火葬時に芝を敷く事例も知られている。実際、牛寺遺跡の火葬施設の埋土中にも「芝」を起源とするであろう炭化物も含まれていた。今後年代測定には後者を選択する方が試料が安定するのかも知れない。

注２　焼骨については解剖学的分析による種の特定も計画したが、事前の打ち合わせにより残存状況の問題から同定は困難との意見をいただき、今回はこれを断念している。

注３　株式会社パレオ・ラボによる報告書の執筆者は、パレオ・ラボ AMS 年代測定グループの伊藤茂・加藤和浩・佐藤正教・廣田正史・山形秀樹・Zaur Lomtatidze・小林克也の連名となる。

参考文献

中村俊夫　2000「放射性炭素年代測定法の基礎」『日本先史時代の 14C 年代』 3-20　日本第四紀学会

Bronk Ramsey, C. (2009) Bayesian Analysis of Radiocarbon dates. Radiocarbon, 51(1), 337-360.

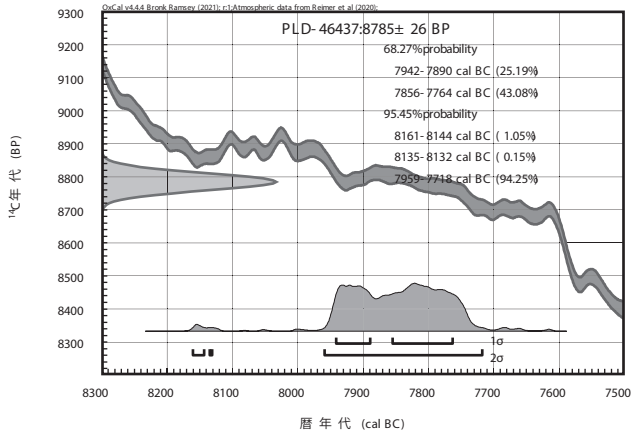
Reimer, P.J., Austin, W.E.N., Bard, E., Bayliss, A., Blackwell, P.G., Bronk Ramsey, C., Butzin, M., Cheng, H., Edwards, R.L., Friedrich, M., Grootes, P.M., Guilderson, T.P., Hajdas, I., Heaton, T.J., Hogg, A.G., Hughen, K.A., Kromer, B., Manning, S.W., Muscheler, R., Palmer, J.G., Pearson, C., van der Plicht, J., Reimer, R.W., Richards, D.A., Scott, E.M., Southon, J.R., Turney, C.S.M., Wacker, L., Adolphi, F., Büntgen, U., Capano, M., Fahrni, S.M., Fogtmann-Schulz, A., Friedrich, R., Köhler, P., Kudsk, S., Miyake, F., Olsen, J., Reinig, F., Sakamoto, M., Sookdeo, A. and Talamo, S. (2020) The IntCal20 Northern Hemisphere radiocarbon age calibration curve (0-55 cal kBP). Radiocarbon, 62(4), 725-757, doi:10.1017/RDC.2020.41. https://doi.org/10.1017/RDC.2020.41 (cited 12 August 2020)

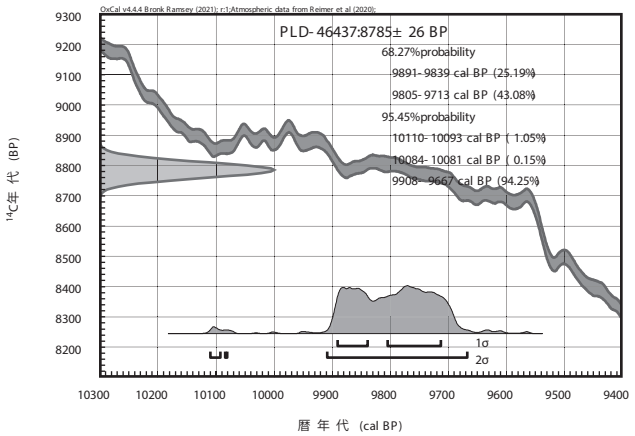
表4　測定試料および処理

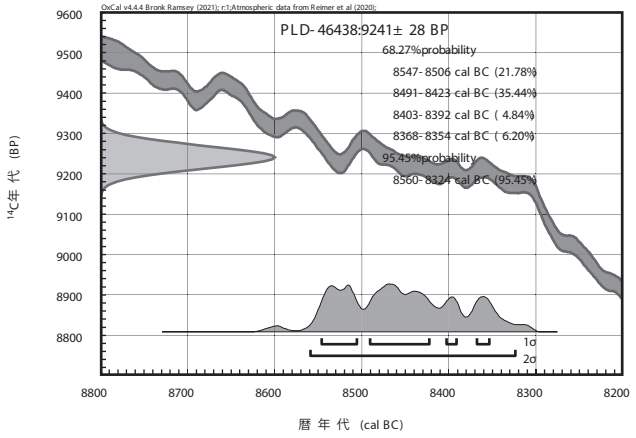
測定番号	遺跡データ	試料データ	前処理
PLD-46437	試料 No.1 グリッド：780405 遺構：235ST 遺物 No.3PGD21A	種類：炭化材 試料の性状：最終形成年輪以外　部位不明 状態：wet	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L）
PLD-46438	試料 No.2 グリッド：785405 遺構：235ST 遺物 No.3PGD21A	種類：炭化材 試料の性状：最終形成年輪以外　部位不明 状態：wet	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L）
PLD-46439	試料 No.3 グリッド：750400 遺構：292ST 遺物 No.3PGD21A	種類：炭化材 試料の性状：最終形成年輪以外　部位不明 状態：wet	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L）
PLD-46440	試料 No.4 グリッド：750400 遺構：292ST 遺物 No.3PGD21A	種類：炭化材 試料の性状：最終形成年輪以外　部位不明 状態：wet	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L）
PLD-46441	試料 No.5 グリッド：780410 遺構：782ST 遺物 No.d-0225 3PGD21A	種類：炭化材 試料の性状：最終形成年輪以外　部位不明 状態：wet	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L）
PLD-53874	試料 No.6 グリッド：780410 遺構： 820SK(600SB) 遺物 No.3PGD21A	種類：生試料・材 試料の性状：不明 状態：dry	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L）
PLD-53875	試料 No.7 グリッド：780410 遺構：292ST 遺物 No.3PGD21A	種類：その他（焼骨） 試料の性状：不明 状態：dry	超音波洗浄 サルフィックス処理 処理備考：cremated-bone
PLD-53876	試料 No.8 グリッド 780410 遺構：782ST 遺物 No.3PGD21A	種類：その他（焼骨） 試料の性状：不明 状態：dry	超音波洗浄 サルフィックス処理 処理備考：cremated-bone

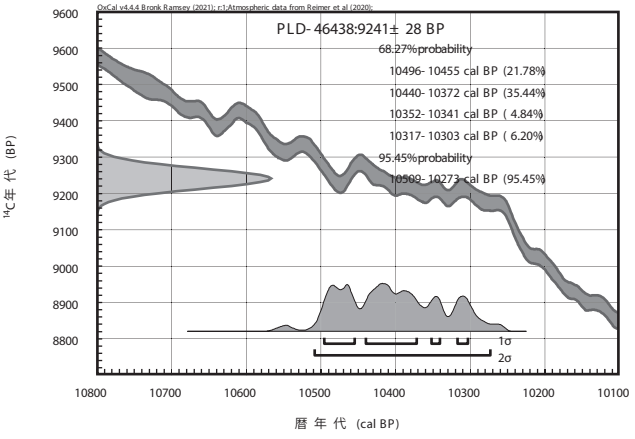
表５　放射性炭素年代測定および暦年較正の結果調査進行表

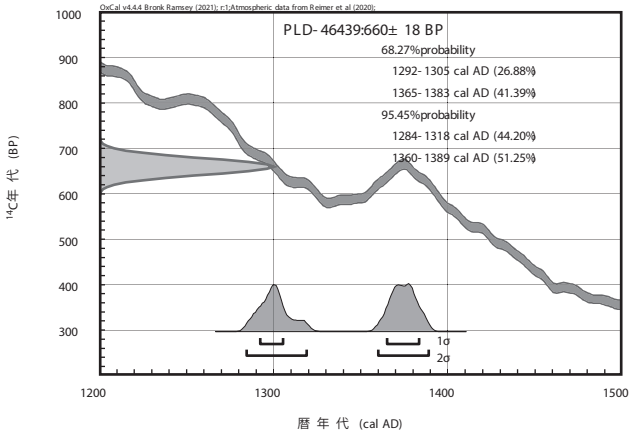
測定番号	δ ^{13}C (‰)	暦年較正用年代 (yrBP ± 1 σ)	^{14}C 年代 (yrBP ± 1σ)	^{14}C 年代を暦年代に較正した年代範囲		^{14}C 年代を暦年代に較正した年代範囲	
				1 σ暦年代範囲	2 σ暦年代範囲	1 σ暦年代範囲	2 σ暦年代範囲
PLD-46437 235ST 試料 No.1	-27.33 ± 0.14	8785 ± 26	8785 ± 25	7942-7890 cal BC (25.19%) 7856-7764 cal BC (43.08%)	8161-8144 cal BC (1.05%) 8135-8132 cal BC (0.15%) 7959-7718 cal BC (94.25%)	9891-9839 cal BP (25.19%) 9805-9713 cal BP (43.08%)	10110-10093 cal BP (1.05%) 10084-10081 cal BP (0.15%) 9908- 9667 cal BP (94.25%)
PLD-46438 235ST 試料 No.2	-28.48 ± 0.15	9241 ± 28	9240 ± 30	8547-8506 cal BC (21.78%) 8491-8423 cal BC (35.44%) 8403-8392 cal BC (4.84%) 8368-8354 cal BC (6.20%)	8560-8324 cal BC (95.45%)	10496-10455 cal BP (21.78%) 10440-10372 cal BP (35.44%) 10352-10341 cal BP (4.84%) 10317-10303 cal BP (6.20%)	10509-10273 cal BP (95.45%)
PLD-46439 292ST 試料 No.3	-27.50 ± 0.12	660 ± 18	660 ± 20	1292-1305 cal AD (26.88%) 1365-1383 cal AD (41.39%)	1284-1318 cal AD (44.20%) 1360-1389 cal AD (51.25%)	658-645 cal BP (26.88%) 585-567 cal BP (41.39%)	666-632 cal BP (44.20%) 590-562 cal BP (51.25%)
PLD-46440 292ST 試料 No.4	-28.38 ± 0.14	637 ± 17	635 ± 15	1301-1319 cal AD (31.42%) 1359-1369 cal AD (17.33%) 1378-1389 cal AD (19.52%)	1296-1325 cal AD (40.61%) 1354-1393 cal AD (54.84%)	649-631 cal BP (31.42%) 591-581 cal BP (17.33%) 572-561 cal BP (19.52%)	655-625 cal BP (40.61%) 596-557 cal BP (54.84%)
PLD-46441 782ST 試料 No.5	-24.48 ± 0.23	645 ± 18	645 ± 20	1299-1311 cal AD (21.04%) 1361-1388 cal AD (47.23%)	1291-1323 cal AD (40.02%) 1356-1392 cal AD (55.43%)	651-639 cal BP (21.04%) 589-562 cal BP (47.23%)	659-627 cal BP (40.02%) 594-558 cal BP (55.43%)
PLD-53874 820SK(600SB) 試料 No.6	-24.29 ± 0.31	408 ± 19	410 ± 20	1449-1474 cal AD (68.27%)	1441-1496 cal AD (91.11%) 1601-1614 cal AD (4.34%)	501-476 cal BP (68.27%)	509-454 cal BP (91.11%) 349-336 cal BP (4.34%)
PLD-53875 292ST 試料 No.7	-21.29 ± 0.16	686 ± 18	685 ± 20	1282-1299 cal AD (61.11%) 1373-1376 cal AD (7.16%)	1278-1304 cal AD (72.42%) 1366-1381 cal AD (23.03%)	668-651 cal BP (61.11%) 577-574 cal BP (7.16%)	672-646 cal BP (72.42%) 584-569 cal BP (23.03%)
PLD-53876 782ST 試料 No.8	-24.19 ± 0.18	476 ± 21	475 ± 20	1426-1442 cal AD (68.27%)	1417-1451 cal AD (95.45%)	524-508 cal BP (68.27%)	533-499 cal BP (95.45%)











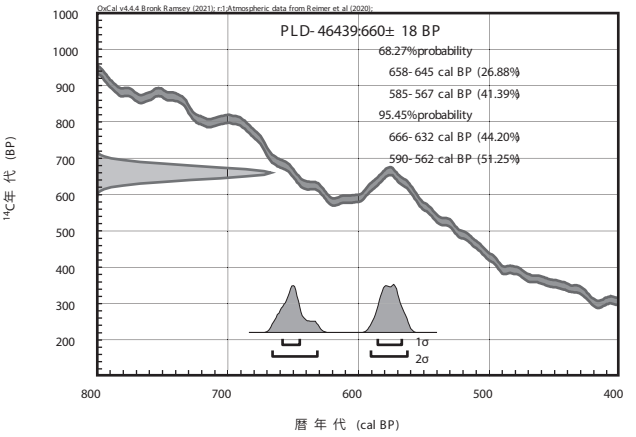
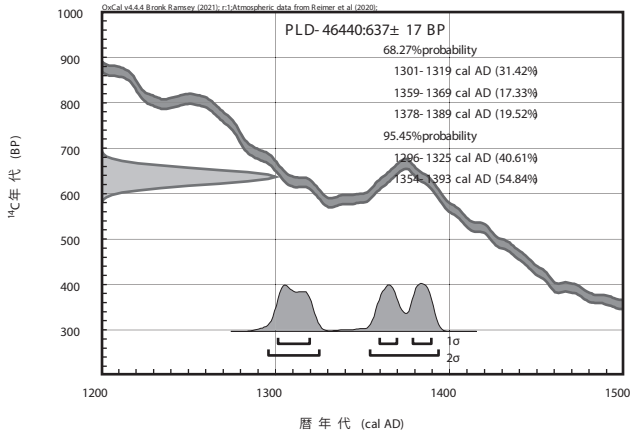
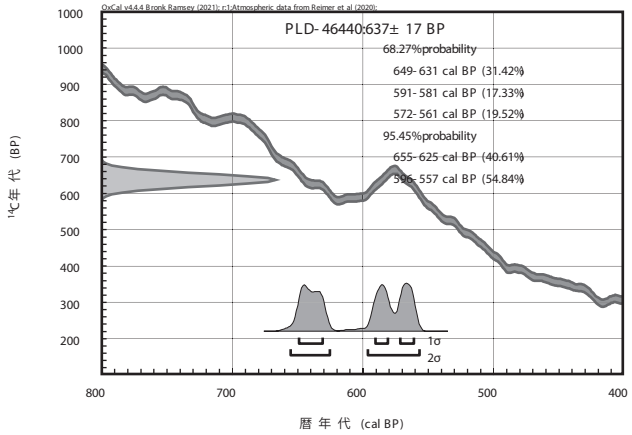
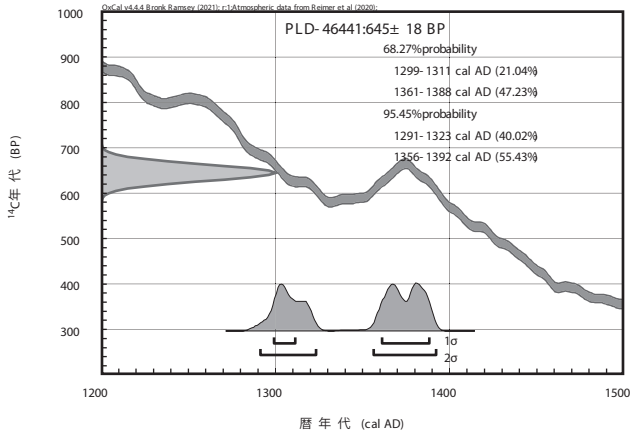
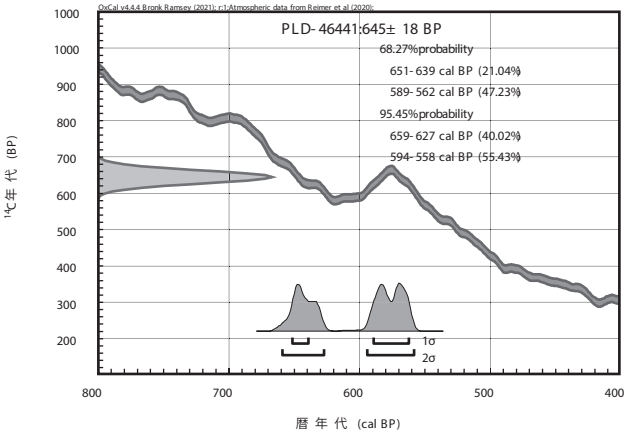


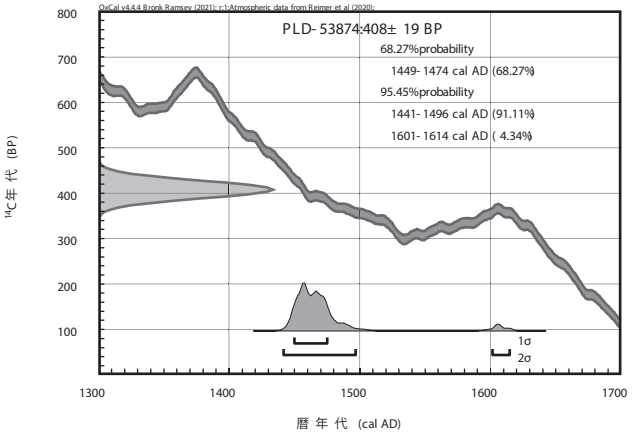
図 66　21 区出土炭化材の暦年較正結果 -1











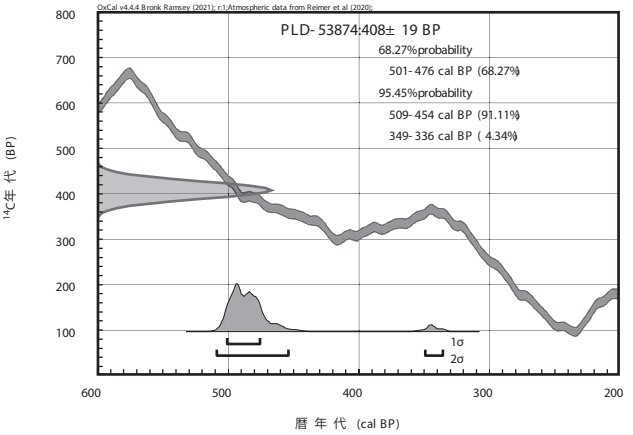
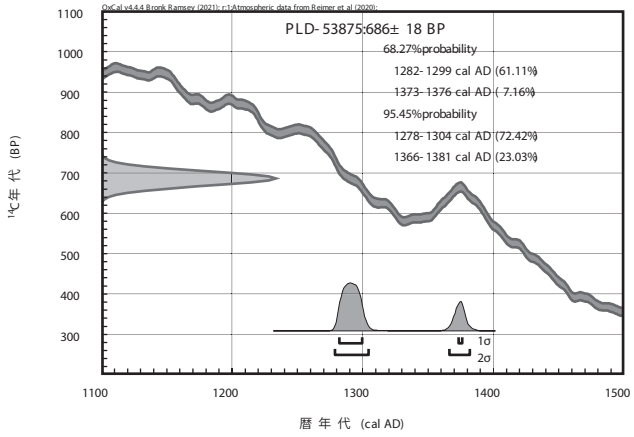
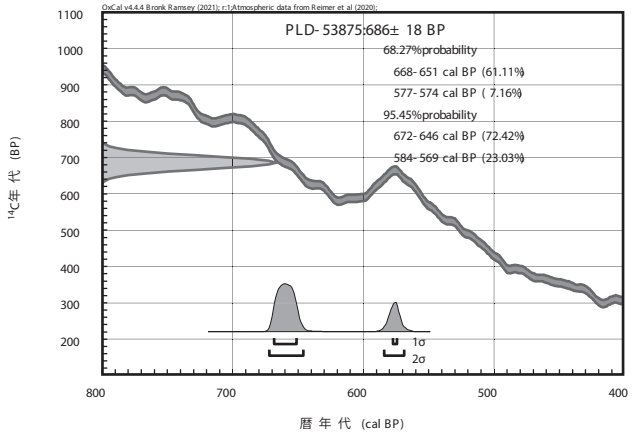
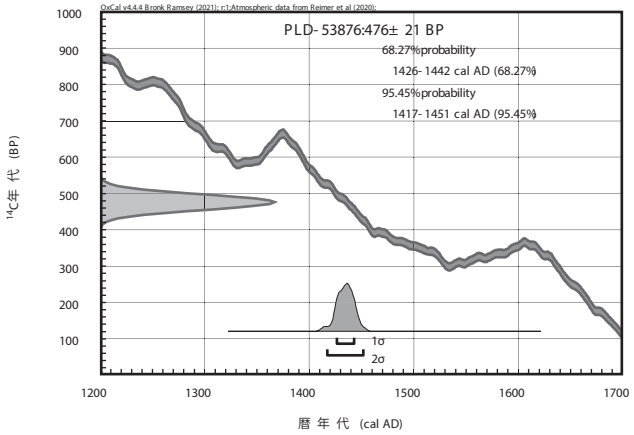


図 67　21 区出土炭化材の暦年較正結果 -2







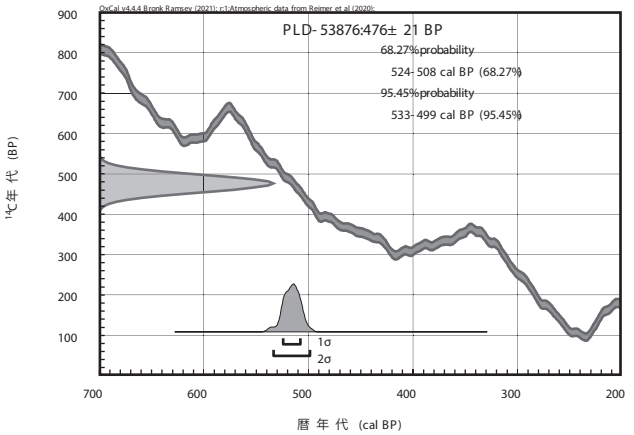


図 68　21 区出土炭化材の暦年較正結果 -3

（３）砂粒組成分析

はじめに

牛寺遺跡 21 Ａ区では、火葬施設と考えられる遺構（507ST）が確認されている。この 507ST では、粘性の強いシルトの埋土中に、やや砂質混じりの粘性の弱い２種類のシルトが部分的に堆積していた。葬送儀礼の際に特定の場所から採取した土を撒くことがあり、それに該当する可能性があると考えられる。そこで、今回確認された２種類の粘性の弱いシルトと 507ST 内の埋土、地山基盤層との差異を明らかにすることを目的に粒度分析および鉱物組成分析を行なった。

分析方法

試料の採取地点は、507ST 断面図Ｃ-Ｃ′(P. 70・図 52)に示している試料１～試料４である。試料２および試料３は葬送儀礼の際に使用されたと考えられる粘性の弱いシルトである。試料１は比較資料としての基盤層から採取したもの、試料４は 507ST の埋土である粘性シルトである。以上計４点の試料を対象に分析を行なった。

粒度分析

粒度分析は、乾燥した試料をフルイ分けし、各階層の重量を計測した。その結果から、各粒径の重量パーセント（％）を算出し、粒度分布のヒストグラムを作成した。試料の調整は以下のとおり実施した。

①各試料 110℃で 24 時間乾燥させ、乾燥重量を測定。

②水で洗浄しながら篩分した試料を、再度 110℃で 24 時間乾燥させ、各粒度の重量測定を行なった、

フルイは 63㎛、125㎛、250㎛、500㎛、1000㎛、2000㎛を使用し、極細粒砂から礫までの粒度分布を明らかにした。

鉱物組成分析

鉱物組成分析は、63㎛から 125㎛の階層試料から、100 粒を選択して実体顕微鏡で観察し、鉱物ごとの粒数を計測した。

分析結果

各分析の結果は表６に示す。各粒度分布図は図 69 に示す。

各試料、粗粒砂から礫までの分布傾向は類似しており、極細粒砂から中粒砂にかけての分布傾向に違いを示した。試料１は、極細粒砂から中粒砂を中心とした粒度分布を示した。試料２は、極細粒砂から礫にかけて徐々に減少していく分布傾向を示した。試料３は、極細粒砂よりも細粒砂が少し多く含んでいるが、試料２と類似した分布傾向を示した。試料４は極細粒から中粒砂にかけて徐々に増えていく分布傾向を示した。

鉱物組成分析の結果は、表６および図 70 ～図 73 に示す。いずれの試料も、石英および長石が多く、白雲母が微量に含まれていた。試料１に関しては石英と長石の含有量に違いが見られるが、試料２～試料４に関しては類似した組成を示した。

結論

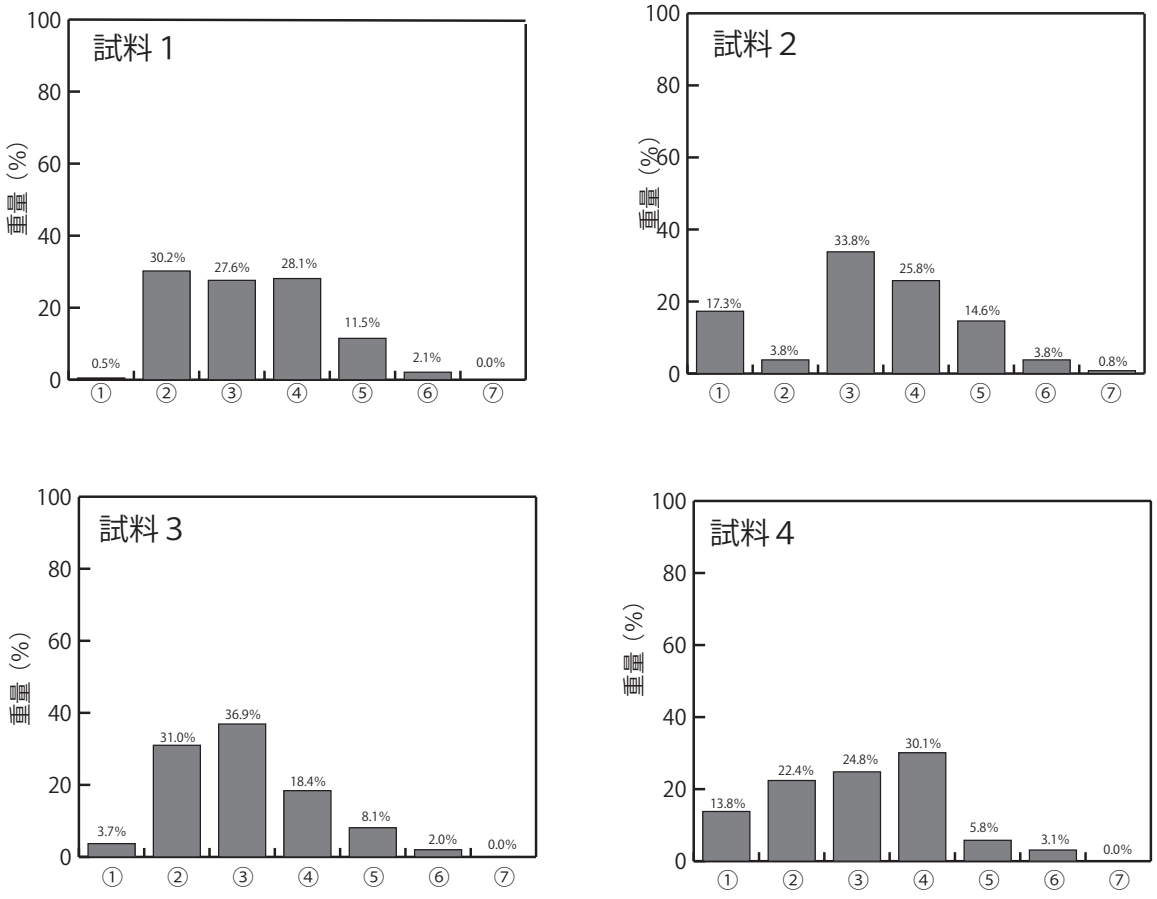
牛寺遺跡 21A 区の 507ST 埋土および基盤層の粒度分析および鉱物組成分析を行なった。葬送儀礼の際に使用したと考えられる粘性の低いシルト２種類は、いずれも粒度および鉱物組成から、基盤層および 507ST 埋土の粘性シルトとは異なるものと判断でき、また２種類はよく似た組成のものであり、同質性のものであった。

参考・引用文献

野村颯希・上栗伸一・伊藤　孝　2018 「茨城・千葉県から採取した砂の粒径および粒子組成 ―義務教育および高等学校で実施される観察実習のための基礎データ―」『茨城大学教育学部紀要（教育科学）』67 号 , 157-165.

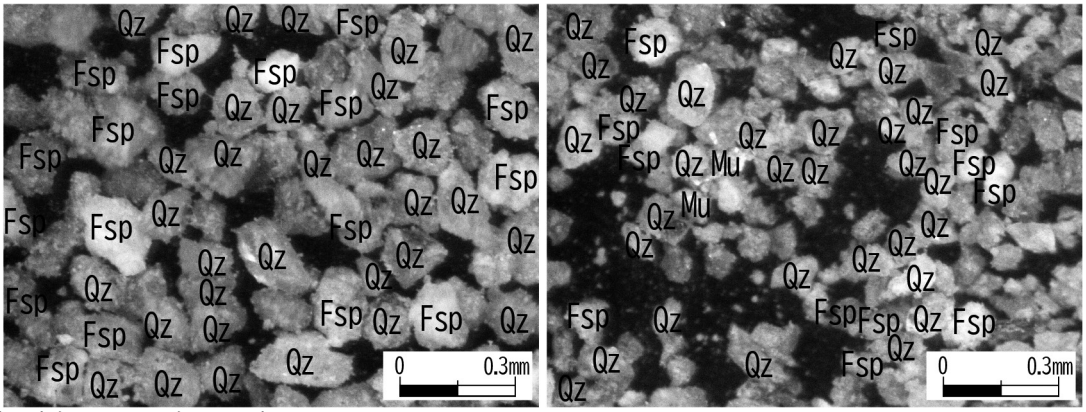
表6　分析結果

	採取地点	粒度分布（g）							乾燥総重量（g）	鉱物組成			
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦					
		＜63μm	63-125μm	125-250μm	250-500μm	500μm-1000μm	1000μm-2000μm	2000μm＜		石英（Qz）	長石（Fsp）	白雲母（Mu）	合計（個）
試料1	地山層	0.1	5.8	5.3	5.4	2.2	0.4	0.0	19.2	67	31	2	100
試料2	遺構埋土（粘性の弱いシルト1）	4.5	1.0	8.8	6.7	3.8	1.0	0.2	26.2	47	52	1	100
試料3	遺構埋土（粘性の弱いシルト2）	1.5	12.6	15.0	7.5	3.3	0.8	0.0	40.7	52	47	1	100
試料4	遺構埋土（粘性シルト）	8.6	13.9	15.4	18.7	3.6	1.9	0.0	62.1	54	46	0	100

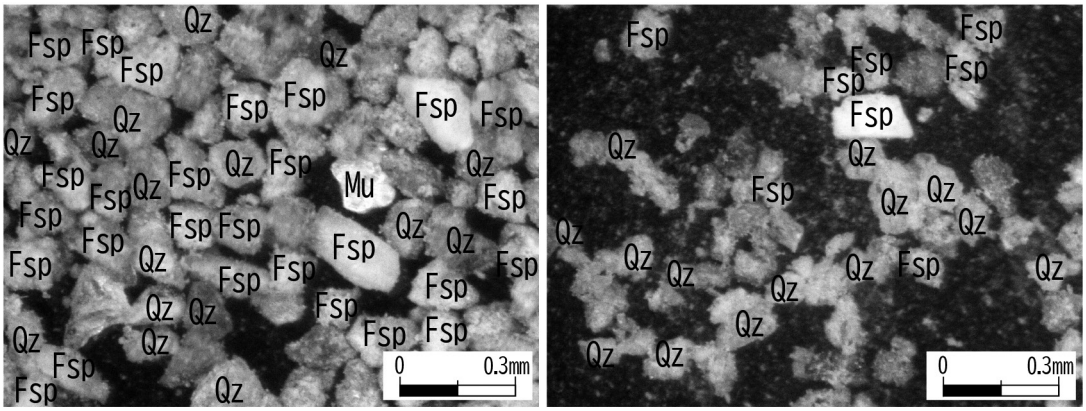


①＜63 μm　②63 μm～ 125 μm（極細粒砂）　③125 μm～ 250 μm（細粒砂）　④250 μm～ 500 μm（中粒砂）
⑤500 μm～1000 μm（粗粒砂）　⑥1000 μm～2000 μm（極粗粒砂）　⑦2000 μm＜（礫）

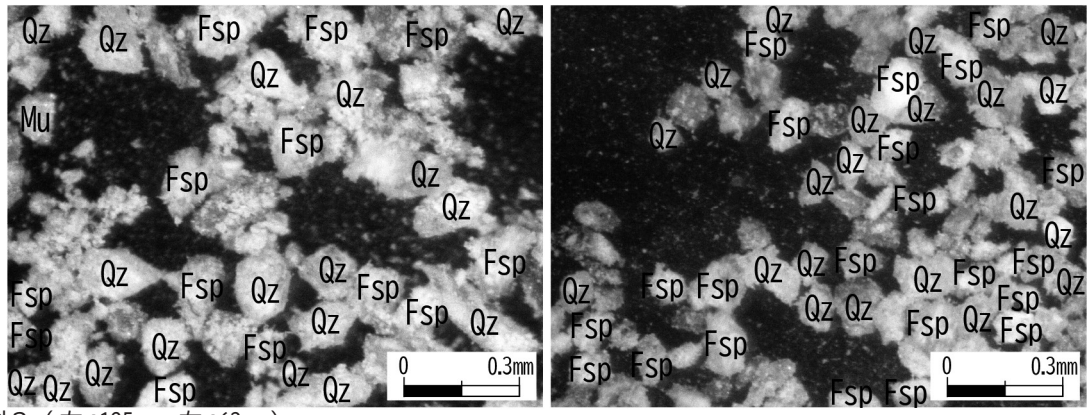
図 69　粒度分布図



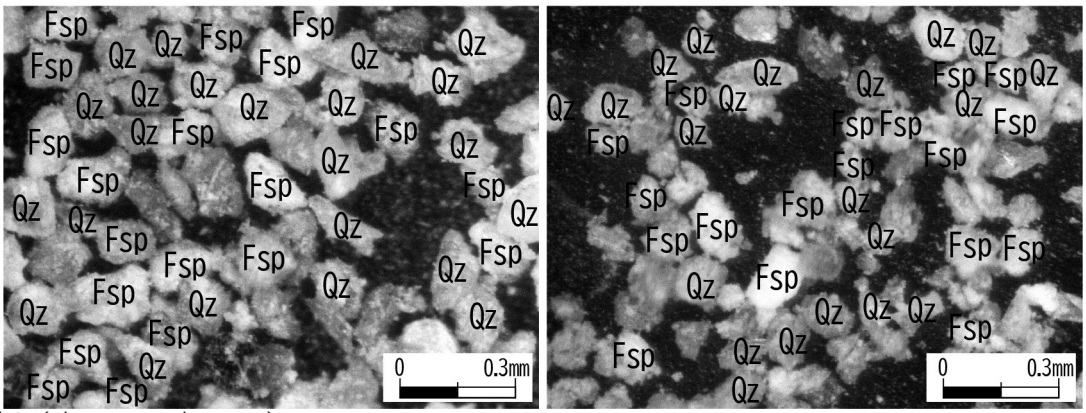
試料１（左：125㎛、右：63㎛）



試料２（左：125㎛、右：63㎛）



試料３（左：125㎛、右：63㎛）



試料４（左：125㎛、右：63㎛）

図 70　実体顕微鏡画像（600 倍）　Qz：石英、Fsp：長石、Mu：白雲母

第Ⅴ章　総括

1　主要遺構の変遷

今回報告する調査区からは、縄文時代から近世以降までの様々な時期の遺構が検出されている。ここではこれらの時期別の変遷過程をまとめる。

Ⅰ期（縄文時代）

現状では遺構・遺物は希薄となる。晩期の土坑 153SK と、これに切られる 253SK や、後期の土坑と考えられる 640SK に加えて、縄文時代の遺物が出土した 207SP・338SP・908SP・928SP などがこの時期に属する可能性を持つ。

なお、炭素年代を測定した試料は 18 区 042SK が縄文時代早期中葉、235ST が縄文時代早期前葉との結果を得ている。前者は当該期の遺物が確認されていない状況で、後者については遺構の形状から中世以降と理解できるため、試料を採取した炭化物が 235ST に混入したものと理解している。

Ⅱ期　（弥生時代～古墳時代）

弥生時代～古墳時代にも大まかな変動はない。弥生時代後期に属する竪穴建物 370SI や、097SP などを確認したが、現状では遺構・遺物は希薄となる。

Ⅲ期　（古代）

古代の遺構も乏しい。18 区 053SK、781SK などの若干の土坑が確認されるにすぎない。出土遺物に注目すると、後述する牛寺廃寺と関連すると思われる瓦類が若干出土しているに留まる。なお、瓦類の分布状況については後述する。

Ⅳ期　（12 世紀末～ 13 世紀前葉）

003SD が掘削され、ａ層が形成される。なお、003SD は長期に渡り再掘削を繰り返す溝で、今回の調査区では遺構配置の中心的な位置を占める。これと並行する 18 区 023SD は、Ⅴ期以降の資料が中心となるが、後述する様に 05 区 001SDa の延長上に位置する可能性が強く、この段階に掘削されたものと理解している。なお、18 区 001SD は、当該期の資料が出土していないが、003SD や 18 区 023SD と直交しており、有機的な関連が想定できるのかもしれない。

Ⅴ -1 期　（15 世紀前半）

13 世紀中葉～ 14 世紀は遺構が希薄となるが、21 Ａ区では 15 世紀に入ると掘立柱建物 600SB が登場する。その北側で検出した 1205SB・1207SB・1208SB も根拠は乏しいが、一応この段階に含めて理解し、屋敷地を想定しておく。一方、003SD は幅を拡幅する掘削が加えられ、ｃ・ｄ層が形成される。なお、ｃ・ｄ層は後段階のⅤ -2a 期までが継続時期となるが、これをうまく分離できていない。また、600SB と重複する 819SE や 806SD もこの時期に含めるが、いずれも不鮮明な状態となる。

Ⅴ-2a 期　(15 世紀中葉～後葉)

今回の調査区では遺構・遺物の量的な中心となる。基本的には区画溝中に形成された掘立柱建物・井戸・土坑が展開する様相と認識している。

003SD の東側にはさらに並行する 298SD、299SD などが新たに掘削される。西側では 21 Ａ区で主軸が東西方向となる 244SD・770SD・180SD が掘削され、003SD と接続する。このうち 244SD は西側でも 140SD とも接続する。140SD はさらに東側で南北 29.6 ｍの区画を形成する（法面内側計測、以下同）。この区画は 285SD により南北に細分されるが、東西幅は北区画が 11.5 ｍ、南区画が 14.2 ｍをはかる。南区画の南・西の内側には柵列 580SA・1201SA が検出されている。なお、南北とも区画内に掘立柱建物は検出されていないが、やや西側に柱穴を思わせるピットが群集し、この部分に未確認の建物が存在している可能性を残す。また、770SD も西側端で直行する 180SD と接続し、140SD と 003SD の間で小規模な区画を形成する。

一方、140SD と 244SD 以南では、800SB や 1116SE が登場する。ここでは 800SB と近接し、規模や主軸が類似する 480SB･700SB と、帰属時期が不明確な 980SE を一連の遺構と理解し、屋敷地と想定しておく。

Ⅴ-2b 期　(15 世紀後葉～ 16 世紀)

Ⅴ-2a 期に掘削された溝は急速に埋没が進む。埋没した 770SD の上面から 160SK・784SK などが掘削され、003SD のｂ層や 299SD-A の上面には、15 世紀後半の土師器皿が集中投棄されている。これらの土

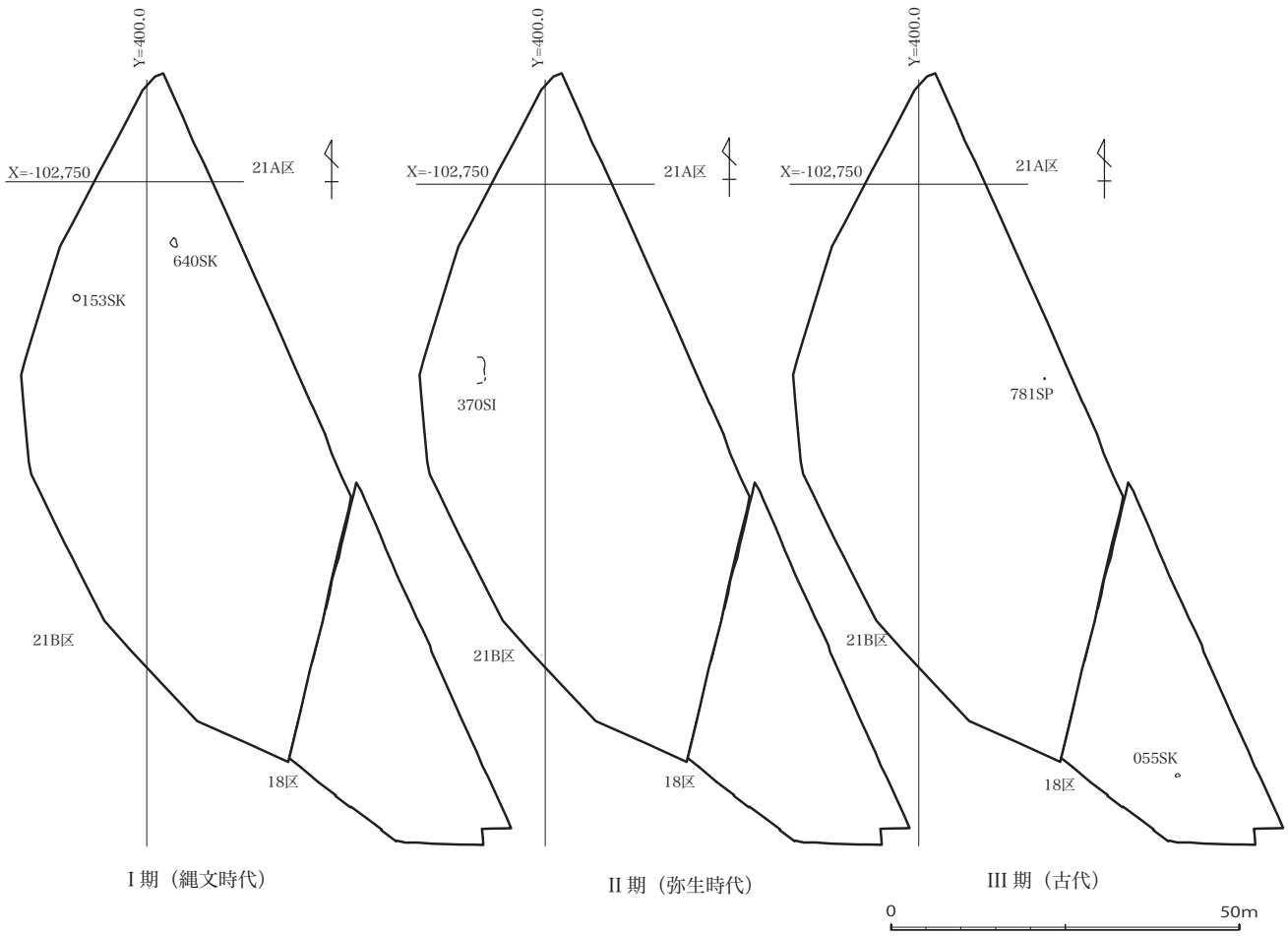


図 71　主要遺構の変遷図 -1　1:500

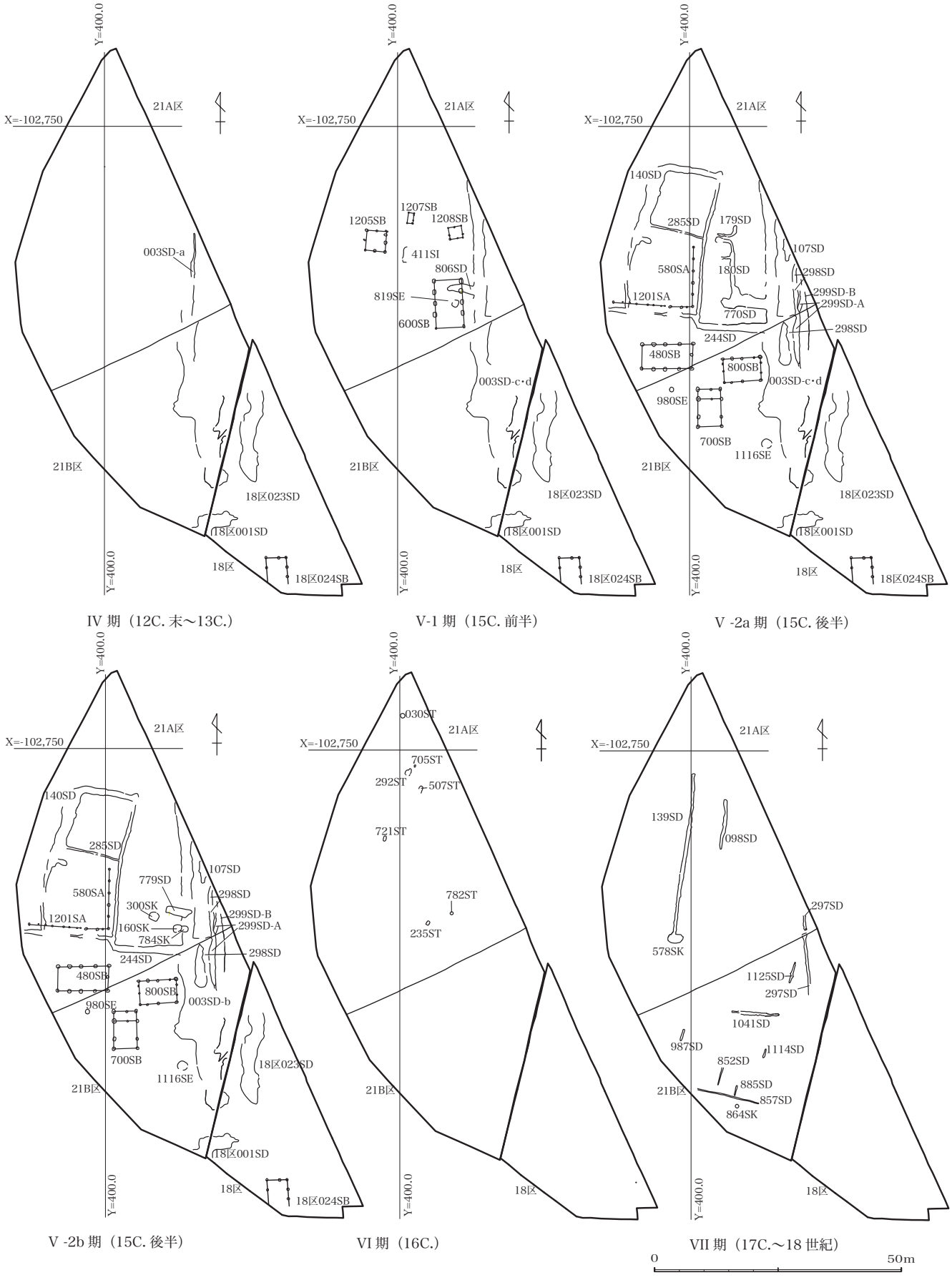


図 72　主要遺構の変遷図 -2　1:500

師器皿は、今回の調査区の出土遺物の主体となり、調査区を特徴付けるものと理解できる。なお、土師器皿の詳細は本章４で記述する。

Ⅵ期（16 世紀）

Ⅵ期の遺構は、Ⅴ期の遺構廃絶後に展開する葬送空間を想定している。出土遺物による情報がほとんど得られていないが、Ⅴ期の廃絶後という意味で 16 世紀に位置付けている。溝の埋没はさらに進み、782ST は埋没した 770SD の上面から掘削された 300SK を切る。この段階では新たな溝の掘削は確認できないが、003SD・140SD・244SD・18 区 023SD には若干のくぼみが残存したと思われ、出土遺物には当該期の遺物も若干含まれている。

Ⅶ期（17 世紀～ 18 世紀）

003SD や 140SD は埋没が進むが、上面から当該期の遺物もわずかに出土しており、この段階でも幅の広い溝は完全には埋没していない状況が想定できる。一方、21 Ｂ区では、298SD を切る 1125SD、003SD を切る 1041SD や、これに近い主軸を持つ 882SD と 885SD、直行する 857SD などの溝も掘削される。出土遺物は乏しいが、これらに有機的関連を想定し、赤物甕を埋設した 864SK に注目して、耕作に関連する遺構群を想定しておく。

なお、21A 区では、140SD を切り燻瓦や近世陶器小片が出土した 139SD が検出されている。21 Ｂ区とは様相がやや異なるため、これらを一括りに理解する事に問題点も残すが、これらをⅦ期としてまとめている。

２　牛寺遺跡の概観

ここでは、過去の調査成果と合わせて牛寺遺跡の調査成果をまとめる。

牛寺遺跡の発見は、昭和 47（1972）年に発生した集中豪雨により排水路の一部が崩壊し、その崩落土から多量の瓦類が出土した事による。翌年には豊田市教育委員会により、崩壊した排水路の補修に先立つ発掘調査が実施されている。調査面積は 200 ㎡で、永禄年間に焼失した天台宗弥勒山牛寺と呼ばれる神宮寺が存在したという野見神社の口伝とあわせて、調査地点を牛寺廃寺址として報告している。報告書は古代寺院の存在を射程に据えて記述が進められるが、時期を違えた遺構･遺物の存在にも注目し、重複する別時期の遺構が周囲に展開する事も想定している。以下、豊田市 72 区と仮称する。（豊田市教育委員会　1978）

平成３（1991）年には、豊田市 72 区の近接地で下水道工事が計画された。この部分は周知の埋蔵文化財の包蔵地の範囲外ではあったが、遺構が存在する可能性も考えられていた。このため、有無確認を目的とした立ち合い調査が実施され、遺構・遺物の確認を経て発掘調査が実施されている。調査面積は 101 ㎡で、中世を中心とした土坑･溝などが検出されている（森　2008）。以下、豊田市 91 区と仮称する。

続く、平成 17（2005）年には、矢作川野見地区改修事業に伴う発掘調査が、愛知県埋蔵文化財センターにより実施されている。調査面積は 1300 ㎡となっている。いずれも中世の遺構が主体となるが、新たに縄文時代～弥生時代の竪穴建物も報告されている。（愛知県埋蔵文化財センター　2008）以下、05 区と仮称する。

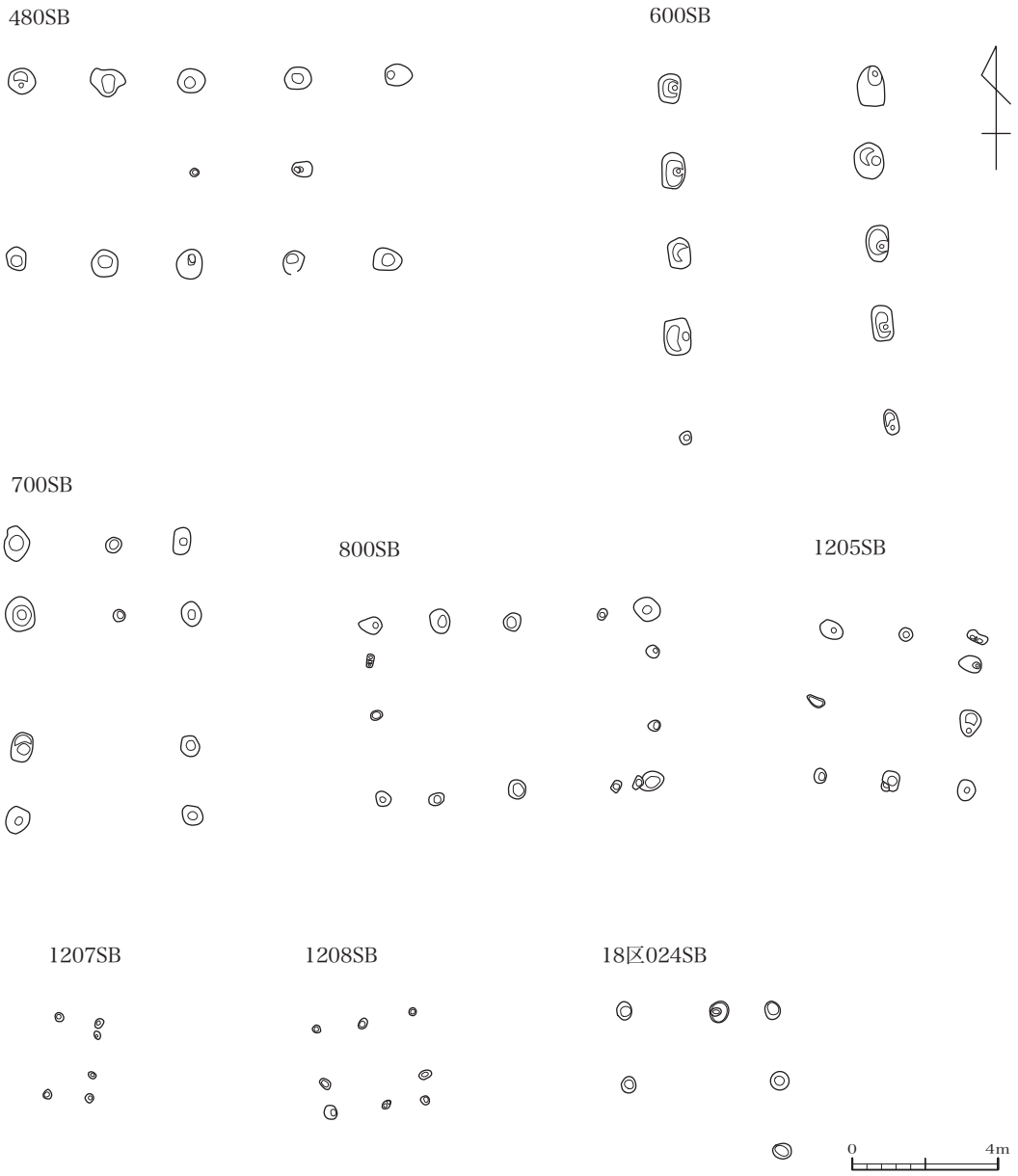


図 73　掘立柱建物集成　1:200

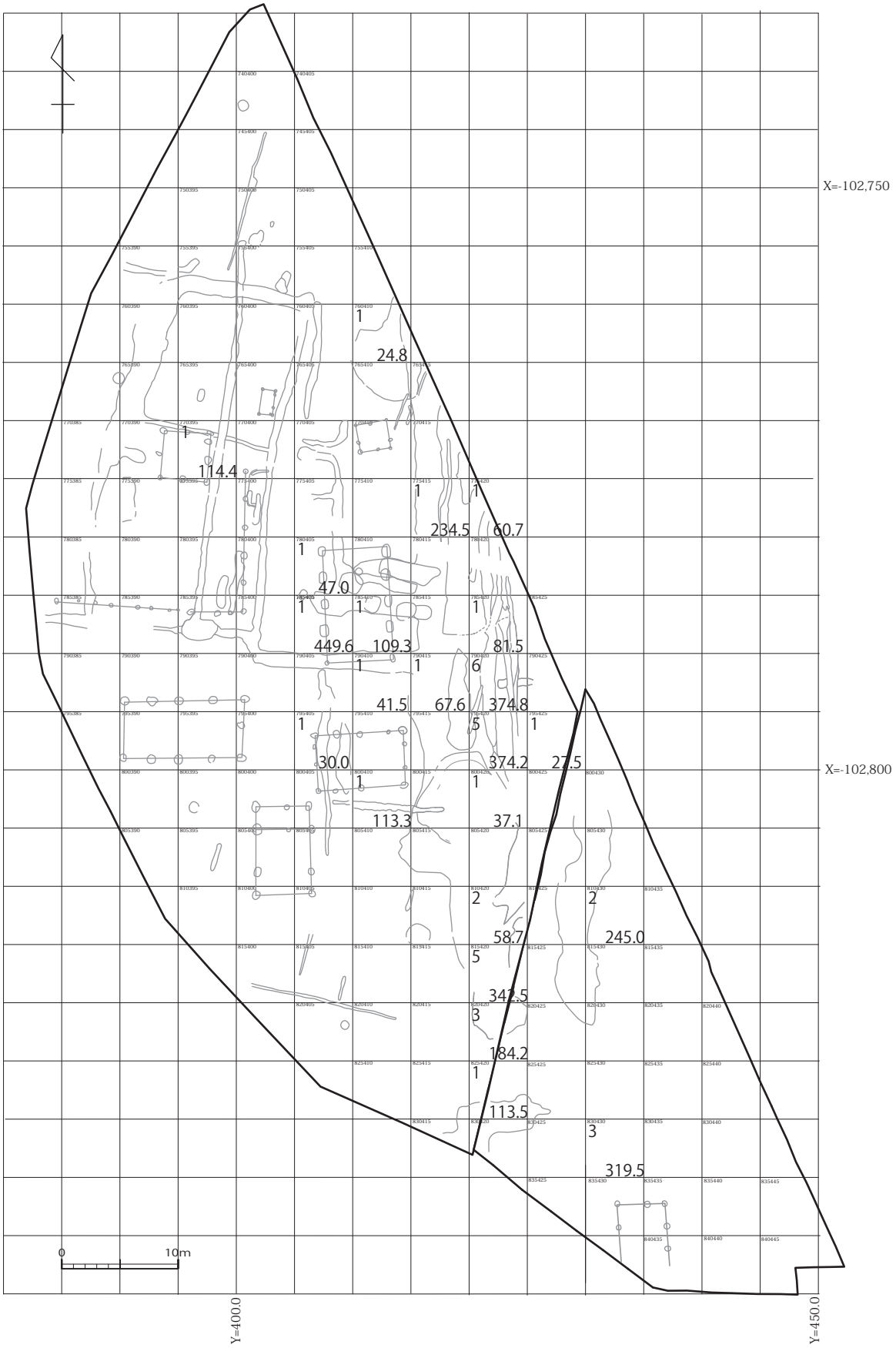


図 74　瓦分布図　1:500

図版 17 は過去の調査区と今回の調査区を合成したものである。ここでは、これらに検討を加え、牛寺遺跡の全体像を推察したい。

前述の様に、Ⅰ・Ⅱ期に属する遺構・遺物は希薄となっている。過去の調査でも同様で、05 区において縄文時代中期と弥生時代後期の竪穴建物が各 1 棟確認されているに過ぎない。調査区外に当該期の遺構が展開する可能性も考えられるが、詳細は明らかではない。

古代と理解しているⅢ期は、瓦類を除くと遺物が乏しく遺構も不明確となる。なお、瓦類のあり方は、従来の知見と矛盾するものではない（永井　2011・2017、注 1）。

ところで、瓦類は今回の調査区からは接合後の総計が 45 点出土している。内訳は平瓦が 36 点、2802.6 ｇ、丸瓦が９点、342.7 ｇとなる。これらは遺構資料も含まれるが、基本的には混入と考えられる。しかし、これらは原位置を大きく移動していない可能性が想定できるため、図 74 にグリット毎に接合後の破片数と重量の集計をまとめた。これによれば、破片数と総重量は 21 区南東部に重心が観察できるが、遺構検出面が大きく削平されている可能性を持つ 18 区でも、遺構検出面が残存するエリアでは同様の状況が指摘できる。以上の状況から、瓦類の西側の分布範囲は大まかに確定できたものと思われる。なお、05 区、豊田市 91 区では瓦類の出土は報告されてはいない。これらを整理すると、瓦の分布範囲は 21 区の南東から 18 区のほぼ全域と豊田市 73 区まで、概ね東西 60 ｍ、南北 100 ｍの範囲となる。なお、多量の瓦類が出土した豊田市 73 区の北東～東側は未調査となっており、分布範囲はさらに東側に広がるものと思われる。

Ⅳ期以降では、調査区を超えて溝が広域に展開することが想定できる。まず、003SD は幅も広く、Ⅳ期～Ⅴ期を通じて何回かの掘り直しが確認できる。出土遺物からⅣ期とⅤ－１期の間は空白期が存在しており、Ⅴ－１期の段階で 003SD を大きく拡張して 003SD のｃ・ｄ層が形成されたものと思われる。21 区内で 003SD の西側には 297SD・298SD・299SD など主軸が類似する溝が掘削されており、このうち 298SD は 003SD と接している。なお、これらの溝群はやや間隔を持って直交する 18 区 001SD との関連も想定できた。また、21 区 003SD・298SD と 05 区 SD02、18 区 023SD と 05 区 SD01 は、それぞれ連続が想定できる。さらに、東側約 30 ｍに位置する東側に柵列を伴うと報告される 91 区 SD01 も、これらと主軸が類似している。

ここで、21 区 003SD と 298SD・244SD の連結部中心を基準に、溝による区画の規模を溝の中央で大まかに計測すると、南に約 30 ｍで 003SD の終点となり、約 40 ｍでは直行する 18 区 001SD の中心に到達する。003SD の西側は、約 30 ｍで 21 区 140SD 東溝、約 60 ｍで西溝となり、調査区周囲には約 30 ｍ程度の区画が展開することが想定できる（図版 17）。なお、区画内にはⅤ期に属すると思われる８棟の掘立柱建物を検出している。これらは図 73 に集成したが、このうち 480SB・700SB・800SB は側柱建物ではあるが比較的規模も大きく、注目しておきたい。

ところで、今回の調査では、中世に帰属する瓦も若干出土しており、これらは矢作川対岸に位置する長興寺の瓦と類似している（北村・永井 2014）。前述した様に、長興寺の周辺部には長興寺関連遺跡と呼称される中世集落遺跡が知られており、地籍図の検討からこれがやや広域に広がる可能性も指摘されている（北村　2017）。現状では表面採集などによる資料が知られるのみだが、牛寺遺跡の遺構群との比較も今後の検討課題となる。

また、Ⅴ期では、Ⅳ期の溝が埋没後に 21 区Ａ区において葬送空間として利用された状況が観察できた。今回の調査区を特徴付けるものでもあり、これについては本章４で記述する。

最終段階となるⅥ期の遺構は、耕作地を想定している。これらの遺構は主に 21 Ｂ区に展開し、上面が大きく削平されている 21 Ａ区にも本来広がる可能性は考えられるが、豊田市 73 区、同 91 区、05 区ではこれが不明確となる。限定された範囲に展開するものと考えられる。

次に、牛寺遺跡の周辺を、愛知県公文書館の地籍図（原図は 1/1,200）により概観する。図 75 に示す牛寺遺跡周辺の地籍図は明治 17（1884）年頃の様子が表現されている。これを現在の様相（図 76）と比較すると、調査区周辺との直接の対比は困難な状況となっている。しかし、図 75・76 のＡとした地点の交差点と、北側の字境となる道が現存しており、この部分を根拠に両者をやや強引に照合させ、これに牛寺遺跡の調査区をはめ込んでみた。

ところで、今回の遺構外資料には近世以降の瓦類が含まれている。図示した軒桟瓦２点（図 62-402・403）は、大振りで重厚な作りとなっており、寺院等に使用されたとも思われる（注２）。総数が乏しく、これが遠方より持ち込まれた可能性も否定できないが、地籍図段階に残存しない寺院等が存在していた可能性を残す。

次に、調査区北側に注目すると、字牛寺と字森下との境界部のＣとした地点付近の字森下～字平地にかけては水田となっており、洪積台地が開析された状況が確認できる。この開析谷は東に鈍く屈曲し、字牛寺を縁取るように南に伸びる状況も観察できる。

なお、字牛寺あたりを中世の高橋氏の居館に当てはめる考えが指摘されている（注３）。高橋氏は高橋荘司とされ、現在の豊田市北部・中部を荘域とする高橋荘を掌握したとされる。興味深い指摘だが、現状では不明確な点も多く、今後の検討課題となろう。

注

注１・２　瓦類については本センター調査研究専門員　永井邦仁の教示を得ている。
注３　（豊田市教育委員会・豊田市史編さん専門委員会 1976）では、『三河国二葉松』「三州古城記」の額田郡に「牛野村古屋鋪　高橋蔵人」とある事、幡豆群一色町赤羽根の『高橋家系図』に「高橋蔵人　足助ヨリ牛村ニ移リ　領知永九蔵十六貫八百文也」、野見町高橋釘三郎氏所蔵の『高橋家之方角並二因縁紀』にも「高橋蔵人」の記述が確認される事などを指摘し、高橋蔵人なる人物が矢作川東側に居館を構えた事や、図 78・80 のＢ―Ｂ’とした地点に地籍図上で区画が想定できる事を指摘している（豊田市教育委員会・豊田市史編さん専門委員会 1976）。一方、（豊田市教育委員会　1978）は、豊田市 72 区の排水路壁面で観察した中世前期の遺物を含む溝状遺構を確認したとされ、上記の区画との関連を想定している。

参考・引用文献

飯塚邦男　2010「建物（竪穴建物・掘立柱建物）について」『道外戸遺跡』 豊田市埋蔵文化財調査報告書第 44 集　豊田市教育委員会
池本正明　2022「牛寺遺跡」『令和３年度　愛知県埋蔵文化財センター年報』 公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団　愛知県埋蔵文化財センター
北村和宏　2017 「長興寺関連遺跡」『新修豊田市史』資料編　考古Ⅲ 古代～近世 豊田市
鈴木恵介　2019 『平成 30 年度　愛知県埋蔵文化財センター年報』 公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団　愛知県埋蔵文化財センター
豊田市教育委員会　1978 「牛寺廃寺址」『豊田市埋蔵文化財集報』第六集　寺院址　豊田市郷土館
豊田市教育委員会・豊田市史編さん専門委員会　1976 『豊田市史』第一巻 豊田市
永井邦仁　2011 「三河国加茂郡の古瓦」『豊田市史研究』第２号　豊田市
永井邦仁　2017 「午寺廃寺・牛寺遺跡」『新修豊田市史』資料編　考古Ⅲ 古代～近世 豊田市
永井邦仁・北村和宏 2014 「中世禅宗寺院としての長興寺境内に関する覚書」『豊田市史研究』第 5 号　豊田市
永井宏幸編　2008 『牛寺遺跡』愛知県埋蔵文化財センター調査報告書　第 155 集



図 75　遺跡周辺の地籍図　1:2,400

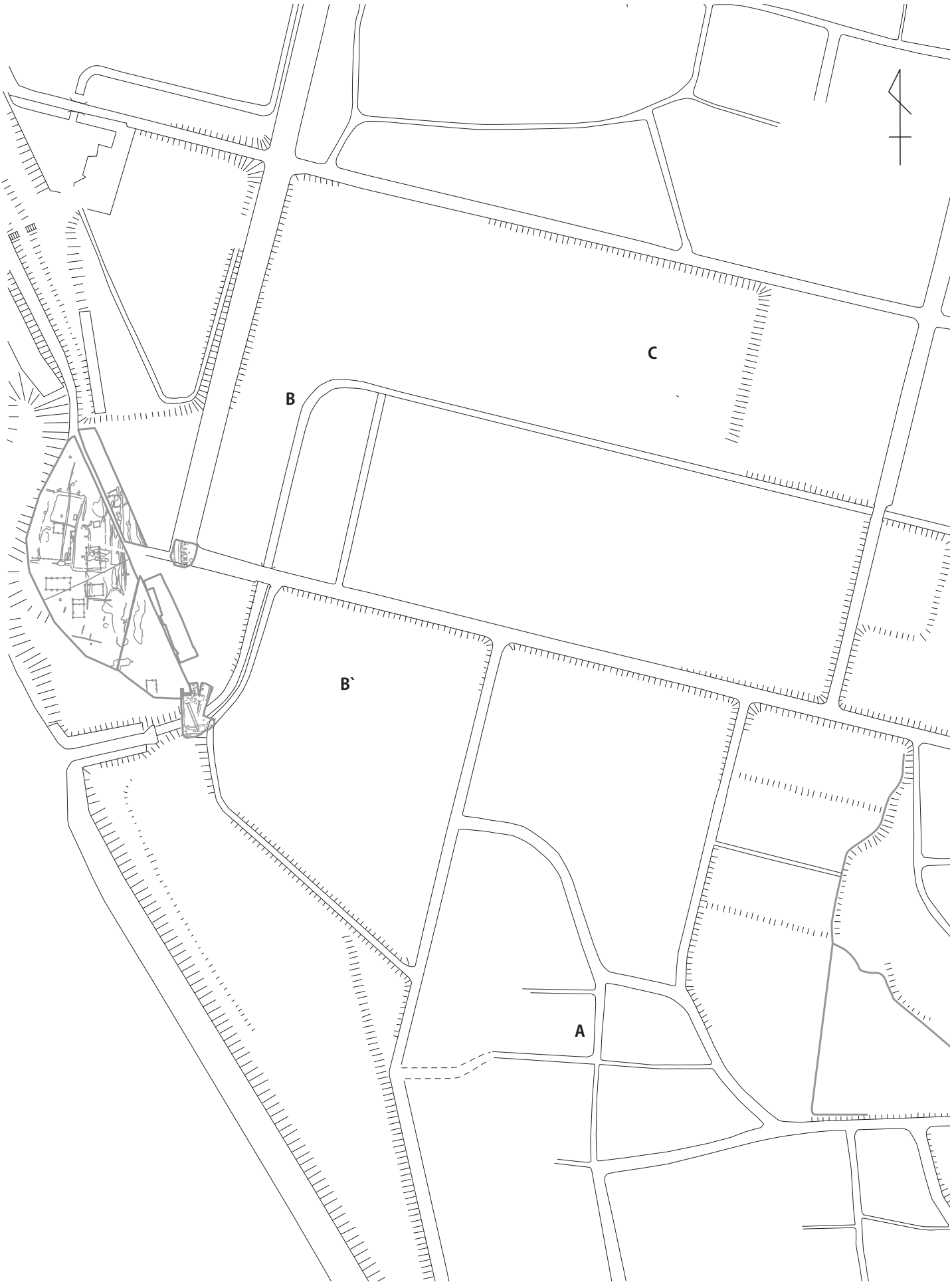


図 76　調査区周辺の市街地　1:2,400

樋上 昇　2018「牛寺遺跡」『平成 29 年度　愛知県埋蔵文化財センター年報』 公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団　愛知県埋蔵文化財センター
森 秦通　2008 「豊田市教育委員会 1991 年調査成果」『牛寺遺跡』愛知県埋蔵文化財センター調査報告書　第 155 集
森 秦通編　2010 『道外戸遺跡』 豊田市埋蔵文化財調査報告書 44 集　豊田市教育委員会



図 77　調査区遠景

３　火葬施設について

今回の調査で特徴的となる遺構に火葬施設がある。前述した様に、これらは遺構の分布状況や重複関係に注目してⅥ期（16 世紀）としてまとめている。分布に注目すると､21 Ａ区にのみで確認しているが、大きく二つの集中域が想定できる。以下、北群、南群と仮称する。検出数は、北群が５基（030ST・274ST・292ST・507ST・705ST)、南群が２基（235ST・782ST）の合計７基となる（注１）。

なお、北群・南群ともに土坑墓を想定できるような遺構は検出されていない。21 区からは多くの拳大～人頭大の礫が出土しているが、石塔の部材などの石造物も確認する事もできなかった。また、21 区や 05 区では古瀬戸壺・瓶類の出土が散見できるが、これらを土坑等に埋設した状況も確認されない。また、個々の資料には、頸部の打ち欠きや底部の穿孔などの一部の蔵骨器に特徴的となる二次加工も観察できない。このためこれらを蔵骨器として認識する事は難しい。こうした状況から、牛寺遺跡Ⅵ期の 21 Ａ区は火葬に関わる空間として認識でき、調査区外の別地点に墓地を設定しているものと考えられる（注２）。

牛寺遺跡で検出された火葬施設の形状は、235ST・507ST が隅丸方形、030ST が円形、292ST は不整形となる。小型となる 705ST・782ST は、上面が削平されて基底部のみが残存した状況とも考えられる。ところで、火葬施設は方形土坑に通風溝が付く形状から、通風溝が省略された土坑のみの形状へと変遷することが指摘されている（図 81・神谷　2015)。この指摘に従えば、牛寺遺跡の事例は後出的となり、前述した主要遺構の変遷とも矛盾しない。

遺構の状況を観察すると、壁面などに被熱が確認できるもの（030ST・235ST）と、被熱は確認できないが、炭化物・骨片などを含むもの（292ST・507ST)、被熱が確認でき、埋土に炭化物や骨片を含むもの（782ST）に大別できる。なお、被熱に関しては、第Ⅱ章で述べた様に、今回の調査区は上面が大きく削平された状況と考えられるため、あくまで残存部分の観察となる（注３）。第Ⅳ章に報告する放射性炭素年代測定では、235ST・292ST・782ST の薪材もしくは棺材と考えられる炭化物や、292ST・782ST の火葬骨も測定した。このうち 292ST・782ST は、鎌倉・室町時代の測定結果を得ている（注４）。

出土遺物では 782ST から銭貨が出土している（図 63-Ｍ１～Ｍ５図)。これらは火葬前に添えられたと考えられ、被熱によると考えられる雫状に溶解した様子も観察できる（図版 49)。残存状態は良好とは言えないが、総数は６点以上と思われる。なお、図 82 に銭貨のレントゲン写真を添付する。

次に、507ST で確認された明らかに異質な堆積層は、第Ⅳ章に報告する砂粒組成分析の成果から、外部より持ち込まれた可能性が強いと判断できる。断言する事は難しいが、土砂加持に関わる可能性も想定できる。土砂加持は光明真言等により加持された土砂を「亡者の屍あるいは墓上・塔上等に（中略）主として滅罪のために散布する法」とされ（密教辞典編纂会　1931)、史料では、例えば中世の葬送次第を記すと言われる『吉事略儀』に「納御骨於茶碗瓶子（中略）拾御骨。次加入土砂」とあるなど、度々登場している。葬送時の具体的な作法に関わる事例となり興味深いが、現状では類例の増加を待ちたい（注５）。

以下に、牛寺遺跡に近接し、中世頃の火葬施設が報告されている南山畑遺跡、岩長遺跡、道外戸遺跡、京町遺跡の事例と比較する。

まず、250 ｍ北東に位置する南山畑遺跡は、24 基の土坑墓と 17 基の火葬施設（火葬墓）が検出されている。これらは前段階の遺構の廃絶後に形成され、15 世紀以降の SF03、16 世紀末～ 17 世紀初頭の

SF02 の２基を初源とし、近代まで継続すると報告されている。また、火葬施設・土坑墓の分布に一定のまとまりが観察され、先行する古墳を意識した可能性も指摘されている（天野編　1999）。

450 m北東に位置する岩長遺跡は、６基の火葬施設が報告されている。いずれも時期を特定できる資料に恵まれていないが、遺構の形状を根拠として、SZ5 を中世に、SZ6 ～ SZ8 を中世から近世と報告している（安田編　2000）。火葬施設は調査区内に点在し、分布の特徴は観察できない。

3500 m北東に位置する道外戸遺跡は、火葬施設（火葬墓）５基・土坑墓２基が検出されている。火葬施設は調査区西側に３基、東側に２基が検出され、東側の２基は近接して検出されている 15 ～ 16 世紀代の区画溝に関連を持つものと理解されている。火葬施設の時期は、土師器皿が出土した SF2、SF3 が 15 世紀後葉～ 16 世紀中葉に、出土遺物に恵まれなかった SF1、SF4、SF5 は形状の特徴から中世と報告され、時期幅を中世の範疇で理解している（森編　2010）。

3600 m北西に位置する京町遺跡は、火葬施設 32 基・土坑墓 38 基が検出されており（長田編　2013）、中世から近世まで存在したことが報告されている。なお、火葬施設・土坑墓は、分布にまとまりが観察できる事や、調査区の南東に位置する京町藤塚古墳を意識して展開する事も指摘されており、一定程度の規則性や区分けの存在（神谷　2015b）が想定されている。なお、特徴的な事例として SK18 からは、永楽通宝を含む「被熱しない銭貨」が配置された状況が確認されており、火葬後の祭祀の存在も示唆させる。

注

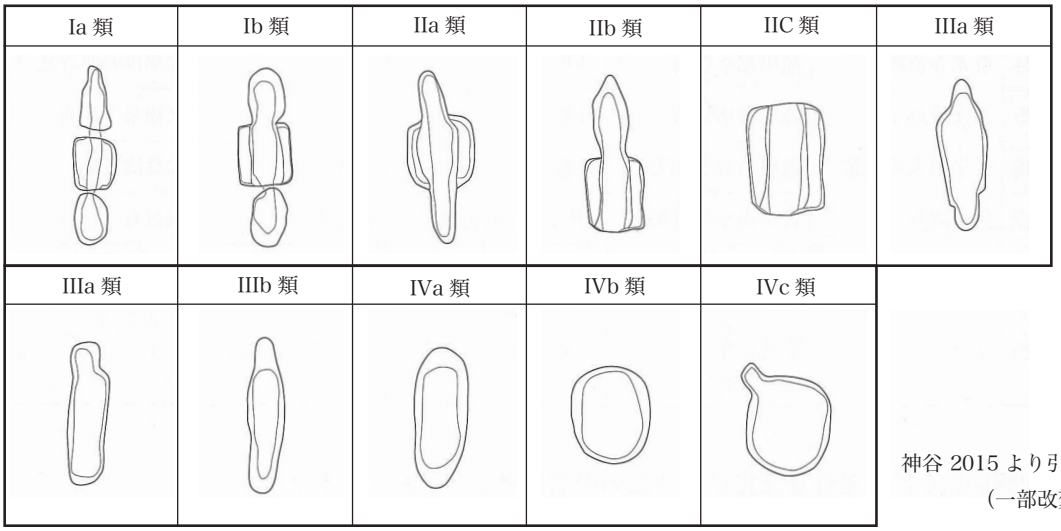
注１　274ST は壁面が被熱せず、埋土には炭化物・骨片は含まれていない。また敷設される礫は 235ST・507ST と比較して大振りとなっている。礫が敷き詰められる特徴から火葬施設として報告しているが、他の５基とはやや特徴を異にしている事は否めない。このため、ここでは 274ST は除く。

注２　近隣に残存する石塔には、牛寺遺跡の火葬施設とは時期が異なるが、矢作川対岸に位置する長興寺に部材が若干確認できる。また、北側 1.7㎞ に位置する古城遺跡で検出されている SX03 は、東西 8.0 m、南北 8.8 m（内側下端計測）の溝による方形区画で、上面は削平されるものの南西隅には拳大～ 25 ㎝大の礫が密集し、南側の 1.2 m× 0.9 m範囲には被熱した人骨や花崗岩製宝篋印塔の隅飾片も出土している（豊田市教育委員会　2004）。

注３　（冨岡他　2014）は、火葬施設と推定されながら壁面や床面に被熱が確認できない事例に対して、『中右記』保安元年９月 27 日の「以柴先敷地、於其上火葬成」の記述に見られる様に、火葬時に芝を敷き火が直接壁面や床面に当たらない様な作法も存在したと想定している。

注４　第Ⅵ章で報告した様に、235ST は縄文時代早期前葉と極端に遡る測定結果が得られている。

注５　現状では、岡山県花木中世墓群 No.1 人骨の蔵骨器内で異質な粘土塊が確認された事例（富岡他　2018）や、



神谷 2015 より引用
（一部改変）

図 78　火葬施設の形態

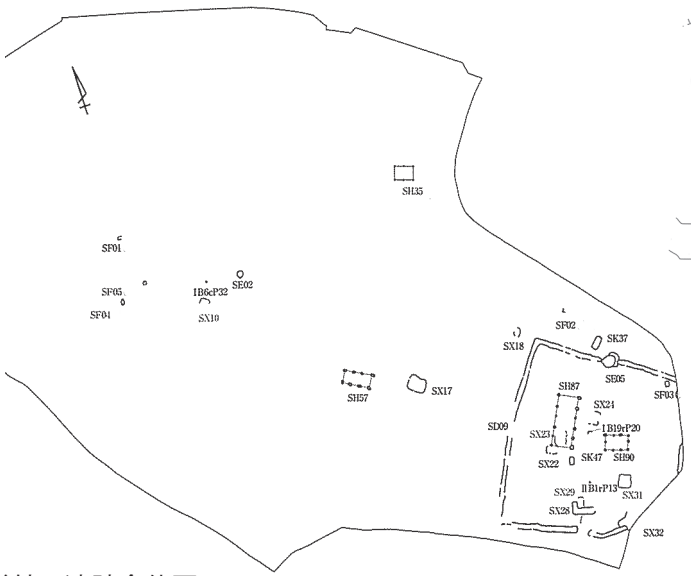
石塔に「きれいな砂入りの壺（544)」が伴ったと伝える事例（石田　1969）などに可能性が求められるにとどまる。なお、火葬後に火葬施設が供養されている事例については、天皇家の火葬塚の他、『法然上人行状絵図』には、法然上人の火葬施設について拾骨後に「かの荼毘所のあとには、堂を立てて御墓堂と号して念仏を修す」との記述もある。（中井他　2014）

参考・引用文献

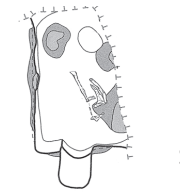
天野博之編　1999 『南山畑遺跡』 豊田市埋蔵文化財調査報告書 10 集　豊田市教育委員会
飯塚邦男　2010「中世の火葬墓・火葬施設・土坑墓等について」『道外戸遺跡』 豊田市埋蔵文化財調査報告書第 44 集　豊田市教育委員会
石田茂作　1969『日本仏塔』 株式会社講談社
長田友也編　2018 『京町遺跡』 豊田市埋蔵文化財調査報告書 74 集　豊田市教育委員会
神谷真佐子　2015a「火葬施設について」『新編知立市史』３　資料編　考古（原始・古代・中世）知立市
神谷真佐子　2015b 「京町遺跡の火葬施設・土壙墓の状況について」『京町遺跡』 豊田市埋蔵文化財調査報告書 74 集　豊田市教育委員会
中井眞孝他　2014『国宝法然上人行状絵図』Ⅴ　浄土宗出版
富岡直人他　2014 「宮城県仙台市洞ノ口遺跡出土の中世火葬骨の研究」『半田山地理考古』第２号　岡山理科大学生物地球部
富岡直人他　2018 「中世墓出土人骨に見られるガラス状膠着物質の研究」『半田山地理考古』第６号　岡山理科大学生物地球部
豊田市教育委員会　2004『古城遺跡』豊田市文化財調査報告書　第 23 集　豊田市郷土館
密教辞典編纂会　1931『密教大辞典　縮小版』 法蔵館
安田幸一編　2000 『岩長遺跡』 豊田市埋蔵文化財調査報告書 15 集　豊田市教育委員会
森 秦通編　2010 『道外戸遺跡』 豊田市埋蔵文化財調査報告書 44 集　豊田市教育委員会

表7 火葬施設一覧

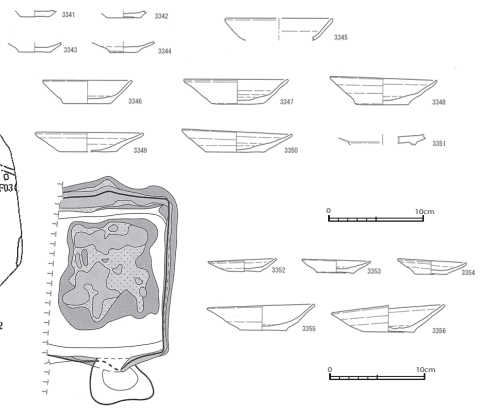
遺構名	位置	形状	被熱	炭化物（燃料材）	骨片	礫配置	遺物	備考
030ST	北	円形	被熱面	○	未検出	×	未確認	
235ST	南	隅丸長方形	被熱面	○	未検出	○	未確認	年代測定
274ST	中	隅丸長方形	×	×	未検出	○	未確認	
292ST	北	不整形	×	○	○	×	臼玉?	年代測定
507ST	北	隅丸長方形	被熱面	○	未検出	○	未確認	
705ST	北	卵形	×	○	○	×	未確認	
782ST	南	楕円形	被熱面	○	○	×	銭貨	年代測定



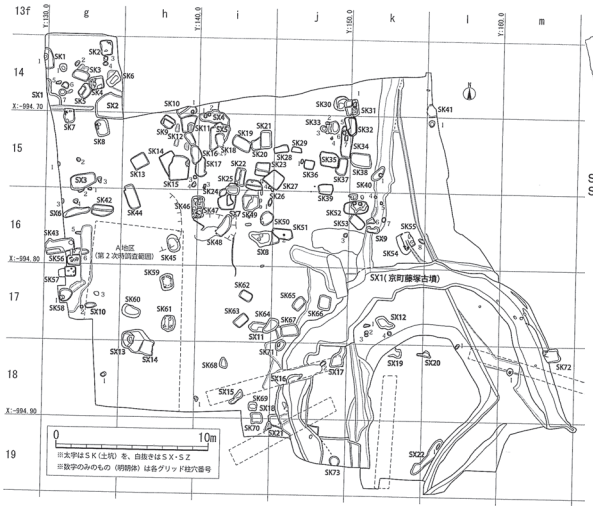
道外戸遺跡全体図 1:2,000
森編　2010 より引用（一部改変）



SF02 1:50・出土遺物 1:8

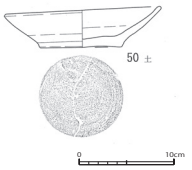


SF03 1:50・出土遺物 1:8

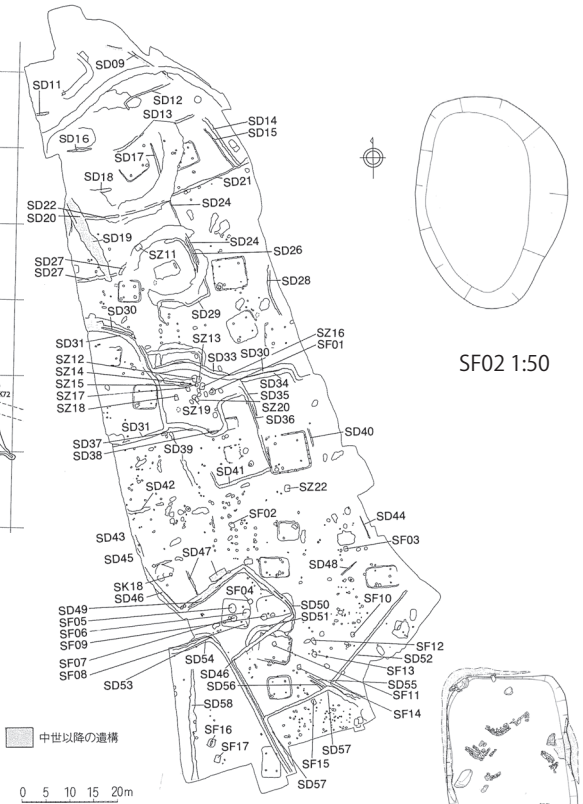


京町遺跡全体図 1:500





SK7 1:50・出土遺物 1:8
長田編　2018 より引用（一部改変）



南山畑遺跡全体図 1:1,600
天野編　1999 より引用（一部改変）

SF02 1:50

SF02 1:50

図 79　豊田市内の火葬施設

4　土師器皿について

第Ⅲ期で報告した様に、土師器の皿は図示したものが 170 点程度と、出土遺物の主体を占める資料となる。時期的には若干前後するものも含まれているが、概ね 15 世紀に集中している（注 1 ）。出土位置は溝もしくは土坑中から、ややまとまった量が出土する状況が特徴的となる。具体的には 003SD のｂ層（445415 グリット付近）と、この上面から切り込む 784SK、さらにこれを切る 160SK や、299SD-A（790420 グリット付近）資料で（図 23・30・32）、これに次ぐ数量となる 106SK・556SK・321SK（図 22・24・26）にも注目できる。

ここでは、今回報告する資料を法量・形状・胎土（色調・混和剤）について注目してみたい。

まず法量だが、多くの資料で計測可能な底径に注目する。これらのグラフを作成すると、大きく 5 つのピークが生じており、法量の分化を観察できる（図 80･81）。具体的には、小法量から 3.2 ㎝～ 4.3 ㎝、4.7 ㎝～ 6.6 ㎝、6.8 ㎝～ 7.3 ㎝、7.6 ㎝以上となる。ここではこれらを順に小型、中型、大型、特大

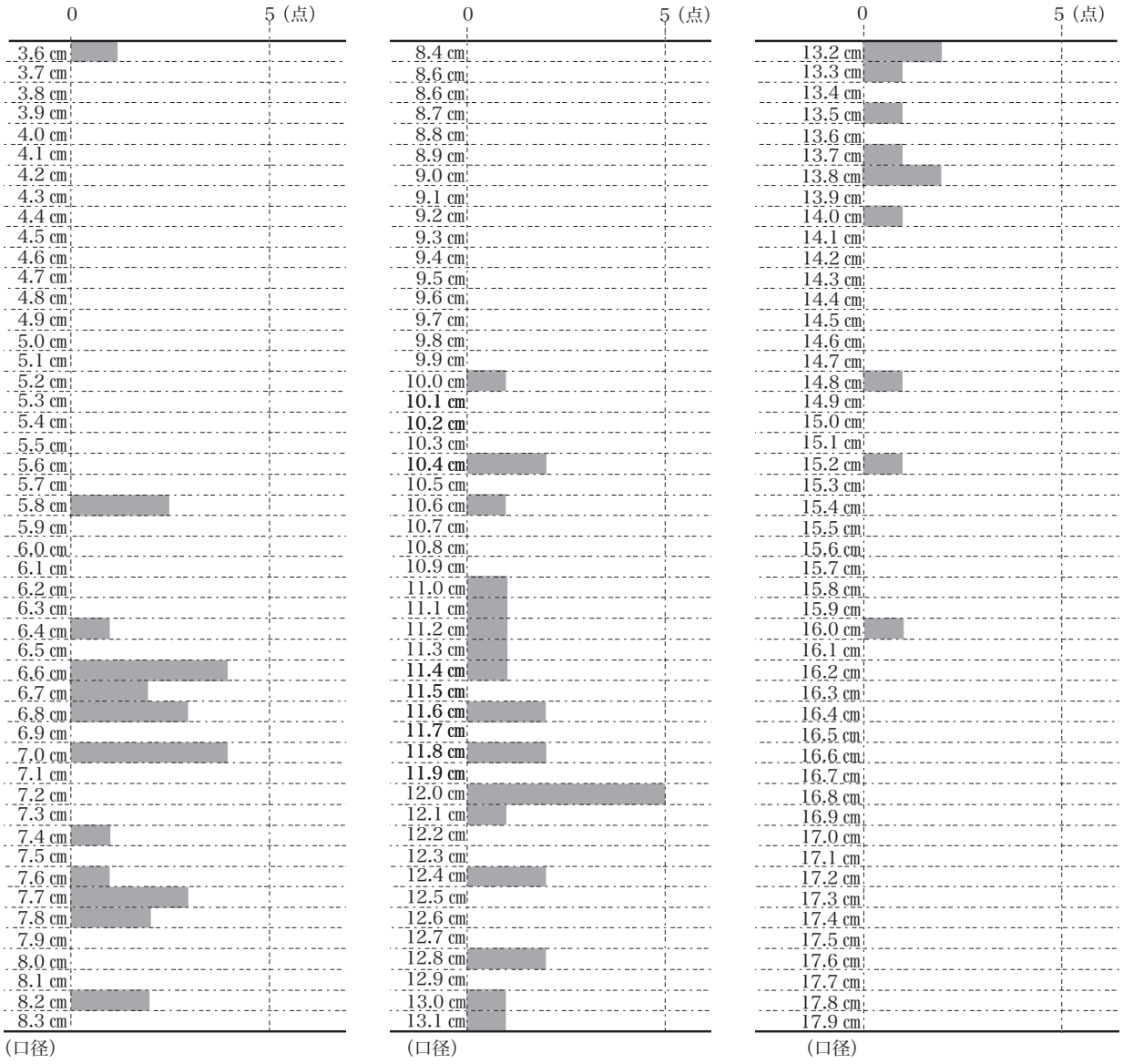


図 80　土師器皿口径グラフ

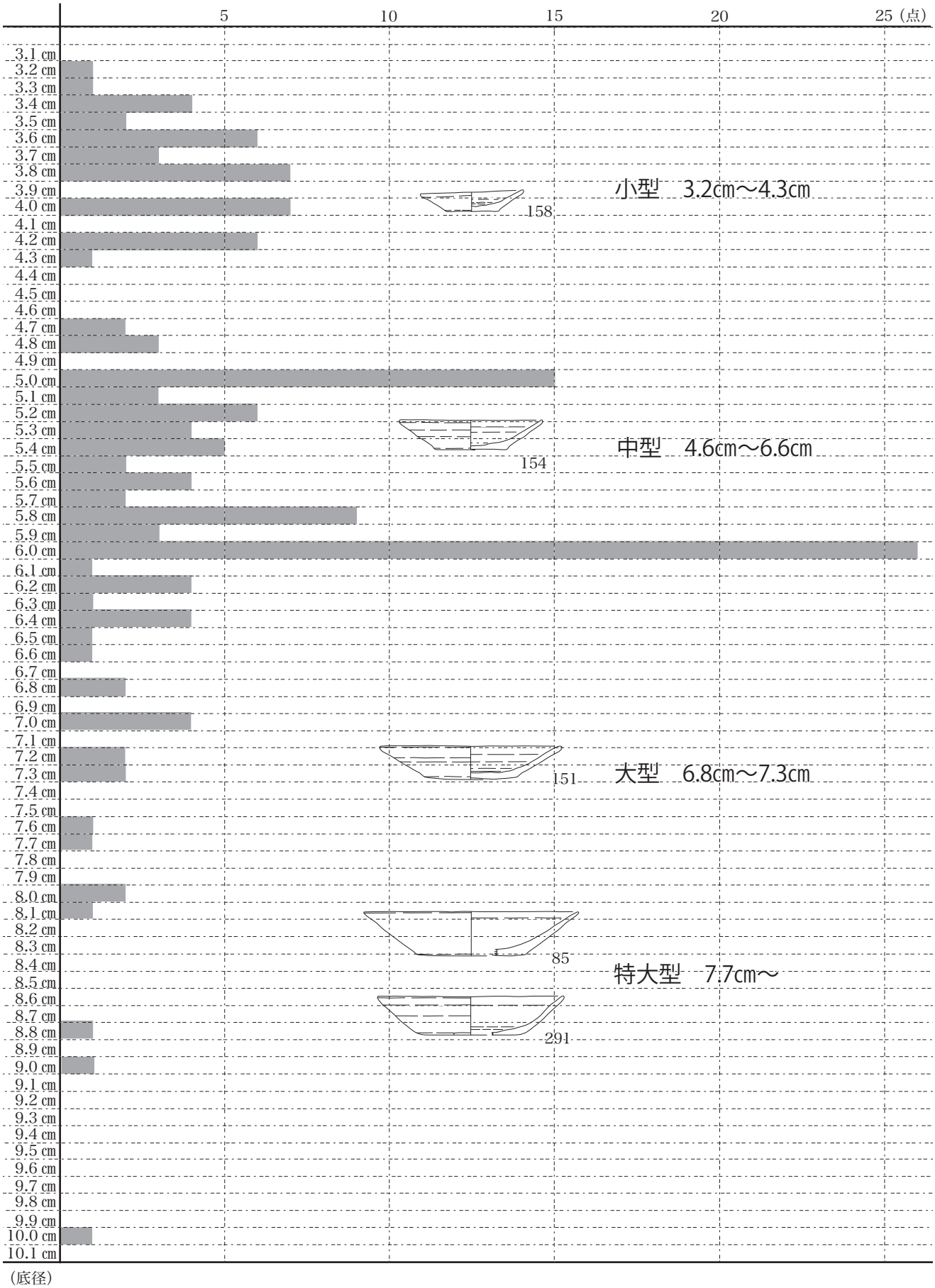


図 81　土師器皿底径グラフ

型と呼称する。なお、小型については不鮮明だが、3.8㎝以下と4.0㎝以上に分割できるのかもしれない（注２）。

次に形状だが、ほとんどがロクロ整形となり、外底部には糸切り痕を残す（図85）。底部は大半が平底となるが、底部外縁と体部下方に非回転のヘラ削りを付加し、丸底風となるものが数点含まれている（図54-56、図55-93、図57-181・182、図58-291・298など）。資料数は少ないが、別形態として認識すべきかもしれない。

胎土の色調は、『標準土色帳』によれば、灰白色と浅黄橙色が大半を占め、にぶい橙色とにぶい黄橙色がこれに続き、これらで資料の大半を占める。なお、黒褐色の３点（図54-61、図56-113、図57-212）は異質となる。次に、混和材に注目すると、ほぼ全ての資料にシャモットが観察でき特徴的となる。

注

注１　土師器皿については本センター調査研究主任　鈴木正貴の教示を得ている。
注２　底径が小さく底部が極端に突出するものが2点含まれるが（図58-247・248）、時期が遡るため、図81には含めてはいない。

参考・引用文献

鈴木正貴　2017「時期区分と編年」『愛知県史』資料編５　考古5 鎌倉～江戸 愛知県史編さん委員会

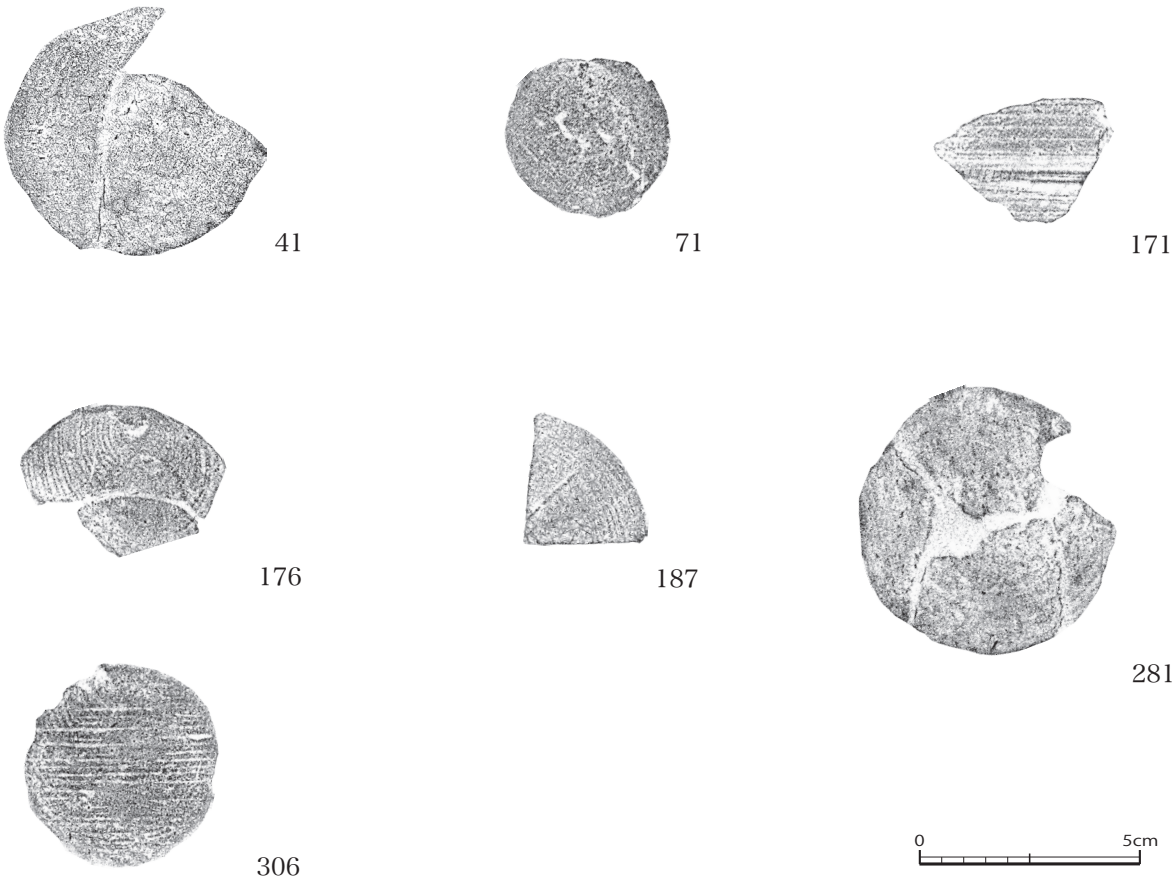


図82　土師器皿底面拓影　1：2

付　表













付表１　遺構計測一覧 -1

調査区	遺構記号	グリッド	長軸	短軸	深さ	埋土	備考
3PGD18A	18区001SD	820420	（124）	432	32	図6を参照	21区847SX
3PGD18A	18区002SK	810420	328	124	10		
3PGD18A	18区003SK	820420	10	70	9		
3PGD18A	18区005SK	810420	42	40	19		
3PGD18A	18区006SK	810420	19	19	16		
3PGD18A	18区007SK	810420	28	27	12		
3PGD18A	18区008SK	820420	38	27	9		
3PGD18A	18区009SK	830420	40	27	15		
3PGD18A	18区010SK	820420	128	99	16		
3PGD18A	18区011SK	830420	45	41	13		
3PGD18A	18区012SK	810420	23	22	6		
3PGD18A	18区013SK	810420	46	30	3		
3PGD18A	18区014SK	830430	47	43	48	図6を参照	
3PGD18A	18区015SK	830430	55	46	20	図6を参照	
3PGD18A	18区016SK	830430	30	25	20		
3PGD18A	18区017SK	830430	28	26	17		
3PGD18A	18区018SK	830430	36	27	24		
3PGD18A	18区019SK	830430	33	29	19		
3PGD18A	18区020SK	840430	27	25	14		
3PGD18A	18区021SK	840430	20	19	16		
3PGD18A	18区022SD	830430	75	73	17		
3PGD18A.C	18区023SD	810420	（1805）	216	28	図8を参照	
3PGD18A.B	18区024SB	830430	（413）	394	－	図6を参照	18区014SK.015SK.025SK.027SK.030SK.036SK
3PGD18B	18区025SK	840430	57	45	32		
3PGD18B	18区026SK	830430	37	35	16		
3PGD18B	18区027SK	830430	47	46	29	図3を参照	
3PGD18B	18区028SK	830430	28	23	2		
3PGD18B	18区029SK	830430	29	22	15		
3PGD18B	18区030SK	830430	60	53	7		
3PGD18B	18区031SK	830430	27	25	16		
3PGD18B	18区032SK	830430	27	25	12		
3PGD18B	18区033SK	830430	34	18	6		
3PGD18B	18区034SK	830430	36	30	25		
3PGD18B	18区035SK	830430	28	23	7		
3PGD18B	18区036SK	830430	52	47	29	図6を参照	
3PGD18B	18区037SK	830430	109	56	8		
3PGD18B	18区038SK	830430	37	35	11		
3PGD18B	18区039SK	830430	28	26	14		
3PGD18B	18区040SK	830430	24	23	11		
3PGD18B	18区041SK	830430	14	14	8		
3PGD18B	18区042SK	830440	83	62	11	図7を参照	
3PGD18B	18区043SK	830440	24	24	9		
3PGD18B	18区044SK	830440	15	15	11		
3PGD18B	18区045SK	830430	44	43	22		
3PGD18B	18区046SK	830430	36	34	12		
3PGD18B	18区047SK	840430	28	22	8		
3PGD18B	18区048SK	830430	17	13	15		
3PGD18B	18区049SK	830430	23	20	6		
3PGD18B	18区050SK	820440	82	52	11		
3PGD18B	18区051SK	830430	45	44	6		
3PGD18B	18区052SK	830430	19	18	9		
3PGD18B	18区053SK	830430	21	18	24		
3PGD18B	18区054SK	830430	15	14	5		

調査区	遺構記号	グリッド	長軸	短軸	深さ	埋土	備考
3PGD18B	18区055SK	830430	76	49	23	図7を参照	
3PGD18B	18区056SK	830440	25	22	20		
3PGD18B	18区057SK	830440	301	237	46		
3PGD18C	18区058SK	820430	26	22	14		
3PGD18C	18区059SK	830430	20	19	6		
3PGD18C	18区060SK	820430	53	39	8		
3PGD18C	18区061SK	820430	27	22	7		
3PGD18C	18区065SK	810430	31	28	11		
3PGD18C	18区066SK	810430	42	27	8		
3PGD18C	18区067SK	810430	28	27	26		
3PGD18C	18区068SK	810430	34	32	8		
3PGD18C	18区069SK	810430	33	19	12		
3PGD18C	18区070SK	810430	62	45	20		
3PGD18C	18区071SK	810430	41	33	13		
3PGD18C	18区072SK	810430	26	22	7		
3PGD18C	18区073SK	810430	24	23	16		
3PGD18C	18区074SK	810430	27	27	4		
3PGD18C	18区075SK	810430	61	42	13		
3PGD18C	18区076SK	820430	28	23	8		
3PGD18C	18区077SK	810430	24	21	10		
3PGD18C	18区078SK	810430	52	42	5		
3PGD18C	18区079SK	810420	27	27	18		
3PGD18C	18区080SK	810420	25	24	10		
3PGD21	001SP	745390	-66	43	20	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	002SP	745395	(50)	43	28	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	003SD	765415 他	-5670	230～900	9～40	セクション図を参照	
3PGD21	004SP	735400	-40	23	7	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	005SD	745400	-122	48	16	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト　地山ブロック含む	
3PGD21	007SX	750390 他	896	348	32	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	008SD	755390 他	-622	42	10	セクション図を参照	
3PGD21	009SP	735400	50	47	7	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	013SP	735400	-63	42	11	2.5Y5/2暗灰黄色シルト　粘性弱い	
3PGD21	015SP	740400	48	43	29	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	016SP	740400	47	43	6	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト　地山ブロック含む	
3PGD21	017SP	740400	45	33	3	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト　地山ブロック含む	
3PGD21	018SP	740400	33	33	3	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト　地山ブロック含む	
3PGD21	019SP	740400	40	30	6	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト　地山ブロック含む	
3PGD21	020SP	740400	34	33	5	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト　地山ブロック含む	
3PGD21	021SP	740400	120	47	6	2.5Y5/1黄灰色砂質土　細粒砂	
3PGD21	022SD	740400	(105)	32	3	2.5Y5/1黄灰色砂質土　細粒砂	
3PGD21	024SP	740400	30	24	1	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト　地山ブロック含む	
3PGD21	025SD	740400 他	-212	40	7	2.5Y4/2暗灰黄色粘性シルト	
3PGD21	026SK	740400	(152)	68	30	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	028SP	740400	67	57	49	セクション図を参照	
3PGD21	030ST	740400	92	85	27	セクション図を参照	

付表1　遺構計測一覧 -3

調査区	遺構記号	グリッド	長軸	短軸	深さ	埋土	備考
3PGD21	031SP	740400	45	45	15	セクション図を参照	
3PGD21	032SP	740400	29	26	1	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	033SP	740400	28	28	30	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト　地山ブロック含む	
3PGD21	036SP	740400	44	33	26	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト　地山ブロック含む	
3PGD21	037SP	740400	42	29	3	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	038SP	740400	38	35	2	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	039SP	740400	30	30	25	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト　地山ブロック含む	
3PGD21	040SX	740405 他	-246	90	50	10YR4/5灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	041SP	740395	58	40	46	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト　地山ブロック含む	
3PGD21	042SP	745400	30	28	5	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	043	745400	-	-	-	-	
3PGD21	044SD	745400 他	1228	62	8	2.5Y5/1黄灰色砂質土　細粒砂	
3PGD21	045SP	745400	22	22	5	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	046SP	745400	40	32	8	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	047SP	745400	65	33	6	2.5Y5/1黄灰色砂質土　細粒砂	
3PGD21	048SP	745405	-28	27	5	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト　地山ブロック多く含む	
3PGD21	049SP	745405	(55)	38	10	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	050SP	745405	53	38	9	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	051SP	750395	50	47	10	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	053SP	750405	30	28	5	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	054SP	750405	33	20	2	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト　地山ブロック含む	
3PGD21	055	750405	-	-	-	-	1207SB
3PGD21	056SP	750405	70	45	3	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	1207SB
3PGD21	057SK	750405 他	-120	-58	4	2.5Y5/2暗灰黄色シルト　粘性弱い	1207SB
3PGD21	058SP	750405	23	15	9	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト　地山ブロック含む	
3PGD21	059SD	750410 他	-130	23	16	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト　地山土微量含む	
3PGD21	061SP	740395	(70)	60	5	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	062SP	775420	42	40	28	セクション図を参照	
3PGD21	063SP	750400	70	42	17	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト　地山ブロック含む	
3PGD21	064SP	750400	65	58	40	セクション図を参照	
3PGD21	065SP	750400	57	30	3	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	066SP	705405	40	32	8	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	067SP	750405	45	35	6	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	1208SB
3PGD21	068SP	750405	(95)	40	7	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	069SP	750405	38	38	5	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	073SP	750405	40	38	1	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	074SP	750405	47	42	1	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	075SK	750405	95	55	1	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	076SD	750410	-152	19	8	7.5YR4/2灰褐色粘性シルト	南北 140/東西 340
3PGD21	077	750410	-	-	-	-	南北 (320)/東西 130/枝 (259)
3PGD21	078SK	755400 他	164	53	4	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	079SP	755405	55	28	9	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	

調査区	遺構記号	グリッド	長軸	短軸	深さ	埋土	備考
3PGD21	080SP	755405	25	23	7	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	081SP	755405	(30)	24	2	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	082SD	755405 他	(1380)	20	5	2.5Y5/1黄灰色砂質土　細粒砂	
3PGD21	083SD	755410 他	(544)	30	7	2.5Y5/1黄灰色砂質土　細粒砂	
3PGD21	084SP	755410	35	32	16	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト　地山ブロック含む	1208SB
3PGD21	085SD	755410	-128	15	4	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	1208SB
3PGD21	088SK	760405	(118)	78	20	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	1208SB 根石
3PGD21	089SD	765405	470	25	5	2.5Y5/1黄灰色砂質土　細粒砂	
3PGD21	090SP	765405	28	26	18	2.5Y5/1黄灰色砂質土　細粒砂	
3PGD21	091SP	765405	27	23	13	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	092SP	765410	30	24	18	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	1208SB
3PGD21	093SP	765410	35	25	19	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	094SP	760410	32	28	6	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	1208SB
3PGD21	095SX	760410 他	-516	622	61	セクション図を参照	
3PGD21	096SP	770415	27	27	20	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	097SP	755410	30	23	14	図27を参照	
3PGD21	098SD	760405 他	1006	78	5	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	100SP	765405	25	20	8	2.5Y5/1黄灰色細粒砂	
3PGD21	102SP	760405	23	20	16	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	103SP	765405	60	38	85	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	104SP	760405	56	16	9	2.5Y5/1黄灰色細粒砂	
3PGD21	105SD	765405 他	(249)	(58)	24	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	106SK	770410 他	136	108	4	図22を参照	
3PGD21	107SD	770415 他	340	-100	19	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト　焼土・地山ブロック微量含み、径5～10cm円礫を含む	
3PGD21	109SP	775415	(55)	30	11	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	110SP	775415	32	30	22	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	111SP	775415	28	26	9	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	112SP	775415	34	28	19	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	113SL	775415 他	52	40	-	図52を参照	
3PGD21	114SP	775415	50	20	4	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	115SP	775415	(68)	42	60	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	116SP	775415	(34)	30	22	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト　焼土ブロック・炭化物含む	
3PGD21	117SP	780415	32	32	3	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	118SP	780415	30	26	15	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	119SP	780415	25	22	12	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	120SK	785415	60	55	5	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	121SP	785415	87	(34)	7	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	122SP	785415	30	27	12	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	123SP	785420	27	18	16	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	124SP	785420	28	23	16	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	125SP	785420	38	29	16	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	126SP	785420	-29	-10	24	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	127SP	785420	21	17	10	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	128SP	785420	(51)	42	6	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	129SP	785415	70	-29	7	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	

付表１　遺構計測一覧 -5

調査区	遺構記号	グリッド	長軸	短軸	深さ	埋土	備考
3PGD21	130SK	750395	53	53	12	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	131SP	750395	48	27	12	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	132SP	750400	28	28	10	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	133SP	750395	59	55	17	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	134SP	750395	34	25	15	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	136SK	750395 他	(165)	110	22	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	137SK	755395	70	53	27	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	138SP	755395	27	22	11	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	139SD	755400 他	3250	28～55	13～16	図41,45を参照	
3PGD21	140SD	755395 他	6035	30～202	10～43	図40,41,43,45を参照	
3PGD21	142SP	760395	(50)	(38)	7	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	143SP	760395	65	42	22	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	144SP	760395	75	38	17	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	145SP	760395	45	32	16	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	146SP	760395	38	38	17	7.5YR5/2灰褐色粘性シルト他	
3PGD21	148SP	760395	53	27	36	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	150SP	760395	43	34	25	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	151SP	760460	28	28	9	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	152SP	760400	25	25	20	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト　炭化物多く含む	
3PGD21	153SK	765390 他	98	95	25	図22を参照	
3PGD21	154SP	765400	25	25	9	図27を参照	
3PGD21	155SP	765400	27	24	11	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	156SP	765400	52	43	77	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	157SP	765400	25	23	17	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト　地山ブロック含む	1207SB
3PGD21	158SP	765400	22	20	13	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	1207SB
3PGD21	159SP	765400	18	18	16	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	1207SB
3PGD21	160SK	785410 他	164	132	8	図23を参照	
3PGD21	161SP	765400	22	20	13	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	162SP	765405	21	18	26	10YR4/3にぶい黄褐色粘性シルト他	
3PGD21	163SP	765405	38	28	8	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	164SP	765410	(57)	(39)	30	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	165SP	765410	27	23	4	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	166SP	765410	42	28	16	2.5Y5/1黄灰色細粒砂	
3PGD21	167SP	765410	27	18	16	2.5Y5/1黄灰色細粒砂	
3PGD21	168SP	765410	30	22	17	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	169SP	770410	24	22	34	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	1208SB
3PGD21	170SK	765410	(152)	125	11	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	171SD	765410 他	327	14	12	2.5Y5/1黄灰色細粒砂	
3PGD21	172SP	765410	72	(29)	8	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	173SD	765410 他	(181)	25	18	図版39を参照	
3PGD21	174SP	765410	26	24	13	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト　地山ブロック含む	
3PGD21	176SP	770405	52	36	21	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	177SP	770405	115	28	6	2.5Y5/1黄灰色細粒砂	
3PGD21	178SP	770405	33	28	18	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	179SD	770405	480	58	9	図47を参照	南北 140/東西 340

調査区	遺構記号	グリッド	長軸	短軸	深さ	埋土	備考
3PGD21	180SD	770405 他	450	36	26	図47を参照	南北 (320)/東西 130/枝 (259)
3PGD21	181SP	770405	30	18	5	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	182SP	770405	28	25	6	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	183SP	770405	(29)	19	13	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	184SK	770405	100	(48)	4	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	185SP	770405	18	18	9	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	186SP	770405	21	20	20	図27を参照	
3PGD21	187SP	770410	24	20	20	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	1208SB
3PGD21	188SP	770410	33	23	20	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	1208SB
3PGD21	189SP	770410	65	42	52	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	190SP	770410	36	24	5	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	1208SB
3PGD21	191SP	770410	38	36	35	図19を参照	1208SB 根石
3PGD21	192SP	770410	22	22	22	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	193SP	770410	40	22	32	7.5YR4/1褐灰色粘性シルト他	
3PGD21	194SP	770410	20	20	21	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	195SP	770410	35	26	8	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	1208SB
3PGD21	196SP	770410	23	20	9	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	197SP	770410	28	25	22	図19を参照	1208SB
3PGD21	198SP	770410	30	28	10	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	199SP	770415	26	(24)	17	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	200SP	770410	25	20	21	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	202SP	770410	30	30	27	図27を参照	根石
3PGD21	203SP	770410	40	30	25	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	204SP	770410	25	20	21	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	206SP	775410	42	32	6	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	207SP	770410	(27)	20	8	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	根石
3PGD21	208SP	775410	28	(23)	3	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	209SP	775410	23	20	25	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	210SP	775410	33	32	18	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト他	
3PGD21	211SP	775410	26	23	12	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	212SP	775405	45	45	15	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	213SP	775410	22	20	6	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	214SP	775410	24	20	11	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	216SP	775410	23	20	14	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	217SP	775410	35	28	8	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	218SP	775410	27	24	15	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	219SP	775410	32	30	12	7.5YR4/3褐色粘性シルト他	
3PGD21	221SD	775410	(255)	60	13	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	222SP	775410	25	22	13	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	223SP	775410	22	16	8	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	224SP	775410	18	16	23	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	225SP	775410	45	33	38	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト　地山ブロック含む	
3PGD21	226SP	775410	31	28	28	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	227SP	775410	21	18	10	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	228SP	775415	22	21	10	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	229SP	780405	22	21	12	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	230SP	780405	40	31	28	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	231SP	780405	50	41	9	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	232SP	780405	22	22	13	2.5Y5/1黄灰色細粒砂	
3PGD21	233SP	780405	26	24	16	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	234SP	780405	20	16	4	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	235ST	780405 他	83	58	24	図51を参照	
3PGD21	236SP	785405	23	23	19	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	

付表１　遺構計測一覧 -7

調査区	遺構記号	グリッド	長軸	短軸	深さ	埋土	備考
3PGD21	237SD	780405 他	(574)	36	7	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	238SP	785405	(56)	54	8	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	239SK	785405	97	73	58		
3PGD21	240SP	785405	21	20	12	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	241SP	785405	33	24	22	2.5Y5/1黄灰色細粒砂	
3PGD21	242SK	785405	95	70	6	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	243SD	785410	383	48	5	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	東西（273）/南北（110）
3PGD21	244SD	785400 他	1358	130	27	図5,49を参照	
3PGD21	245SP	780420	(23)	20	11	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	246SP	780420	35	33	6	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	247SP	770405	(18)	18	12	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	248SP	770405	(20)	15	11	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	249SK	785415	110	87	35	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	250SX	760385 他	(290)	(67)	16	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	251SX	765385	(220)	(75)	33	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	252SX	765385 他	(226)	(58)	21	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	253ST	765385	(65)	57	23	図24を参照	
3PGD21	254SP	765385	60	52	32	7.5YR4/2灰褐色粘性シルト他	
3PGD21	255SP	765385	26	23	6	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	258SP	760395	55	40	7	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	260SX	765390	(208)	212	34	7.5YR4/2灰褐色粘性シルト他	
3PGD21	261SP	765390	27	25	15	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	262SD	765390	(105)	49	20	図42を参照	
3PGD21	263SK	765390	110	54	33	図42を参照	
3PGD21	266SP	765390	28	26	21	7.5YR4/2灰褐色粘性シルト他	
3PGD21	267SP	765390	60	40	15	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	268SP	765395	40	28	17	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	270SP	765395	30	24	33	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	271SP	765395	28	23	35	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	272SP	765395	24	22	14	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	273SP	765395	55	35	40	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	274ST	765395	98	50	19	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	278SP	765395	43	23	7	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	279SP	765395	25	23	24	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト他	
3PGD21	280SP	765400	60	35	8	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	281SP	765400	25	22	15	7.5YR4/1褐灰色粘性シルト他	
3PGD21	282SP	770390	56	40	9	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	283SP	770395	35	35	36	10YR5/6黄褐色粘性シルト他	
3PGD21	284SP	770395	40	38	38	図18を参照	1205SB
3PGD21	285SD	770390 他	1098	36	10	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	286SP	770390	54	35	19	7.5YR4/1褐灰色粘性シルト他	
3PGD21	287SP	770395	37	30	36	7.5YR3/3暗褐色粘性シルト他	
3PGD21	289SP	770400	28	23	15	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	290SP	750400	45	23	5	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	292ST	750400	(136)	106	10	図51を参照	
3PGD21	293SP	750400	58	33	4	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	294SP	755400	23	20	9	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	295SP	755400	45	45	3	2.5Y5/1黄灰色細粒砂	
3PGD21	296SP	755400	33	33	36	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	

調査区	遺構記号	グリッド	長軸	短軸	深さ	埋土	備考
3PGD21	297SD	780420 他	(1610)	51	14	図5を参照	
3PGD21	298SD	775420 他	(2040)	93～140	21	図5,337,38を参照	
3PGD21	299SD-A	775420 他	(1940)	74～132	26～14	図5,37を参照	
3PGD21	299SD-B	775420 他	(1495)	40～70	26～14	図5を参照	
3PGD21	300SK	780405 他	193	163	10	図52を参照	
3PGD21	301SD	775405 他	(696)	22	3	2.5Y5/1黄灰色細粒砂	
3PGD21	302SX	775405	(104)	(15)	(5)	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	304SP	775405	30	23	23	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	306SP	775405	30	27	35	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	307SP	775405	35	29	17	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	308SP	775405	(40)	31	13	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	309SP	775405	33	29	29	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	310SP	775405	30	27	22	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	311SP	775405	50	35	9	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	312SP	775405	(29)	20	5	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	313SP	780405	21	17	25	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	314SP	780405	25	21	17	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	315SP	780405	63	40	37	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	316SP	780415	58	36	18	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	318SP	780410	36	22	19	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	319SP	780405	20	13	2	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	320SK	780405	90	65	2	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト　焼土ブロック含む	
3PGD21	321SK	780405	65	55	17	図24を参照	
3PGD21	324SP	785405	26	22	28	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	325SP	785400	22	25	22	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	327SP	785405	19	18	11	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	328SP	785405	28	26	36	10YR5/2灰黄褐色粘性シルト他	
3PGD21	330SP	785405	23	22	17	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	331SP	785405	30	18	5	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	332SD	785405	(70)	21	11	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	333SP	785405	30	27	5	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	334SP	785405	20	16	5	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	335SP	785405	(30)	20	9	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	336SP	790405	57	48	19	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	337SD	790405	1600	100	15	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	338SP	790405	(70)	50	27	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	339SK	790405	120	90	4	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	342SP	790405	27	22	20	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	344SP	790405	(43)	36	7	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	346SP	770390	(43)	(20)	20	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	347SP	770390	28	25	11	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト　地山ブロック含む	
3PGD21	348SP	770390	35	30	10	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	349SK	770390	(105)	78	13	図24を参照	
3PGD21	350SD	770390	(257)	51	23	図32を参照	
3PGD21	351SP	770390	75	40	19	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	352SP	770390	24	22	11	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	353SP	770390	35	25	22	7.5YR4/3褐色粘性シルト他	
3PGD21	354SP	770390	28	24	17	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	

付表１　遺構計測一覧 -9

調査区	遺構記号	グリッド	長軸	短軸	深さ	埋土	備考
3PGD21	355SK	770390	77	55	21	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	356SP	770390	30	25	20	7.5YR4/3褐色粘性シルト他	
3PGD21	357SP	770390	40	35	33	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	358SP	770390	32	20	25	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	359SP	770390	55	50	30	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト他	
3PGD21	360SP	770390	(68)	(40)	44	7.5YR4/2灰褐色粘性シルト他	
3PGD21	361SP	770390	30	28	46	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト他	
3PGD21	362SP	770390	(64)	35	12	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	363SP	770390	40	40	50	セクション図を参照	1205SB
3PGD21	364SP	770395	28	23	11	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト　地山ブロック含む	
3PGD21	365SD	770395	284	41	52	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	東西177/ 南北107
3PGD21	366SP	775395	55	50	43	図18を参照	1205SB
3PGD21	368SK	775385	64	60	20	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	369SP	775385	30	20	20	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	370SI	775390	366	(128)	15	図9を参照	
3PGD21	371SP	775390	25	23	19	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	372SP	775390	66	44	36	図27を参照	
3PGD21	373SP	775390	45	30	22	10YR4/3にぶい黄褐色粘性シルト他	
3PGD21	374SD	775390	(60)	30	10	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	375SP	775390	70	65	7	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	376SP	775390	33	30	12	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	377SP	775390	32	30	15	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	378SP	775390	53	40	17	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	379SP	775390	73	56	24	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	380SP	775390	29	28	30	図27を参照	
3PGD21	381SP	775390	26	20	7	2.5Y5/1黄灰色細粒砂	
3PGD21	382SK	775390	227	163	21	図25を参照	
3PGD21	383SP	775395	32	32	53	10YR5/2灰黄褐色粘性シルト他	
3PGD21	384SP	775395	52	35	57	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト他	
3PGD21	385SP	775395	35	32	7	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	386SP	775395	45	35	14	2.5Y5/1黄灰色細粒砂	
3PGD21	387SP	775395	24	22	6	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	388SP	775400	47	43	48	図20を参照	580SA
3PGD21	389SP	780390	55	50	10	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	390SD	780385他	(515)	90	8	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	391SK	780390	165	67	27	図25を参照	
3PGD21	392SP	780390	22	20	15	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	393SP	780390	80	64	14	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	394SP	780390	60	40	14	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	395SP	780390	38	33	49	10YR4/3にぶい黄褐色粘性シルト他	
3PGD21	396SP	780390	27	21	25	2.5Y5/1黄灰色細粒砂	
3PGD21	397SP	780390	23	20	8	2.5Y5/1黄灰色細粒砂	
3PGD21	398SD	780390他	230	27	6	2.5Y5/1黄灰色細粒砂	
3PGD21	400SP	780395	42	32	38	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	401SP	770385	40	35	37	7.5YR4/1褐灰色粘性シルト他	
3PGD21	402SP	785405	26	22	24	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	403SP	765400	50	(38)	10	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	404SP	770405	73	58	11	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	405SP	770405	47	34	19	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	406SP	770405	(30)	20	9	2.5Y5/1黄灰色細粒砂	
3PGD21	407SP	770400	48	30	33	7.5YR4/3褐色粘性シルト他	
3PGD21	408SP	770400	28	(28)	23	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	410SD	780420	(115)	57	15	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	

調査区	遺構記号	グリッド	長軸	短軸	深さ	埋土	備考
3PGD21	411SI	770400他	620	(320)	8	図9を参照	
3PGD21	412SP	770395	60	(37)	6	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	414SK	770395	(124)	98	38	図25を参照	
3PGD21	415SP	770395	55	(30)	23	図27を参照	
3PGD21	416SP	770395	27	25	15	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	417SP	770395	(65)	46	11	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	418SP	770395	38	30	7	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	419SP	770400	40	39	39	図22を参照	580SA
3PGD21	420SP	775400	25	23	19	7.5YR4/3褐色粘性シルト他	
3PGD21	421SP	775400	18	18	10	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	422SP	775400	42	38	61	図20を参照	580SA
3PGD21	423SP	775400	20	20	10	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	424SP	775400	62	60	52	10YR4/3にぶい黄褐色粘性シルト他	
3PGD21	425SP	780395	30	25	31	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト他	
3PGD21	426SP	780385	23	20	11	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト　地山ブロック含む	
3PGD21	427SP	780385	33	26	16	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト　地山ブロック含む	
3PGD21	429SP	780390	24	22	13	10YR4/3にぶい黄褐色粘性シルト他	
3PGD21	430SP	780390	60	42	17	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト　炭化物多く含む	
3PGD21	431SP	780390	20	20	8	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	432SP	780395	40	28	7	2.5Y5/1黄灰色細粒砂　炭化物多く含む	
3PGD21	433SK	780395	212	169	18	図20を参照	
3PGD21	434SP	780395	(60)	(30)	21	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	435SP	780395	28	25	17	2.5Y5/1黄灰色細粒砂	
3PGD21	436SX	780395	112	63	5	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト　焼土ブロック多く含む	
3PGD21	437SD	780395他	554	52	7	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	438SP	780400	45	40	41	図20を参照	580SA
3PGD21	440SK	780385	77	62	9	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	441SP	785385	(60)	38	22	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	1201SA
3PGD21	442SP	785385	42	30	29	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト　炭化物多く含む	
3PGD21	443SP	785385	25	22	7	2.5Y5/1黄灰色細粒砂	
3PGD21	444SP	785385	28	26	15	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	445SP	785385	35	30	24	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	446SP	785385	37	25	11	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト　炭化物多く含む	
3PGD21	447SP	785385	30	30	27	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト　炭化物多く含む	
3PGD21	448SP	785390	20	20	13	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	449SP	785390	38	38	30	7.5YR4/1褐灰色粘性シルト他	1201SA
3PGD21	450SP	785390	38	20	5	2.5Y5/1黄灰色細粒砂	
3PGD21	451SP	785390	25	25	28	図27を参照	
3PGD21	453SP	785390	20	20	7	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト　炭化物多く含む	
3PGD21	454SP	785390	36	32	11	10YR4/3にぶい黄褐色粘性シルト他	
3PGD21	455SP	785390	28	26	9	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	1201SA
3PGD21	456SP	785390	23	20	8	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	458SP	785390	25	20	8	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	1201SA
3PGD21	459SP	785390	24	17	12	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	

付表１　遺構計測一覧 -11

調査区	遺構記号	グリッド	長軸	短軸	深さ	埋土	備考
3PGD21	460SK	780395 他	(110)	70	20	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	461SP	785395	60	40	33	図20を参照	580SA
3PGD21	462SD	785390 他	841	70	14	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	463SD	785380 他	(743)	(423)	24	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	464SK	785380 他	115	-55	13	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	465SP	790380	28	24	21	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	466SD	790380 他	-240	73	9	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	467SK	785385	87	(66)	9	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト　炭化物多く含む	
3PGD21	468SP	790385	28	25	19	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト　地山ブロック含む	
3PGD21	469SP	790385	54	(42)	7	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	470SP	790385	32	30	8	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	471SP	790385	30	27	22	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	473SD	790385	-722	47	10	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	474SP	790390	77	54	38	図11を参照	480SB
3PGD21	475SP	790390	90	78	14	図11を参照	480SB
3PGD21	476SP	790395	67	64	34	図11を参照	480SB
3PGD21	477SP	795390	70	61	17	図11を参照	480SB
3PGD21	478SP	795390	66	56	23	図11を参照	480SB
3PGD21	479SP	795395	87	64	30	図11を参照	480SB
3PGD21	480SB	790390 他	1050	500	-		474SP.475SP.476SP.477SP.478SP.479SP.489SP.490SP.491SP.492SP.528SP.766SP
3PGD21	481SP	795385	-51	50	5	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	482SP	795385	36	31	9	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	483SP	795385	30	22	2	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	484SP	795385	38	35	15	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト　地山ブロック含む	
3PGD21	485SP	795385	30	23	15	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト　地山ブロック含む	
3PGD21	486SP	795385	28	20	12	7.5YR4/2灰褐色粘性シルト他	
3PGD21	487SP	795385	41	20	93	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	488SP	795385	35	33	6	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	489SP	795395	27	23	7	図11を参照	(480SB)
3PGD21	490SP	790395	82	66	39	図11を参照	480SB
3PGD21	491SP	790400	80	56	54	図11を参照	480SB
3PGD21	492SP	795395	67	62	16	図11を参照	480SB
3PGD21	494SP	790400	80	38	6	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	496SP	790400	23	20	11	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	497SP	790400	47	45	41	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	499SP	790400	46	43	24	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	501SP	780390	28	(22)	29	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	502SP	780390	18	15	18	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	505SP	755395	22	20	24	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	506SL	755400	27	15	-	図52を参照	
3PGD21	507ST	755400	125	75	30	図52を参照	
3PGD21	508SK	755405	95	65	6	2.5Y5/1黄灰色細粒砂	

調査区	遺構記号	グリッド	長軸	短軸	深さ	埋土	備考
3PGD21	509SP	755400	14	13	8	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト　地山ブロック含む	
3PGD21	511SP	760390	36	30	30	セクション図を参照	
3PGD21	512SP	765395	25	16	11	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	513SP	765400	53	37	16	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	514SP	765400	18	15	7	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	515SP	765400	20	20	15	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト　炭化物多く含む	
3PGD21	516SP	765400	28	28	24	図19を参照	1207SB
3PGD21	517SP	765400	26	26	17	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	1207SB
3PGD21	518SP	765400	68	44	16	7.5YR4/1褐灰色粘性シルト他	
3PGD21	519SD	770405	230	(30)	10	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	520SP	775400	18	18	6	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	522SP	780405	32	30	28	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	523SP	780405	21	17	9	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	524SP	780405	26	26	12	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	525SP	790395	45	40	21	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	527SP	795390	33	33	10	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	528SP	795395	54	40	14	図11を参照	(480SB)
3PGD21	529SP	795395	44	33	7	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	530SD	795395	-400	90	7	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	531SP	795400	30	30	12	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	532SP	795400	70	41	7	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	533SD	760395	(154)	98	7	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	536SP	765390	22	20	12	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	537SP	765390	23	20	6	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	538SP	765390	20	20	12	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	540SP	770395	26	23	16	7.5YR4/1褐灰色粘性シルト他	
3PGD21	541SD	765410	109	19	12	2.5Y5/1黄灰色細粒砂	
3PGD21	542SK	775380 他	229	132	11	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	543SK	775385 他	120	120	24	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	544SD	775400	266	52	31	図9を参照	
3PGD21	545SX	775420	-150	-48	8	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト　地山ブロック微量含む	
3PGD21	547SP	780380	38	33	44	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	548SP	785380	32	30	43	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	549SP	785380	48	30	21	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	1201SA
3PGD21	550SP	780385	23	20	7	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	552SP	785385	18	18	5	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	1201SA
3PGD21	553SP	785400	45	40	26	図20を参照	580SA
3PGD21	556SK	785400	178	121	7	図26を参照	
3PGD21	559SP	780415	24	24	13	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	560SP	780420	72	67	32	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト他	
3PGD21	562SP	780420	20	(16)	8	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	563SK	790395 他	110	90	5	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	564SK	790400 他	158	97	34	図26を参照	
3PGD21	565SP	795400 他	77	(33)	46	10YR4/3にぶい黄褐色粘性シルト他	
3PGD21	566SK	790405 他	(118)	83	32	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	567SK	790405	(120)	(110)	24	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	568SP	790405	(87)	(50)	8	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	

付表１　遺構計測一覧 -13

調査区	遺構記号	グリッド	長軸	短軸	深さ	埋土	備考
3PGD21	569SP	765395	18	18	13	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	572SP	740395	45	40	3	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	574SP	765395	38	38	4	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	575SP	780400	60	54	60	図20を参照	580SA
3PGD21	576SP	785395	56	43	33	図20を参照	580SA
3PGD21	577SD	780395他	277	70	15	2.5Y5/1黄灰色細粒砂	
3PGD21	578SK	785395	310	180	10		
3PGD21	578SK	785395	309	(180)	8	2.5Y5/1黄灰色砂質土　細粒砂	
3PGD21	579SP	785385	22	20	13	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	580SA	770400他	南北 1200	東西 450	–		388SP.419SP.422SP.438SP.461SP.553SP.575SP.576SP.585SP
3PGD21	581SP	785395	32	29	40	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	582SP	775390	28	28	6	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	583SP	775395	18	18	11	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	584SP	775395	20	18	24	7.5YR4/2灰褐色粘性シルト他	
3PGD21	585SP	785395	31	30	23	図20を参照	580SA
3PGD21	586SP	775395	55	50	24	10YR4/3にぶい黄褐色粘性シルト他	
3PGD21	588SP	775395	23	20	24	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	589SP	775385	26	26	7	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	590SP	780395	28	28	18	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	592SP	780390	63	48	9	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	593SP	785390	43	43	8	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	594SP	780390	18	15	14	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	394SP内、1202SB
3PGD21	595SP	775390	27	25	23	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	596SP	775390	48	(30)	10	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	597SP	775390	38	36	31	10YR4/3にぶい黄褐色粘性シルト他	
3PGD21	598SP	795385	45	45	14	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	599SP	770390	30	25	18	7.5YR3/3暗褐色粘性シルト他	
3PGD21	600SB	780405他	950	550	–		839SK.790SP.820SK.824SK.828SK.829SK.836SK.837SK.838SP.840SK
3PGD21	601SP	770395	52	26	11	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	602SP	770395	27	17	17	図27を参照	
3PGD21	603SP	775395	25	20	19	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	604SP	775395	56	30	9	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト　地山ブロック含む	
3PGD21	605SP	775390	25	25	2	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト　地山ブロック含む	
3PGD21	606SP	775390	28	28	4	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト　地山ブロック含む	
3PGD21	607SP	775395	28	28	2	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	608SP	775385	26	22	29	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	609SP	775390	30	28	28	10YR3/2黒褐色粘性シルト他	
3PGD21	610SP	780395	45	(32)	14	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	611SP	770395	42	36	37	図28を参照	
3PGD21	613SP	770400	50	35	16	図28を参照	
3PGD21	614SP	780390	35	28	27	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	394SP内
3PGD21	615SP	770400	28	27	38	7.5YR5/2灰褐色粘性シルト他	
3PGD21	616SP	770390	25	25	21	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	1204SB
3PGD21	618SP	770395	30	28	46	図18を参照	1205SB
3PGD21	619SP	790400	33	25	73	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	621SP	775390	64	30	6	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	

調査区	遺構記号	グリッド	長軸	短軸	深さ	埋土	備考
3PGD21	622SD	770390	(205)	82	15	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	623SP	765395	25	25	11	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	624SP	790400	35	28	20	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	626SP	770395	35	28	6	7.5YR4/3褐色粘性シルト他	
3PGD21	627SP	770395	18	16	10	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	628SP	765400	25	20	17	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	1207SB
3PGD21	629SP	765400	20	(18)	11	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	630SP	765400	18	16	10	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	632SP	770390	40	40	18	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	1204SB
3PGD21	634SP	760390	50	38	22	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト他	
3PGD21	635SP	760395	50	38	17	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト　地山ブロック含む	
3PGD21	636SP	760400	22	22	23	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	637SK	755395	112	42	9	図18を参照	1205SB
3PGD21	638SP	760405	24	19	9	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	639SP	770390	66	55	51	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	1205SB
3PGD21	640SK	755400	143	85	27	図52を参照	
3PGD21	641SP	765395	(35)	(23)	22	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	642SP	760395	55	50	21	10YR4/4褐色粘性シルト他	
3PGD21	643SP	770390	44	32	32	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	645SP	755405	50	48	4	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	646SP	770395	26	23	29	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	647SP	760395	46	33	10	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	648SP	765390	(45)	(28)	16	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	650SP	770395	40	32	24	7.5YR5/2灰褐色粘性シルト他	
3PGD21	651SP	770395	73	35	14	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	652SP	770395	72	48	49	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	1205SB
3PGD21	653SP	765390	23	18	5	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	654SP	775395	(28)	(28)	17	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	1205SB
3PGD21	655SP	770395	55	38	22	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト他	1206SB
3PGD21	656SP	775400	35	28	25	図28を参照	根石
3PGD21	657SP	775390	28	25	34	10YR3/3暗褐色粘性シルト他	
3PGD21	658SK	765390	82	70	24	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト他	
3PGD21	659SP	765390	45	43	20	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト　地山ブロック含む	
3PGD21	660SP	755395	28	22	20	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	661SP	760390	33	33	12	10YR5/2灰黄褐色粘性シルト他	
3PGD21	662SP	755395	38	23	23	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト　地山ブロック含む	
3PGD21	663SP	770390	35	23	10	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	664SP	770390	50	25	4	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	1205SB
3PGD21	665SP	770390	72	40	6	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト　地山ブロック含む	
3PGD21	666SK	770385	70	60	28	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	667SP	770385	38	35	6	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	668SP	770390	23	18	20	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	669SP	770395	25	18	20	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	670SP	770395	(50)	40	11	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト　地山ブロック含む	1206SB
3PGD21	671SP	775390	48	35	19	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	672SP	770390	45	25	14	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	673SP	775395	60	50	52	図18を参照	1205SB
3PGD21	674SP	775390	22	14	6	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	675SP	775390	18	18	2	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	679SP	770395	43	28	4	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	680SP	770395	18	15	9	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	

付表1　遺構計測一覧 -15

調査区	遺構記号	グリッド	長軸	短軸	深さ	埋土	備考
3PGD21	681SP	765395	29	25	7	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	682SP	765395	48	22	6	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	683SP	765390	35	33	16	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	684SP	765390	68	38	13	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	685SP	765390	28	23	18	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト　地山ブロック含む	
3PGD21	686SP	760390	(48)	24	6	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	687SP	765395	(42)	24	10	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	689SP	770385	37	30	23	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	690SP	760395	53	40	29	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	692SP	765390	27	16	4	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	693SP	765390	27	27	14	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	694SP	755395	30	23	11	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	695SP	770395	63	44	44	7.5YR4/2灰褐色粘性シルト他	1205SB
3PGD21	696SK	760395	70	60	10	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	697SP	760395	20	(20)	18	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	698SP	765390	40	40	10	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	699SP	765390	75	32	6	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト　焼土ブロック含む	
3PGD21	700SB	800400 他	750	450	-		1019SK.1023SP.1024SK.1025SP.1088SK.1091SK.1094SK.1095SK.1176SK.1178SK
3PGD21	701SP	765390	30	28	11	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	702SP	765390	25	23	16	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	703SP	755395	40	36	17	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	704SP	765395	33	(22)	39	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	705ST	750400	44	30	11	図51を参照	
3PGD21	706SK	775390 他	195	90	18	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	倒木跡か
3PGD21	707SP	770390	42	30	27	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	708SK	780395 他	94	38	14		倒木跡か
3PGD21	709SK	755400	(70)	(32)	7	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	710SP	775390	40	25	15	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト　地山ブロック含む	
3PGD21	711SP	775390	40	35	18	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト　地山ブロック含む	
3PGD21	712SP	755400	37	36	9	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	713SP	785395	(34)	50	6	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	714SK	780395	112	53	2	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト　焼土含む 1.5cm以上の炭化物含む	
3PGD21	715SP	770405	26	20	20	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	716SP	770405	28	24	12	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	717SP	770405	25	24	22	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	719SP	775390	43	37	26	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	720SP	775395	23	21	8	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	722SD	765405	120	18	4	2.5Y5/1黄灰色細粒砂	
3PGD21	723SP	775415	24	21	15	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	724SP	775405	23	15	10		
3PGD21	725SP	775405	20	18	3	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	726SP	775405	23	22	13	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	727SP	770410	(33)	21	16	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	728SP	795390	(40)	35	5	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	729SP	760405	27	20	9	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	

調査区	遺構記号	グリッド	長軸	短軸	深さ	埋土	備考
3PGD21	730SP	765405	25	23	30	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト　地山ブロック含む	
3PGD21	731SP	765405	26	22	16	7.5YR3/3暗褐色粘性シルト他	
3PGD21	732SP	750400	61	60	13	7.5YR4/4褐灰色粘性シルト他	
3PGD21	733SP	765410	19	15	12	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	734SP	765410	31	28	44	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト他	
3PGD21	736SP	775400	58	42	19	図9を参照	
3PGD21	738SP	770400	46	31	7	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	739SP	775400	23	23	16	図9を参照	根石
3PGD21	740SP	775400	25	22	22	7.5YR4/2灰褐色粘性シルト　炭化物微量含む	
3PGD21	741SP	775400	40	23	9	7.5YR4/2灰褐色粘性シルト　炭化物微量含む	
3PGD21	742SD	775400	210	43	3	7.5YR4/1褐灰シルト地山ブロック含む	南北 127/東西 60
3PGD21	743SD	770400	147	19	2	7.5YR4/1褐灰シルト地山ブロック含む	
3PGD21	744SP	770410	37	25	34	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	1208SB
3PGD21	745SP	770415	30	29	13	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	746SP	770410	25	23	27	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	747SP	765415	28	(23)	7	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	748SP	765415	16	14	10	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	749SP	765415	23	22	14	10YR3/3暗褐色粘性シルト他	
3PGD21	750SP	765415	30	25	17	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	751SP	765415	23	23	16	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	752SP	765415	33	25	32	10YR5/2灰黄褐色粘性シルト他	
3PGD21	754SP	770415	40	33	37	10YR5/2灰黄褐色粘性シルト他	
3PGD21	755SP	770415	23	22	20	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	756SP	770415	26	24	28	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	757SP	775415	35	30	7	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	758SP	775415	20	17	4	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	759SP	775415	23	21	36	10YR3/3暗褐色粘性シルト他	
3PGD21	760SP	775415	22	19	8	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	761SP	775415	(41)	29	17	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	762SP	775415	27	22	33	10YR3/3暗褐色粘性シルト他	
3PGD21	763SP	775415	41	35	16	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	764SP	780420	23	18	31	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	765SL	765415	71	49	－	図29を参照	
3PGD21	766SP	795400	78	58	38	図11を参照	480SB
3PGD21	767SP	770415	25	22	53	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	768SP	770400	28	23	15	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	根石
3PGD21	769SK	760410	(114)	(94)	5	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト　地山ブロック含む	
3PGD21	770SD	785405 他	850	260	23	図37を参照	
3PGD21	771SP	790405	36	(21)	6	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	772SK	790405	110	50	3	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	773SP	775415	21	18	8	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	774SP	775415	24	21	34	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	775SP	775410	22	20	13	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	778SP	775420	26	20	6	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	779SD	780410 他	516	155	6	図48を参照	
3PGD21	780SP	775415	28	25	16	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	781SP	775415	24	23	5	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	782ST	780410	61	59	3	図51を参照	

付表１　遺構計測一覧 -17

調査区	遺構記号	グリッド	長軸	短軸	深さ	埋土	備考
3PGD21	783SL	765410	42	36	-	図51を参照	
3PGD21	784SK	785415	(135)	120	14	図23を参照	
3PGD21	785SP	785410	40	39	22	10YR4/1褐灰色粘性シルト他	
3PGD21	786SP	765410	24	20	2	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	787SP	770405	31	29	8	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	788SP	785405	24	19	9	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	789SP	785405	(34)	30	33	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	790SP	790405	37	33	23	図13を参照	600SB
3PGD21	791SK	785415	107	85	12	10YR3/3暗褐色粘性シルト他	
3PGD21	792SP	785415	36	32	31	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	793SP	790405	24	22	21	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	794SP	785405	20	18	7	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	795SK	765410	68	53	3	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	796SP	780405	21	15	11	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	797SP	790405	49	30	3	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	799SP	790400	65	55	7	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	800SB	795405 他	750	475	-		921SP.932SP.935SP.936SK.939SP.944SP.1008SP.1010SP.1014SP.1033SP.1039SP.1054SP.1061SP.1087SP
3PGD21	801SP	780405	16	15	15	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	802SP	780405	(50)	32	10	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	803SP	780405	23	22	17	2.5Y5/1黄灰色細粒砂	
3PGD21	804SP	780400	20	19	12	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	805SP	785405	(47)	27	14	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	806SD	780410	523	159	7	10YR3/3暗褐色粘性シルト他	
3PGD21	807SK	780410	220	97	16	図21を参照	
3PGD21	808SP	790405	30	17	14	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	809SP	790405	40	28	14	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	810SP	785410	32	30	14	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	812SK	785415	82	50	10	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	813SP	785415	30	24	4	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	814SP	785410 他	24	22	15	10YR4/1褐灰色粘性シルト他	
3PGD21	815SP	785415	24	24	33	10YR4/1褐灰色粘性シルト他	
3PGD21	817SP	785410	20	20	9	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	818SP	785405	52	41	16	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	819SE	785410	142	124	(276)	図21を参照	
3PGD21	820SK	780410	100	78	82	図13を参照	600SB
3PGD21	821SK	780410 他	(137)	112	10	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	822SP	780405	66	46	7	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	823SP	780405	28	24	6	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	824SK	785405	85	59	54	図10を参照	600SB
3PGD21	825SP	785405	49	38	7	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	826SP	785405	(70)	70	8	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	827SP	785405	20	19	3	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	828SK	780405	100	63	60	図13を参照	600SB
3PGD21	829SK	780405	70	61	68	図13を参照	600SB
3PGD21	830SP	780410	35	31	7	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	831SP	775400	29	22	2	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	832SP	770395	23	22	28	10YR4/3にぶい黄褐色粘性シルト他	
3PGD21	833SP	775395	33	22	5	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	834SP	770390	31	28	5	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	

調査区	遺構記号	グリッド	長軸	短軸	深さ	埋土	備考
3PGD21	835SP	770395	23	17	8	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	836SK	785410	99	61	75	図13を参照	600SB　柱穴沿いに縦に石積
3PGD21	837SK	785410	97	56	68	図13を参照	600SB
3PGD21	838SP	790410	70	39	35	図13を参照	600SB
3PGD21	839SP	790400	35	27	28	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	840SK	780410	110	73	52	図13を参照	600SB
3PGD21	841SP	780420	22	19	5	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	842SP	765385	31	31	31	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	843SP	740400	(20)	(6)	18		
3PGD21	844SP	795405	30	27	31	2.5Y5/1黄灰色細粒砂	
3PGD21	845SP	795405	33	27	26	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	846SP	785405	30	27	19	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	847SX	830415	(458)	(284)	137	図50を参照	18区001SD
3PGD21	849SP	815400	64	30	14	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	850SP	815400	41	30	22	7.5YR4/1褐灰色粘性シルト他	
3PGD21	851SP	815405	24	21	10	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	852SD	810405他	384	19	7	2.5Y5/1黄灰色細粒砂	
3PGD21	853SP	815405	33	27	30	7.5YR4/1褐灰色粘性シルト他	
3PGD21	854SP	815405	24	17	9	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	855SP	815405	40	34	24	7.5YR3/1黒褐色粘性シルト他	
3PGD21	856SK	815405	170	154	11	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	857SD	815400他	(1270)	26	7	2.5Y5/1黄灰色細粒砂	
3PGD21	858SK	815405	70	60	20	2.5Y5/1黄灰色細粒砂	
3PGD21	859SK	815415	85	76	38	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	860SP	815415	44	31	14	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	861SP	820405	25	23	9	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	862SK	820405	92	(70)	17	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	863SP	820405	56	50	27	7.5YR3/1黒褐色粘性シルト他	
3PGD21	864SK	820405	77	72	25	2.5Y5/1黄灰色細粒砂	
3PGD21	865SP	820415	47	26	6	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	866SP	820415	25	25	8	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	867SP	820415	34	26	4	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	868SP	820415	35	30	14	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	869SP	820415	35	20	14	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	871SP	820420	−35	−16	7	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	872SP	825410	40	22	12	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	873SP	825410	57	41	19	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	874SP	825415	36	33	15	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	875SP	825420	−22	−18	4	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	878SP	820415	50	44	12	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	879SP	825410	−33	35	20	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	882SP	810400	48	45	27	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	883SP	810410	60	41	13	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	884SP	815400	25	27	5	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	885SD	815405	210	24	4	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	886SK	815405	115	70	18	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	887SK	815410	147	104	23	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	888SP	785420	40	35	14	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト他	
3PGD21	889SP	785420	39	24	7	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	890SP	785420	37	35	37	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト　地山ブロック微量含む	
3PGD21	891SX	785420	−68	−15	20	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト　地山ブロック含む	

付表１　遺構計測一覧 -19

調査区	遺構記号	グリッド	長軸	短軸	深さ	埋土	備考
3PGD21	892SP	785420	27	22	11	10YR4/4褐色粘性シルト他	
3PGD21	893SP	790420	27	25	10	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	894SP	790420	28	27	8	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	895SP	785425	(68)	58	16	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	896SP	790420	33	29	30	10YR4/1褐灰色粘性シルト他	
3PGD21	897SP	790420	28	25	36	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	898SP	790420	(41)	43	18	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	899SK	790420	115	46	15	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	900SD	790420	320	62	8	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	901SP	790420	34	33	42	10YR4/1褐灰色粘性シルト他	
3PGD21	902SP	790420	34	(27)	8	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	903SP	790420	27	24	13	10YR4/1褐灰色粘性シルト他	
3PGD21	904SP	790420	36	36	28	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	905SP	790420	46	34	53	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	906SP	790420	26	18	15	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	907SK	795420	(90)	(52)	18	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	908SP	795420	44	37	26	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	909SK	795420	110	90	14	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	910SP	795420	41	37	31	7.5YR4/1褐灰色粘性シルト他	
3PGD21	911SP	790410	30	19	25	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	912SP	790410	18	15	11	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	913SK	790410	118	75	4	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	915SP	790410	39	27	11	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	917SK	790410	190	(49)	17	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	918SP	790410	25	23	24	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	919SK	795405	124	78	9	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	920SP	795405	45	37	43	7.5YR4/1褐灰色粘性シルト他	
3PGD21	921SP	795405	68	53	33	図17を参照	800SB
3PGD21	922SK	790410	140	100	10	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト　径2～3㎜礫を含む。焼土微量、地山土多く混じる	
3PGD21	923SK	790410	190	96	13	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	800SB
3PGD21	924SP	790410	36	25	9	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	925SP	790410	31	28	8	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	926SP	790410	35	33	28	7.5YR4/1褐灰色粘性シルト他	
3PGD21	927SP	790410	30	19	38	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	928SK	790410 他	180	163	18	10YR3/3暗褐色粘性シルト　地山ブロック多く含む	
3PGD21	929SP	795410	38	26	17	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	930SP	795410	23	22	9	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	931SP	795410	34	25	12	2.5Y5/1黄灰色細粒砂	
3PGD21	932SP	795410	49	47	28	10YR4/1褐灰色粘性シルト他	
3PGD21	933SK	795410	115	76	4	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	934SP	795410	23	20	5	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	935SP	795410	30	26	41	セクション図を参照	
3PGD21	936SK	795410	66	61	37	図17を参照	
3PGD21	937SP	795410	46	30	26	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	938SP	795410	35	23	7	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	939SP	795410	37	37	42	図17を参照	
3PGD21	940SP	795410	21	20	9	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	941SP	795415	23	20	13	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	942SP	795415	59	35	59	図28を参照	根石
3PGD21	943SP	795415	35	26	16	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	944SP	795410	39	34	26	図17を参照	
3PGD21	945SP	800415	63	39	5	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	946SP	800415	81	34	41	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	

調査区	遺構記号	グリッド	長軸	短軸	深さ	埋土	備考
3PGD21	947SD	795425	-307	-60	57	図4を参照	
3PGD21	948SP	795425	34	28	16	10YR4/3にぶい黄褐色粘性シルト他	
3PGD21	949SP	795425	49	44	35	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	950SP	795425	28	27	15	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	951SK	790410	(100)	(66)	18	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	952SP	795420	24	23	18	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	953SP	795420	41	38	34	図17を参照	
3PGD21	954SP	795420	29	26	32	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	955SP	795420	23	20	17	7.5YR4/1褐灰色粘性シルト他	
3PGD21	956SP	800425	22	16	5	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	957SD	795420 他	(380)	75	30	図版38を参照	
3PGD21	958SP	800420	(45)	45	4	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト　焼土ブロック多く含む	
3PGD21	960SK	800425	141	95	5	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト　焼土ブロック多く含み、長さ0.5～1.5㎝の炭化物も含む	
3PGD21	961SP	805420	18	16	6	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	962SX	805425	65	-40	12	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	963SP	810420	30	28	12	図28を参照	根石
3PGD21	964SP	790415	49	41	15	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト　焼土ブロック含む	
3PGD21	965SP	790415	25	21	7	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	966SP	790415	25	21	21	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	967SP	790415	31	25	21	10YR4/3にぶい黄褐色粘性シルト他	
3PGD21	969SP	790420	54	19	3	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	970SP	790420	33	21	6	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	971SX	800390 他	325	-210	18	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	972SX	800390	220	198	14	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	973SP	800390	45	34	12	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	974SP	800395	43	37	16	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	975SP	800395	38	34	15	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	976SP	800395	30	27	14	2.5Y5/1黄灰色細粒砂	
3PGD21	977SP	800395	52	23	5	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	978SP	800395	35	29	13	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	979SK	800395	100	78	13	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	980SE	800395	105	82	(142)	図21を参照	
3PGD21	981SP	800395	19	17	5	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	982SP	800395	24	23	6	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	983SP	800395	34	25	11	2.5Y5/1黄灰色細粒砂	
3PGD21	984SP	800395	32	27	8	2.5Y5/1黄灰色細粒砂	
3PGD21	985SP	805390 他	-380	100	10	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	986SP	805395	33	24	6	2.5Y5/1黄灰色細粒砂	
3PGD21	987SP	805395	237	29	11	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	988SP	805395	40	23	8	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	990SP	795400	62	34	17	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	991SP	795400	87	17	6	2.5Y5/1黄灰色細粒砂	
3PGD21	992SP	795400	28	24	13	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	993SP	795400	44	38	25	10YR4/1褐灰色粘性シルト他	
3PGD21	994SP	795400	18	17	4	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	995SP	795400	35	29	8	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	996SP	795400	34	28	17	7.5YR4/1褐灰色粘性シルト他	
3PGD21	997SP	795400	60	35	15	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	998SP	795400	58	42	10	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	

付表１　遺構計測一覧 -21

調査区	遺構記号	グリッド	長軸	短軸	深さ	埋土	備考
3PGD21	999SP	795400 他	86	49	15	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト　炭化物多く含む	
3PGD21	1000SP	795400	60	44	19	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1001SP	795400	17	14	15	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1002SP	795405	23	21	29	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1003SP	795405	48	16	11	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1004SP	795405	26	15	8	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1005SP	795405	24	22	4	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1006SP	795405	37	25	33	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1007SP	795405	49	30	9	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1008SP	795405	63	44	40	図17を参照	800SB
3PGD21	1009SP	795405	118	66	6	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1010SP	795405	39	18	28	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	800SB
3PGD21	1012SP	795405	46	40	20	7.5YR4/3褐色粘性シルト他	
3PGD21	1013SP	795405	55	47	20	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1014SP	795405	25	22	15	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	800SB
3PGD21	1015SP	800400	90	22	11	2.5Y5/1黄灰色細粒砂	
3PGD21	1016SP	800400	33	27	13	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1017SP	800400	37	26	33	7.5YR4/1褐灰色粘性シルト他	
3PGD21	1018SP	800400	31	26	13	2.5Y5/1黄灰色細粒砂	
3PGD21	1019SK	800400	98	66	48	図15を参照	700SB
3PGD21	1020SP	800400	41	35	11	2.5Y5/1黄灰色細粒砂	
3PGD21	1021SP	800400	34	29	15	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1022SP	800400	87	44	10	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1023SP	800400	43	40	10	図15を参照	700SB
3PGD21	1024SK	805400	107	90	53	図15を参照	700SB
3PGD21	1025SP	805400	40	34	41	図15を参照	700SB
3PGD21	1026SP	805400	24	14	4	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1027SP	805400	48	44	23	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1028SP	800405	35	28	19	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1029SP	800405	39	33	52	7.5YR4/3褐色粘性シルト他	
3PGD21	1030SP	800405	41	32	35	7.5YR4/1褐灰色粘性シルト他	
3PGD21	1031SP	800405	24	20	11	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1032SP	800405	80	44	14	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	1033SP	800405	42	40	18	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	800SB
3PGD21	1034SP	800405	56	(45)	7	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	1035SX	800400 他	26	198	6	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	1036SP	800405	25	19	9	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	1037SP	800405	42	33	11	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	1038SP	800405	30	28	29	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1039SP	800405	41	28	16	図15を参照	800SB
3PGD21	1040SD	795405 他	625	117	6	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1041SD	800405 他	962	58	23	7.5YR4/2灰褐色粘性シルト　径5~20程度の円礫多く含む	
3PGD21	1042SP	800405	48	27	7	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1043SP	800405	60	49	24	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1044SP	800405	47	35	17	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1045SP	805405	32	23	27	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	1046SP	805405	35	28	12	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1047SP	805405	48	37	14	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1048SP	805405	60	35	16	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1049SP	795410	17	16	7	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1050SP	795410	16	14	8	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1051SP	795410	23	18	6	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	

調査区	遺構記号	グリッド	長軸	短軸	深さ	埋土	備考
3PGD21	1052SP	800410	39	25	12	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1053SP	800410	59	30	41	7.5YR4/1褐灰色粘性シルト他	
3PGD21	1054SP	800410	64	45	25	図14を参照	800SB
3PGD21	1055SP	800410	55	49	11	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1056SP	800410	18	14	10	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1057SP	800410	43	20	7	2.5Y5/1黄灰色細粒砂	
3PGD21	1059SP	800410	53	36	33	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1060SP	800410	40	29	3	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1061SP	800410	30	19	4	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	800SB
3PGD21	1062SP	800410	30	23	15	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1063SP	800410	65	54	38	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1065SP	800415	30	22	13	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1066SP	790420	20	16	25	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1067SP	800410	44	42	24	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1068SP	800410	31	(16)	10	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1069SP	800410	42	30	32	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1070SP	800410	50	39	7	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1071SP	800410	70	47	22	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1072SP	800410	43	3	10	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1073SP	800410	34	26	32	7.5YR4/1褐灰色粘性シルト他	
3PGD21	1074SP	800410	50	40	14	7.5YR4/1灰褐色粘性シルト	
3PGD21	1075SP	800410	34	23	20	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1076SP	800410	40	26	30	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1077SP	800410	36	31	15	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1078SP	800410	24	20	10	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1079SP	800410	50	38	26	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1080SP	805415	34	28	24	10YR4/1褐灰色粘性シルト他	
3PGD21	1081SP	805410	30	28	20	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	1083SP	805415	33	24	10	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1084SP	805415	34	34	34	10YR4/1褐灰色粘性シルト他	
3PGD21	1085SP	810415	31	25	10	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	1086SP	810415	48	24	2	2.5Y5/1黄灰色細粒砂	
3PGD21	1087SP	800410	62	(53)	30	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	800SB
3PGD21	1088SK	805400	80	64	42	図15を参照	700SB
3PGD21	1089SP	805400	40	27	12	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1091SK	810400	70	66	46	図15を参照	700SB
3PGD21	1092SP	810400	35	29	22	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1093SP	810400	29	18	25	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1094SK	805405	67	53	39	図15を参照	700SB
3PGD21	1095SK	810405	85	52	34	図15を参照	700SB
3PGD21	1096SP	810405	27	23	7	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	1097SP	810405	35	32	16	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1098SP	810405	42	(36)	5	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	1099SP	810405	54	48	13	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	1100SP	810405	42	37	24	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1102SP	815405	25	18	5	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1103SP	805410	16	13	8	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1104SP	805410	90	23	24	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1105SP	805410	(67)	34	16	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1106SP	805410	35	28	26	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1107SP	810410	37	34	9	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1108SP	810410	29	21	15	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1109SP	810410	31	15	13	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1110SP	810410	39	20	10	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1112SP	810410	45	43	9	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1113SP	815410	45	39	10	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	

付表１　遺構計測一覧 -23

調査区	遺構記号	グリッド	長軸	短軸	深さ	埋土	備考
3PGD21	1114SD	810410 他	195	25	8	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1115SK	810415	80	68	18	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1116SE	810410 他	204	74	(203)	図21を参照	
3PGD21	1117SD	805415	-171	51	8	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1118SX	810420 他	-120	-29	5	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1119SP	800405	30	27	14	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1120SP	805410	30	23	5	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1121SP	805415	26	17	16	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1123SP	795425	13	12	5	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1124SP	795425	37	29	24	10YR4/1褐灰色粘性シルト他	
3PGD21	1125SD	790420 他	444	37	10		
3PGD21	1126SP	795425	28	15	12	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1127SP	795425	33	22	18	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1128SP	800425	24	(14)	11	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1129SP	800425	39	33	3	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1130SP	800425	29	22	15	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1131SP	800425	37	26	11	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1132SP	800425	50	39	8	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1133SP	800425	41	38	9	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1134SK	800425	83	72	11	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト　焼土ブロックを含む	
3PGD21	1136SP	805415	44	22	29	7.5YR4/1褐灰色粘性シルト他	
3PGD21	1137SD	790420	(396)	(37)	10	図39を参照	
3PGD21	1138SK	795405	80	67	5	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1139SP	790420	25	20	35	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1140SP	795415	33	27	44	7.5YR4/1褐灰色粘性シルト他	
3PGD21	1141SP	795415	30	22	38	7.5YR4/1褐灰色粘性シルト他	
3PGD21	1142SP	795415	32	22	20	7.5YR4/1褐灰色粘性シルト他	
3PGD21	1143SP	795415	18	17	12	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1144SP	795415	34	25	15	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1145SP	795415	20	17	15	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1146SP	795420	25	22	3	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1149SP	800415	28	26	2	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1151SP	805420	62	40	4	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1152SP	810415	21	18	23	10YR4/1褐灰色粘性シルト他	
3PGD21	1153SP	810420	60	(18)	23	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1154SP	810420	19	17	9	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1155SP	790415	19	17	16	図版37を参照	
3PGD21	1156SP	790415	33	27	16	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1157SP	790415	27	22	23	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1158SP	790415	22	21	14	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1159SP	790415	27	24	9	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1160SP	790415	27	24	5	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1161SP	790415	20	18	9	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1162SP	790415	18	15	12	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1163SP	790415	15	13	2	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1164SX	795415 他	850	737	18	図38を参照	
3PGD21	1165SP	790420	25	21	22	10YR4/1褐灰色粘性シルト他	
3PGD21	1166SP	790420	21	18	37	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1167SP	790420	17	15	6	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1168SP	790420	23	22	12	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	

調査区	遺構記号	グリッド	長軸	短軸	深さ	埋土	備考
3PGD21	1169SP	795420	20	19	12	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1170SP	795420	24	23	15	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1171SP	795420	20	19	7	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1172SK	795420	91	55	18	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1173SP	800415	30	29	20	10YR4/3にぶい黄褐色粘性シルト他	
3PGD21	1174SD	800415	134	61	10	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1175SP	805410	33	27	27	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1176SK	800405	80	48	32	図15を参照	700SB
3PGD21	1177SP	800405	62	50	19	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	1178SK	805405	76	57	49	図15を参照	700SB
3PGD21	1179SK	800390	140	92	36	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	1180SP	805390	43	38	13	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1181SP	805390	67	58	15	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	1182SP	800415	40	25	18	7.5YR5/2灰褐色粘性シルト他	
3PGD21	1183SP	820420	26	20	13	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1184SP	795405	25	20	13	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1185SP	800405	33	27	17	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1186SP	800405	33	26	14	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1187SP	800405	34	27	28	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	1188SP	785425	-30	-14	34	7.5YR4/2灰褐色粘性シルト	
3PGD21	1189SP	795425	33	24	22	7.5YR4/1褐灰色粘性シルト他	
3PGD21	1190SP	795420	23	21	18	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1191SP	795420	16	14	5	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1192SP	795420	21	12	17	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1193SP	800405	60	44	25	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	1194SP	800405	36	29	14	7.5YR3/2黒褐色粘性シルト	
3PGD21	1195SP	800410	(31)	29	20	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1196SP	800420 他	112	221	22	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1197SP	790425	19	17	12	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1198SP	790410	76	38	23	7.5YR4/2灰褐色粘性シルト他	
3PGD21	1199SP	795420	43	40	25	10YR4/3にぶい黄褐色粘性シルト他	
3PGD21	1200SP	800410	48	23	43	10YR4/2灰黄褐色粘性シルト	
3PGD21	1201SA	785380 他	1050	-	-		441SP.447SP.449SP.455SP.458SP.459SP.549SP.552SP
3PGD21	1205SB	770390 他	420	400	-		284SP.363SP,336SP.366SP.618SP.639SP.652SP.654SP.664SP.673SP.695SP
3PGD21	1207SB	765400	210	110	-		157SP.158SP.159SP.516SP.517SP.628SP
3PGD21	1208SB	770410	260	240	-		169SP.187SP.188SP.190SP.191SP..195SP.197SP.744SP

遺構規模はcmを基本とする。
マイナス表記は推定値、( )付きは確認

付表２　遺物計測一覧 -1

図番号	調査区	出土位置	種別	器種など	口径	底径	器高	色調	重量	補足事項
001	3PGD18	009SK	山茶碗	小皿	－	4.0	(1.2)	10YR7/1灰白		
002	3PGD18	017SK	山茶碗	碗	－	8.0	(2.3)	10YR7/3にぶい黄橙		
003	3PGD18	055SK	須恵器	浄瓶	－	－	(6.9)	7.5YR3/4暗褐		
004	3PGD18	847SX	大窯	建水か	－	13.6	(6.4)	10YR8/2灰白		
005	3PGD18	847SX	古瀬戸	擂鉢	－	－	－	10YR8/4浅黄橙		
006	3PGD18	023SD	大窯	小天目茶碗	－	5.0	(1.4)	10YR8/2灰白		
007	3PGD18	023SD	大窯	徳利	5.6	－	(5.0)	10YR8/3浅黄橙		
008	3PGD18	023SD	土師器	皿	11.6	6.0	2.5	7.5YR8/3浅黄橙		
009	3PGD18	023SD	土師器	皿	13.2	5.8	2.9	10YR8/3浅黄橙		
010	3PGD18	023SD	山茶碗	碗	－	6.1	(1.4)	10YR7/2灰白		
011	3PGD21A	370SI	弥生土器	台付甕	－	8.2	(5.9)	2.5YR5/8明赤褐		
012	3PGD21A	368SK	弥生土器	台付甕	－	11.0	(7.5)	7.5YR8/6浅黄橙		
013	3PGD21A	411SI	古瀬戸	天目茶碗	10.1	－	(3.9)	10YR7/4にぶい黄橙		
014	3PGD21A	411SX	古瀬戸	壺・瓶類	－	－	－			外面に画花文
015	3PGD21A	411SI	貿易陶磁	青磁碗	－	－	－	7.5YR6/6橙		龍泉窯系青磁碗I類〈12世紀中頃－12世紀後半，大宰府D期（XIV－XV）〉
016	3PGD21A	411SI	貿易陶磁	青磁碗	9.0	－	(2.1)	10YR8/2灰白		
017	3PGD21A	411SI	山茶碗	陶丸	長2.2	幅2.1	厚2.0	2.5Y7/3浅黄	9.6	
018	3PGD21B	921SP (800SB)	古瀬戸	桶	33.0	－	(6.4)	7.5YR7/6橙		
019	3PGD21B	936SK (800SB)	土師器	皿	7.6	4.2	1.2	7.5YR8/4浅黄橙		底部に焼成時の亀裂入る
020	3PGD21B	1033SP (800SB)	土師器	皿	7.8	5.2	1.4	7.5YR8/1灰白		底部に焼成時の亀裂入る
021	3PGD21A	819SE	古瀬戸	天目茶碗	－	3.8	(1.2)	2.5Y7/1灰白		
022	3PGD21A	819SE	古瀬戸	壺	－	－	－	2.5YR7/2灰黄		
023	3PGD21A	819SE	土師器	皿	11.4	－	(2.6)	2.5Y7/2灰黄		
024	3PGD21B	1116SE	古瀬戸	口広有耳壺か	－	11.6	(3.1)	7.5YR6/4にぶい橙		

図番号	調査区	出土位置	種別	器種など	口径	底径	器高	色調	重量	補足事項
025	3PGD21A	106SK	土師器	皿	12.4	5.9	3.0	10YR8/2灰白		
026	3PGD21A	106SK	土師器	皿	13.5	7.2	2.9	10YR8/3浅黄橙		
027	3PGD21A	106SK	土師器	皿	14.8	－	(2.7)	10YR8/2灰白		
028	3PGD21A	106SK	土師器	皿	12.0	－	(2.0)	10YR8/2灰白		
029	3PGD21A	106SK	土師器	皿	－	6.8	(2.2)	10YR6/2灰黄褐		
030	3PGD21A	153SK	縄文土器	深鉢	－	－	－	7.5YR3/2黒褐		32・35と同一個体か
031	3PGD21A	153SK	縄文土器	深鉢	－	－	－	7.5YR5/8明褐		
032	3PGD21A	153SK	縄文土器	深鉢	8.2	－	－	7.5Y4/6褐		30・35と同一個体か
033	3PGD21A	153SK	縄文土器	深鉢	－	－	－	5YR5/6明赤褐		34と同一個体か
034	3PGD21A	153SK	縄文土器	深鉢	－	－	－	2.5YR5/6明赤褐		33と同一個体か
035	3PGD21A	153SK	縄文土器	深鉢	－	－	－	5YR4/4にぶい赤橙		30・32と同一個体か
036	3PGD21A	153SK	縄文土器	深鉢	－	－	－	7.5YR3/3暗褐		
037	3PGD21A	160SK	古瀬戸	天目茶碗	9.8	－	(4.5)	10YR8/3浅黄橙		
038	3PGD21A	160SK	古瀬戸	擂鉢	－	－	－	5YR7/6橙		
039	3PGD21A	160SK	古瀬戸	擂鉢	－	－	－	7.5YR8/4浅黄橙		
040	3PGD21A	160SK	土師器	皿	13.8	7.0	2.9	5YR7/4にぶい橙		
041	3PGD21A	160SK	土師器	皿	10.0	5.1	2.6	7.5YR8/3浅黄橙		
042	3PGD21A	160SK	土師器	皿	12.4	6.0	3.0	7.5YR8/2灰白		
043	3PGD21A	160SK	土師器	皿	11.4	5.4	2.4	10YR8/3浅黄橙		
044	3PGD21A	160SK	土師器	皿	11.1	4.7	2.3	10YR8/3浅黄橙		
045	3PGD21A	160SK	土師器	皿	10.4	5.4	2.3	7.5YR8/3浅黄橙		
047	3PGD21A	160SK	土師器	皿	7.4	5.0	1.1	7.5YR8/3浅黄橙		
048	3PGD21A	160SK	土師器	皿	7.8	4.6	1.7	7.5YR7/3にぶい橙		
049	3PGD21A	160SK	土師器	皿	6.7	3.5	2.1	7.5YR8/3浅黄橙		

付表２　遺物計測一覧 -3

図番号	調査区	出土位置	種別	器種など	口径	底径	器高	色調	重量	補足事項
050	3PGD21A	160SK	土師器	皿	6.7	4.0	1.5	7.5YR6/2灰褐		
051	3PGD21A	160SK	土師器	皿	6.8	3.8	1.3	7.5YR8/3浅黄橙		
052	3PGD21A	160SK	土師器	皿	6.6	3.8	(1.3)	7.5YR8/3浅黄橙		
053	3PGD21A	160SK	土師器	皿	3.6	3.4	1.1	7.5YR8/4浅黄橙		
054	3PGD21A	160SK	土師器	皿	14.0	－	－	5YR8/4淡橙		
055	3PGD21A	160SK	土師器	皿	－	6.4	(1.7)	10YR8/2灰白		
056	3PGD21A	160SK	土師器	皿	－	7.0	(1.8)	7.5YR8/3浅黄橙		底部周辺手持ちヘラ削りか（表面摩滅）
057	3PGD21A	160SK	土師器	皿	－	6.0	(2.0)	7.5YR6/3にぶい橙		
058	3PGD21A	160SK	土師器	皿	－	6.0	(1.1)	10YR8/2灰白		
059	3PGD21A	160SK	土師器	皿	－	5.0	(2.0)	10YR8/3浅黄橙		
060	3PGD21A	160SK	土師器	皿	－	6.6	(1.2)	10YR8/2灰白		
061	3PGD21A	160SK	土師器	皿	－	5.0	(1.6)	10YR3/2黒褐		
062	3PGD21A	160SK	土師器	皿	－	4.2	(1.2)	10YR8/3浅黄橙		
063	3PGD21A	160SK	土師器	皿	－	4.2	(0.9)	10YR8/3浅黄橙		
064	3PGD21A	160SK	土師器	皿	－	3.2	(0.8)	7.5YR8/3浅黄橙		
065	3PGD21A	300SK	古瀬戸	天目茶碗	－	4.2	(3.1)	10YR7/2にぶい黄橙		
066	3PGD21A	300SK	古瀬戸	摺鉢	－	－	(2.4)	7.5YR7/6橙		
067	3PGD21A	300SK	古瀬戸	卸目付大皿	－	－	(2.7)	10YR7/3にぶい黄橙		
068	3PGD21A	300SK	山茶碗	碗	－	6.7	(2.1)	10YR7/1灰白		
069	3PGD21A	300SK	土師器	皿	12.1	5.0	3.1	7.5YR8/2灰白		
070	3PGD21A	263SK	貿易陶磁	白磁皿	9.4	－	(1.7)	10YR8/1灰白		白磁皿VIII類か〈12世紀中頃－12世紀後半，大宰府D期（XIV－XV）〉
071	3PGD21A	321SK	土師器	皿	6.8	3.6	(1.6)	7.5YR8/2灰白		
072	3PGD21A	321SK	土師器	皿	6.8	3.8	1.3	10YR8/3浅黄橙		
073	3PGD21A	321SK	土師器	皿	6.2	3.4	(1.3)	10YR8/3浅黄橙		

図番号	調査区	出土位置	種別	器種など	口径	底径	器高	色調	重量	補足事項
074	3PGD21A	382SK	古瀬戸	壺・瓶類	－	－	－	10YR7/3にぶい黄橙		
075	3PGD21A	414SK	古瀬戸	壺	13.2	－	－	10YR7/1灰白		
076	3PGD21A	414SK	縄文土器	深鉢	－	－	－	7.5YR4/4褐		
077	3PGD21A	433SK	古瀬戸	天目茶碗	10.9	3.7	6.2	7.5YR6/6断		78と同一個体か
078	3PGD21A	433SK	古瀬戸	天目茶碗	10.9	－	(4.5)	10YR8/4浅黄橙		77と同一個体か
079	3PGD21A	433SK	古瀬戸	平碗	14.2	－	(4.3)	10YR7/2にぶい黄橙		
080	3PGD21A	433SK	古瀬戸	壺・瓶類	－	－	(3.2)	10YR7/2灰白		外面に画花文
081	3PGD21A	433SK	山茶碗	椀	－	－	－	10YR8/2灰白		
082	3PGD21A	433SK	山茶碗	碗もしくは小皿	－	－	－	10YR8/2灰白		
083	3PGD21A	433SK	山茶碗	陶丸	長2.0	幅2.0	厚1.9	7.5YR6/1明褐灰	8.5	
084	3PGD21A	433SK	瓦質土器	火鉢	－	－	(4.7)	10YR8/1灰白		
085	3PGD21A	556SK	土師器	皿	16.0	8.1	3.3	7.5YR8/3浅黄橙		
086	3PGD21A	556SK	土師器	皿	12.8	5.4	2.9	10YR8/2灰白		
087	3PGD21A	556SK	土師器	皿	5.8	3.3	1.3	7.5YR6/3にぶい橙		
088	3PGD21A	640SK	縄文土器	深鉢	－	－	(7.3)	10YR5/4にぶい黄褐		
089	3PGD21A	578SK	貿易陶磁	青磁碗	11.6	－	(3.2)	10YR7/2にぶい黄橙		龍泉窯系青磁碗（上田）B類〈15世紀後半－16世紀前半〉
090	3PGD21A	784SK	古瀬戸	擂鉢	－	－	(3.5)	10YR8/2灰白		
091	3PGD21A	784SK	土師器	皿	12.0	5.1	2.6	10YR8/3浅黄橙		
092	3PGD21A	784SK	土師器	皿	10.4	4.8	(2.6)	10YR8/3浅黄橙		
093	3PGD21A	784SK	土師器	皿	13.0	8.8	(1.9)	10YR7/3にぶい黄橙		底部周辺手持ちヘラ削り
094	3PGD21A	784SK	土師器	皿	6.4	3.6	1.7	7.5YR8/3浅黄橙		
095	3PGD21A	784SK	土師器	皿	－	5.8	(1.9)	10YR8/2灰白		
096	3PGD21A	784SK	土師器	皿	－	3.7	(1.1)	7.5YR7/4にぶい橙		
097	3PGD21A	784SK	土師器	皿	－	6.0	(1.3)	10YR8/4浅黄橙		

付表２　遺物計測一覧 -5

図番号	調査区	出土位置	種別	器種など	口径	底径	器高	色調	重量	補足事項
098	3PGD21A	784SK	土師器	釜	－	－	－	7.5YR7/6橙		
099	3PGD21A	784SK	土師器	釜	－	－	－	7.5YR6/4にぶい橙		
100	3PGD21A	807SK	山茶碗	碗	－	－	－	10YR7/1灰白		
101	3PGD21A	807SK	土師器	皿	7.7	5.0	1.7	10YR8/2灰白		
102	3PGD21B	864SK	近世陶磁器	赤物甕	－	20.0	(22.5)	2.5YR6/8橙		底面に墨書　103と同一個体
103	3PGD21B	864SK	近世陶磁器	赤物甕	－	－	(6.0)	2.5YR6/8橙		102と同一個体
104	3PGD21B	922SK	山茶碗	碗	－	－	(4.1)	10YR7/3にぶい黄橙		
105	3PGD21B	928SK	土師器	焙烙	－	－	－	5YR5/4にぶい赤褐		
106	3PGD21A	097SP	弥生～古墳	結合土器	－	－	－	5YR6/8橙		
107	3PGD21A	097SP	弥生～古墳	結合土器	－	－	－	5YR6/8橙		
108	3PGD21A	109SP	山茶碗	小皿	7.4	4.0	2.5	10YR7/2にぶい黄橙		
109	3PGD21A	110SP	山茶碗	小皿	7.6	4.0	2.4	10YR7/2にぶい黄橙		
110	3PGD21A	124SP	山茶碗	碗	－	6.0	(2.2)	10YR6/2灰黄褐		
111	3PGD21A	124SP	山茶碗	碗	－	7.0	(1.7)	10YR7/2にぶい黄橙		
112	3PGD21A	207SP	縄文土器	深鉢	－	6.6	(4.2)	7.5YR5/6明褐		
113	3PGD21A	229SP	土師器	皿	8.2	5.0	(1.6)	10YR3/1黒褐		
114	3PGD21A	234SP	古瀬戸	天目茶碗	11.9	－	(4.6)	10YR8/2灰白		
115	3PGD21A	234SP	土師器	皿	12.0	－	(1.9)	7.5YR7/4にぶい橙		
116	3PGD21A	287SP	土師器	皿	15.2	8.0	3.0	10YR8/3浅黄橙		
117	3PGD21A	315SP	古瀬戸	天目茶碗	11.7	－	(4.8)	10YR8/3浅黄橙		
118	3PGD21A	336SP	土師器	皿	6.6	3.8	(1.3)	7.5YR8/3浅黄橙		
119	3PGD21A	336SP	土師器	皿	－	3.4	(1.6)	10YR8/2灰白		
120	3PGD21A	375SP	土師器	皿	－	5.0	(1.4)	10YR8/4浅黄橙		
121	3PGD21A	396SP	古瀬戸	天目茶碗	11.8	－	(2.4)	10YR8/1灰白		

図番号	調査区	出土位置	種別	器種など	口径	底径	器高	色調	重量	補足事項
122	3PGD21A	708SP	古瀬戸	平碗	－	－	(2.8)	10YR7/3にぶい黄橙		
123	3PGD21A	751SP	山茶碗	碗	－	7.5	(2.5)	10YR7/1灰白		
124	3PGD21A	781SP	灰釉陶器	広縁段皿	13.2	－	(1.9)	10YR8/2灰白		
125	3PGD21B	883SP	山茶碗	碗	－	－	(1.1)	10YR7/1灰白		
126	3PGD21B	895SP	山茶碗	碗	14.8	6.7	5.1	10YR7/2にぶい黄橙		
127	3PGD21B	895SP	山茶碗	碗	－	－	(1.9)	7.5YR7/1明褐灰		
128	3PGD21B	895SP	山茶碗	小皿	7.2	4.3	2.1	10YR7/2にぶい黄橙		
129	3PGD21B	939SP	山茶碗	碗	－	7.6	(3.7)	10YR7/4にぶい黄橙		
130	3PGD21B	942SP	山茶碗	碗	－	7.0	(1.7)	10YR7/2にぶい黄橙		
131	3PGD21B	1124SP	山茶碗	碗	－	8.0	(2.2)	2.5Y8/1灰白		
132	3PGD21B	1074SP	山茶碗	碗	－	6.7	(2.3)	10YR7/2にぶい黄橙		
133	3PGD21A	003SD	古瀬戸	天目茶碗	10.6	－	(4.0)	10YR6/4にぶい黄橙		
134	3PGD21B	003SD	古瀬戸	平碗	－	－	(1.9)	10YR7/3にぶい黄橙		
135	3PGD21B	003SD	古瀬戸	平碗	－	4.4	(0.9)	10YR8/3浅黄橙		
136	3PGD21B	003SD	古瀬戸	花瓶	－	－	(4.0)	10YR7/3にぶい黄橙		
137	3PGD21B	003SD	古瀬戸	梅瓶か	－	9.5	(3.4)	10YR8/3浅黄橙		
138	3PGD21A	003SD	古瀬戸	内耳鍋	－	－	－	7.5YR8/6浅黄橙		
139	3PGD21A	003SD	古瀬戸	擂鉢	31.4	－	(3.2)	7.5YR8/1灰白		
140	3PGD21B	003SD	大窯	丸皿	10.4	－	(1.9)	10YR8/2灰白		
141	3PGD21B	003SD	大窯	皿	－	5.4	(1.0)	10YR7/2にぶい黄橙		
142	3PGD21A	003SD	大窯	皿	－	5.6	(1.1)	10YR8/3浅黄橙		
143	3PGD21B	003SD	大窯	皿	－	7.0	(1.4)	10YR8/3浅黄橙		内底部押印文
144	3PGD21A	003SD	山茶碗	碗	－	7.2	(3.4)	10YR7/1灰白		
145	3PGD21B	003SD	山茶碗	碗	－	6.0	(2.2)	10YR7/4にぶい黄橙		

付表２　遺物計測一覧 -7

図番号	調査区	出土位置	種別	器種など	口径	底径	器高	色調	重量	補足事項
146	3PGD21B	003SD	山茶碗	碗	－	－	(2.4)	10YR7/3にぶい黄橙		
147	3PGD21B	003SD	山茶碗	小皿	－	4.1	(1.2)	10YR7/2にぶい黄橙		
148	3PGD21B	003SD		鉢	－	－	(3.7)	10YR7/2にぶい黄橙		
149	3PGD21A	003SD		鉢	－	－	－	10YR6/1褐灰		
150	3PGD21B	003SD		甕	－	15.4	(5.0)	10YR7/2にぶい黄橙		
151	3PGD21A	003SD	土師器	皿	13.3	7.0	2.5	7.5YR8/2灰白		
152	3PGD21A	003SD	土師器	皿	12.8	6.0	3.0	10YR7/2にぶい黄橙		
153	3PGD21A	003SD	土師器	皿	13.1	6.0	3.5	10YR7/4にぶい黄橙		
154	3PGD21A	003SD	土師器	皿	10.6	5.2	2.2	7.5YR8/4浅黄橙		
155	3PGD21A	003SD	土師器	皿	11.0	4.8	2.3	2.5YR8/3浅黄橙		
156	3PGD21A	003SD	土師器	皿	12.0	4.7	(2.4)	10YR8/3浅黄橙		
157	3PGD21A	003SD	土師器	皿	6.6	4.0	(1.2)	10YR8/3浅黄橙		
158	3PGD21A	003SD	土師器	皿	7.7	3.8	1.6	7.5YR8/3浅黄橙		003SD土器集中域出土資料
159	3PGD21A	003SD	土師器	皿	6.6	3.6	1.4	7.5YR8/3浅黄橙		
160	3PGD21A	003SD	土師器	皿	7.0	4.0	1.5	7.5YR7/3にぶい橙		
161	3PGD21A	003SD	土師器	皿	6.5	4.0	1.5	7.5YR8/3浅黄橙		003SD土器集中域出土資料
162	3PGD21A	003SD	土師器	皿	5.8	3.6	(1.5)	7.5YR8/3浅黄橙		003SD土器集中域出土資料
163	3PGD21A	003SD	土師器	皿	11.8	－	(1.8)	7.5YR8/3浅黄橙		003SD土器集中域出土資料
164	3PGD21A	003SD	土師器	皿	11.6	－	(1.9)	7.5YR8/2灰白		
165	3PGD21A	003SD	土師器	皿	7.7	－	(1.2)	7.5YR8/3浅黄橙		
166	3PGD21A	003SD	土師器	皿	－	5.7	(1.9)	10YR8/2灰白		003SD土器集中域出土資料、底部周辺手持ちヘラ削りか
167	3PGD21A	003SD	土師器	皿	－	5.9	(2.8)	7.5YR8/4浅黄橙		003SD土器集中域出土資料、底部周辺手持ちヘラ削りか
168	3PGD21A	003SD	土師器	皿	－	5.5	(1.4)	7.5YR8/3浅黄橙		
169	3PGD21A	003SD	土師器	皿	－	5.0	(2.0)	7.5YR8/3浅黄橙		

図番号	調査区	出土位置	種別	器種など	口径	底径	器高	色調	重量	補足事項
170	3PGD21A	003SD	土師器	皿	－	5.8	(1.8)	7.5YR8/2灰白		003SD土器集中域出土資料
171	3PGD21A	003SD	土師器	皿	－	8.0	(1.0)	7.5YR8/3浅黄橙		003SD土器集中域出土資料
172	3PGD21A	003SD	土師器	皿	－	6.5	(2.4)	10YR8/3浅黄橙		
173	3PGD21A	003SD	土師器	皿	－	6.0	(2.2)	7.5YR7/3にぶい橙		
174	3PGD21A	003SD	土師器	皿	－	5.0	(2.0)	7.5YR6/1褐灰		003SD土器集中域出土資料
175	3PGD21A	003SD	土師器	皿	－	5.3	(1.3)	7.5YR8/2灰白		003SD土器集中域出土資料
176	3PGD21A	003SD	土師器	皿	－	－	(5.8)	10YR8/4浅黄橙		003SD土器集中域出土資料
177	3PGD21A	003SD	土師器	皿	－	5.6	(2.0)	7.5YR8/1灰白		003SD土器集中域出土資料
178	3PGD21A	003SD	土師器	皿	－	6.8	1.7	7.5YR8/2灰白		003SD土器集中域出土資料
179	3PGD21A	003SD	土師器	皿	－	7.2	(1.5)	10YR8/2灰白		
180	3PGD21A	003SD	土師器	皿	－	5.6	(1.5)	10YR8/2灰白		
181	3PGD21A	003SD	土師器	皿	－	9.0	(1.2)	7.5YR8/2灰白		003SD土器集中域出土資料、底部周辺手持ちヘラ削り
182	3PGD21A	003SD	土師器	皿	－	7.6	1.2	10YR8/2灰白		003SD土器集中域出土資料、底部周辺手持ちヘラ削り
183	3PGD21A	003SD	土師器	皿	－	5.8	(1.7)	7.5YR8/3浅黄橙		
184	3PGD21A	003SD	土師器	皿	－	5.4	(0.7)	7.5YR8/3浅黄橙		003SD土器集中域出土資料
185	3PGD21A	003SD	土師器	皿	－	5.2	(1.6)	7.5YR8/3浅黄橙		003SD土器集中域出土資料
186	3PGD21A	003SD	土師器	皿	－	6.4	(1.6)	7.5YR8/3浅黄橙		003SD土器集中域出土資料
187	3PGD21A	003SD	土師器	皿	－	6.6	(1.5)	10YR8/4浅黄橙		003SD土器集中域出土資料
188	3PGD21A	003SD	土師器	皿	－	6.2	(1.5)	10YR8/2灰白		003SD土器集中域出土資料
189	3PGD21A	003SD	土師器	皿	－	6.4	(0.9)	10YR8/2灰白		003SD土器集中域出土資料
190	3PGD21A	003SD	土師器	皿	－	5.2	(1.1)	10YR8/3浅黄橙		003SD土器集中域出土資料
191	3PGD21A	003SD	土師器	皿	－	6.0	(0.7)	10YR8/2灰白		
192	3PGD21A	003SD	土師器	皿	－	5.6	(0.9)	10YR8/2灰白		003SD土器集中域出土資料
193	3PGD21A	003SD	土師器	皿	－	6.0	(1.3)	10YR8/2灰白		003SD土器集中域出土資料

付表２　遺物計測一覧 -9

図番号	調査区	出土位置	種別	器種など	口径	底径	器高	色調	重量	補足事項
194	3PGD21A	003SD	土師器	皿	－	5.8	(1.2)	10YR8/2灰白		003SD土器集中域出土資料
195	3PGD21A	003SD	土師器	皿	－	6.2	(1.3)	10YR8/2灰白		003SD土器集中域出土資料
196	3PGD21A	003SD	土師器	皿	－	6.0	(1.0)	7.5YR7/3にぶい橙		003SD土器集中域出土資料
197	3PGD21A	003SD	土師器	皿	－	6.0	(1.6)	7.5YR8/2灰白		003SD土器集中域出土資料
198	3PGD21A	003SD	土師器	皿	－	6.0	(1.3)	10YR8/3浅黄橙		003SD土器集中域出土資料
199	3PGD21A	003SD	土師器	皿	－	5.3	(1.1)	7.5YR8/3浅黄橙		003SD土器集中域出土資料
200	3PGD21A	003SD	土師器	皿	－	7.0	(1.2)	10YR8/3浅黄橙		003SD土器集中域出土資料、底部周辺手持ちヘラ削り
201	3PGD21A	003SD	土師器	皿	－	5.0	(1.6)	7.5YR8/4浅黄橙		003SD土器集中域出土資料
202	3PGD21B	003SD	土師器	皿	－	6.0	(1.4)	7.5YR8/4浅黄橙		
203	3PGD21A	003SD	土師器	皿	－	5.7	(1.1)	10YR8/4浅黄橙		003SD土器集中域出土資料
204	3PGD21A	003SD	土師器	皿	－	6.0	(1.2)	7.5YR8/3浅黄橙		003SD土器集中域出土資料
205	3PGD21A	003SD	土師器	皿	－	6.0	(1.7)	10YR8/3浅黄橙		003SD土器集中域出土資料
206	3PGD21A	003SD	土師器	皿	－	5.4	(1.2)	7.5YR8/2灰白		003SD土器集中域出土資料
207	3PGD21A	003SD	土師器	皿	－	6.0	(1.2)	7.5YR8/4浅黄橙		
208	3PGD21A	003SD	土師器	皿	－	6.0	(1.0)	7.5YR8/2灰白		003SD土器集中域出土資料
209	3PGD21A	003SD	土師器	皿	－	5.8	(1.3)	7.5YR7/4にぶい橙		
210	3PGD21A	003SD	土師器	皿	－	5.3	(1.1)	7.5YR7/3にぶい橙		
211	3PGD21A	003SD	土師器	皿	－	6.0	(1.4)	10YR8/3浅黄橙		
212	3PGD21A	003SD	土師器	皿	－	3.4	(0.8)	10YR3/2黒褐		
213	3PGD21A	003SD	土師器	皿	－	3.6	(0.9)	7.5YR8/3浅黄橙		003SD土器集中域出土資料
214	3PGD21A	003SD	土師器	皿	－	4.2	(1.0)	2.5YR7/4淡赤橙		
215	3PGD21A	003SD	土師器	皿	－	3.8	(0.9)	10YR8/3浅黄橙		
216	3PGD21A	003SD	土師器	皿	－	3.5	(1.1)	10YR6/4にぶい黄橙		
217	3PGD21B	003SD	土師器	釜	－	－	－	7.5YR6/4にぶい橙		

図番号	調査区	出土位置	種別	器種など	口径	底径	器高	色調	重量	補足事項
218	3PGD21A	003SD	貿易陶磁	青磁皿	－	－	－	10YR8/2灰白		
219	3PGD21B	003SD	貿易陶磁	青磁碗	－	－	－	10YR7/1灰白		龍泉窯系青磁碗I類〈12世紀中頃－12世紀後半，大宰府D期（XIV－XV）〉
220	3PGD21B	003SD	貿易陶磁	青磁碗	－	－	－	10YR8/1灰白		龍泉窯系青磁碗II-b類もしくはII-c類〈13世紀前半，大宰府E期（XVI－XVII）〉
221	3PGD21B	003SD	貿易陶磁	青磁碗	－	－	－	10YR8/2灰白		龍泉窯系青磁碗（上田）B類〈15世紀後半－16世紀前半〉
222	3PGD21B	003SD	貿易陶磁	青磁小碗	－	4.6	(0.9)	5Y8/1灰白		龍泉窯系青磁小碗II類か〈13世紀前半，大宰府E期（XVI－XVII）〉
223	3PGD21B	003SD	貿易陶磁	青磁皿	－	4.7	(1.0)	10YR7/1灰白		同安窯系青磁皿I-2-b類〈12世紀中頃－12世紀後半，大宰府D期（XIV－XV）〉
224	3PGD21A	003SD	近世陶器	筒形碗	－	－	－	10YR8/1灰白		
225	3PGD21B	003SD	近世陶器	染付碗	－	－	－	10YR7/1灰白		
226	3PGD21B	003SD	弥生土器	高杯	－	－	－	2.5YR4/8赤褐		
227	3PGD21A	003SD	土製品	土錘	長5.1	幅1.4	厚1.3	7.5YR7/4にぶい橙	7.9	
228	3PGD21A	008SD	古瀬戸	壺 ・瓶類	－	－	－	10YR8/3浅黄橙		
229	3PGD21A	105SD	山茶碗	小皿	7.3	－	(2.0)	10YR7/2にぶい黄橙		
230	3PGD21A	107SD	古瀬戸	壺 ・瓶類	－	－	(10.2)	10YR7/4にぶい黄橙		
231	3PGD21A	107SD	古瀬戸	壺 ・瓶類	－	－	(6.4)	10YR8/1灰白		
232	3PGD21A	107SD	古瀬戸	花瓶	－	9.5	(1.8)	10YR7/2にぶい黄橙		
233	3PGD21A	107SD	古瀬戸	折縁深皿	－	－	－	10YR7/1灰白		
234	3PGD21A	107SD	山茶碗	碗	13.2	5.0	3.9	10YR7/1灰白		
235	3PGD21A	107SD	山茶碗	碗	－	7.0	(1.7)	10YR7/1灰白		
236	3PGD21A	107SD	山茶碗	碗	－	6.2	(1.6)	10YR8/1灰白		
237	3PGD21A	107SD	山茶碗	碗	－	6.9	(2.2)	10YR7/2にぶい黄橙		
238	3PGD21A	107SD	山茶碗	碗	－	6.0	(2.0)	10YR8/2灰白		
239	3PGD21A	107SD	山茶碗	碗	－	5.0	(2.0)	10YR7/2にぶい黄橙		
240	3PGD21A	107SD	山茶碗	碗	－	5.5	(1.8)	10YR7/1灰白		
241	3PGD21A	107SD	山茶碗	碗	－	5.0	(1.2)	10YR7/3にぶい黄橙		

付表２　遺物計測一覧 -11

図番号	調査区	出土位置	種別	器種など	口径	底径	器高	色調	重量	補足事項
242	3PGD21A	107SD	山茶碗	碗か小皿	－	4.8	(1.2)	10YR7/1灰白		
243	3PGD21A	107SD	山茶碗	碗か小皿	－	4.8	(1.7)	10YR7/1灰白		
244	3PGD21A	107SD	山茶碗	陶丸	長2.0	幅1.9	厚1.9	10YR8/1灰白	7.4	
245	3PGD21A	107SD	土師器	皿	－	6.0	(1.6)	10YR8/3浅黄橙		
246	3PGD21A	107SD	土師器	皿	－	5.8	(1.5)	7.5YR8/2灰白		
247	3PGD21A	107SD	土師器	皿	－	4.4	(1.4)	5YR6/8橙		柱状高台
248	3PGD21A	107SD	土師器	皿	－	3.6	(2.0)	5YR5/8明赤褐		柱状高台
249	3PGD21A	107SD		鉢	－	－	(4.0)	2.5Y8/1灰白		
250	3PGD21A	139SD	瓦質土器	不明	－	17.0	(11.4)	10YR7/1灰白		
251	3PGD21A	107SD	貿易陶磁	青磁碗	15.0	－	(4.1)	10YR6/1褐灰		龍泉窯系青磁碗I-1-a類〈12世紀中頃－12世紀後半，大宰府D期（XIV－XV）〉
252	3PGD21A	107SD	貿易陶磁	青磁皿	10.4	－	(2.2)	2.5Y7/1灰白		同安窯系青磁皿I-1-a類〈12世紀中頃－12世紀後半，大宰府D期（XIV－XV）〉
253	3PGD21A	107SD	須恵器	蓋	－	－	－	10YR5/1褐灰		鈕のみ
254	3PGD21A	140SD	古瀬戸	天目茶碗	11.8	－	(2.7)	10YR8/3浅黄橙		
255	3PGD21A	140SD	古瀬戸	壺 ・瓶類	－	－	－	10YR7/3にぶい黄橙		
256	3PGD21A	140SD	大窯	丸皿	9.6	7.2	2.6	10YR8/3浅黄橙		
257	3PGD21A	140SD	山茶碗	碗	－	7.0	(1.7)	7.5YR7/1明褐灰		
258	3PGD21A	140SD	土師器	皿	－	6.3	(1.5)	10YR8/3浅黄橙		
259	3PGD21A	140SD	貿易陶磁	青磁碗	－	－	－	10YR6/2灰黄褐		龍泉窯系青磁碗I-3-a類〈12世紀中頃－12世紀後半，大宰府D期（XIV－XV）〉
260	3PGD21A	140SD	貿易陶磁	青磁碗	－	－	－	10YR7/2にぶい黄橙		同安窯系青磁碗I-1-b類〈12世紀中頃－12世紀後半，大宰府D期（XIV－XV）〉
261	3PGD21A	180SD	古瀬戸	平碗	－	5.2	(3.4)	10YR7/4にぶい黄橙		
262	3PGD21A	180SD	古瀬戸	壺 ・瓶類	－	－	－	10YR7/1灰白		
263	3PGD21A	244SD	近世陶器	丸碗	－	5.5	(2.2)	10YR8/3浅黄橙		
264	3PGD21A	244SD	古瀬戸	壺 ・瓶類	－	－	(4.3)	2.5Y8/2灰白		
265	3PGD21A	244SD	古瀬戸	擂鉢	－	8.5	(5.4)	10YR8/4浅黄橙		

図番号	調査区	出土位置	種別	器種など	口径	底径	器高	色調	重量	補足事項
266	3PGD21A	244SD		壺	－	9.3	(6.2)	2.5Y7/3浅黄		
267	3PGD21A	244SD	山茶碗	椀	－	7.4	(2.1)	10YR7/2灰白		
268	3PGD21A	244SD	山茶碗	碗	－	7.0	(2.5)	2.5Y7/2灰黄		
269	3PGD21A	244SD	山茶碗	碗	－	6.6	(2.2)	10YR8/1灰白		
270	3PGD21A	244SD	山茶碗	碗	－	6.5	(2.6)	2.5Y8/2灰白		
271	3PGD21A	244SD	土師器	皿	－	3.7	(0.7)	7.5YR7/3浅黄橙		
272	3PGD21A	285SD	山茶碗	陶丸	長2.1	幅2.2	厚2.0	7.5YR7/1明褐灰	9.4	
273	3PGD21B	297SD	須恵器	壺	－	5.2	(2.4)	2.5Y4/2暗灰黄		
274	3PGD21A	298SD	古瀬戸	天目茶碗	10.0	－	(6.0)	10YR7/4にぶい黄橙		
275	3PGD21B	298SD	古瀬戸	天目茶碗	11.8	－	(4.3)	10YR7/3にぶい黄橙		
276	3PGD21B	298SD	古瀬戸	香炉	－	9.0	(2.6)	10YR8/3浅黄橙		
277	3PGD21B	298SD	古瀬戸	壺 ・瓶類	－	－	－	10YR7/3にぶい黄橙		
278	3PGD21B	298SD	山茶碗	碗	－	－	(3.9)	2.5YR8/1灰白		
279	3PGD21B	298SD	山茶碗	碗	－	6.2	(1.9)	10YR7/1灰白		
280	3PGD21B	298SD	土師器	皿	－	7.3	(1.4)	10YR8/3浅黄橙		
281	3PGD21B	298SD	土師器	皿	－	4.2	(0.9)	10YR8/4浅黄橙		
282	3PGD21B	298SD	土師器	皿	－	5.8	(2.0)	10YR8/3浅黄橙		
283	3PGD21B	298SD	貿易陶磁	白磁皿	10.0	4.4	2.9	10YR7/1灰白		白磁皿V-4-a類〈12世紀中頃－12世紀後半，大宰府D期（XIV－XV）〉
284	3PGD21B	298SD	須恵器	蓋	－	－	(1.9)	2.5YR6/6橙		
285	3PGD21B	299SD-A	古瀬戸	平碗	－	4.7	(2.4)	7.5YR6/3にぶい褐		
286	3PGD21B	299SD-A	古瀬戸	天目茶碗	－	4.6	(1.8)	10YR7/3にぶい黄橙		
287	3PGD21B	299SD-A	古瀬戸	壺 ・瓶類	－	－	－	10YR8/3浅黄橙		
288	3PGD21B	299SD-A	古瀬戸	擂鉢	－	－	－	10YR8/4浅黄橙		
289	3PGD21B	299SD-A	山茶碗	椀	－	7.6	(3.2)	10YR7/3にぶい黄橙		

付表２　遺物計測一覧 -13

図番号	調査区	出土位置	種別	器種など	口径	底径	器高	色調	重量	補足事項
290	3PGD21B	299SD-A	土師器	皿	12.0	6.0	3.2	10YR8/3浅黄橙		299SD-A土器集中域出土資料
291	3PGD21B	299SD-A	土師器	皿	13.8	7.7	2.9	7.5YR8/3浅黄橙		299SD-A土器集中域出土資料、底部周辺手持ちヘラ削り
292	3PGD21B	299SD-A	土師器	皿	13.2	－	(2.7)	10YR7/3にぶい黄橙		299SD-A土器集中域出土資料
293	3PGD21B	299SD-A	土師器	皿	11.3	6.0	2.6	10YR7/3にぶい黄橙		299SD-A土器集中域出土資料
294	3PGD21B	299SD-A	土師器	皿	11.2	－	(1.4)	10YR8/4浅黄橙		299SD-A土器集中域出土資料
295	3PGD21B	299SD-A	土師器	皿	10.2	4.8	2.4	7.5YR8/3浅黄橙		299SD-A土器集中域出土資料
296	3PGD21B	299SD-A	土師器	皿	7.0	4.2	1.9	10YR8/3浅黄橙		299SD-A土器集中域出土資料
297	3PGD21B	299SD-A	土師器	皿	7.0	4.3	(0.9)	7.5YR8/2灰白		299SD-A土器集中域出土資料
298	3PGD21B	299SD-A	土師器	皿	－	10.0	(1.1)	10YR8/2灰白		299SD-A土器集中域出土資料、底部周辺手持ちヘラ削りか（表面摩滅）
299	3PGD21B	299SD-A	土師器	皿	－	5.1	(1.0)	10YR8/3浅黄橙		299SD-A土器集中域出土資料
300	3PGD21B	299SD-A	土師器	皿	－	5.3	(1.6)	7.5YR8/3浅黄橙		299SD-A土器集中域出土資料
301	3PGD21B	299SD-A	土師器	皿	－	3.4	(1.0)	10YR8/3浅黄橙		299SD-A土器集中域出土資料
302	3PGD21B	299SD-A	土師器	皿	－	5.8	(1.0)	10YR8/3浅黄橙		299SD-A土器集中域出土資料
303	3PGD21B	299SD-A	土師器	皿	－	6.0	(1.3)	10YR8/3浅黄橙		299SD-A土器集中域出土資料
304	3PGD21B	299SD-A	土師器	皿	－	5.0	(1.6)	10YR8/3浅黄橙		299SD-A土器集中域出土資料
305	3PGD21B	299SD-A	土師器	皿	－	5.9	(1.1)	10YR8/4浅黄橙		299SD-A土器集中域出土資料
306	3PGD21B	299SD-A	土師器	皿	－	6.0	(2.0)	7.5YR8/4浅黄橙		299SD-A土器集中域出土資料
307	3PGD21B	299SD-A	土師器	皿	－	6.0	(1.5)	7.5YR7/4にぶい橙		299SD-A土器集中域出土資料
308	3PGD21B	299SD-A	土師器	皿	－	5.8	(1.1)	7.5YR8/2灰白		299SD-A土器集中域出土資料
309	3PGD21B	299SD-A	土師器	皿	－	5.5	(1.2)	7.5YR7/3にぶい橙		299SD-A土器集中域出土資料
310	3PGD21B	299SD-A	土師器	皿	－	6.0	(1.3)	7.5YR7/4にぶい橙		299SD-A土器集中域出土資料
311	3PGD21B	299SD-A	土師器	皿	－	5.0	(1.9)	7.5YR7/3にぶい橙		299SD-A土器集中域出土資料
312	3PGD21B	299SD-A	土師器	皿	－	4.0	(1.2)	7.5YR8/2灰白		299SD-A土器集中域出土資料
313	3PGD21B	299SD-a	土師器	皿	－	5.2	(0.8)	7.5YR8/2灰白		299SD-A土器集中域出土資料

図番号	調査区	出土位置	種別	器種など	口径	底径	器高	色調	重量	補足事項
314	3PGD21B	299SD-A	土師器	皿	－	5.2	(2.0)	10YR8/3浅黄橙		299SD-A土器集中域出土資料
315	3PGD21B	299SD-A	土師器	皿	－	4.0	(1.4)	7.5YR8/2灰白		299SD-A土器集中域出土資料
316	3PGD21B	299SD-A	土師器	皿	－	5.0	(1.2)	10YR8/4浅黄橙		299SD-A土器集中域出土資料
317	3PGD21B	299SD-A	土師器	皿	－	5.0	(1.0)	10YR8/2灰白		299SD-A土器集中域出土資料
318	3PGD21B	299SD-A	土師器	皿	－	4.0	(1.1)	7.5YR8/3浅黄橙		299SD-A土器集中域出土資料
319	3PGD21B	299SD-A	山茶碗	小皿	－	4.2	(0.8)	10YR7/2灰白		
320	3PGD21B	299SD-A	山茶碗	椀	－	7.8	(1.9)	10YR7/2にぶい黄橙		
321	3PGD21B	299SD-A	古瀬戸	広口壺	12.0	－	(2.7)	10YR7/2にぶい黄橙		
322	3PGD21A	299SD-B	土師器	皿	－	5.0	(2.7)	7.5YR8/3浅黄橙		
323	3PGD21A	299SD	山茶碗	小碗	－	5.0	(1.5)	10YR7/2にぶい黄橙		
324	3PGD21B	337SD	古瀬戸	擂鉢	－	10.2	(4.1)	5YR7/6橙		
325	3PGD21A	337SD	土師器	皿	8.2	6.0	1.5	7.5YR6/3にぶい橙		
326	3PGD21A	337SD	土師器	皿	－	6.1	(0.9)	7.5YR6/2灰褐		
327	3PGD21A	406SD	土師器	皿	－	5.6	(1.5)	10YR8/2灰白		
328	3PGD21A	544SD	猿投系か	壺・瓶類	－	－	(4.8)	10YR7/2にぶい黄橙		
329	3PGD21A	544SD	古瀬戸	折縁深皿	－	－	(2.8)	10YR8/3浅黄橙		
330	3PGD21A	544SD	山茶碗	陶丸	長2.2	幅2.3	厚2.2	10YR8/1灰白	11.9	
331	3PGD21A	770SD	古瀬戸	鉢	10.8	－	(7.4)	10YR8/3浅黄橙		
332	3PGD21A	770SD	古瀬戸	鉢	10.8	－	(6.4)	10YR8/3浅黄橙		
333	3PGD21A	770SD	古瀬戸	縁釉皿	13.2	－	(2.5)	10YR8/3浅黄橙		
334	3PGD21A	770SD	古瀬戸	折縁深皿	－	12.8	(4.8)	10YR7/3にぶい黄橙		
335	3PGD21A	770SD	古瀬戸	鉢	－	－	(3.2)	7.5YR7/1明褐灰		
336	3PGD21A	770SD	古瀬戸	擂鉢	－	－	(8.7)	5YR7/6橙		
337	3PGD21A	770SD	古瀬戸	擂鉢	－	－	(4.3)	5YR7/6橙		

付表２　遺物計測一覧 -15

図番号	調査区	出土位置	種別	器種など	口径	底径	器高	色調	重量	補足事項
338	3PGD21A	770SD	古瀬戸～大窯	擂鉢	－	－	(4.7)	7.5YR8/4浅黄橙		
339	3PGD21A	770SD	土師器	皿	11.8	－	(2.1)	7.5YR7/3にぶい橙		
340	3PGD21A	770SD	土師器	皿	7.0	3.6	1.6	7.5YR8/3浅黄橙		
341	3PGD21A	770SD	土師器	皿	－	3.8	(1.1)	7.5YR8/4浅黄橙		
342	3PGD21A	770SD	須恵器	杯	－	4.2	(2.0)	2.5Y7/1灰白		
343	3PGD21A	779SD	古瀬戸	壺	11.0	－	(5.1)	10YR8/3浅黄橙		
344	3PGD21B	947SD	古瀬戸	茶入	－	4.0	(2.3)	10YR7/1灰白		
345	3PGD21B	957SD	貿易陶磁	染付皿	－	3.2	(1.8)	10YR8/1灰白		染付皿（小野）C群III類 -碁笥底皿 壽文-〈14世紀末－15世紀前半〉
346	3PGD21B	1040SD	貿易陶磁	青磁碗	－	－	－	10YR7/1灰白		
347	3PGD21B	1041SD	古瀬戸	平碗	15.5	4.7	5.7	7.5YR8/4浅黄橙		
348	3PGD21B	1041SD	古瀬戸	天目茶碗	11.2	－	－	10YR7/2にぶい黄橙		
349	3PGD21B	1041SD	古瀬戸	天目茶碗	10.6	－	－	10YR8/2浅黄橙		
350	3PGD21B	1041SD	山茶碗	碗	－	－	－	10YR7/2にぶい黄橙		
351	3PGD21B	1041SD	山茶碗	碗	－	－	－	10YR7/1灰白		
352	3PGD21B	1041SD		鉢	－	－	－	10YR7/2にぶい黄橙		
353	3PGD21B	1041SD		壺・瓶類	－	－	－	10YR7/2にぶい黄橙		
354	3PGD21B	1041SD	山茶碗	陶丸	長2.0	幅2.0	厚2.0	10YR8/2灰白	8.8	
355	3PGD21B	1125SD	古瀬戸	平碗	－	5.5	(3.2)	10YR8/4浅黄橙		
356	3PGD21A	782ST	山茶碗	碗	－	6.4	(2.3)	10YR7/2にぶい黄橙		
357	3PGD21A	095SX	古瀬戸	壺・瓶類	－	－	－	10YR8/2灰白		
358	3PGD21A	095SX	古瀬戸	壺・瓶類	－	－	(4.0)	10YR8/3浅黄橙		
359	3PGD21A	095SX	古瀬戸	壺・瓶類	－	－	(3.6)	10YR7/3にぶい黄橙		
360	3PGD21A	095SX	大窯	皿	－	5.4	(1.6)	10YR8/3浅黄橙		
361	3PGD21A	095SX	山茶碗	碗	15.0	－	(4.7)	10YR7/2にぶい黄橙		

図番号	調査区	出土位置	種別	器種など	口径	底径	器高	色調	重量	補足事項
362	3PGD21A	095SX	山茶碗	碗	－	8.4	(3.2)	10YR7/1灰白		
363	3PGD21A	095SX	山茶碗	碗	－	5.6	(1.8)	10YR7/1灰白		
364	3PGD21A	095SX	山茶碗	小皿	7.8	4.8	1.6	10YR7/2にぶい黄橙		
365	3PGD21A	095SX	土師器	皿	－	6.2	(1.5)	10YR8/2灰白		
366	3PGD21A	095SX	土師器	皿	－	6.4	(1.6)	10YR8/2灰白		
367	3PGD21A	095SX	土師器	皿	－	6.8	(1.0)	10YR8/2灰白		
368	3PGD21A	095SX	土師器	伊勢型鍋	－	－	(1.9)	7.5YR7/4にぶい橙		
369	3PGD21A	095SX	土製品	土錘	長(3.3)	幅(1.3)	厚1.5	5Y6/6橙		
370	3PGD21B	1164SX	古瀬戸	平碗	－	6.2	(3.9)	10YR8/2灰白		
371	3PGD21B	1164SX	大窯	不明	－	4.8	(1.2)	10YR8/2灰白		高台端部にも施釉確認
372	3PGD21B	1164SX	古瀬戸	壺・瓶類	－	－	－	10YR7/1灰白		
373	3PGD21A	遺構外	古瀬戸	平碗	17.0	－	(3.8)	10YR7/4にぶい黄橙		
374	3PGD21B	遺構外	古瀬戸	平碗	－	5.2	(1.1)	10YR7/4にぶい黄橙		
375	3PGD21A	遺構外	古瀬戸	天目茶碗	11.4	－	(3.4)	2.5Y7/1灰白		
376	3PGD21A	遺構外	古瀬戸	梅瓶	－	10.0	(6.7)	10YR7/3にぶい黄橙		
377	3PGD21	遺構外	古瀬戸	梅瓶	－	－	－	10YR8/4浅黄橙		
378	3PGD21B	遺構外	大窯	擂鉢	－	－	－	10YR8/2灰白		
379	3PGD21A	遺構外	貿易陶磁	青磁碗	13.6	－	(2.1)	10YR7/3にぶい黄橙		龍泉窯系青磁碗（上田）D類〈14世紀後半－15世紀前半〉
380	3PGD21A	遺構外	貿易陶磁	青磁碗	－	5.0	(1.8)	10YR8/1灰白		龍泉窯系青磁碗I類〈12世紀中頃－12世紀後半，大宰府D期（XIV－XV）〉
381	3PGD21B	遺構外	須恵器	杯	－	－	(1.8)	10YR7/1灰白		
382	3PGD21A	遺構外	山茶碗	陶丸	長2.1	幅2.1	厚2.0	5Y7/1灰白	9.5	
383	3PGD21B	遺構外	土師器	皿	13.7	6.2	2.7	7.5YR8/4浅黄橙		
384	3PGD21B	遺構外	弥生土器	高坏	－	－	－	2.5YR5/8明赤褐		
385	3PGD21A	遺構外	古瀬戸	壺・瓶類	2.0	－	(2.5)	10YR7/2にぶい黄橙		

付表２　遺物計測一覧 -17

図番号	調査区	出土位置	種別	器種など	口径	底径	器高	色調	重量	補足事項
386	3PGD21A	618SP（1205SB）	瓦	古代	長8.4	幅(7.4)	厚1.7	10YR7/2にぶい黄橙	114.4	平瓦、硬質、ナデ
387	3PGD21B	003SD	瓦	中世	－	－	(5.0)	10YR8/2灰白	106.0	軒平瓦、燻しやや甘
388	3PGD21B	003SD	瓦	古代	長(3.5)	幅(6.5)	厚(1.7)	5YR6/8橙	49.1	平瓦、軟質、格子タタキ
389	3PGD21A	107SD	瓦	古代	長(11.3)	幅(9.0)	厚(2.0)	10YR4/1褐灰	234.5	平瓦、軟質、表面摩滅
390	3PGD21A	139SD	瓦	近世	長(5.6)	幅(5.0)	厚(2.5)	10YR6/1褐灰		飾り瓦、燻し
391	3PGD21A	140SD	瓦	近世	長7.0	幅(4.9)	厚(1.8)	10YR7/2にぶい黄橙		平瓦、燻し
392	3PGD21A	244SD	瓦	中世	長(13.7)	幅(8.8)	高7.3	N3/0暗灰		丸瓦、燻しやや甘
393	3PGD21B	299SD-A	瓦	古代	長(8.5)	幅(6.0)	厚(1.8)	10YR7/4にぶい黄橙	106.1	平瓦、硬質、表面摩滅
394	3PGD21B	299SD-A	瓦	古代	長(8.0)	幅(5.5)	厚(2.0)	10YR6/2灰黄褐	88.8	平瓦、硬質、ナデ
395	3PGD21B	299SD-A	瓦	古代	長(4.3)	幅(6.7)	厚(1.7)	5YR5/8明赤褐	64.8	平瓦、硬質、表面摩滅
396	3PGD21A	770SD	瓦	古代	長(9.3)	幅(6.8)	厚(2.3)	5YR6/6橙	109.3	平瓦、軟質、格子タタキ
397	3PGD21B	957SD	瓦	古代	長(10.9)	幅(5.3)	厚(2.0)	5YR6/8橙	152.3	平瓦、軟質、格子タタキ
398	3PGD21B	957SD	瓦	中世	長(9.7)	幅(8.5)	厚(1.9)	10YR7/1灰白		軒平瓦
399	3PGD21B	1041SD	瓦	古代	長(7.4)	幅(10.3)	厚(1.9)	2.5Y7/1灰白	113.3	平瓦、硬質、表面摩滅
400	17区	遺構外	瓦	古代	長(14.7)	幅(13.8)	厚(1.8)	10YR7/4にぶい黄橙	449.6	平瓦、軟質、ナデ
401	3PGD21B	遺構外	瓦	古代	長(8.6)	幅(7.1)	厚(2.0)	5YR6/8橙	113.5	平瓦、軟質、表面摩滅
402	3PGD21B	遺構外	瓦	近世	－	－	－	10YR7/1灰白		軒桟瓦、燻し
403	3PGD21A	遺構外	瓦	近世	－	－	－	10YR7/1灰白		軒桟瓦、燻し
M1	3PGD21A	782ST	金属製品	銭貨	－	－	－			
M2	3PGD21A	782ST	金属製品	銭貨	－	－	－			
M3	3PGD21A	782ST	金属製品	銭貨	－	－	－			
M4	3PGD21A	782ST	金属製品	銭貨	長3.0	幅2.8	厚0.6			溶着
M5	3PGD21A	782ST	金属製品	銭貨	－	－	－			溶着
S1	3PGD21A	382SK	石器	石鏃	長2.4	幅1.7	厚0.6	7.5YR4/1褐灰	1.5	サヌカイト

図番号	調査区	出土位置	種別	器種など	口径	底径	器高	色調	重量	補足事項
S10	3PGD21A	292ST	石製品	臼玉か	長0.4	幅0.4	厚0.2			溶結凝灰岩
S2	3PGD21A	338SP	石器	石鏃	長1.7	幅1.1	厚0.2	10YR8/2灰白	0.1	下呂石
S3	3PGD21A	095SX	石器	石鏃	長2.6	幅1.8	厚0.7	10YR5/1褐灰	2.1	下呂石
S4	3PGD21A	640SK	石器	剥片	長3.9	幅2.9	厚1.1	5YR3/4暗赤褐	6.8	チャート
S5	3PGD21B	928SK	石器	剥片	長2.6	幅2.5	厚0.6	7.5Y5/1灰	2.4	下呂石
S6	3PGD21B	908SP	石器	剥片	長2.4	幅3.9	厚1.0	N5/0灰	8.1	チャート
S7	3PGD21B	299SD-A	石器	剥片	長2.4	幅3.4	厚0.7	N5/0灰	6.0	チャート
S8	3PGD21B	検出	石器	剥片	長1.7	幅1.4	厚0.6	5YR2/1黒褐	計測不能	黒曜石
S9	3PGD21A	153SK	石器	叩石	長4.9	幅4.1	厚3.3	7.5YR5/4にぶい褐	86.7	花崗岩
W1	3PGD21A	820SK (600SB)	木製品	柱根	長55.0	径12.0				

付表３　遺物出土位置一覧 -1

図番号	調査区	出土位置	種別	器種など	番号	X	Y	Z
001	3PGD18	009SK	山茶碗	小皿	－			
002	3PGD18	017SK	山茶碗	碗	d-0001			
003	3PGD18	055SK	須恵器	浄瓶	d-0003			
004	3PGD18	847SX	大窯	建水か	d-0458	-102829.284	419.857	37.638
005	3PGD18	847SX	古瀬戸	擂鉢	d-0461	-102830.199	419.741	37.416
006	3PGD18	023SD	大窯	小天目茶碗	－			
007	3PGD18	023SD	大窯	徳利	d-0005			
008	3PGD18	023SD	土師器	皿	d-0007			
009	3PGD18	023SD	土師器	皿	－			
010	3PGD18	023SD	山茶碗	椀	d-0010			
011	3PGD21A	370SI	弥生土器	台付甕	d-0020	-102778.274	390.226	38.500
012	3PGD21A	368SK	弥生土器	台付甕	d-0012	-102778.221	388.407	37.998
013	3PGD21A	411SI	古瀬戸	天目茶碗	d-0078	-102774.948	402.283	38.738
014	3PGD21A	411SX	古瀬戸	壺・瓶類	－			
015	3PGD21A	411SI	貿易陶磁	青磁碗	d-0076	-102775.359	401.485	38.725
016	3PGD21A	411SI	貿易陶磁	青磁碗	d-0072	-102775.031	404.020	38.691
017	3PGD21A	411SI	山茶碗	陶丸	d-0077	-102775.144	401.549	38.694
018	3PGD21B	921SP（800SB）	古瀬戸	桶	d-0391	-102797.133	408.731	38.335
019	3PGD21B	936SK（800SB）	土師器	皿	d-0372	-102796.823	414.287	38.394
020	3PGD21B	1033SP（800SB）	土師器	皿	－			
021	3PGD21A	819SE	古瀬戸	天目茶碗	－			
022	3PGD21A	819SE	古瀬戸	壺	－			
023	3PGD21A	819SE	土師器	皿	－			
024	3PGD21B	1116SE	古瀬戸	口広有耳壺か	－			
025	3PGD21A	106SK	土師器	皿	d-0089	-102774.503	415.192	38.744
026	3PGD21A	106SK	土師器	皿	d-0070 a	-102774.121	414.799	38.774
027	3PGD21A	106SK	土師器	皿	d-0070 b	-102774.121	414.799	38.774
028	3PGD21A	106SK	土師器	皿	d-0071	-102773.654	415.217	38.798
029	3PGD21A	106SK	土師器	皿	d-0062	-102774.165	415.182	38.777
030	3PGD21A	153SK	縄文土器	深鉢	d-0049	-102766.254	389.744	38.391
031	3PGD21A	153SK	縄文土器	深鉢	d-0050	-102766.261	390.127	38.526
032	3PGD21A	153SK	縄文土器	深鉢	d-0036	-102766.721	389.728	38.449
033	3PGD21A	153SK	縄文土器	深鉢	d-0037	-102766.630	389.786	38.418
034	3PGD21A	153SK	縄文土器	深鉢	d-0038	-102766.507	389.819	38.392
035	3PGD21A	153SK	縄文土器	深鉢	d-0044	-102766.481	389.682	38.469
036	3PGD21A	153SK	縄文土器	深鉢	d-0045	-102766.554	389.680	38.428
037	3PGD21A	160SK	古瀬戸	天目茶碗	d-0253	-102786.403	414.464	38.551
038	3PGD21A	160SK	古瀬戸	擂鉢	d-0262	-102786.565	414.944	38.543
039	3PGD21A	160SK	古瀬戸	擂鉢	d-0241	-102786.786	414.143	38.626

付表３　遺物出土位置一覧 -2

図番号	調査区	出土位置	種別	器種など	番号	X	Y	Z
040	3PGD21A	160SK	土師器	皿	－			
041	3PGD21A	160SK	土師器	皿	d-0252 f	-102786.514	414.164	38.630
042	3PGD21A	160SK	土師器	皿	d-0252 g	-102786.514	414.164	38.630
043	3PGD21A	160SK	土師器	皿	d-0261 b	-102786.154	415.064	38.540
044	3PGD21A	160SK	土師器	皿	d-0256 c	-102786.735	414.517	38.592
045	3PGD21A	160SK	土師器	皿	－			
047	3PGD21A	160SK	土師器	皿	d-0252 c	-102786.514	414.164	38.630
048	3PGD21A	160SK	土師器	皿	－			
049	3PGD21A	160SK	土師器	皿	－			
050	3PGD21A	160SK	土師器	皿	d-0252 d	-102786.514	414.164	38.630
051	3PGD21A	160SK	土師器	皿	d-0252 b	-102786.514	414.164	38.630
052	3PGD21A	160SK	土師器	皿	d-0259	-102786.393	414.852	38.529
053	3PGD21A	160SK	土師器	皿	d-0256 a	-102786.735	414.517	38.592
054	3PGD21A	160SK	土師器	皿	d-0252 a	-102786.514	414.164	38.630
055	3PGD21A	160SK	土師器	皿	d-0255	-102786.716	414.398	38.602
056	3PGD21A	160SK	土師器	皿	d-0258	-102786.907	414.964	38.585
057	3PGD21A	160SK	土師器	皿	d-0257	-102786.821	414.831	38.574
058	3PGD21A	160SK	土師器	皿	d-0264	-102786.625	415.185	38.523
059	3PGD21A	160SK	土師器	皿	d-0267	-102786.784	415.238	38.570
060	3PGD21A	160SK	土師器	皿	d-0256 b	-102786.735	414.517	38.592
061	3PGD21A	160SK	土師器	皿	d-0254	-102786.539	414.494	38.542
062	3PGD21A	160SK	土師器	皿	d-0252 e	-102786.514	414.164	38.630
063	3PGD21A	160SK	土師器	皿	d-0263	-102786.537	415.225	38.513
064	3PGD21A	160SK	土師器	皿	d-0260	-102786.355	415.003	38.516
065	3PGD21A	300SK	古瀬戸	天目茶碗	d-0236	-102783.213	410.000	38.497
066	3PGD21A	300SK	古瀬戸	摺鉢	d-0205	-102784.232	410.518	38.597
067	3PGD21A	300SK	古瀬戸	卸目付大皿	d-0210	-102783.656	409.707	38.533
068	3PGD21A	300SK	山茶碗	椀	d-0238	-102783.931	410.537	38.534
069	3PGD21A	300SK	土師器	皿	d-0247	-102783.431	409.254	38.472
070	3PGD21A	263SK	貿易陶磁	白磁皿	d-0022	-102768.439	394.467	38.545
071	3PGD21A	321SK	土師器	皿	d-0237	-102785.826	407.708	38.489
072	3PGD21A	321SK	土師器	皿	d-0243	-102785.917	407.601	38.441
073	3PGD21A	321SK	土師器	皿	d-0244	-102785.859	407.732	38.435
074	3PGD21A	382SK	古瀬戸	壺・瓶類	－			
075	3PGD21A	414SK	古瀬戸	壺	d-0028	-102772.065	397.638	38.551
076	3PGD21A	414SK	縄文土器	深鉢	d-0054	-102772.256	398.006	38.585
077	3PGD21A	433SK	古瀬戸	天目茶碗	d-0017	-102780.285	398.548	38.590
078	3PGD21A	433SK	古瀬戸	天目茶碗	－			
079	3PGD21A	433SK	古瀬戸	平碗	－			

付表３　遺物出土位置一覧 -3

図番号	調査区	出土位置	種別	器種など	番号	X	Y	Z
080	3PGD21A	433SK	古瀬戸	壺・瓶類	d-0001	-102779.788	398.544	38.647
081	3PGD21A	433SK	山茶碗	碗				
082	3PGD21A	433SK	山茶碗	碗もしくは小皿	－			
083	3PGD21A	433SK	山茶碗	陶丸	d-0015	-102781.431	398.589	38.540
084	3PGD21A	433SK	瓦質土器	火鉢	d-0249	-102780.869	397.850	38.550
085	3PGD21A	556SK	土師器	皿	d-0302	-102786.219	403.893	38.497
086	3PGD21A	556SK	土師器	皿	d-0305	-102785.930	403.946	38.514
087	3PGD21A	556SK	土師器	皿	d-0303	-102786.151	403.979	38.492
088	3PGD21A	640SK	縄文土器	深鉢	d-0081	-102758.428	403.871	38.719
089	3PGD21A	578SK	貿易陶磁	青磁碗	－			
090	3PGD21A	784SK	古瀬戸	擂鉢	d-0231	-102786.604	416.145	38.610
091	3PGD21A	784SK	土師器	皿	d-0276	-102786.468	416.069	38.473
092	3PGD21A	784SK	土師器	皿	d-0279 a	-102786.263	416.121	38.552
093	3PGD21A	784SK	土師器	皿	d-0269	-102786.716	415.491	38.534
094	3PGD21A	784SK	土師器	皿	d-0230	-102786.528	416.156	38.600
095	3PGD21A	784SK	土師器	皿	d-0281	-102786.126	416.382	38.543
096	3PGD21A	784SK	土師器	皿	d-0275	-102786.401	416.012	38.539
097	3PGD21A	784SK	土師器	皿	d-0279 b	-102786.263	416.121	38.552
098	3PGD21A	784SK	土師器	釜	d-0272	-102786.366	415.879	38.579
099	3PGD21A	784SK	土師器	釜	d-0282	-102786.686	416.435	38.485
100	3PGD21A	807SK	山茶碗	椀	d-0315	-102784.370	412.890	38.551
101	3PGD21A	807SK	土師器	皿	d-0316	-102784.223	412.622	38.474
102	3PGD21B	864SK	近世陶磁器	赤物甕	d-0485	-102822.034	409.271	37.553
103	3PGD21B	864SK	近世陶磁器	赤物甕	－			
104	3PGD21B	922SK	山茶碗	碗	d-0388	-102794.898	410.790	38.458
105	3PGD21B	928SK	土師器	焙烙	d-0434	-102795.668	415.025	38.471
106	3PGD21A	097SP	弥生～古墳	結合土器	d-0057 a	-102756.208	411.927	38.795
107	3PGD21A	097SP	弥生～古墳	結合土器	d-0057 b	-102756.208	411.927	38.795
108	3PGD21A	109SP	山茶碗	小皿	d-0069	-102775.335	418.705	38.793
109	3PGD21A	110SP	山茶碗	小皿	d-0061	-102777.366	419.008	38.738
110	3PGD21A	124SP	山茶碗	椀	d-0221	-102785.161	423.723	38.641
111	3PGD21A	124SP	山茶碗	椀	d-0222	-102785.024	423.610	38.649
112	3PGD21A	207SP	縄文土器	深鉢	d-0060	-102774.830	412.758	38.750
113	3PGD21A	229SP	土師器	皿	d-0233	-102783.230	405.838	38.552
114	3PGD21A	234SP	古瀬戸	天目茶碗	d-0217 a	-102784.143	406.894	38.455
115	3PGD21A	234SP	土師器	皿	d-0217 b	-102784.143	406.894	38.455
116	3PGD21A	287SP	土師器	皿	d-0029	-102771.996	399.958	38.618
117	3PGD21A	315SP	古瀬戸	天目茶碗	－			
118	3PGD21A	336SP	土師器	皿	d-0232 a	-102791.581	406.613	38.337

図番号	調査区	出土位置	種別	器種など	番号	X	Y	Z
119	3PGD21A	336SP	土師器	皿	d-0232 b	-102791.581	406.613	38.337
120	3PGD21A	375SP	土師器	皿	d-0011	-102777.365	392.984	38.610
121	3PGD21A	396SP	古瀬戸	天目茶碗	－			
122	3PGD21A	708SP	古瀬戸	平碗	d-0059	-102780.013	394.155	38.500
123	3PGD21A	751SP	山茶碗	碗	d-0204	-102768.167	415.868	38.575
124	3PGD21A	781SP	灰釉陶器	広縁段皿	－			
125	3PGD21B	883SP	山茶碗	椀	d-0486	-102813.522	410.101	38.100
126	3PGD21B	895SP	山茶碗	椀	d-0386	-102789.491	425.092	38.689
127	3PGD21B	895SP	山茶碗	椀	d-0387 a	-102789.569	425.132	38.653
128	3PGD21B	895SP	山茶碗	小皿	d-0387 b	-102789.569	425.132	38.653
129	3PGD21B	939SP	山茶碗	椀	d-0479	-102797.899	414.370	38.316
130	3PGD21B	942SP	山茶碗	椀	d-0367	-102799.111	415.858	38.119
131	3PGD21B	1124SP	山茶碗	椀	d-0475	-102799.010	425.947	38.181
132	3PGD21B	1074SP	山茶碗	椀	d-0484	-102804.133	412.984	38.418
133	3PGD21A	003SD	古瀬戸	天目茶碗	d-0087	-102773.049	415.849	38.650
134	3PGD21B	003SD	古瀬戸	平碗	d-0370	-102801.316	420.609	38.403
135	3PGD21B	003SD	古瀬戸	平碗	d-0401	-102794.446	416.034	38.373
136	3PGD21B	003SD	古瀬戸	花瓶	d-0380	-102801.474	422.790	38.400
137	3PGD21B	003SD	古瀬戸	梅瓶か	d-0444	-102816.140	422.923	38.156
138	3PGD21A	003SD	古瀬戸	内耳鍋	d-0216	-102778.304	417.907	38.738
139	3PGD21A	003SD	古瀬戸	擂鉢	d-0056	-102766.377	414.268	38.656
140	3PGD21B	003SD	大窯	丸皿	d-0368	-102806.721	418.865	38.239
141	3PGD21B	003SD	大窯	皿	d-0374	-102799.307	417.694	38.330
142	3PGD21A	003SD	大窯	皿	－			
143	3PGD21B	003SD	大窯	皿	d-0397	-102790.809	416.392	38.432
144	3PGD21A	003SD	山茶碗	椀	d-0184 a	-102774.206	417.520	38.765
145	3PGD21B	003SD	山茶碗	椀	d-0400	-102791.100	415.618	38.393
146	3PGD21B	003SD	山茶碗	椀	d-0499	-102791.227	416.126	38.214
147	3PGD21B	003SD	山茶碗	小皿	d-0442	-102816.340	422.297	38.169
148	3PGD21B	003SD		鉢	d-0439	-102816.209	421.725	38.189
149	3PGD21A	003SD		鉢	d-0066	-102765.050	415.069	38.754
150	3PGD21B	003SD		甕	d-0438	-102816.244	421.522	38.099
151	3PGD21A	003SD	土師器	皿	d-0162 a	-102776.462	416.402	38.761
152	3PGD21A	003SD	土師器	皿	d-0162 b	-102776.462	416.402	38.761
153	3PGD21A	003SD	土師器	皿	d-0194 a	-102775.388	417.223	38.755
154	3PGD21A	003SD	土師器	皿	d-0193 a	-102775.226	417.179	38.757
155	3PGD21A	003SD	土師器	皿	d-0296	-102786.634	416.129	38.401
156	3PGD21A	003SD	土師器	皿	d-0298 c	-102786.983	415.841	38.482
157	3PGD21A	003SD	土師器	皿	d-0180 a	-102773.383	415.768	38.738

付表３　遺物出土位置一覧 -5

図番号	調査区	出土位置	種別	器種など	番号	X	Y	Z
158	3PGD21A	003SD	土師器	皿	d-0297	-102786.612	415.760	38.490
159	3PGD21A	003SD	土師器	皿	d-0169 a	-102776.201	415.726	38.741
160	3PGD21A	003SD	土師器	皿	d-0299 a	-102786.259	415.223	38.541
161	3PGD21A	003SD	土師器	皿	d-0169 c	-102776.201	415.726	38.741
162	3PGD21A	003SD	土師器	皿	d-0175	-102774.300	415.767	38.644
163	3PGD21A	003SD	土師器	皿	d-0191 a	-102775.169	417.522	38.765
164	3PGD21A	003SD	土師器	皿	d-0298 a	-102786.983	415.841	38.482
165	3PGD21A	003SD	土師器	皿	d-0162 d	-102776.462	416.402	38.761
166	3PGD21A	003SD	土師器	皿	d-0159	-102776.755	416.253	38.765
167	3PGD21A	003SD	土師器	皿	d-0194 b	-102775.388	417.223	38.755
168	3PGD21A	003SD	土師器	皿	d-0003	-102770.446	416.642	38.690
169	3PGD21A	003SD	土師器	皿	d-0084	-102778.093	416.322	38.698
170	3PGD21A	003SD	土師器	皿	d-0088	-102776.321	415.889	38.734
171	3PGD21A	003SD	土師器	皿	d-0169 b	-102776.201	415.726	38.741
172	3PGD21A	003SD	土師器	皿	d-0295	-102786.168	416.334	38.511
173	3PGD21A	003SD	土師器	皿	d-0294 b	-102785.682	417.051	38.464
174	3PGD21A	003SD	土師器	皿	d-0189 a	-102775.043	417.714	38.752
175	3PGD21A	003SD	土師器	皿	d-0164	-102776.754	415.750	38.748
176	3PGD21A	003SD	土師器	皿	d-0162 c	-102776.462	416.402	38.761
177	3PGD21A	003SD	土師器	皿	d-0163	-102776.902	415.946	38.756
178	3PGD21A	003SD	土師器	皿	d-0173 a	-102774.864	415.698	38.635
179	3PGD21A	003SD	土師器	皿	d-0184 b	-102774.206	417.520	38.765
180	3PGD21A	003SD	土師器	皿	d-0299 b	-102786.259	415.223	38.541
181	3PGD21A	003SD	土師器	皿	d-0174	-102774.419	415.554	38.774
182	3PGD21A	003SD	土師器	皿	d-0173 b	-102774.864	415.698	38.635
183	3PGD21A	003SD	土師器	皿	d-0172	-102775.840	415.677	38.736
184	3PGD21A	003SD	土師器	皿	d-0177 a	-102774.063	415.912	38.787
185	3PGD21A	003SD	土師器	皿	d-0177 b	-102774.063	415.912	38.787
186	3PGD21A	003SD	土師器	皿	d-0177 c	-102774.063	415.912	38.787
187	3PGD21A	003SD	土師器	皿	d-0178	-102774.799	416.621	38.779
188	3PGD21A	003SD	土師器	皿	d-0179 a	-102774.495	416.672	38.784
189	3PGD21A	003SD	土師器	皿	d-0179 b	-102774.495	416.672	38.784
190	3PGD21A	003SD	土師器	皿	d-0158	-102776.839	416.440	38.763
191	3PGD21A	003SD	土師器	皿	d-0171	-102775.878	415.850	38.716
192	3PGD21A	003SD	土師器	皿	d-0182 a	-102773.623	416.578	38.742
193	3PGD21A	003SD	土師器	皿	d-0182 b	-102773.623	416.578	38.742
194	3PGD21A	003SD	土師器	皿	d-0185	-102774.668	417.457	38.765
195	3PGD21A	003SD	土師器	皿	d-0186	-102774.969	417.326	38.778
196	3PGD21A	003SD	土師器	皿	d-0187	-102774.877	417.385	38.723

図番号	調査区	出土位置	種別	器種など	番号	X	Y	Z
197	3PGD21A	003SD	土師器	皿	d-0188	-102774.958	417.628	38.761
198	3PGD21A	003SD	土師器	皿	d-0189 b	-102775.043	417.714	38.752
199	3PGD21A	003SD	土師器	皿	d-0191 b	-102775.169	417.522	38.765
200	3PGD21A	003SD	土師器	皿	d-0192	-102775.328	417.555	38.685
201	3PGD21A	003SD	土師器	皿	d-0193 b	-102775.226	417.179	38.757
202	3PGD21B	003SD	土師器	皿	d-0497	-102790.818	417.169	38.375
203	3PGD21A	003SD	土師器	皿	d-0193 c	-102775.226	417.179	38.757
204	3PGD21A	003SD	土師器	皿	d-0194 c	-102775.388	417.223	38.755
205	3PGD21A	003SD	土師器	皿	d-0195 b	-102775.582	417.352	38.780
206	3PGD21A	003SD	土師器	皿	d-0197	-102775.895	417.608	38.780
207	3PGD21A	003SD	土師器	皿	d-0208	-102775.132	415.944	38.638
208	3PGD21A	003SD	土師器	皿	d-0209	-102777.645	415.898	38.666
209	3PGD21A	003SD	土師器	皿	d-0242	-102783.783	417.801	38.656
210	3PGD21A	003SD	土師器	皿	d-0294 a	-102785.682	417.051	38.464
211	3PGD21A	003SD	土師器	皿	d-0298 b	-102786.983	415.841	38.482
212	3PGD21A	003SD	土師器	皿	－			
213	3PGD21A	003SD	土師器	皿	d-0176	-102774.803	416.228	38.789
214	3PGD21A	003SD	土師器	皿	d-0190	-102775.248	417.714	38.722
215	3PGD21A	003SD	土師器	皿	d-0180 b	-102773.383	415.768	38.738
216	3PGD21A	003SD	土師器	皿	d-0002	-102784.123	416.755	38.692
217	3PGD21B	003SD	土師器	釜	d-0446	-102817.724	422.547	38.090
218	3PGD21A	003SD	貿易陶磁	青磁皿	d-0079	-102767.880	415.622	38.720
219	3PGD21B	003SD	貿易陶磁	青磁碗	d-0371	-102801.577	421.261	38.380
220	3PGD21B	003SD	貿易陶磁	青磁碗	d-0349	-102799.611	416.331	38.471
221	3PGD21B	003SD	貿易陶磁	青磁碗	d-0375	-102796.888	417.287	38.416
222	3PGD21B	003SD	貿易陶磁	青磁小碗	d-0369	-102801.478	420.073	38.369
223	3PGD21B	003SD	貿易陶磁	青磁皿	d-0363	-102816.846	422.975	38.157
224	3PGD21A	003SD	近世陶器	筒形碗	d-0136	-102782.142	415.573	38.720
225	3PGD21B	003SD	近世陶器	染付碗	d-0394	-102791.153	416.714	38.496
226	3PGD21B	003SD	弥生土器	高杯	d-0501	-102790.907	416.882	38.169
227	3PGD21A	003SD	土製品	土錘	d-0005	-102786.629	417.112	38.575
228	3PGD21A	008SD	古瀬戸	壺 ・瓶類	－			
229	3PGD21A	105SD	山茶碗	小皿	d-0067	-102763.650	409.942	38.709
230	3PGD21A	107SD	古瀬戸	壺 ・瓶類	d-0091	-102776.915	419.919	38.662
231	3PGD21A	107SD	古瀬戸	壺 ・瓶類	d-0107	-102776.596	419.759	38.652
232	3PGD21A	107SD	古瀬戸	花瓶	d-0129	-102775.535	419.717	38.641
233	3PGD21A	107SD	古瀬戸	折縁深皿	d-0106	-102776.597	419.691	38.630
234	3PGD21A	107SD	山茶碗	椀	d-0097	-102776.771	419.921	38.707
235	3PGD21A	107SD	山茶碗	椀	d-0098	-102776.808	419.930	38.683

付表３　遺物出土位置一覧 -7

図番号	調査区	出土位置	種別	器種など	番号	X	Y	Z
236	3PGD21A	107SD	山茶碗	碗	d-0111	-102776.526	419.454	38.624
237	3PGD21A	107SD	山茶碗	碗	d-0099	-102776.793	419.856	38.705
238	3PGD21A	107SD	山茶碗	碗	d-0132	-102775.571	420.113	38.745
239	3PGD21A	107SD	山茶碗	碗	d-0149	-102776.831	419.757	38.642
240	3PGD21A	107SD	山茶碗	碗	d-0104	-102776.615	419.481	38.735
241	3PGD21A	107SD	山茶碗	椀	d-0118	-102776.090	419.931	38.720
242	3PGD21A	107SD	山茶碗	碗か小皿	d-0119	-102776.039	419.856	38.733
243	3PGD21A	107SD	山茶碗	碗か小皿	d-0068	-102776.386	419.792	38.693
244	3PGD21A	107SD	山茶碗	陶丸	d-0113	-102776.212	419.461	38.714
245	3PGD21A	107SD	土師器	皿	d-0155	-102775.441	420.095	38.813
246	3PGD21A	107SD	土師器	皿	d-0127	-102775.539	419.438	38.736
247	3PGD21A	107SD	土師器	皿	－			
248	3PGD21A	107SD	土師器	皿	d-0124	-102775.793	419.477	38.693
249	3PGD21A	107SD		鉢	d-0150	-102776.779	419.728	38.626
250	3PGD21A	139SD	瓦質土器	不明	－			
251	3PGD21A	107SD	貿易陶磁	青磁碗	－			
252	3PGD21A	107SD	貿易陶磁	青磁皿	d-0092	-102776.821	419.797	38.705
253	3PGD21A	107SD	須恵器	蓋	d-0156	-102775.363	419.388	38.824
254	3PGD21A	140SD	古瀬戸	天目茶碗	－			
255	3PGD21A	140SD	古瀬戸	壺 ・瓶類	d-0026	-102763.332	407.168	38.758
256	3PGD21A	140SD	大窯	丸皿	d-0021	-102764.473	393.145	38.556
257	3PGD21A	140SD	山茶碗	碗	－			
258	3PGD21A	140SD	土師器	皿	d-0025	-102763.915	407.115	38.750
259	3PGD21A	140SD	貿易陶磁	青磁碗	d-0310	-102758.515	399.949	38.680
260	3PGD21A	140SD	貿易陶磁	青磁碗	d-0027	-102759.064	401.419	38.744
261	3PGD21A	180SD	古瀬戸	平碗	d-0224	-102781.255	408.585	38.456
262	3PGD21A	180SD	古瀬戸	壺 ・瓶類	d-0223	-102781.456	408.429	38.516
263	3PGD21A	244SD	近世陶器	丸碗	d-0331	-102791.295	411.851	38.281
264	3PGD21A	244SD	古瀬戸	壺 ・瓶類	d-0317	-102791.143	409.837	38.325
265	3PGD21A	244SD	古瀬戸	擂鉢	d-0325	-102791.208	410.557	38.237
266	3PGD21A	244SD		壺	d-0321	-102791.223	411.530	38.365
267	3PGD21A	244SD	灰釉陶器	碗	d-0329	-102791.198	410.802	38.232
268	3PGD21A	244SD	山茶碗	碗	d-0227	-102791.159	409.548	38.233
269	3PGD21A	244SD	山茶碗	碗	d-0228	-102791.126	409.516	38.216
270	3PGD21A	244SD	山茶碗	碗	d-0318	-102791.259	410.710	38.337
271	3PGD21A	244SD	土師器	皿	d-0328	-102791.245	413.616	38.220
272	3PGD21A	285SD	山茶碗	陶丸	d-0019	-102771.902	400.506	38.769
273	3PGD21B	297SD	須恵器	壺	d-0476	-102787.923	422.947	38.577
274	3PGD21A	298SD	古瀬戸	天目茶碗	d-0055	-102779.041	421.466	38.662

図番号	調査区	出土位置	種別	器種など	番号	X	Y	Z
275	3PGD21B	298SD	古瀬戸	天目茶碗	d-0382	-102788.767	420.787	38.580
276	3PGD21B	298SD	古瀬戸	香炉	d-0456	-102801.637	422.713	38.309
277	3PGD21B	298SD	古瀬戸	壺 ・瓶類	d-0383	-102790.901	420.259	38.552
278	3PGD21B	298SD	山茶碗	碗	d-0482	-102799.858	422.166	38.436
279	3PGD21B	298SD	山茶碗	碗	d-0450	-102789.924	420.666	38.510
280	3PGD21B	298SD	土師器	皿	d-0452	-102800.208	422.105	38.351
281	3PGD21B	298SD	土師器	皿	d-0454	-102800.439	422.161	38.297
282	3PGD21B	298SD	土師器	皿	d-0483	-102800.139	422.113	38.392
283	3PGD21B	298SD	貿易陶磁	白磁皿	d-0381	-102789.850	420.380	38.541
284	3PGD21B	298SD	須恵器	蓋	d-0455	-102800.899	422.416	38.290
285	3PGD21B	299SD-a	古瀬戸	平碗	d-0379	-102795.777	421.554	38.467
286	3PGD21B	299SD-a	古瀬戸	天目茶碗	—			
287	3PGD21B	299SD-a	古瀬戸	壺 ・瓶類	d-0431	-102795.988	422.002	38.625
288	3PGD21B	299SD-a	古瀬戸	擂鉢	d-0425	-102792.355	420.867	38.550
289	3PGD21B	299SD-a	山茶碗	碗	d-0420	-102791.979	421.423	38.641
290	3PGD21B	299SD-a	土師器	皿	d-0422	-102792.139	421.030	38.579
291	3PGD21B	299SD-a	土師器	皿	d-0433 b	-102796.505	421.844	38.631
292	3PGD21B	299SD-a	土師器	皿	d-0430	-102795.792	421.857	38.641
293	3PGD21B	299SD-a	土師器	皿	d-0424	-102792.422	421.016	38.583
294	3PGD21B	299SD-a	土師器	皿	d-0421 b	-102792.262	421.132	38.592
295	3PGD21B	299SD-a	土師器	皿	d-0376	-102795.257	421.334	38.607
296	3PGD21B	299SD-a	土師器	皿	d-0433 a	-102796.505	421.844	38.631
297	3PGD21B	299SD-a	土師器	皿	d-0428 a	-102793.432	421.196	38.593
298	3PGD21B	299SD-a	土師器	皿	d-0428 b	-102793.432	421.196	38.593
299	3PGD21B	299SD-a	土師器	皿	d-0403 a	-102789.246	421.815	38.668
300	3PGD21B	299SD-a	土師器	皿	d-0412	-102790.634	421.525	38.653
301	3PGD21B	299SD-a	土師器	皿	d-0403 b	-102789.246	421.815	38.668
302	3PGD21B	299SD-a	土師器	皿	d-0403 c	-102789.246	421.815	38.668
303	3PGD21B	299SD-a	土師器	皿	d-0405 b	-102789.701	421.621	38.675
304	3PGD21B	299SD-a	土師器	皿	d-0406 a	-102789.772	421.698	38.691
305	3PGD21B	299SD-a	土師器	皿	d-0413	-102790.405	421.926	38.643
306	3PGD21B	299SD-a	土師器	皿	d-0421 a	-102792.262	421.132	38.592
307	3PGD21B	299SD-a	土師器	皿	d-0408 b	-102789.872	421.504	38.677
308	3PGD21B	299SD-a	土師器	皿	d-0407 a	-102790.083	421.579	38.680
309	3PGD21B	299SD-a	土師器	皿	d-0407 b	-102790.083	421.579	38.680
310	3PGD21B	299SD-a	土師器	皿	d-0408 a	-102789.872	421.504	38.677
311	3PGD21B	299SD-a	土師器	皿	d-0415	-102790.883	421.806	38.695
312	3PGD21B	299SD-a	土師器	皿	d-0377	-102795.213	421.537	38.604
313	3PGD21B	299SD-a	土師器	皿	d-0406 c	-102789.772	421.698	38.691

付表３　遺物出土位置一覧 -9

図番号	調査区	出土位置	種別	器種など	番号	X	Y	Z
314	3PGD21B	299SD-a	土師器	皿	d-0417	-102791.086	421.678	38.669
315	3PGD21B	299SD-a	土師器	皿	d-0378	-102795.301	421.620	38.630
316	3PGD21B	299SD-a	土師器	皿	d-0405 a	-102789.701	421.621	38.675
317	3PGD21B	299SD-a	土師器	皿	d-0419	-102791.325	421.398	38.664
318	3PGD21B	299SD-a	土師器	皿	d-0406 b	-102789.772	421.698	38.691
319	3PGD21B	299SD-a	山茶碗	小皿	d-0423	-102792.424	421.371	38.689
320	3PGD21B	299SD-a	山茶碗	碗	d-0418	-102791.252	422.243	38.659
321	3PGD21B	299SD-a	古瀬戸	広口壺	d-0427	-102792.887	421.188	38.600
322	3PGD21A	299SD-b	土師器	皿	d-0220	-102786.051	423.371	38.743
323	3PGD21A	299SD	山茶碗	小碗	d-0214	-102780.625	422.003	38.602
324	3PGD21B	337SD	古瀬戸	擂鉢	d-0366	-102800.105	407.666	38.270
325	3PGD21A	337SD	土師器	皿	d-0248 a	-102793.510	407.351	38.384
326	3PGD21A	337SD	土師器	皿	d-0248 b	-102793.510	407.351	38.384
327	3PGD21A	406SD	土師器	皿	d-0250	-102771.358	405.868	38.800
328	3PGD21A	544SD	猿投系か	壺・瓶類	d-0016	-102778.271	401.820	38.578
329	3PGD21A	544SD	古瀬戸	折縁深皿	d-0074	-102776.584	402.015	38.709
330	3PGD21A	544SD	山茶碗	陶丸	d-0073	-102777.544	401.901	38.675
331	3PGD21A	770SD	古瀬戸	鉢	d-0288	-102784.561	408.832	38.460
332	3PGD21A	770SD	古瀬戸	鉢	d-0286	-102785.015	409.119	38.430
333	3PGD21A	770SD	古瀬戸	縁釉皿	d-0313	-102783.429	409.540	38.406
334	3PGD21A	770SD	古瀬戸	折縁深皿	d-0285	-102786.386	407.736	38.478
335	3PGD21A	770SD	古瀬戸	鉢	d-0292	-102783.791	409.278	38.423
336	3PGD21A	770SD	古瀬戸	擂鉢	d-0314	-102783.544	409.787	38.409
337	3PGD21A	770SD	古瀬戸	擂鉢	d-0312	-102784.642	409.812	38.447
338	3PGD21A	770SD	古瀬戸～大窯	擂鉢	d-0287	-102784.235	408.649	38.460
339	3PGD21A	770SD	土師器	皿	d-0293 b	-102783.661	408.629	38.470
340	3PGD21A	770SD	土師器	皿	d-0293 a	-102783.661	408.629	38.470
341	3PGD21A	770SD	土師器	皿	d-0291	-102784.182	409.165	38.437
342	3PGD21A	770SD	須恵器	杯	d-0219	-102786.664	408.436	38.541
343	3PGD21A	779SD	古瀬戸	壺	－			
344	3PGD21B	947SD	古瀬戸	茶入	d-0472	-102795.275	428.071	38.683
345	3PGD21B	957SD	貿易陶磁	染付皿	d-0357	-102799.830	422.242	38.631
346	3PGD21B	1040SD	貿易陶磁	青磁碗	－			
347	3PGD21B	1041SD	古瀬戸	平碗	d-0469	-102803.185	411.649	38.339
348	3PGD21B	1041SD	古瀬戸	天目茶碗	－			
349	3PGD21B	1041SD	古瀬戸	天目茶碗	－			
350	3PGD21B	1041SD	山茶碗	碗	d-0493	-102803.534	413.406	38.378
351	3PGD21B	1041SD	山茶碗	碗	d-0487	-102803.177	412.540	38.336
352	3PGD21B	1041SD		鉢	d-0490	-102803.302	414.325	38.424

図番号	調査区	出土位置	種別	器種など	番号	X	Y	Z
353	3PGD21B	1041SD		壺・瓶類	d-0494	-102803.140	413.098	38.266
354	3PGD21B	1041SD	山茶碗	陶丸	d-0489	-102803.348	413.244	38.380
355	3PGD21B	1125SD	古瀬戸	平碗	d-0373	-102793.540	420.898	38.569
356	3PGD21A	782ST	山茶碗	碗	d-0240	-102782.920	410.763	38.543
357	3PGD21A	095SX	古瀬戸	壺・瓶類	d-0009	-102761.103	414.192	38.772
358	3PGD21A	095SX	古瀬戸	壺・瓶類	d-0142	-102762.297	413.848	38.671
359	3PGD21A	095SX	古瀬戸	壺・瓶類	d-0212	-102767.074	414.872	38.617
360	3PGD21A	095SX	大窯	皿	－			
361	3PGD21A	095SX	山茶碗	碗	－			
362	3PGD21A	095SX	山茶碗	碗	d-0145	-102763.895	414.923	38.548
363	3PGD21A	095SX	山茶碗	碗	d-0147	-102764.786	414.760	38.383
364	3PGD21A	095SX	山茶碗	小皿	－			
365	3PGD21A	095SX	土師器	皿	d-0211	-102767.504	414.317	38.671
366	3PGD21A	095SX	土師器	皿	d-0213	-102767.764	414.571	38.699
367	3PGD21A	095SX	土師器	皿	d-0235	-102765.558	413.685	38.478
368	3PGD21A	095SX	土師器	伊勢型鍋	－			
369	3PGD21A	095SX	土製品	土錘	－			
370	3PGD21B	1164SX	古瀬戸	平碗	d-0468	-102802.629	422.585	38.180
371	3PGD21B	1164SX	大窯	不明	d-0448	-102803.616	419.695	38.085
372	3PGD21B	1164SX	古瀬戸	壺・瓶類	d-0437	-102807.038	420.027	38.126
373	3PGD21A	遺構外	古瀬戸	平碗	d-0007	-102783.077	408.537	38.463
374	3PGD21B	遺構外	古瀬戸	平碗	d-0353	-102790.656	417.980	38.634
375	3PGD21A	遺構外	古瀬戸	天目茶碗	－			
376	3PGD21A	遺構外	古瀬戸	梅瓶	d-0053	-102750.249	408.918	38.772
377	3PGD21	遺構外	古瀬戸	梅瓶	－			
378	3PGD21B	遺構外	大窯	擂鉢	d-0354	-102789.970	419.722	38.653
379	3PGD21A	遺構外	貿易陶磁	青磁碗	－			
380	3PGD21A	遺構外	貿易陶磁	青磁碗	d-0004	-102768.473	414.207	38.768
381	3PGD21B	遺構外	須恵器	杯	d-0361	-102816.171	419.307	38.108
382	3PGD21A	遺構外	山茶碗	陶丸	d-0008	-102782.431	408.456	38.505
383	3PGD21B	遺構外	土師器	皿	d-0362	-102817.698	419.284	38.061
384	3PGD21B	遺構外	弥生土器	高坏	d-0345	-102817.004	422.972	38.154
385	3PGD21A	遺構外	古瀬戸	壺・瓶類	d-0052	-102749.652	408.553	38.757
386	3PGD21A	618SP（1205SB）	瓦	古代	d-0023	-102771.228	397.709	38.531
387	3PGD21B	003SD	瓦	中世	d-0443	-102815.964	422.549	38.178
388	3PGD21B	003SD	瓦	古代	d-0480	-102795.092	417.291	38.300
389	3PGD21A	107SD	瓦	古代	d-0117	-102776.055	419.391	38.574
390	3PGD21A	139SD	瓦	近世	－			
391	3PGD21A	140SD	瓦	近世	d-0032	-102765.290	399.542	38.724

付表３　遺物出土位置一覧 -11

図番号	調査区	出土位置	種別	器種など	番号	X	Y	Z
392	3PGD21A	244SD	瓦	中世	d-0320	-102791.068	411.040	38.300
393	3PGD21B	299SD-a	瓦	古代	d-0384	-102791.298	420.912	38.594
394	3PGD21B	299SD-a	瓦	古代	d-0411	-102790.643	421.464	38.663
395	3PGD21B	299SD-a	瓦	古代	d-0429	-102793.228	420.775	38.514
396	3PGD21A	770SD	瓦	古代	d-0229	-102785.128	413.897	38.648
397	3PGD21B	957SD	瓦	古代	d-0481	-102799.804	422.348	38.433
398	3PGD21B	957SD	瓦	中世	－			
399	3PGD21B	1041SD	瓦	古代	d-0491	-102803.383	414.412	38.409
400	17区	遺構外	瓦	古代	－	-102809.288	409.204	38.166
401	3PGD21B	遺構外	瓦	古代	d-0473	-102822.501	422.072	38.160
402	3PGD21B	遺構外	瓦	近世	d-0359			
403	3PGD21A	遺構外	瓦	近世	－			
M1	3PGD21A	782ST 1-2	金属製品	銭貨	－			
M2	3PGD21A	782ST1-3	金属製品	銭貨	－			
M3	3PGD21A	782ST	金属製品	銭貨	d-0226			
M4	3PGD21A	782ST	金属製品	銭貨	d-0225			
M5	3PGD21A	782ST 1-2	金属製品	銭貨	－			
S1	3PGD21A	382SK	石器	石鏃	d-0013			
S10	3PGD21A	292ST1-2	石製品	臼玉か	－			
S2	3PGD21A	338SP	石器	石鏃	－			
S3	3PGD21A	095SX	石器	石鏃	d-0202			
S4	3PGD21A	640SK	石器	剥片	d-0058			
S5	3PGD21B	928SK	石器	剥片	d-0435			
S6	3PGD21B	908SP	石器	剥片	d-0390			
S7	3PGD21B	299SD-a	石器	剥片	d-0414			
S8	3PGD21B	検出	石器	剥片	d-0350			
S9	3PGD21A	153SK	石器	叩石	d-0047			
W1	3PGD21A	820SK（600SB）	木製品	柱根	－			

図　版





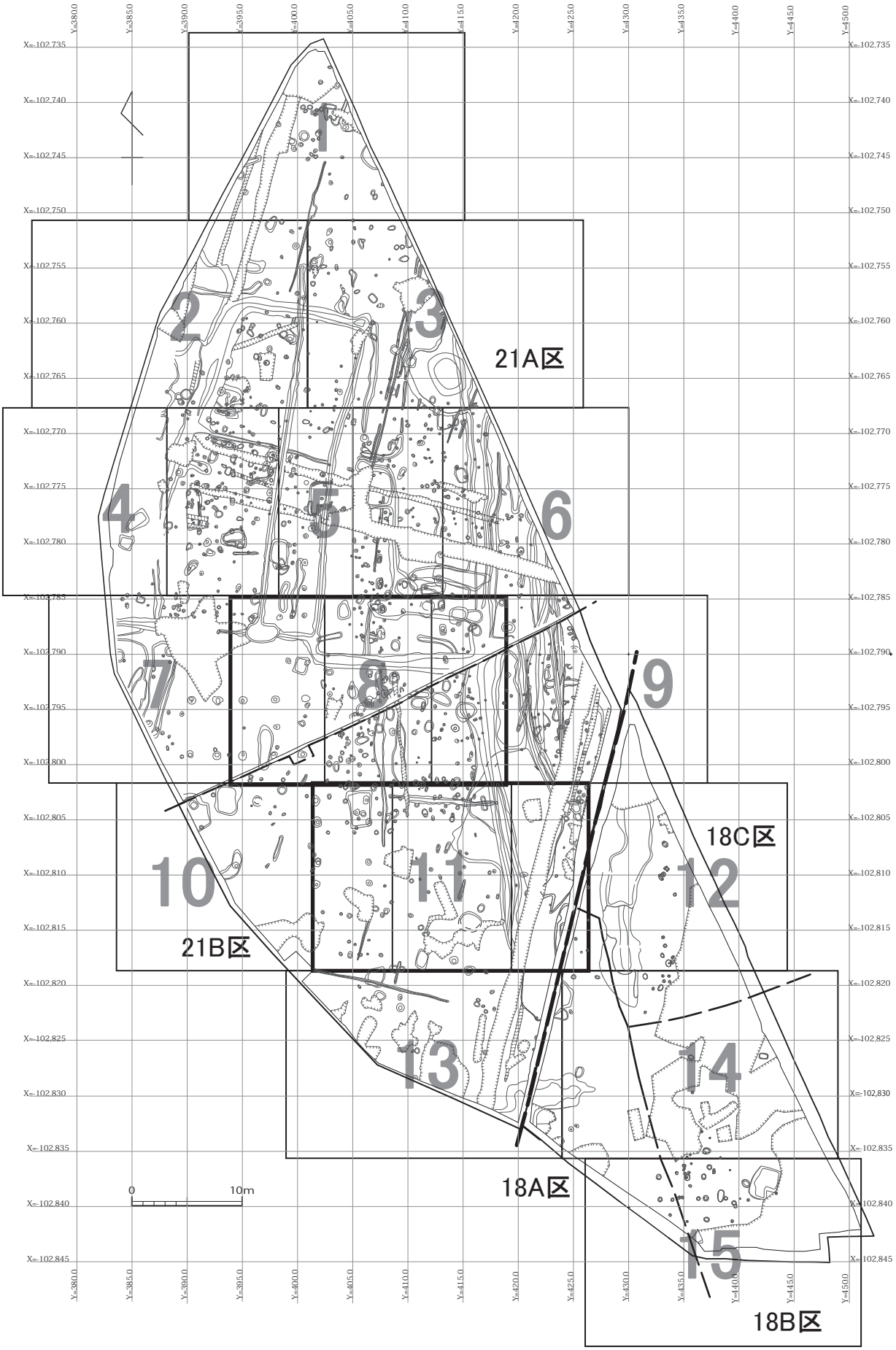








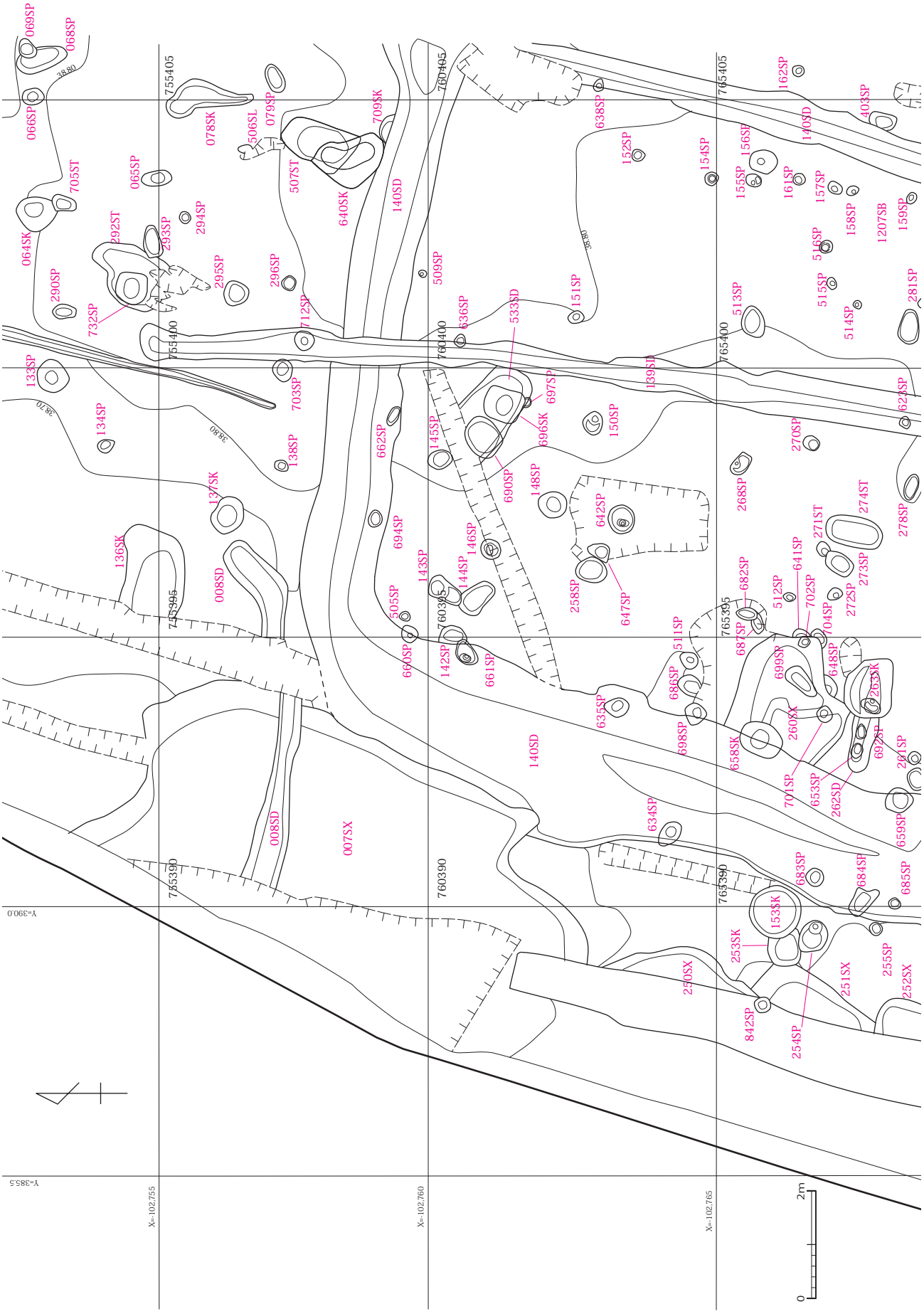
図版1　調査区割付図



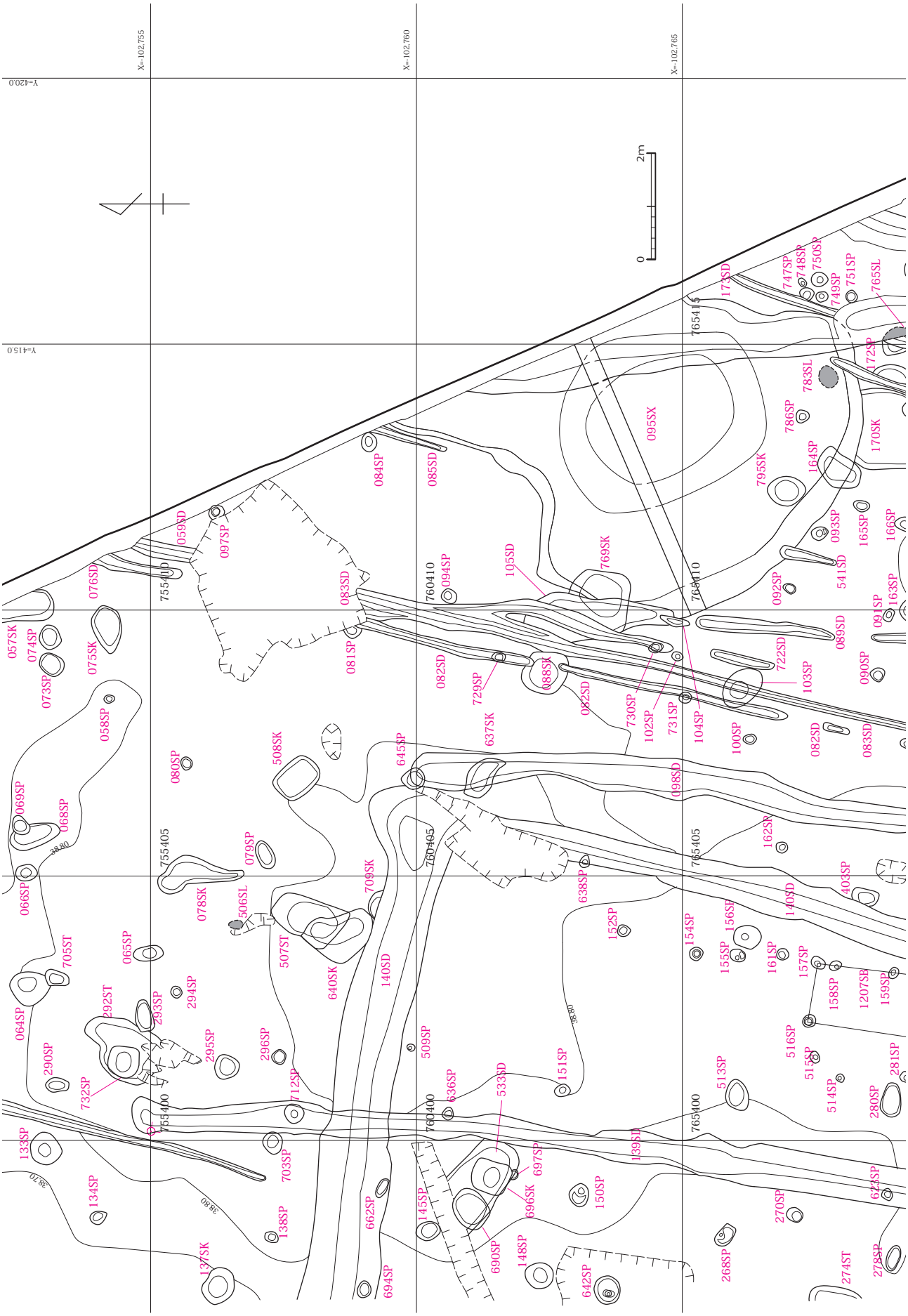

SPA
Y=390.0
Y=395.5
Y=405.0
Y=410.0
X=102.740
X=102.745
X=102.750
740400
740405
745400
745405
750395
750400
750405
004SP
013SP
009SP
016SP
025SD
021SP
015SP
019SP
018SP
017SP
020SP
022SD
843SP
572SP
024SP
026SK
030SX
028SP
033SP
061SP
032SP
031SP
036SP
041SP
037SP
038SP
039SP
040SX
042SP
005SD
045SP
048SP
001SP
046SP
049SP
002SP
047SP
050SP
0
2m
044SD
130SK
051SP
053SP
132SP
131SP
063SP
054SP
067SP
056SP
057SK
069SP
064SK
066SP
074SP
073SP
133SP
290SP
705ST
068SP
38.40
38.50
38.60
38.70
38.80

図版2　平面図-1

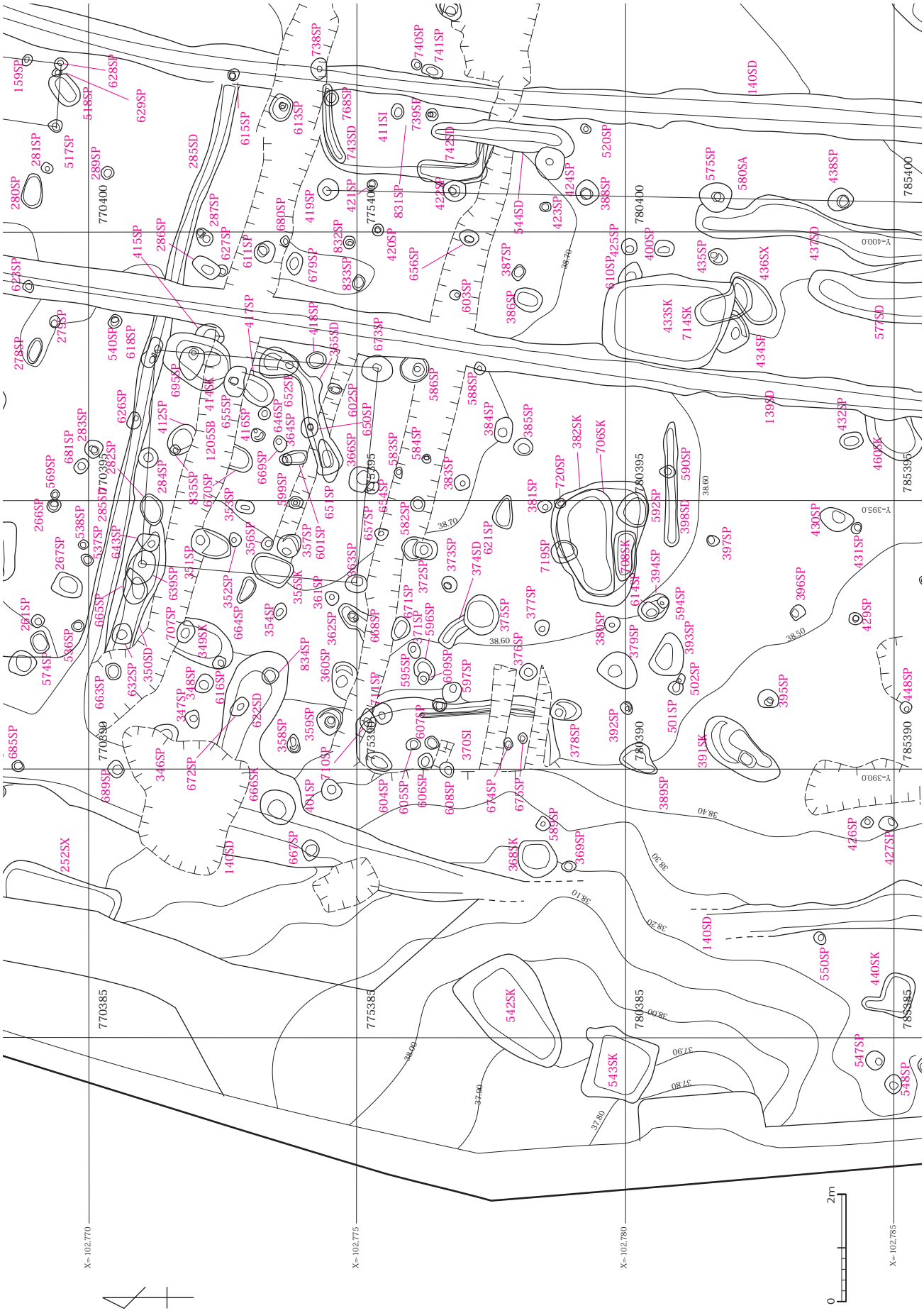
図版３　平面図 -2


X=-102,755
X=-102,760
X=-102,765
Y=385.5
Y=390.0
755405
760405
765405
755400
760400
765400
755395
760395
765395
755390
760390
765390
38.80
38.70
2m
0

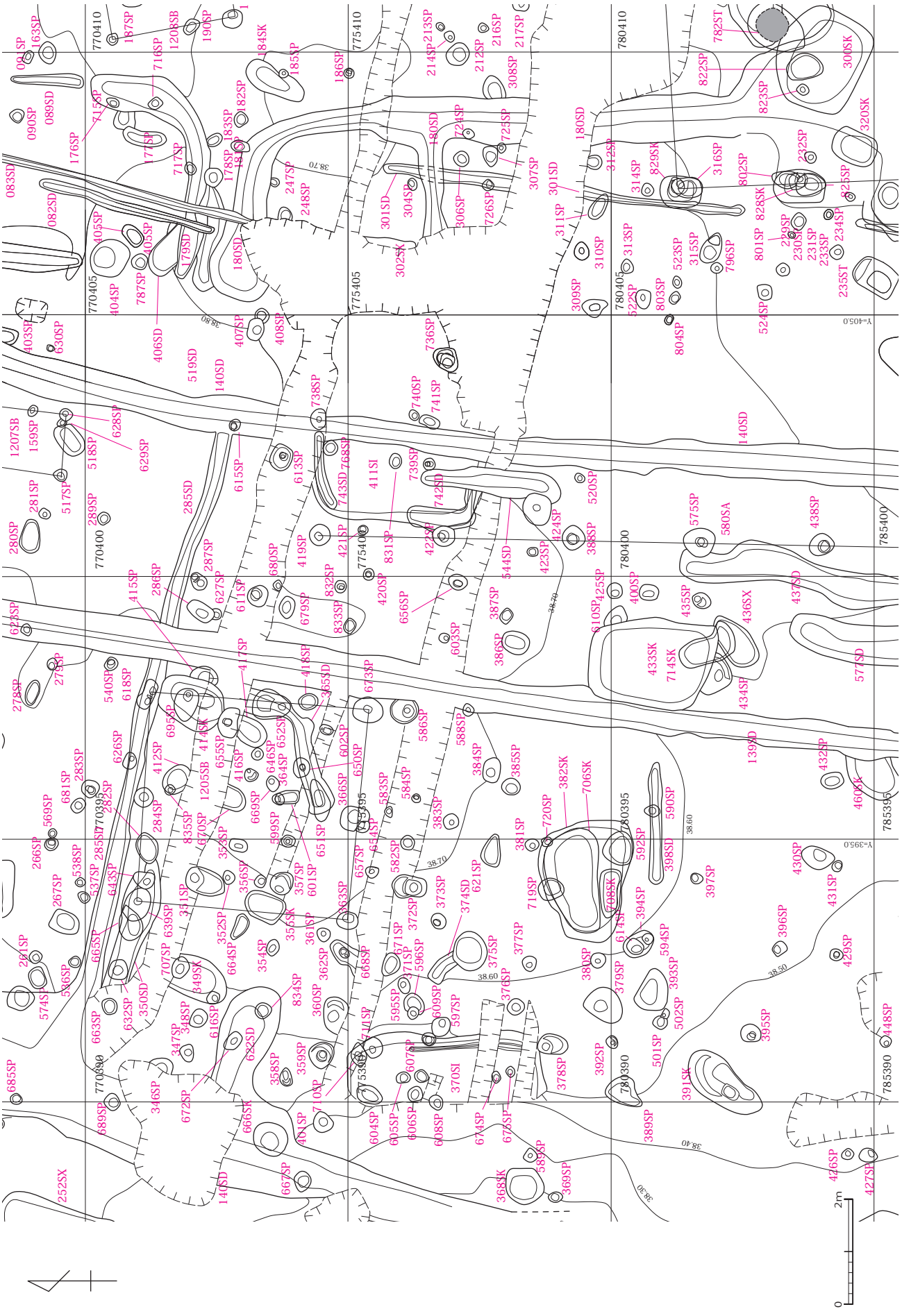
図版４　平面図 -3


X=-102.755
X=-102.760
X=-102.765
Y=420.0
Y=415.0
0
2m
755410
760410
765410
755405
760405
765405
755400
760400
765400
38.80
38.70

図版５　平面図 -4


X=-102,770
X=-102,775
X=-102,780
X=-102,785
Y=-400.0
Y=-395.0
Y=-390.0
770400
775400
780400
785400
770395
775395
780395
785395
770390
775390
780390
785390
770385
775385
780385
785385
38.70
38.60
38.50
38.40
38.30
38.20
38.10
38.00
37.90
37.80
37.00
0
2m

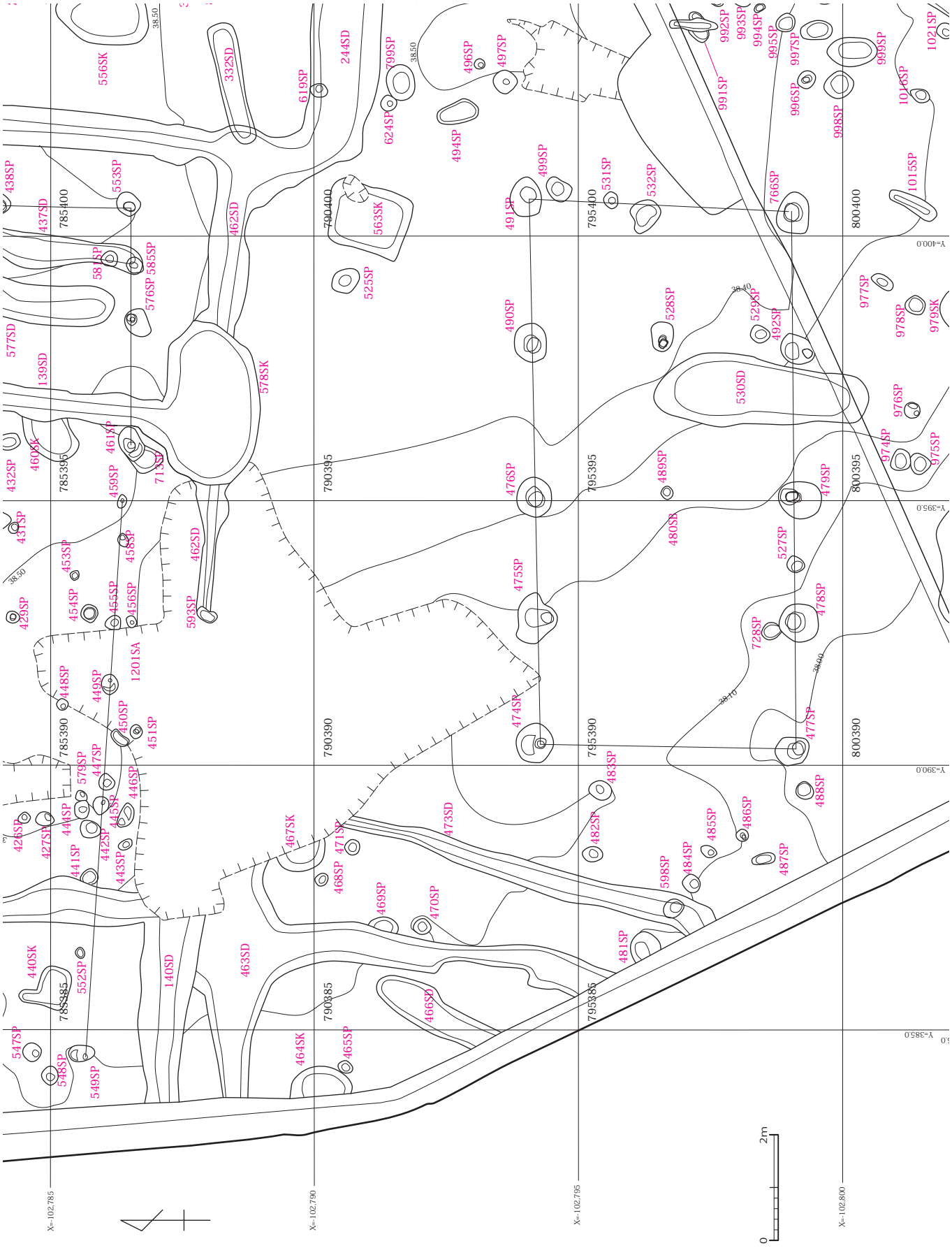
図版６　平面図 -5



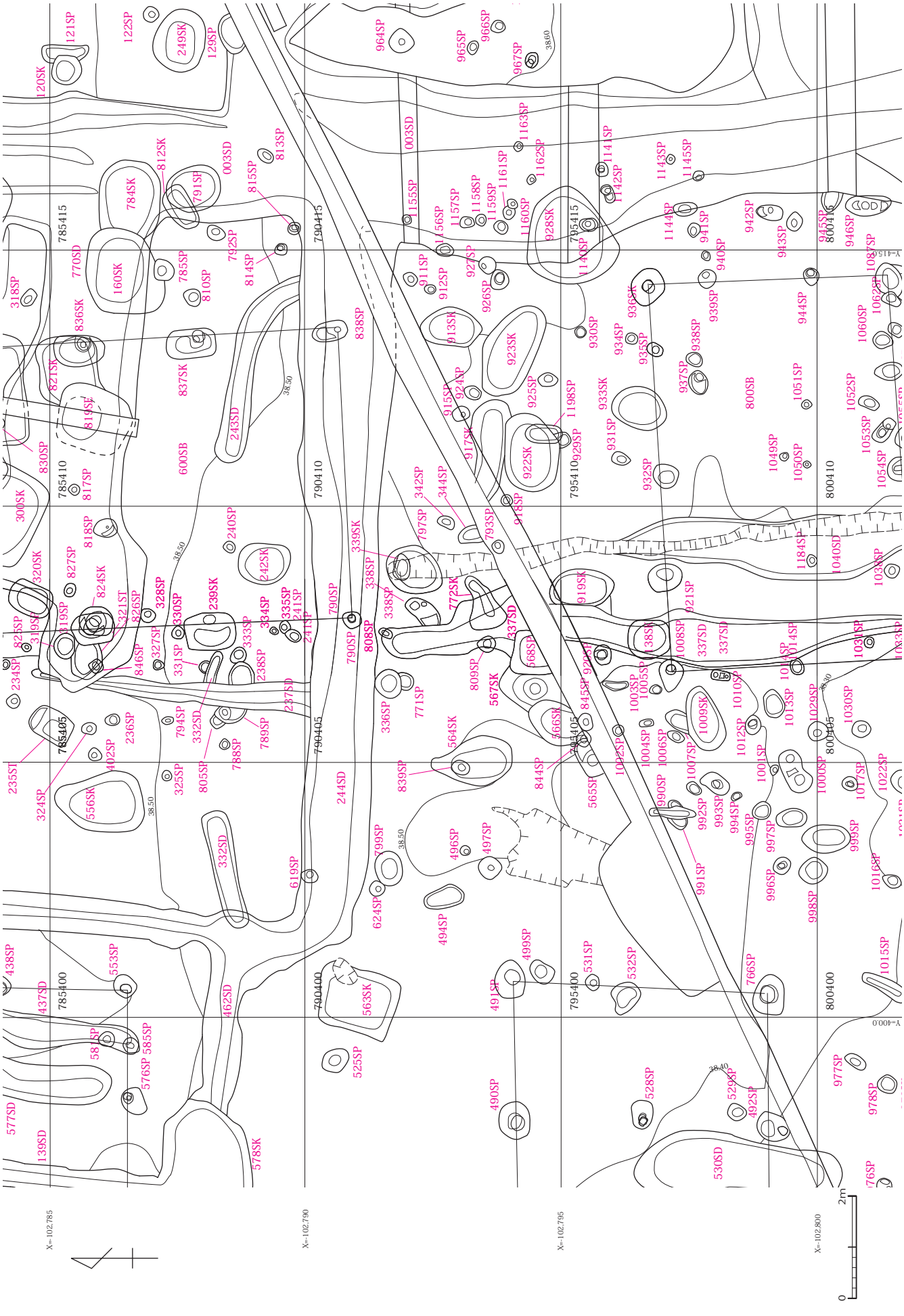
図版7　平面図 -6


X=-102,770
X=-102,775
X=-102,780
X=-102,785
Y=-425.0
Y=-420.0
0
2m
770405
770410
770415
775405
775410
775415
775420
780405
780410
780415
780420
785405
785415
785420

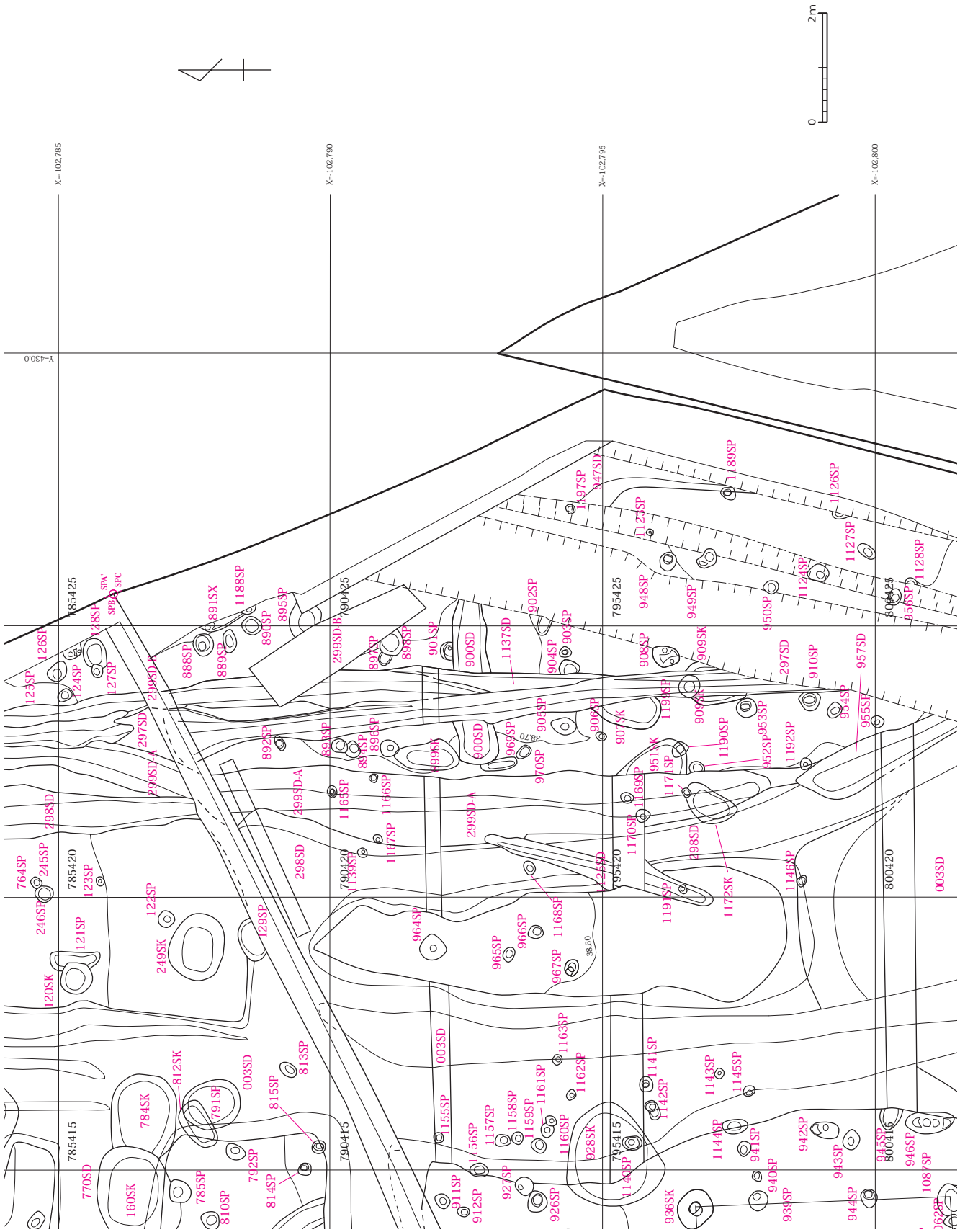
図版8　平面図 -7


X=-102,785
X=-102,790
X=-102,795
X=-102,800
Y=400.0
Y=395.0
Y=390.0
Y=385.0
785400
790400
795400
800400
785395
790395
795395
800395
785390
790390
795390
800390
785385
790385
795385
38.50
38.40
38.10
2m
0

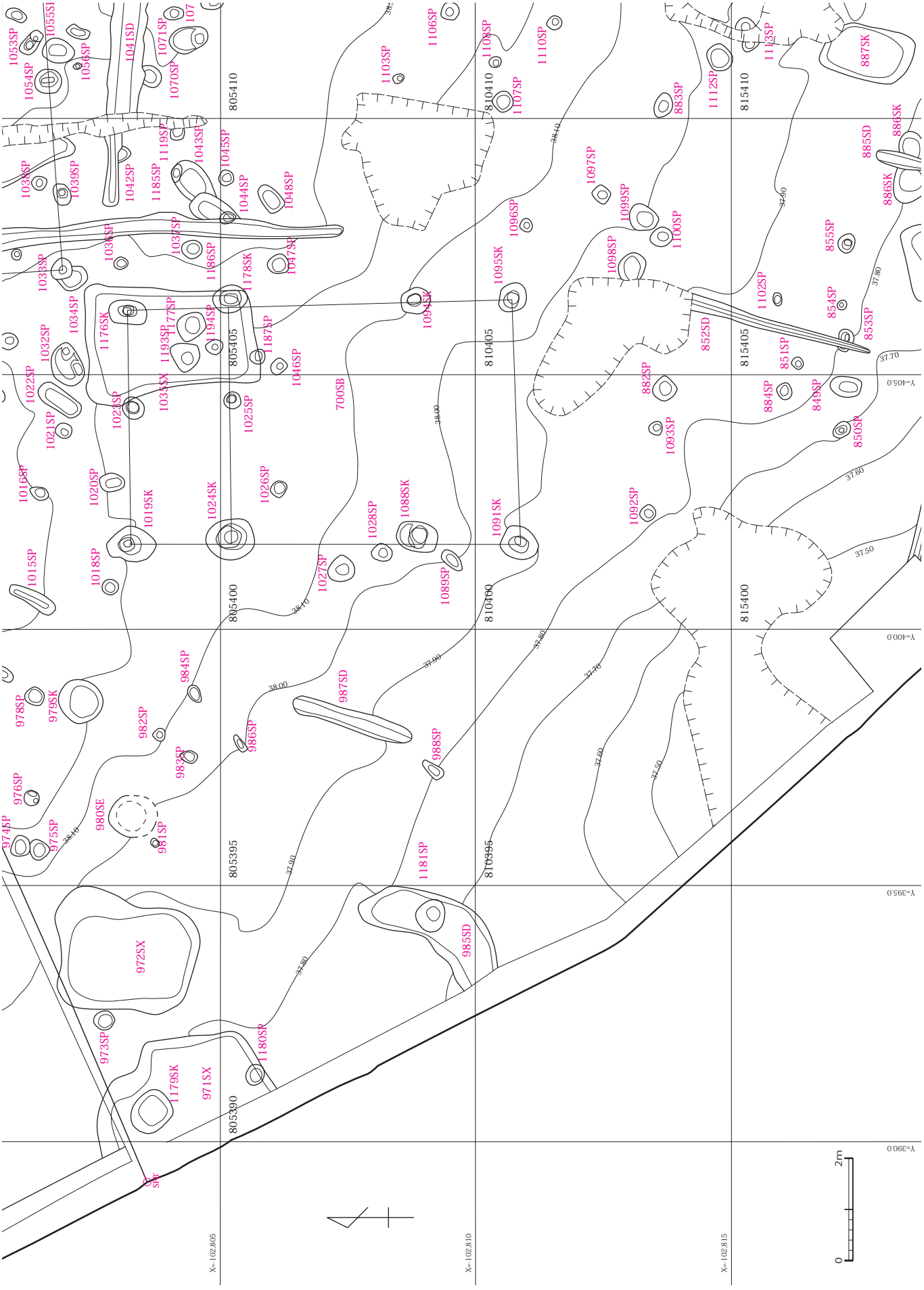
図版9　平面図 -8


X=-102.785
X=-102.790
X=-102.795
X=-102.800
Y=-415.0
Y=-400.0
785415
790415
795415
800415
785410
790410
795410
800410
785405
790405
795405
800405
785400
790400
795400
800400
2m
0

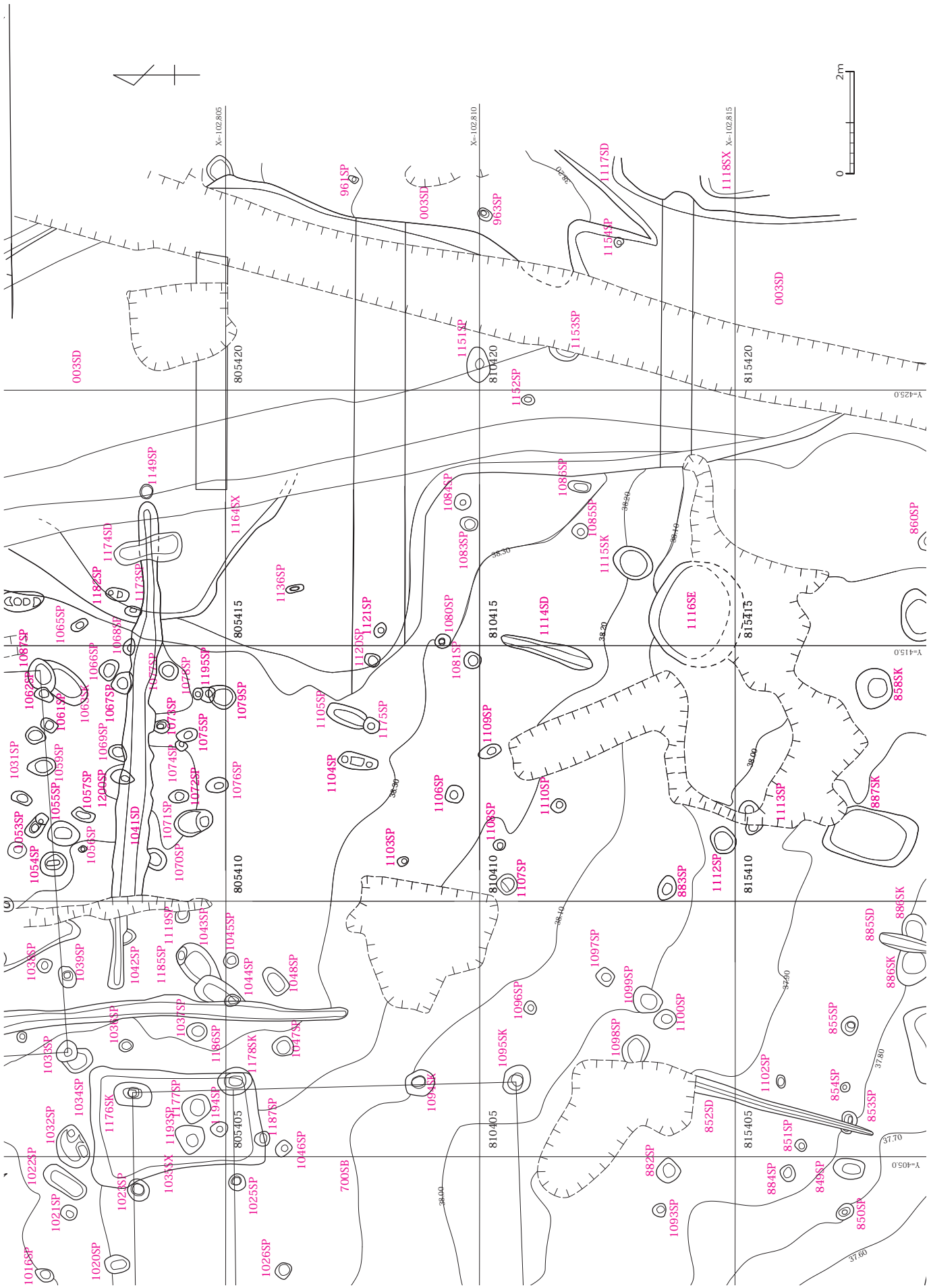
図版 10　平面図 -9


X=-102,785
X=-102,790
X=-102,795
X=-102,800
Y=430.0
2m
0
785425
790425
795425
800425
785420
790420
795420
800420
785415
790415
795415
800415
38.70
38.60

図版 11　平面図 -10

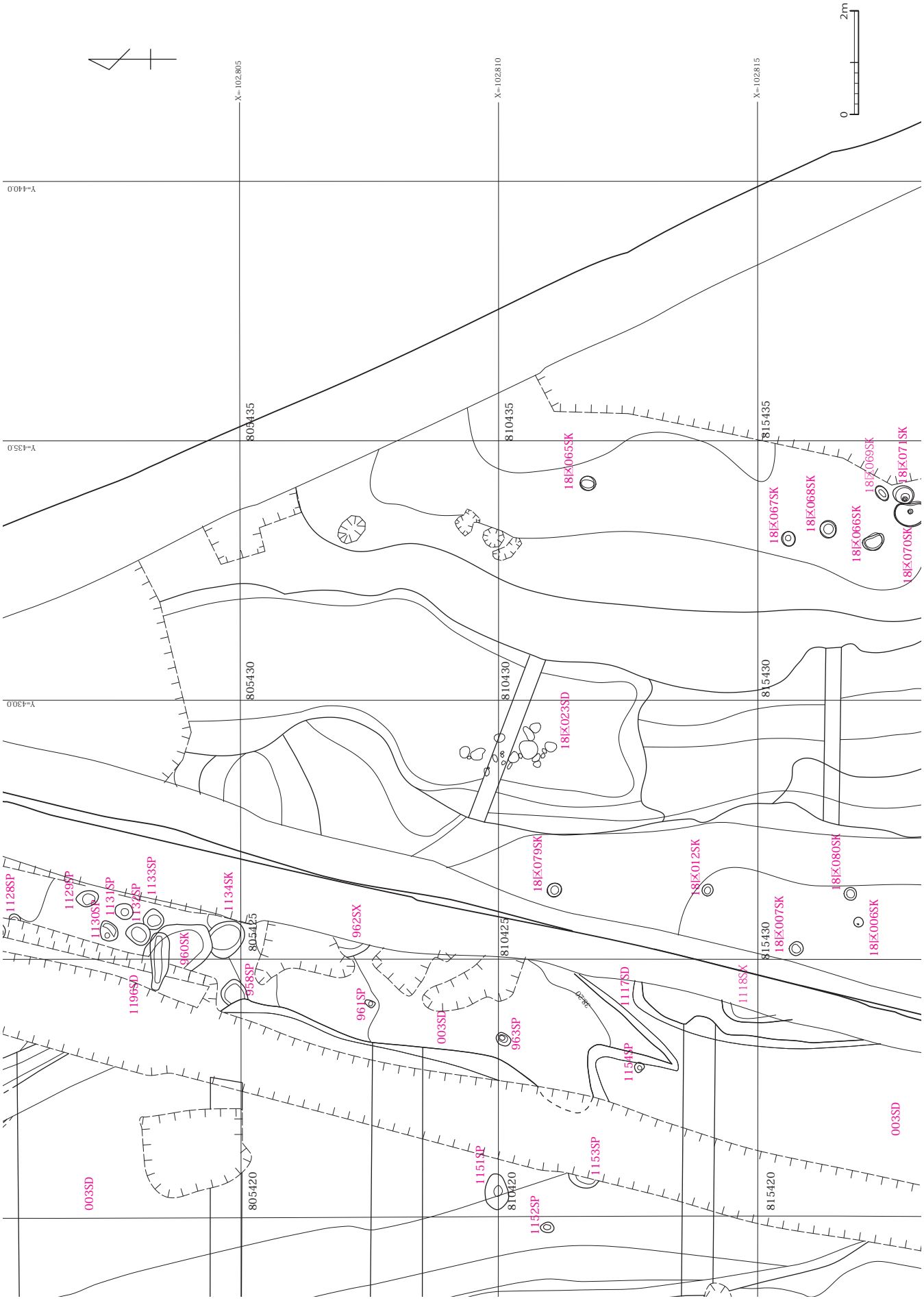

X=-102,805
X=-102,810
X=-102,815
Y=-390.0
Y=-395.0
Y=-400.0
Y=-405.0
805390
805395
805400
805405
805410
810395
810400
810405
810410
815400
815405
815410
0
2m

図版 12　平面図 -11

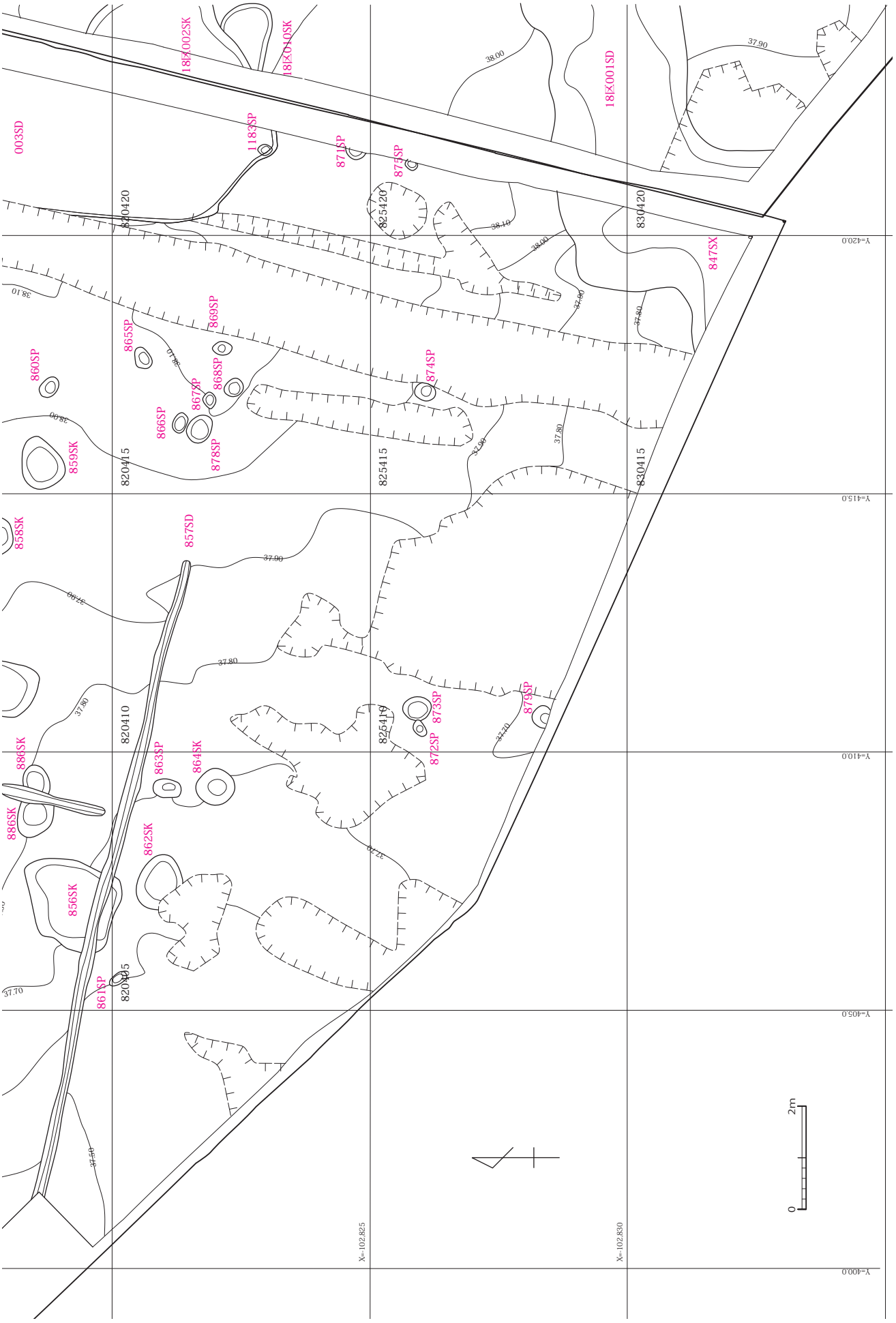


X=-102.805
X=-102.810
X=-102.815
Y=425.0
Y=415.0
Y=405.0
0
2m
805420
810420
815420
805415
810415
815415
805410
810410
815410
805405
810405
815405
003SD
961SP
963SP
1117SD
1118SX
1154SP
1151SP
1153SP
1152SP
1149SP
1164SX
1174SD
1182SP
1173SP
1136SP
1121SP
1120SP
1080SP
1081SP
1084SP
1083SP
1086SP
1085SP
1115SK
1114SD
1116SE
860SP
858SK
1065SP
1068SP
1087SP
1066SP
1062SP
1061SP
1063SP
1067SP
1077SP
1078SP
1195SP
1079SP
1105SP
1175SP
1109SP
1031SP
1059SP
1069SP
1073SP
1075SP
1074SP
1072SP
1076SP
1104SP
1106SP
1110SP
1113SP
887SK
1055SP
1057SP
1200SP
1041SD
1071SP
1053SP
1056SP
1054SP
1070SP
1103SP
1108SP
1107SP
883SP
1112SP
886SK
885SD
1038SP
1039SP
1042SP
1119SP
1043SP
1045SP
1185SP
1044SP
1048SP
1097SP
1099SP
1100SP
1096SP
1036SP
1037SP
1186SP
1047SP
1178SK
1095SK
1098SP
855SP
1033SP
1034SP
1176SK
1177SP
1194SP
1187SP
1094SK
1102SP
854SP
853SP
1032SP
1193SP
1046SP
852SD
851SP
1022SP
1035SX
700SB
882SP
884SP
849SP
1021SP
1023SP
1025SP
1093SP
850SP
1016SP
1020SP
1026SP
38.20
38.30
38.10
38.00
37.90
37.80
37.70
37.60

図版 13　平面図 -12


X=102805
X=102810
X=102815
Y=440.0
Y=435.0
Y=430.0
805435
810435
815435
805430
810430
815430
805425
810425
815425
805420
810420
815420
18区065SK
18区066SK
18区067SK
18区068SK
18区069SK
18区070SK
18区071SK
18区023SD
18区079SK
18区012SK
18区080SK
18区007SK
18区006SK
1128SP
1129SP
1130SP
1131SP
1132SP
1133SP
1134SK
960SK
958SP
962SX
961SP
003SD
963SP
1117SD
1118SK
1154SP
1151SP
1153SP
1152SP
1196SD
2m
0

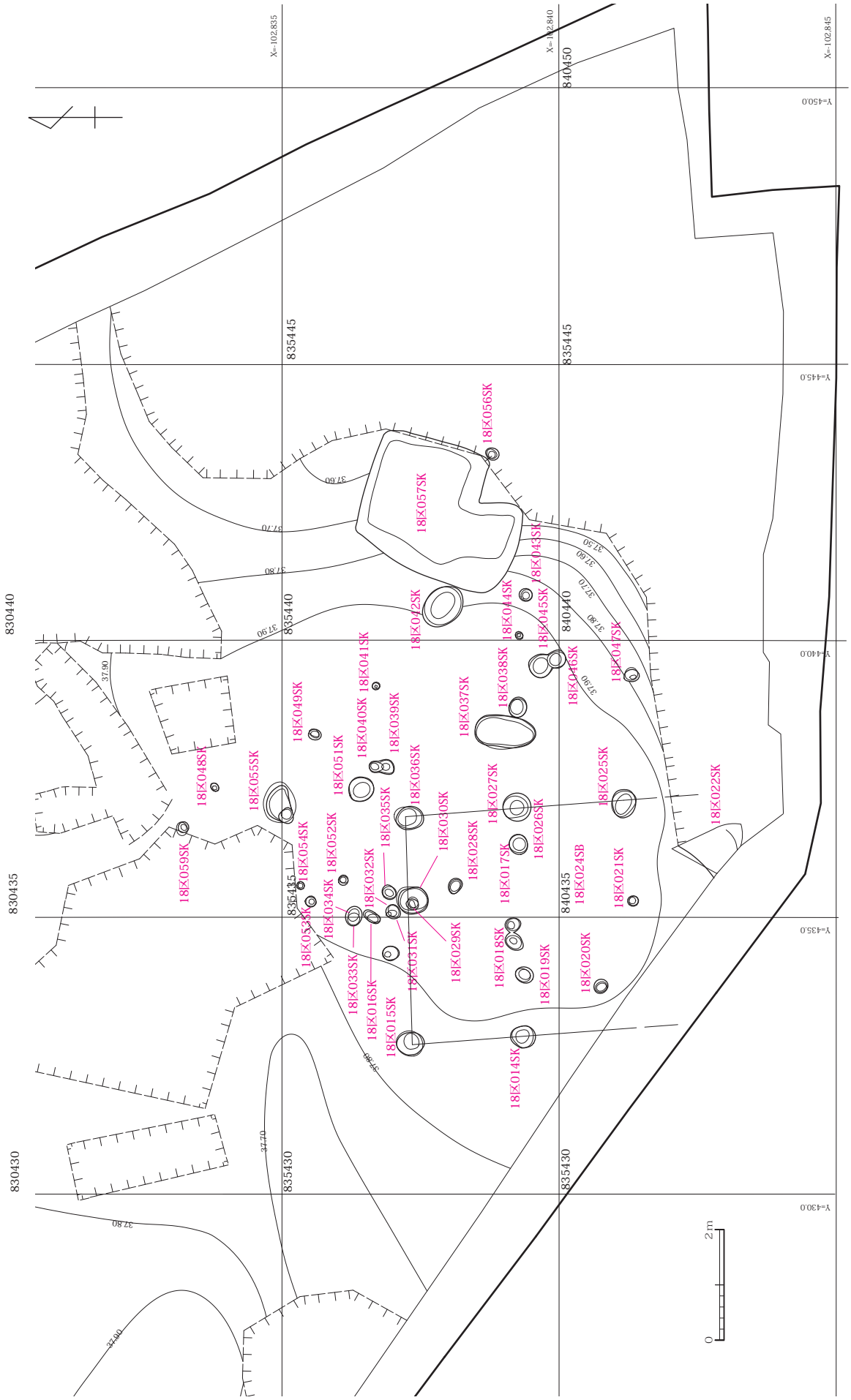
図版 14　平面図 -13


18区002SK
18区010SK
18区001SD
0033D
1183SP
871SP
875SP
847SX
865SP
869SP
860SP
868SP
867SP
874SP
866SP
878SP
859SK
858SK
857SD
873SP
879SP
872SP
863SP
864SK
886SK
862SK
856SK
861SP
820420
825420
830420
820415
825415
830415
820410
825410
820405
X=102,825
X=102,830
Y=420.0
Y=415.0
Y=410.0
Y=405.0
Y=400.0
2m
0

図版 15　平面図 -14

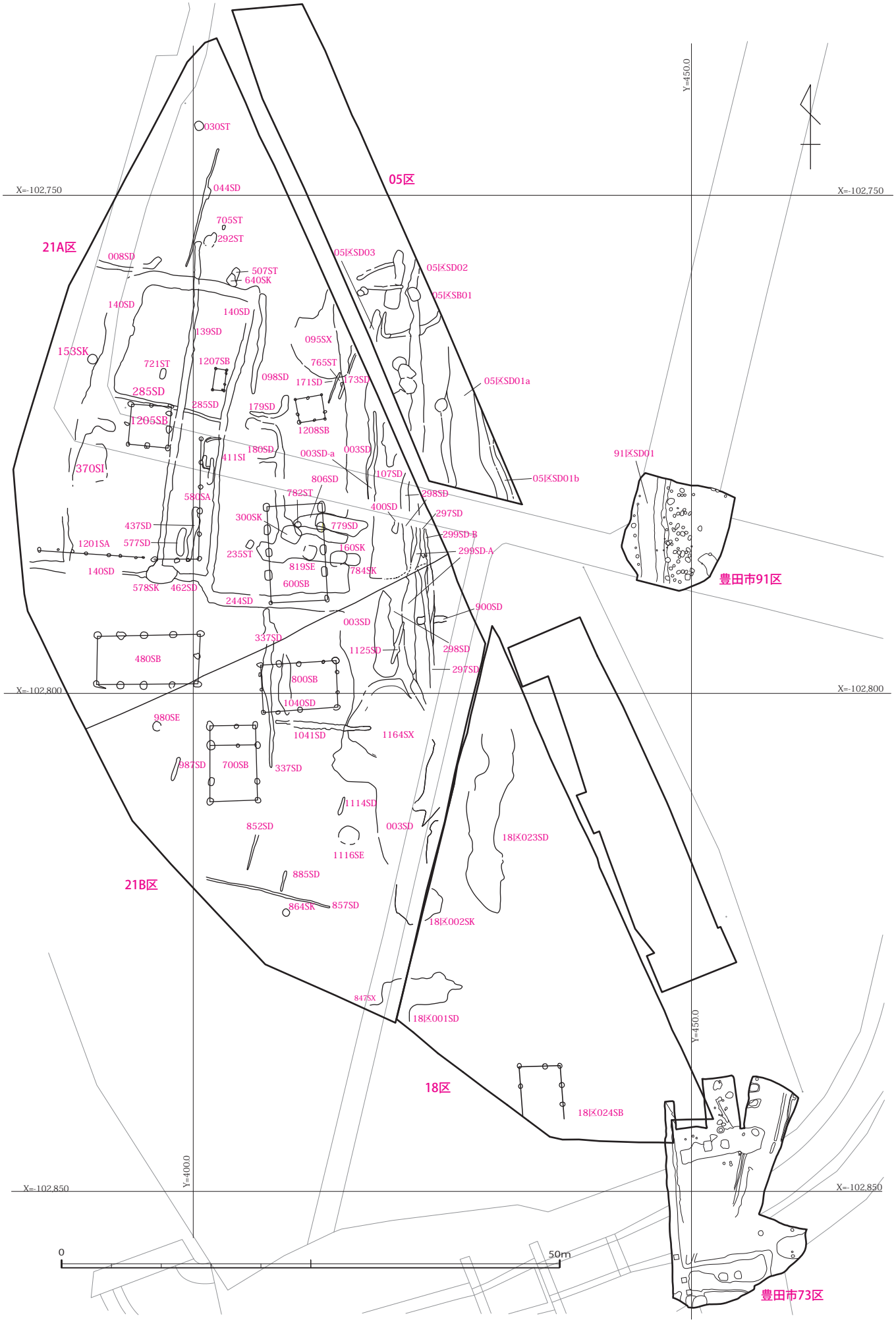
X=102.820
X=102.825
X=102.830
X=102.835
Y=445.0
Y=440.0
Y=435.0
Y=430.0
Y=425.0
820440
825440
830440
820435
825435
830435
820430
825430
830430
820425
825425
830425
2m
0
18区050SK
18区060SK
18区058SK
18区049SK
18区048SK
18区055SK
18区059SK
18区054SK
18区053SK
18区071SK
18区070SK
18区077SK
18区072SK
18区073SK
18区074SK
18区075SK
18区078SK
18区076SK
18区061SK
18区023SD
18区013SK
18区005SK
18区002SK
18区008SK
18区010SK
18区003SK
18区001SD
18区009SK
18区011SK
37.60
37.70
37.80
37.90
38.00
38.10
38.20

図版 16　平面図 -15



X=-102.835
X=-102.840
X=-102.845
Y=450.0
Y=445.0
Y=440.0
Y=435.0
Y=430.0
840450
835445
835440
840440
830440
830435
835435
840435
830430
835430
18区056SK
18区057SK
18区043SK
18区042SK
18区044SK
18区045SK
18区047SK
18区046SK
18区038SK
18区037SK
18区041SK
18区049SK
18区040SK
18区039SK
18区051SK
18区036SK
18区048SK
18区055SK
18区027SK
18区025SK
18区022SK
18区035SK
18区030SK
18区026SK
18区059SK
18区054SK
18区052SK
18区028SK
18区017SK
18区024SB
18区021SK
18区032SK
18区034SK
18区053SK
18区031SK
18区029SK
18区018SK
18区019SK
18区020SK
18区033SK
18区016SK
18区015SK
18区014SK
37.60
37.70
37.80
37.90
37.50
0
2m

図版 17　主要遺構配置図



図版 18　牛寺遺跡遠景



図版 19　18 区


18A区全景 北から


18B区全景 北から


18C区全景 北から


18A区001SD 西から


18A区023SD出土状況 南から


18A区042SK 南から


18C区055SK出土状況 南から


18C区055SK 南から

図版 20　21A 区航空写真



21A区航空写真 1 西から



21A区航空写真 2 上空から

図版 21　21B 区航空写真



21B区航空写真 1 西から



21B区航空写真 2 上空から


370SI 西から


370SI断面 西から


411SI 南から


411SI出土状況 1 西から


411SI出土状況 2 北から

図版 23　480SB


480SB 東から

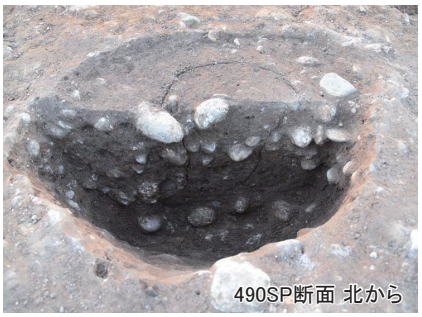

474SP断面 南から


475SP断面　南から


476SP断面


477SP断面


479SP断面 南から


490SP断面 北から


492SP断面 南から


528SP断面 北から


766SP断面 南から


600SB 南から


820SK断面 1 東から


820SK断面 2　東から

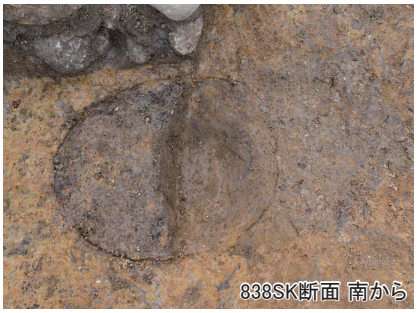

824SK断面 西から


828SK断面 西から


829SK断面 西から


836SK断面 西から


837SK断面 東から


838SK断面 南から


840SK断面 西から

図版 25　700SB


700SB 南から


1019SK断面　南から


1024SK断面 南から


1025SK断面 南から


1088SK断面 南から


1091SK断面 南から


1192SK断面 南から


1094SK断面 南から


1095SK断面 南から


1178SK断面 南から


800SB 東から


921SP断面 北から


936SK断面 南から


944SK断面 南から


1039SP断面 南から

図版 27　1205SB・1207SB・1208SB


1205SB 南から


1207SB 南から


1207SB 西から


1208SB 南から


1205SB 284SP 1 南から


1205SB 284SP 2 南から


1205SB 363SP 1 南から


1205SB 336SP 2 南から


1205SB 618SP 南から


1205SB 618SP 南から


1205SB 637SP 南から


1207SB 516SP 南から


1208SB 191SP 南から


580SA・1201SA 南から


580SA 338SP 東から


580SA 419SP 東から


580SA 422SP 東から


580SA 438SP 東から


580SA 461SP 南から


580SA 533SP 東から


580SA 575SP 東から


580SA 576SP 南から


580SA 583SP 南から

図版 29　819SE・980SE・1116SE


819SE 西から


819SE断ち割り　西から


980SE断ち割り　南から


1116SE断ち割り　南から


153SK 北から


160SK・784SK 南から

図版 31　土坑 -2


106SK 西から


300SK出土状況 南から


300SK 東から


321SK出土状況 1 西から


321SK出土状況 2 南から


321SK出土状況 3 西から


368SK 南から


368SK出土状況 南から


864SK出土状況 南から


433SK出土状況 西から


433SK 西から


556SK出土状況 西から


556SK 西から

図版 33　ピット


031SP 南から


097SP出土状況 南から


109SP出土状況 南から


110SP出土状況 南から


154SP 南から


202SP 南から


234SP出土状況 南から


270SP出土状況 東から

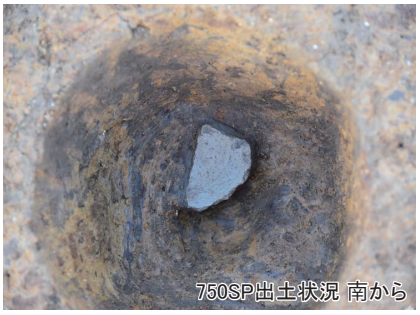

336SP出土状況 北から


451SP 南から


469SP出土状況 東から


611SP断面 南から


656SP 南から


750SP出土状況 南から


768SP 南から


942SP断面 南から


963SP 南から


1074SP出土状況 南から


21A区003SD1南から


21A区003SD2上空から

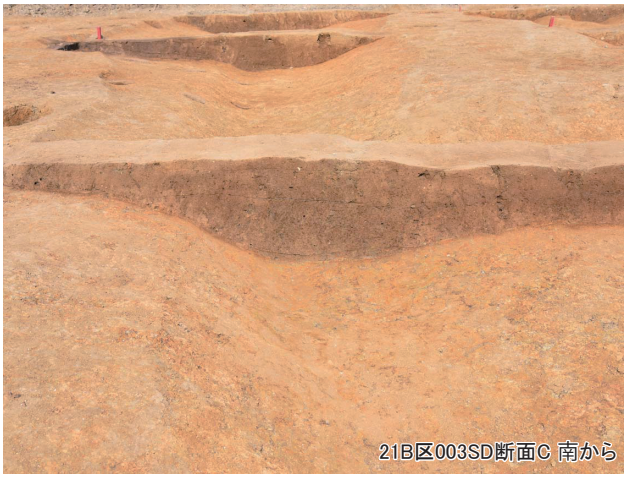
図版 35　003SD-2






21A区003SD 3 南から


21B区003SD断面A 南から


21B区003SD断面C 南から


21B区003SD断面B 南から


21A区003SD出土状況 1 南から


21B区003SD出土状況 1 南から


21B区003SD出土状況 2 南から


21B区003SD出土状況 3 北から

図版 37　139・140SD-1












139SD断面C 南から


139SD断面D 南から


139SD断面E 南から


140SD断面J 南から


140SD断面K 南から


140SD断面L 南から


140SD断面M 南から


140SD出土状況 南から

図版 39　107SD 他


107SD出土状況 西から


244SD・700SD 東から


297SD・1137SD 南から


299SD 東から


299SD出土状況 南から


437SD・577SD出土状況 南から


799SD 北から


1041SD 東から


030ST 東から


235ST礫出土状況 東から

図版 41　火葬施設 -2


235ST 東から


274ST 東から


292ST検出状況 東から


292ST断面 東から


507ST検出状況 東から


507ST礫出土状況 東から


507ST 東から


507ST断ち割り 南から

図版 42　火葬施設 -3・焼土面・その他の遺構


705ST 東から


782S検出土状況 西から


782ST断面 西から


782ST 東から


783SL断ち割り 南から


113SL断ち割り 南から


095SX 南から


1164SX 南から

図版 43　出土遺物 -1


88


30


112


11


12


384


3


284



75



343



80a



80b



230



359



277



376

図版 45　出土遺物 -3


347


285a


79


285b


77a


274


77b


114



260a



260b



259a



259b



345a



345b



89



223

図版 47　出土遺物 -5



283a



287



283b



397



400a



400b



102a



102b


113a


19a


153a


113b


19b


153b


69a

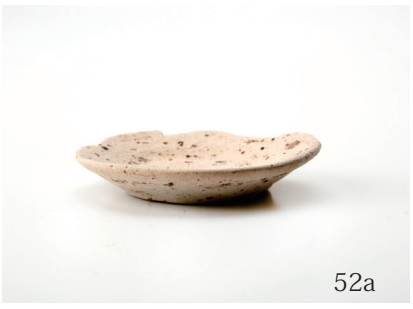

44a


158a


69b


44b


158b


52a


156a


9a


52b


156b


9b

図版 49　出土遺物 -7


126


234


193


109


128


83　272　244　330


143a


143b


84


250a


250b


227


M1


M3


M4


S1


S2


S3

報告書抄録

ふりがな	ごでらいせき2
書　　名	牛寺遺跡 II
副 書 名	
巻　　次	
シリーズ名	愛知県埋蔵文化財センター調査報告書
シリーズ番号	第237集
編著者名	池本正明、荒木徳人
編集機関	公益財団法人　愛知県教育・スポーツ振興財団　愛知県埋蔵文化財センター
所在地	〒498-0017 愛知県弥富市前ケ須町野方802-24 TEL0567(67)4161
発行年月日	西暦 2026年 3月 31日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
ごでらいせき 牛寺遺跡	あいちけん　とよたし 愛知県豊田市 みたちちょう 御立町	2321114	630360	35度 4分 23秒	137度 10分 33秒	2017.05～06 2018.12～02 2021.10～02	200 800 2,800	矢作川 河川改修

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
牛寺遺跡	集落	縄文時代 弥生時代 中・近世	土坑 竪穴建物、土坑 掘立柱建物、土坑、溝、井戸、火葬施設	縄文土器、石器 弥生土器 土師器、瀬戸美濃窯産陶器	溝による区画

文書番号	発掘届出(29埋セ7号 2017.04.10、30埋セ第86号 2018.11.08、3埋セ第76号 2021.08.05) 通知(29教生第280号 2017.04.19、30教生第2733号 2018.11.20、3文芸第1277号 2021.08.18) 終了届・保管証・発見届(29埋セ27号 2017.06.13、30埋セ第131号 2018.03.08、3埋セ第147号 2022.03.07) 鑑定結果通知(29豊教第1210号 2017.07.03、3豊文財第4021号 2022.03.18)

要約

本遺跡は、矢作川東岸の半島状に伸びる段丘面に立地している。調査では主に縄文時代から江戸時代にかけての遺構や遺物が確認された。中心となる中世では屋敷地が展開していることが判明した。屋敷地の廃絶後は、火葬施設が確認されるなど、葬送に関わる場へと土地利用が変容している事も確認できた。当該地域の中世の集落を考える上で貴重な資料を得ることができたと考えられる。

愛知県埋蔵文化財センター調査報告書　第 237 集

牛寺遺跡 II

2026 年3月 31 日

発行　公益財団法人　愛知県教育・スポーツ振興財団
愛知県埋蔵文化財センター
印刷　西濃印刷株式会社